MITSUBISHI ELECTRIC

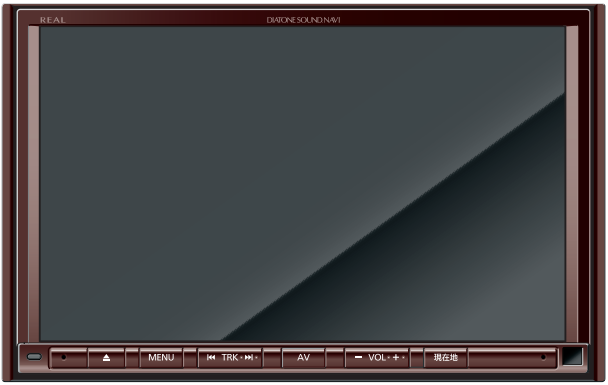
三菱カーナビゲーションシステム

形名

NR-MZ300PREMI-4

取扱説明書

DIATONE SOUND.NAVI



PremiDIA REAL openinfo MAPCODE®

Dolby Audio dts Bluetooth®

SD XC™ WiFi CERTIFIED VICS WIDE ETC2.0 Smart Loop

Made for iPhone | iPod Music FOLDER gracenote

ごあいさつ

この度は本製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

本製品の機能を十分に活かして正しくお使いいただくために、また安全運転のため、ご使用前に「取扱説明書」・「取付要領書」をよくお読みの上、正しくお使いください。
「取扱説明書」はお読みになった後、「保証書」・「お客様相談窓口一覧表」と共にいつでも見られるところに大切に保管し、わからないことや不具合が生じたときにもう一度ご覧ください。
本製品を譲られるときは、次に所有される方のために本製品に、本取扱説明書を付けてお譲りください。

⚠注意

- **初期設定 *(P37)* が完了するまで音を出さないでください。**
  スピーカー破損の原因となります。

Index

Intro.

ご使用前に 5

お客さまへ安全上のご注意 11
本書のみかた 15

基本操作 16

本機について 16
操作のしかた 24
ドライビングリモコンについて 26
各メニュー画面について 27

AV

Sound Settings 37

初期設定 37
システム構成図 41
音質の設定を変更する 48

オーディオ機能について 62

基本操作 62
再生できるディスクの種類について 65
音楽ファイルについて 68
動画ファイルについて 75

ラジオ / 交通情報 78

ラジオを聴く 78
交通情報を聴く 81

DISC 82

音楽 CD を聴く 82
ディスクの音楽ファイルを聴く 88
DVD ビデオを見る 92

SD/MusicFolder 104

SD カードについて 104
SD カードの曲を聴く 105
SD カードの動画を見る 110
MusicFolder に録音する 115
MusicFolder を聴く 117

iPod/USB メモリ 134

接続する 134
iPod を再生する 136
USB デバイスの曲を聴く 140
USB デバイスの動画を見る 145

TV 147

テレビ機能について 147
テレビを見る 148
放送局を探す 154
好みの放送局を登録する 157
情報を確認する 160
その他の操作 162

外部入力機器 165

Bluetooth Audio を使う 165
AUX を使う 170

NAVI

基本操作 175

ナビゲーション機能について 175
ナビ画面について 179
音声認識 186
文字入力のしかた 192
地図画面を設定する 196
案内表示について 200
地図を操作する 204
地点メニューからの操作 206
高速道路情報について 209

目的地の設定 213

自宅を目的地に設定する 213
特別登録地を目的地に設定する 214
探した場所を目的地に設定する 215
場所を探す 217
探索条件設定画面について 237

ルートの確認・変更 238

ルートの確認 238
ルートの変更 242

登録地の設定 252
自宅を登録する.....252
特別登録地を設定する.....253
登録地を設定する.....254
登録地を変更する.....255

VICS 機能 258
VICS について.....258
交通情報を調べる.....263
VICS による自動処理.....268
VICS 局を選ぶ.....270

ETC2.0 271
ETC2.0 サービスとは.....271

INFO

各種情報を確認する 276
エコ情報を確認する.....276
ETC 情報を確認する.....280
ニュースリーダーを使う.....284
電話を使う.....289
カメラを使う.....298
HUD の表示を確認する.....300
開通道路情報を更新する.....303
メンテナンス情報を確認する.....305
バージョンアップする.....309

本機の設定 314
設定を変更する.....314
NAVI の設定.....315
AV の設定.....324
INFO の設定.....329
通信の設定.....336
システムの設定.....343
TV の設定.....355
その他の設定.....359

Other

困ったときは.....362
用語解説.....371
TV 放送のチャンネル一覧表.....377
その他の機器への接続について.....380
ソフトウェアについて.....381
地図記号について.....389
VICS 情報有料放送サービス契約約款.....391
ニュースリーダーサービス利用規約.....393
仕様.....395
保証とアフターサービス.....397
音質調整メモ.....398
用語索引.....406

Intro.

あらかじめ知っておいていただきたいことについて説明します。

ご使用前に 5

免責事項について.....5
ご使用上の注意.....6
　共通.....6
　テレビ機能.....6
　電波に関するご注意.....6
　周波数の表示の見方.....7
　iPod/iPhone再生機能.....7
走行中の操作制限について.....7
OpenInfoについて.....7
お手入れのしかた.....7
商標について.....7
　Gracenoteについて.....10
お客さまへ安全上のご注意.....11
　取付・配線時などのご注意.....13
本書のみかた.....15

基本操作 16

本機について.....16
モニターパネルについて.....16
　パネルが閉じているとき.....16
　パネルが開いているとき.....17
　オーディオソース別の動作について.....18
起動する.....18
SDカードについて.....19
　取り扱い上のご注意.....19
　保管上のご注意.....19
SDカードを挿入する.....20
SDカードを取り出す.....20
ディスクの取り扱いについて.....21
　取り扱い上のご注意.....21
　お手入れについて.....21
　保管上のご注意.....21
　ディスク再生の環境について.....21
　著作権について.....21
ディスクを挿入する/取り出す.....22
　ディスクを挿入する.....22
　ディスクを取り出す.....22
操作のしかた.....24
　タップ.....24
　ロングタップ.....24
　ダブルタップ.....24
　マルチタップ.....24
　フリック.....24
　スライド.....25
　ピンチイン.....25
　ピンチアウト.....25
リストから項目を探すとき.....25
タブボタンがあるとき.....25
ドライビングリモコンについて.....26
各メニュー画面について.....27
AVメニュー.....27
NAVIメニュー.....28
ROUTEメニュー.....29
INFOメニュー.....30
マイメニュー.....31
　マイメニューから機能を呼び出す.....31
　マイメニューをカスタマイズする.....31
　マイメニューを初期化する.....31
　登録できる機能について.....32

ご使用前に

免責事項について

- 火災、地震、津波、洪水などによる自然災害、第三者による行為、その他の事故、お客さまの故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により生じた損害に関して、三菱電機は一切の責任を負いません。
- お客さま、または第三者が本機の使用を誤ったとき、静電気・電気的なノイズの影響を受けたとき、または故障・修理のときなどに本機に登録されていた情報（登録地など）や録音した音楽データが変化・消失した場合、その内容の補償はできません。大切な情報は万一に備えてメモなどを取っておくことをおすすめいたします。
- 本製品に入力した個人情報（登録地の住所や電話番号など）は本機を取り外してもメモリーに残っている場合があります。他人に譲り渡す、または処分などされる際は、プライバシー保護のため個人情報の取り扱い、管理（消去など）は、必ずお客さまの責任において行ってください。三菱電機は一切の責任を負いません。

  本製品を譲渡または廃棄される場合には、*「メモリ初期化」（P353）*の［本機の初期化］をすることをおすすめします。

  また、OpenInfoサービスをご利用になっている場合は、退会手続きを行ってください。
- 本製品の使用または使用不能から生じる付随的な損害（事業利益の損失、記録内容の変化・消失など）に関して、三菱電機は一切の責任を負いません。
- 表示される地図はデータ作成時点の関連で現状と異なる場合があります。また、地図データ不備による損害に関して、三菱電機は一切の責任を負いません。
- 高速道路料金や施設利用料などを収録しておりますが、税率変更や各種割り引きなどにより実際の料金と異なる場合がございます。表示金額の不一致による損害に関して、三菱電機は一切の責任を負いません。
- 本製品には交通規制データが収録されていますが交通規制の変更などにより実際の交通規制と異なる場合があります。必ず実際の交通規制に従って走行してください。なお、交通規制データ不備による交通事故や交通違反の損害に関して、三菱電機は一切の責任を負いません。
- 地図データの不備などで返品・返金・交換・改造などはできかねます。
- 地図データがお客さまの特定の目的に適合しない場合があります。
- 地図データの内容は予告なく変更される場合があります。
- 地図データは誤字・脱字・位置ずれなどがある場合があります。
- ルート案内や右左折などの音声案内時、実際の標識や交通規制と異なる案内をする場合があります。必ず実際の標識や交通規制に従って走行してください。
- 赤信号残時間表示などの信号情報案内は実際の点灯状況と異なる案内をする場合があります。必ず実際の信号や交通状況に従って走行してください。

  なお、案内表示の不備による交通事故や交通違反の損害に関して、三菱電機は一切の責任を負いません。
- 仕様および外観は改良のため予告なく変更されることがあります。そのため取扱説明書の内容と異なる場合がありますが返品・返金・交換・改造などはできかねますのであらかじめご了承ください。
- 本取扱説明書では数種類の機種内容を共用で説明しています。機種によっては記載されていても使用できない機能や別売の機器が必要な場合がございます。あらかじめご了承ください。
- 取扱説明書で使用している画像やイラストは開発中のもの、もしくは説明用に作成したものです。実際のものと異なる場合がありますのであらかじめご了承ください。
- 本製品に添付の保証書は当該製品をバス、タクシー、トラックなどの車両へ使用した場合、適用対象にはなりません。

次のページにつづく

- 本製品に記憶されたお客さまの登録情報など、またすべての情報の変化、消失した場合の損害や不利益について、アフターサービスも含め、三菱電機は一切の責任を負いません。
- 本製品は国内専用です。海外では使用できません。

ご使用上の注意

■ 共通

- 操作するために、エンジンをかけたまま車庫など周囲が囲まれた換気の悪い場所に停車しないでください。排気ガスにより、ガス中毒になるおそれがあります。
- 安全のため、運転者は走行中に操作しないでください。また、運転者が画面を見るときは必要最小限の時間にとどめてください。画面に気を取られて思わぬ事故につながるおそれがあります。
  なお、道路交通法により運転者が走行中に画面を注視することは禁止されています。
- 運転中は車外の音が聞こえる程度の音量でお使いください。車外の音が聞こえない状態で運転すると思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 分解や改造をしないでください。故障や発煙、発火の原因になります。
- 緊急を要する施設（病院・消防署・警察署など）の検索や施設までの案内については、本製品への依存を避け該当施設へ直接問い合わせてください。
- 操作するときは、安全な場所に停車してください。
- エンジンをかけずに本製品を使用し続けた場合、車両のバッテリーが消耗しエンジン始動ができないおそれがあります。
  必ずエンジンをかけた状態で使用してください。
- 以下のようなときは、液晶画面特有の現象ですので故障ではありません。
  ≫ 画面に小さな黒点、輝点（赤、青、緑）がある。
  ≫ 寒冷時など、画面の動きが遅い。
  ≫ 高温時など、画面が暗いときがある。
  ≫ 画面を見る角度によって、色あいや明るさに違いがある。
- 液晶画面の性質上、見る角度によって画質が異なります。はじめてお使いのときは画質の調整を行ってください。
- 偏光サングラスを使用すると、視認性が低下する場合があります。
- 市販の液晶保護フィルムなどを画面に貼るとタッチパネル操作に支障がでるおそれがあります。
- 鋭利なもの（ペン先・つめの先など）でタッチパネル操作を行うと画面に傷が付く場合があります。
- カバーレンズに樹脂を採用していますが、強い衝撃を与えると樹脂が割れて、けがをするおそれがあります。
- 手袋などを着けたままタッチパネル操作を行うと正しく反応しない場合があります。
- 本製品は、著作権保護技術を採用しており、Rovi Corporationおよびその他の著作権利者が保有する米国特許およびその他の知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用は、Rovi Corporationの許可が必要で、また、Rovi Corporationの特別な許可がない限り家庭用およびその他の一部の鑑賞用以外には使用できません。分解や改造することも禁じられています。
- パワーウィンドウ、ワイパー、電動ミラー、エアコンファンなどの車両電装品を作動させたときには、ラジオやテレビの受信状態が悪くなるなど異常が発生するおそれがあります。

■ テレビ機能

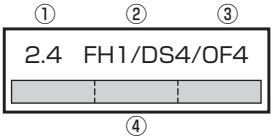
- 本製品は、BSデジタル放送、110度CSデジタル放送には対応しておりません。
- 本製品はデータ放送には対応しておりません。
- 移動中に電波の受信状態が悪くなったときには、次のような現象が起きる場合があります。
  ≫ 映像や音声にノイズが発生する。
  ≫ 映像や音声が途切れる。

■ 電波に関するご注意

この機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで前記記載の無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、この機器から前記記載の無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに場所を移動する、電源を切るなどの回避処置をしてください。
3. その他、この機器から前記記載無線局に対し有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、三菱電機カーインフォメーションセンター *(P397)* へご相談ください。

■ 周波数の表示の見方



本機上面の製品ラベル内に図のような表示があります。

① 2.4:2400MHz帯を利用する無線設備を表します。

② 変調方式:FH-SS方式、DS-SS方式、OFDM方式であることを示します。

③ 1:想定される与干渉距離が10m以下であることを示します。
4:想定される与干渉距離が40m以下であることを示します。

④ :2400MHz ～ 2483.5MHzの全帯域を利用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可であることを意味します。

■ iPod/iPhone再生機能

- 本機は、iPod/iPhoneの音楽の再生に対応しておりますが、いかなるバージョンであっても動作を保証するものではありません。
- iPod/iPhoneの機種、バージョンによって動作が異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 最新の接続確認結果については、三菱電機のホームページをご覧ください。

走行中の操作制限について

安全のため、走行中は一部操作や表示が制限されます。安全な場所に車を停めて操作してください。

OpenInfoについて

OpenInfoサービスとは、三菱電機株式会社が運営する会員制の交通情報システムです。
OpenInfoサービスを利用すれば、リアルタイムに渋滞情報を取得することができ、より早くスムーズな目的地案内を実現します。
また、高速道路などの開通道路情報もダウンロード可能となり、快適ドライブをサポートします。
OpenInfoでは、以下の機能がご利用になれます。

- スマートループ渋滞情報 *(→P258)*
- 開通道路情報更新 *(→P303)*

これらの機能をご利用になるには、あらかじめ登録が必要です。
詳しくは、三菱電機のホームページをご覧ください。
http://www.MitsubishiElectric.co.jp/carele/carnavi/openinfo

お手入れのしかた

- 本機が汚れたときはやわらかい布でから拭きしてください。
- 画面が汚れたときは、メガネ拭きなどのやわらかく乾いた布で軽く拭き取ってください。ベンジン、シンナー、帯電防止剤、化学ぞうきんなどは使用しないでください。画面を傷つけるおそれがあります。

商標について

- 「ナビ」、「NAVI」は商標です。
- NaviCon NaviConは株式会社デンソーの登録商標です。
- 「DIATONE Volume」および「DIATONE SURROUND」は、三菱電機株式会社の登録商標です。
- 「ドライビングリモコン」、「ドラコン」は三菱電機株式会社の登録商標です。
- WMA（Windows Media Audio）：Windows Mediaは、米国Microsoft Corporationの米国および／またはその他の国における登録商標または商標です。
- 「Android」はGoogle LLCの商標です。
- 製品名などの固有名詞は各社の商標または登録商標です。
- なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

次のページにつづく

「DIATONE」および「ダイヤトーン」、「DIATONE」ロゴは、三菱電機株式会社の登録商標です。

「ミュージックフォルダ」は、三菱電機株式会社の登録商標です。

「PremiDIA」は、三菱電機株式会社の登録商標です。

「OpenInfo」および「openinfo」ロゴは、三菱電機株式会社の登録商標です。

ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されております。Dolby、Dolby Audio、ドルビーおよびダブルD記号はドルビーラボラトリーズライセンシングコーポレーションの商標です。

DTSの特許については、http://patents.dts.com. をご参照ください。DTS Licensing Limitedからの実施権に基づき製造されています。DTS、Digital Surround、DTSロゴは、米国およびその他の国におけるDTS, Inc. の登録商標または商標です。
© 2020 DTS, Inc. ALL RIGHTS RESERVED.

SDXCロゴはSD-3C,LLCの登録商標です。

「VICS」および「VICS WIDE」ロゴは、一般財団法人道路交通情報通信システムセンターの商標です。

Bluetooth® ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり「三菱電機株式会社」はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。その他の商標およびトレードネームは、それぞれの所有者に帰属します。

「マップコード」および「MAP CODE」は、(株) デンソーの登録商標です。

ETCロゴは、一般財団法人ITSサービス高度化機構の登録商標です。

ETC2.0ロゴは、一般財団法人ITSサービス高度化機構の登録商標です。

本製品は、パイオニア (株) が運営・管理するスマートループ渋滞情報®を使用しています。
スマートループ渋滞情報®はパイオニア (株) の登録商標です。

Wi-Fi、Wi-Fi Alliance、Wi-Fi Direct、Wi-Fi CERTIFIED ロゴはWi-Fi Allianceの登録商標です。

「REAL」は三菱電機株式会社の登録商標です。

「DriveConnect」および「DriveConnect」ロゴは、三菱電機株式会社の登録商標です。

Made for iPhone | iPod

「Made for iPod」および「Made for iPhone」とは、iPodまたはiPhone 専用に接続するよう設計され、Appleが定める性能基準を満たしているとデベロッパによって認定された電子アクセサリであることを示します。
Apple、iPhone、iPod、iPod nano、iPod touchは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
Appleは、本製品の機能および安全および規格への適合について一切の責任を負いません。

iPod nano

iPod nano
7th generation

iPod touch

iPod touch
5th generation

iPod touch
6th generation

iPhone

iPhone 4s

iPhone 5
iPhone 5c　iPhone 5s

iPhone 6　iPhone 6s

iPhone 6 Plus　iPhone 6s Plus

iPhone SE

iPhone 7

iPhone 7 Plus

※ ビデオ再生およびGenius機能には対応しておりません。
※ iPadには対応しておりません。
※ iPodおよびiTunesは、著作権のないマテリアル、または法的に複製・再生を許諾されたマテリアルを個人が私的に複製・再生するために使用許諾されるものです。著作権の侵害は法律上禁止されています。
※ 最新の接続確認結果については、三菱電機のホームページをご覧ください。

■ Gracenoteについて

音楽認識技術と関連情報はGracenote® 社によって提供されています。
Gracenoteは、音楽認識技術と関連情報配信の業界標準です。
詳細は、GracenoteのWebサイトwww.gracenote.comをご覧ください。

Gracenote® は、グレースノート社の登録商標です。Gracenote® ロゴおよびロゴ標記、"Powered by Gracenote" ロゴはグレースノート社の商標です。
※ 本機内蔵のGracenote® データベースは、データの内容を100%保証するものではありません。

著作権、使用許諾について詳しくは「*ソフトウェアについて*」(*P381*)をご覧ください。

お客さまへ安全上のご注意

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、いろいろな絵表示とともに、取り扱い上の注意点を記載しています。絵表示は次のような意味を示しています。

⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。
	このような絵表示は、注意（警告を含む）しなければならない内容です。
	このような絵表示は、禁止（やってはいけないこと）の内容です。
	この絵表示は、必ず行っていただく強制の内容です。

⚠警告

禁止

- **運転者は運転中に、画像を注視しない。**前方不注意となり事故の原因となります。
  道路交通法により、運転者が走行中に画像を注視することは禁止されています。
- **運転者は走行中に複雑な操作をしない。**
  運転中に複雑な操作をすると、前方不注意となり事故の原因となりますので、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。
- **カメラは周囲確認の補助装置です。カメラの画像だけを見て運転しない。**
  カメラ画像で表示できる範囲には限りがあるため、人や障害物に接触するおそれがあり、事故の原因となります。
- **画面が映らない、音がでないなどの故障状態で使用しない。**
  事故、火災、感電の原因となります。
- **本機はDC12V マイナス ⊖ アース車専用です。大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車での使用はしない。**火災や故障の原因となります。
- **機器内部に水や異物を入れない。**発煙、発火、感電、故障の原因となります。
- **ディスクスロットやSDカードスロットに異物を入れない。**
  火災や感電、故障の原因となります。

⚠警告

必ず行う

- **ナビゲーションによるルート案内時も、実際の交通規制に従って走行する。**
  本機では交通規制の変更などにより実際の交通規制と異なる場合があります。
  必ず実際の交通規制に従って走行してください。
- **運転者がテレビやビデオを見るときは必ず安全な場所に車を停車し、パーキングブレーキをかけて使用する。**テレビやビデオは安全のため走行中は表示されません。
- **カメラ使用時も目視による安全確認を必ず行う。**
  カメラの死角になっている人や障害物に接触するおそれがあり、事故の原因となります。
- **バックする際はゆっくりした速度で運転する。**
  カメラの画像は目視と距離感が異なるため、人や障害物に接触するおそれがあり、事故の原因となります。
- **万一、異物が入った、水がかかった、煙がでる、変な臭いがするなど異常が起こったら、ただちに使用を中止し、お買い上げの販売店に相談する。**
  そのまま使用すると事故、火災、感電の原因となります。
- **ヒューズを交換するときは、規定容量（アンペア数）のヒューズを使用する。**
  規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災の原因となります。

分解禁止

- **本機を分解したり、改造したりしない。**故障、火災、感電の原因となります。

接触禁止

- **雷が鳴りだしたら、アンテナ線やフロントパネルに触れない。**
  落雷により感電のおそれがあります。

⚠注意

禁止

- **本機の通風孔や放熱板をふさがないでください。**
  通風孔や放熱板をふさぐと内部に熱がこもり、発火や故障の原因となることがあります。
- **開いたディスプレイの上に物を置かないでください。**
  ディスプレイ部の破損や飲み物がこぼれることにより、発煙、発火、感電、故障の原因となります。
- **カメラ本体に無理に力を加えたり、高圧洗車を行ったりしないでください。**
  カメラが外れたり、角度がずれたりして故障や事故の原因となることがあります。

注意

- **運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度で使用してください。**
  車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。
- **カメラ画像は車種や取り付け角度で見え方が異なります。注意してご使用ください。**
  事故の原因となることがあります。

⚠注意

必ず行う

- **モニターパネルの開閉や角度調整時に、シフトレバー操作などの妨げになる場合は、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。**

指に注意

- **ディスクスロットやSDカードスロットに手や指を入れないでください。**
  けがの原因となることがあります。
- **モニターパネルの開閉や角度調整時に、手や指を挟まれないようにご注意ください。**
  けがの原因となることがあります。

■ 取付・配線時などのご注意

⚠警告

禁止

- **本機を、前方の視界を妨げる場所や、ステアリング、シフトレバー、ブレーキペダルなどの運転操作を妨げる場所など運転に支障をきたす場所、同乗者に危険を及ぼす場所などには絶対に取り付けない。**交通事故やけがの原因となります。
- **エアバッグの動作を妨げる場所には、絶対に本機の取り付けと配線をしない。**
  エアバッグ動作を妨げる場所に取付・配線すると交通事故の際、エアバッグシステムが正常に動作しない原因となり危険です。
- **電源コードの被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対に止める。**
  電源コードの電流容量がオーバーし、火災、感電の原因となります。
- **車体のボルトやナットを使用して機器の取り付けやアースを取る場合は、ステアリング、ブレーキ系統やタンクなどの保安部品のボルト、ナットは絶対に使用しない。**これらを使用しますと制動不能や発火、事故の原因となります。

注意

- **車体に穴を開けて取り付ける場合は、パイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認の上、これらと干渉や接触しないよう注意して行う。**
  誤った穴開けをすると火災の原因となります。

必ず行う

- **取り付け作業前には、バッテリーのマイナス ⊖ 端子を外す。**
  ショート事故による感電やけがの原因となります。
- **コード類は、運転操作の妨げとならないよう、テープなどでまとめておく。**
  ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと事故の原因となり危険です。
- **取り付けと配線が終わったら、ブレーキやライト、ホーン、ウィンカーなどの電装品が元通り、正常に動作することを確かめる。**
  正常に動作しない状態で使用すると火災や感電、事故の原因となります。
- **必ず、パーキングブレーキ線を接続する。(安全機能)**
  安全機能や走行中の操作制限が正しく機能しません。
  接続すると、走行中はテレビ、ビデオの画像が表示されず、音声のみとなります。
  また、画面を注視する必要がある複雑な機能は操作できないようになっています。

⚠注意

禁止

- **本機のシャーシ上部を強く押さないでください。**
  本機のシャーシ上部が変形すると、ディスクの挿入や排出ができなくなります。
- **初期設定 *(P37)* が完了するまで音を出さないでください。**
  スピーカー破損の原因となります。
- **システム構成図 *(P41)* 記載の接続以外はしないでください。**

注意

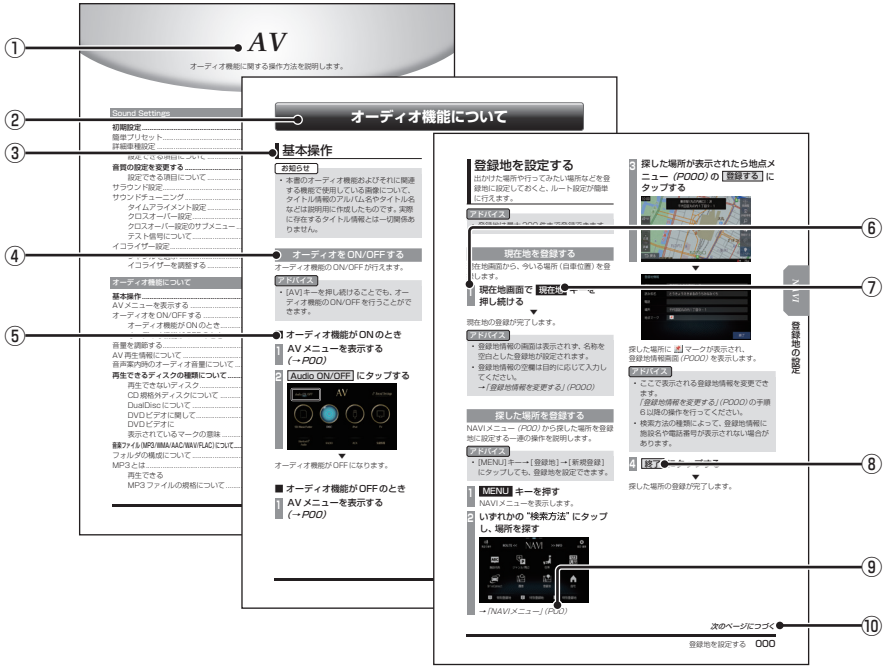
- **車体やねじ部分、シートレールなどの可動部にコード類をはさみ込まないように配線してください。**
  断線やショートにより、事故や感電、火災の原因となることがあります。
- **コード類の配線は、高温部を避けて行ってください。**
  コード類が車体の高温部に接触すると被覆が破れショートし、火災、感電の原因となることがあります。

必ず行う

- **落下などによる、強い衝撃を与えないでください。**
  機器の故障、けがなどの原因になることがあります。付属のネジなどでしっかりと固定してください。
- **本機の取付・配線には、専門技術と経験が必要です。**
  安全のため必ずお買い上げの販売店に依頼してください。誤った配線をした場合、車に重大な支障をきたす場合があります。
- **必ず付属の部品を指定どおり使用してください。**
  指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品を損傷したり、しっかりと固定できずに外れたりなど、事故や故障、火災の原因になることがあります。
- **取付要領書で指定されたとおりに接続してください。**
  正規の接続を行わないと、火災や事故の原因となることがあります。
- **エアバッグ装着車に取り付ける場合は、車両メーカーに作業上の注意事項を確認してから作業を行ってください。**エアバッグが誤作動する原因となることがあります。
- **本機の取り付け場所変更時は安全のため必ずお買い上げの販売店へ依頼してください。**取り外し、取り付けには専門技術が必要です。
- **他の機器と接続する場合は、各機器の取扱説明書も併せてよくお読みの上、正しくお使いください。**
- **携帯電話を使用する場合は、携帯電話を置く位置や向きによって、雑音が生じることがあります。できるだけ本機から離してお使いください。**
- **本製品を廃棄する場合は、最寄りの市町村窓口または販売店に正しい廃棄方法をお問い合わせください。**

本書のみかた

本書で使用している表記と意味は以下のようになっています。



※ このページは「本書のみかた」を説明するためのものです。
実際のページ、説明内容とは異なります。

① **編見出し**
主な機能に分けて分類しています。

② **章見出し**
編分類の中でさらに機能を分類し、各章の先頭に記載しています。
また、右端のインデックスでも確認できます。

③ **大見出し**
章分類の中で主な操作や機能を分類しています。

④ **中見出し**
大見出しの中で分けられた操作や機能をこまかく分類しています。

⑤ **小見出し**
中見出しの中で分けられた操作や機能をさらにこまかく分類しています。

⑥ **操作手順**
操作手順を示す番号です。この番号の順序に従い操作してください。

⑦ **○○○ キーまたは [○○○] キー**
パネルでの操作キーを示します。

⑧ **○○○ または [○○○]**
画面上に表示されるボタンを示します。

⑨ ***(P000)***
参照するページを示します。関連する説明などが記載されています。

⑩ ***次のページにつづく***
操作の説明に続きがある場合に記載しています。

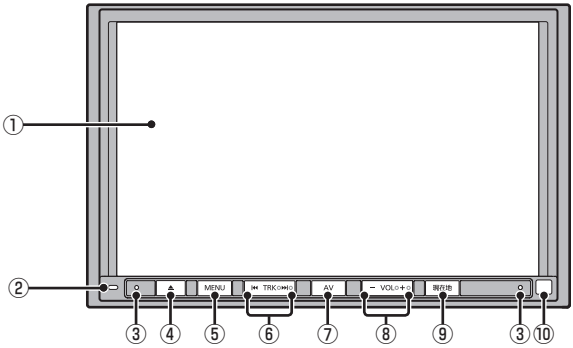
基本操作

本機について

モニターパネルについて

モニターパネルの各部の名称と働きについて説明します。

■ パネルが閉じているとき



① **ディスプレイ**
ディスプレイに表示されるボタンにタップ *(P24)* することで、ほとんどの操作が行えます。

② **セキュリティロックLED** *(→P347)*
イグニッションキーを "OFF" にしたとき、LEDを点滅させることができます。

③ **マイク**
本機にマイクを内蔵しています。音声認識やハンズフリー通話のときに使用します。

④ **▲ キー**
モニターパネルを開閉するときや、SDカード *(P20)*、ディスク *(P22)* の出し入れ、モニター角度の調整 *(P359)*、画質調整 *(P359)* をするときに使用します。

⑤ **MENU キー**
NAVIメニューを表示します。*(→P28)*
画面を左へスライドするとINFOメニューを表示します。*(→P30)*
画面を右へスライドするとROUTEメニュー※1を表示します。*(→P29)*
長押しすると、音声認識またはカメラに切り換えます。*(→P343)*

⑥ **⏮TRK キー / TRK⏭ キー**
音楽再生時のトラック選択やラジオ、テレビの選局などが行えます。
動作は、オーディオソースによって異なります。詳しくは*「オーディオソース別の動作について」(P18)* をご覧ください。

⑦ **AV キー** *(→P27)*
AVメニューまたはAV再生画面を表示します。長押しすると、オーディオ機能のON/OFFを切り換えます。

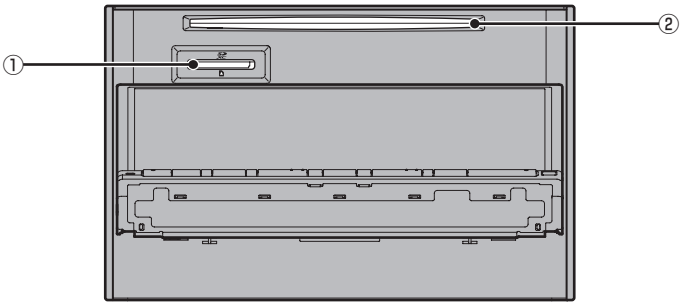
⑧ **－VOL キー / VOL＋ キー** *(→P63)*
オーディオ機能の音量を調節できます。

⑨ **現在地 キー**
ナビゲーション画面の現在地画面を表示します。*(→P179)* 長押しすると、現在地を登録します。*(→P254)*

⑩ **リモコン受光部**
別売のドライビングリモコンの信号を受光します。

※1 ROUTEメニューはルートを設定している場合に表示できます。

■ パネルが開いているとき



① **SDカードスロット**
SDカードを挿入します。SDカード内の音楽ファイルの再生*(P105)*や動画ファイルの再生*(P110)*、MusicFolderへの録音*(P115)*が行えます。

② **ディスクスロット**
本機で再生可能なディスクを挿入すると、再生を開始します。
→*「ディスクを挿入する」(P22)*

■ オーディオソース別の動作について

⏮TRK キーや TRK⏭ キーを押したときの動作はオーディオソースによって異なります。
オーディオソースごとの動作は以下のとおりです。

MusicFolder	押すと前後の曲を選ぶことができます。 押し続けると、早送り / 早戻しの操作が行えます。
DISC	
iPod	
Bluetooth Audio	
SD/USB （音楽ファイル）	
DVD-Video	押すと前後のチャプターを選ぶことができます。 押し続けると、早送り / 早戻し再生の操作が行えます。
DVD-VR	
SD/USB （動画ファイル）	押すと前後の動画ファイルを選ぶことができます。 押し続けると、早送り / 早戻し再生の操作が行えます。
TV	押すと前後のプリセットCH番号を選ぶことができます。 押し続けると、受信可能な放送局の選局を行います。
ラジオ	
AUX	操作できません。

起動する

本システムを起動します。

1 車のイグニッションキーを“ACC”または“ON”にする

▼

オープニング画面が表示され、しばらくするとオーディオ画面やナビゲーション画面など、前回最後に使用した機能の画面（ラスト画面）に切り換わります。

お知らせ

- 車両点検などでバッテリーを外すと、セキュリティロック時は、パスワード入力画面を表示します。
  パスワードを入力するまで本機をご使用になれませんので*「セキュリティロックの設定」（P346）*で設定したパスワードを入力してください。

SDカードについて

本機はオーディオ機能で使用するSDカードに対応しております。

⚠警告

必ず行う

- **事故防止のため、SDカードは乳幼児の手の届かないところに保管する。**
  万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師の治療を受けてください。

注 意

- SDカードの抜き差しは、安全な場所に停車してから行ってください。
- SDカードでデータを読み書きしているときに、SDカードを取り出したり、電源を切ったりしないでください。
  記録されたデータの消失または破損のおそれがあります。
  - Sound Settingsの操作中
  - MusicFolderの曲を編集中
  - NoTitleリストの編集中
  - CD録音中
  - SDカードの初期化中
  - CD-DAの曲タイトル取得中
- SDカードスロットに異物を入れないでください。ケガや発煙、発火の原因になります。

お知らせ

- SDカードの容量は設計上最大2TBまでサポートしております。SDカードのスピードクラスはClass10以上、容量は128GBまでを推奨いたします。なお、すべてのSDカードに対して動作を保証するものではありません。
- SDカードのデータ消失による損害について、当社は一切の責任を負いかねます。

お知らせ

- パソコンの標準機能を使用してフォーマットしたSDカードは正しく動作しない場合がありますので、本機でご使用になるSDカードは本機でフォーマットしてからご使用ください。
  フォーマットすると、SDカード内にあるすべてのデータは消去されます。SDカード内のデータはバックアップしておくことをおすすめします。
- 本機でのフォーマットは、*「メモリ初期化」(P353)*で[SDカードの初期化]を選ぶことで行えます。
- SDカードには寿命があり、書き込みを繰り返すと書き込みや消去などができなくなる場合があります。

■ 取り扱い上のご注意

- SDカードの端子に指紋などの汚れが付着すると、読み取りにくくなることがあります。SDカードを持つときは、端子を触らずに持つようにしてください。
- SDカードに紙やシールを貼り付けたり、傷を付けたりしないでください。
- すでにSDカードが挿入された状態で他のSDカードを無理に挿入しないでください。故障の原因となります。
- SDカード以外のものを挿入しないでください。SDカード以外のものを挿入すると、破損もしくは取り出せなくなります。

■ 保管上のご注意

本機から取り出したときは、直射日光の当たらない場所に保管してください。

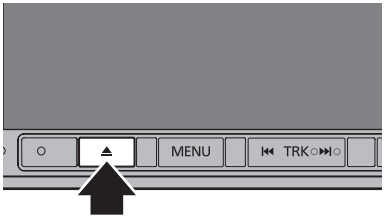
SDカードを挿入する

オーディオ機能のために使用するSDカードを本機に挿入します。

お知らせ

- SDカードは同梱しておりません。お客さまにてご準備ください。

1 ⏏ キーを押す



2 モニター Open にタップする

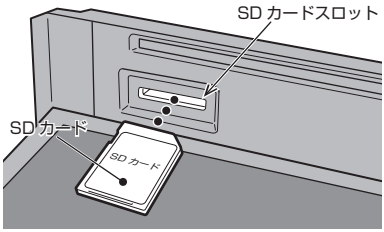
→「操作のしかた」(P24)

▼

パネルが開きます。

3 SDカードスロットにSDカードを差し込む

「カチッ」と音がするまで差し込みます。



4 ⏏ キーを押し、パネルを閉じる

▼

SDカードを利用したオーディオ機能が使用可能となります。

SDカードを取り出す

オーディオ機能のために使用するSDカードを本機から取り出します。

1 ⏏ キーを押す

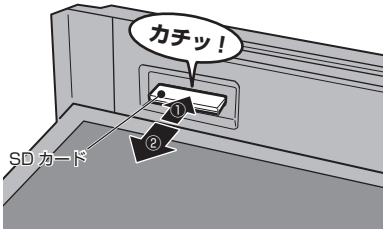
2 モニター Open にタップする

→「操作のしかた」(P24)

▼

パネルが開きます。

3 SDカードを「カチッ」と音がするまで押す



SDカードが飛び出し、抜き取れる状態になります。ゆっくりと抜いてください。

4 ⏏ キーを押し、パネルを閉じる

ディスクの取り扱いについて

ディスクの取り扱いについてお守りいただきたいこと、注意していただきたいことを説明します。

■ 取り扱い上のご注意

- ディスクの信号面に指紋などの汚れが付着すると、読み取りにくくなることがあります。ディスクを持つときは、信号面を触らないように、両側を挟むように持つか中央の穴と端を挟んで持つようにしてください。
- ディスクに紙やシールを貼り付けたり、傷を付けたりしないでください。
- すでにディスクが挿入された状態で他のディスクを無理に挿入しないでください。ディスクの傷や故障の原因となります。

■ お手入れについて

- ディスクの信号面は定期的にクリーニングしてください。クリーニングする場合はやわらかい布で回転せずに内側から外側へ軽く拭いてください。
- 新しいディスクにはディスクの外周や中心の穴にバリが残っている場合がありますので確認してください。バリが残っている状態で使用すると誤動作の原因となりますのでバリを取り除いてください。

■ 保管上のご注意

- 使用しないときは必ずケースに入れ、直射日光の当たらない場所に保管してください。
- 長時間使用しない場合は、必ず本機から取り出してください。

■ ディスク再生の環境について

真冬の車内など極度の低温状態でヒーターを入れてすぐご使用になると、ディスクや内部の光学部分に露（水滴）が付き正常に動作しない場合があります。
このような場合は、ディスクを取り出してしばらくお待ちになってからご使用ください。

■ 著作権について

私的使用以外の目的でディスクを無断で複製や放送、公開演奏やレンタルする行為は法律により禁じられています。

ディスクを挿入する / 取り出す

本機にディスクを挿入する方法を説明します。

注 意

- ディスク交換は、安全な場所に停車してから行ってください。
- ディスクスロットに手や指、異物を入れないでください。ケガや発煙、発火の原因になります。
- パネル上にもの（ジュースなど）を置かないでください。
- ディスクを挿入すると自動でパネルが閉まります。但し、プログラムの読み込み中や地図更新中は自動でパネルは閉まりません。
- パネル開閉時に手や指をはさみ込まないよう注意してください。

■ ディスクを挿入する

1 ⏏ キーを押す

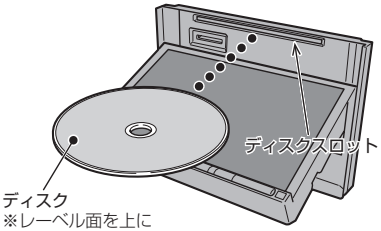
2 モニター Open にタップする

→「操作のしかた」（P24）

▼

パネルが開きます。

3 ディスクスロットに、レーベル面を上にしてディスクを差し込む



ある程度差し込むと自動的に引き込まれます。

▼

自動でパネルが閉まり再生を開始します。

■ ディスクを取り出す

1 ⏏ キーを押す

2 DISC Eject にタップする

→「操作のしかた」（P24）

▼

パネルが開き、本機からディスクが排出されますので、ディスクを抜き取ってください。

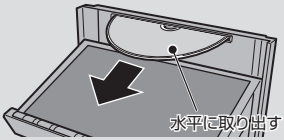
3 ⏏ キーを押す

▼

パネルが閉まります。

注 意

- ディスクを取り出すときは、ディスクスロットに対して水平に取り出してください。ディスクの記録面（下側）を強く押しつけたり、ディスクを変形させながら取り出したりすると、ディスクに傷が付くおそれがあります。



アドバイス

- ディスクの排出後、一定時間ディスクを抜き取らなかった場合、ディスクが自動的に引き込まれます。

ディスクを強制的に取り出す

通常は、ディスクローディングが正常に完了すれば、*「ディスクを取り出す」*の方法で挿入されているディスクを取り出すことができますが、万が一ディスクローディングが失敗して、再生情報画面が表示できなかった場合は、次の方法でディスクを強制的に取り出すことができます。

1 ⏏ キーを押し続けながら、イグニッションキーをOFFの状態から“ON”にする

▼

本機からディスクが強制的に排出されます。排出後、再度イグニッションキーを“OFF”→“ON”して、システムを再起動してください。

操作のしかた

本システムでは、ディスプレイに直接触れることで操作するマルチタッチパネルを採用しています。

注 意

- ディスプレイの表面は傷が付きやすいので、手で強く押さえたり、かたい布などでこすったりしないでください。
- 画面が汚れたときは、メガネ拭きなどのやわらかく乾いた布で軽く拭き取ってください。

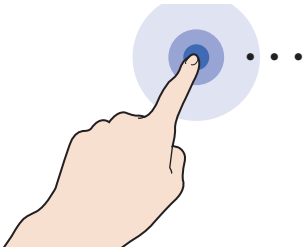
■ タップ

“決定”する操作を行うときなどに使用します。

画面に軽く触れてすぐに離します。

■ ロングタップ

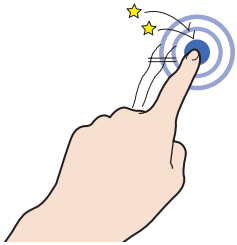
早送りや早戻しするときなど、様々な場面で使用します。



画面に触れたままの状態にします。

■ ダブルタップ

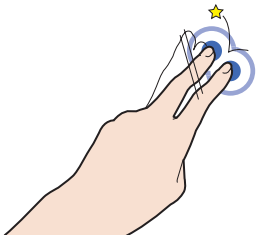
地図の範囲を１段階ずつ詳細にするときに使用します。



１本の指ですばやく２回タップします。

■ マルチタップ

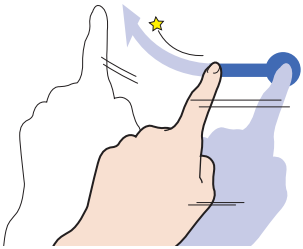
地図の範囲を１段階ずつ広域にするときに使用します。



２本の指で１回タップします。

■ フリック

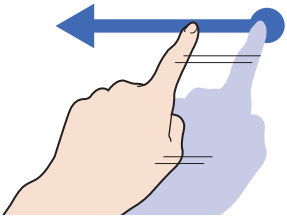
リストや地図を素早くスクロールするときに使用します。



画面に触れたまま素早く指をはらうように動かし、画面から指を離します。

■ スライド

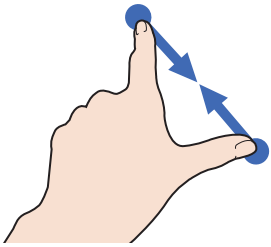
指の動きに合わせて画面をスクロールするときに使用します。



画面に触れたまま指を動かします。

■ ピンチイン

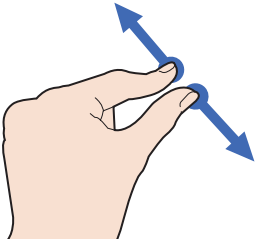
地図の範囲を広域にするときに使用します。



2本の指で画面に触れたまま、指の間隔を縮めるように動かします。

■ ピンチアウト

地図の範囲を詳細にするときに使用します。



2本の指で画面に触れたまま、指の間隔を広げるように動かします。

リストから項目を探すとき

リストの上でフリックまたはスライドします。上の方向に指を動かすとリストは下へスクロールします。

▼

探している項目が表示されたら直接その項目にタップします。

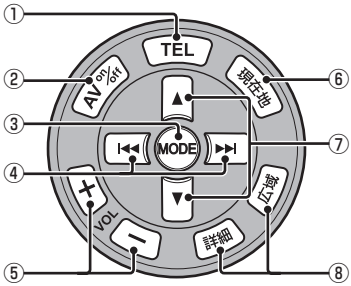
タブボタンがあるとき

分類がタブボタンで分かれている場合があります。
分類のタブボタンに直接タップすることで、分類の先頭までリストが移動します。

分類の数が多いときは、<< , >> が表示されます。
<< , >> にタップすることで分類のタブボタンを1ページずつ送ることができます。

ドライビングリモコンについて

本機は、別売のドライビングリモコン（RE-MZ50）での操作に対応しています。
ドライビングリモコンの各部の名称と働きについて説明します。



① **TEL キー**
着信があったとき、[TEL] キーを押すと、通話できます。通話中に [TEL] キーを押すと電話を切ります。

② **AV on/off キー**
オーディオ機能のON/OFFが行えます。

③ **MODE キー**
[MODE] キーを押すたびに、オーディオのソースを切り換えることができます。
切り換え順は、以下のとおりとなります。
接続されていない機器がある場合はスキップして次のソースに切り換わります。

音声認識起動中は、1つ前の音声操作を取り消しできます。また、長押しすることで音声認識の起動/終了をすることができます。

④ **⏮ キー、⏭ キー**
CDなどのトラックやラジオの放送局を選ぶことができます。また、DVDのチャプターを切り換えることができます。
押し続けると早送りや早戻しなどが行えます。
動作は、オーディオソースによって異なります。詳しくは*「オーディオソース別の動作について」（P18）*をご覧ください。

⑤ **＋ キー、－ キー**
オーディオ機能の音量を調節できます。

⑥ **現在地 キー** *（→P179）*
ナビゲーションの現在地画面を表示します。長押しすると、現在地を登録します。

⑦ **▲ キー、▼ キー**
オーディオのアルバムやフォルダーを選択できます。

⑧ **詳細 キー、広域 キー**
地図の縮尺を詳細/広域にします。

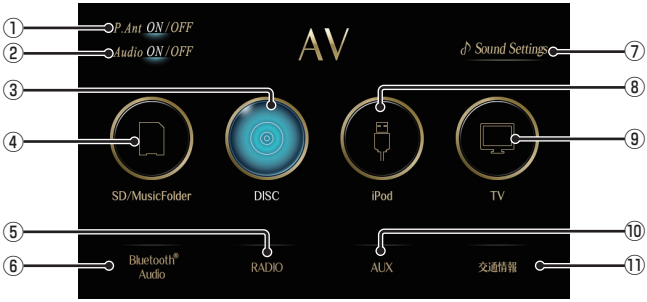
※1　iPod/iPhoneのUSBケーブル（Apple純正）が必要です。
※2　別途市販されているBluetooth対応オーディオ機器が必要です。
※3　[MODE] キーでFM/AMを切り換えることはできません。（最後に聴いていた状態に切り換わります。）

各メニュー画面について

各キーを押すことで、さまざまな機能を使うことができます。

AVメニュー

[AV] キーを押して表示するAVメニューについて説明します。



① P.Ant ON/OFF ※1
パワーアンテナ装着車でアンテナを格納したいとき（車庫入れ時など）にOFFにするとアンテナを格納します。
ONにすると“ACC ON”時にアンテナ電源端子から電源を供給します。

② Audio ON/OFF （→P62）
オーディオ機能のON/OFFが行えます。

③ DISC （→P82）
ディスクスロットに挿入された各メディアの再生を行います。

④ SD/MusicFolder （→P104）
SDカード内の音楽ファイルを再生できます。
また、SDカードに音楽CDの曲を録音し、再生できます。

⑤ RADIO （→P78）
ラジオ機能をご利用になれます。

⑥ Bluetooth® Audio （→P165）
Bluetooth対応オーディオ機器が本機に無線接続されていれば、Bluetooth Audio機能をご利用になれます。

⑦ Sound Settings （→P37）
オーディオの音質に関する設定が行えます。

⑧ iPod/USB （→P134）
iPodが本機に接続されていれば、iPod ※2 に変わり、タップするとiPod画面を表示します。
USBデバイスが本機に接続されていれば、USB に変わり、タップするとUSB画面を表示します。

⑨ TV （→P147）
地上デジタルTV放送をご覧になることができます。

⑩ AUX ※3 （→P170）
外部入力に接続された機器の映像表示、音声出力を行います。

⑪ 交通情報 （→P81）
交通情報機能をご利用になれます。

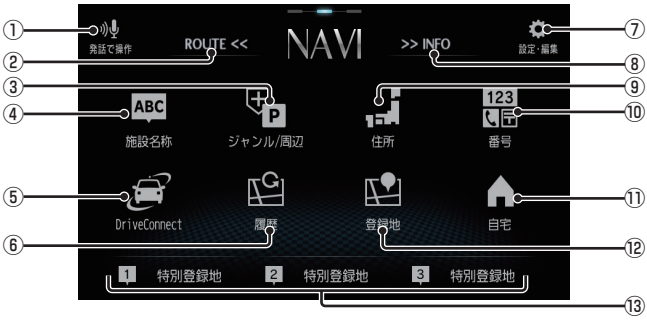
※1　表示するには、あらかじめ[パワーアンテナの設定]→[手動]にしておく必要があります。
→「パワーアンテナの設定」（P349）

※2　iPod/iPhoneのUSBケーブル（Apple純正）が必要です。

※3　外部入出力ケーブルおよび外部入力機器を本機に接続していない場合でも[AUX]は表示されますが、タップしても映像は表示されません。

NAVIメニュー

[MENU]キーを押して表示するNAVIメニューについて説明します。



① **発話で操作** *(→P186)*
音声認識を開始できます。

② **ROUTE** *(→P29)*
目的地を設定すると、ROUTEメニューを表示できます。
画面をフリック*(P24)*/スライド*(P25)*しても切り換えることができます。

③ **ジャンル/周辺**
コンビニやガソリンスタンドなどの施設を分類および都道府県ごとに場所を探すことができます。
→「施設ジャンルから探す」(P219)
また、現在地や目的地、ルート周辺の施設を探すことができます。
→「周辺の施設を探す」(P223)

④ **施設名称** *(→P217)*
施設の名称を入力し場所を探すことができます。

⑤ **DriveConnect** ※1、※2 *(→P228)*
特定のWEBサイトからお店などの情報を検索し、活用することができます。

⑥ **履歴** *(→P233)*
検索機能を使用して周辺の地図を表示させたことがある地点などは、検索履歴として残り、再度周辺の地図を表示できます。

⑦ **設定・編集** *(→P314)*
本機の各種設定や一部の編集操作が行えます。

⑧ **INFO** *(→P30)*
INFOメニューを表示します。
画面をフリック*(P24)*/スライド*(P25)*しても切り換えることができます。

⑨ **住所** *(→P225)*
住所から場所を探すことができます。

⑩ **番号**
電話番号*(P226)*、郵便番号*(P227)*やMAPCODE*(P228)*を入力して施設や場所を探すことができます。

⑪ **自宅**
自宅を登録できます。*(→P252)*また、登録した自宅を目的地に設定できます。*(→P213)*

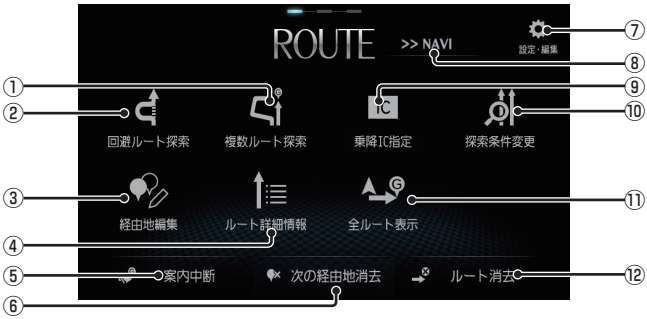
⑫ **登録地** *(→P234)*
登録地を呼び出すことができます。

⑬ **特別登録地** *(→P253)*
よく行く場所や施設など特別な場所を登録することで、NAVIメニューからすぐに目的地を設定できます。
「特別登録地」のボタン名称は、登録した場所の名称または住所に変更されます。

※1　ご利用になるには、ユーザー登録が必要です。
※2　Wi-Fi接続可能な通信機器が必要です。

ROUTEメニュー

[MENU]キーを押し、画面を右へスライドして表示するROUTEメニューについて説明します。



① 複数ルート探索 *(→P248)*
5つの探索条件のルートを一度に探索し、選ぶことができます。

② 回避ルート探索
VICS規制*(P249)*、スマートIC*(P250)*、長期通行規制*(P250)*を回避するルートや別ルート*(P249)*、迂回するルート*(P248)*を探索するときに使用します。

③ 経由地編集 *(→P243)*
経由地の設定や消去など経由地の編集ができます。

④ ルート詳細情報 *(→P239)*
現在地から目的地/経由地/乗り降りするICまでの区間距離や到着予想時刻、料金や使用する道路の情報を確認できます。

⑤ 案内中断 / 案内再開 *(→P251)*
ルート案内を中断または再開できます。

⑥ 次の経由地消去 *(→P245)*
次に通過する予定の経由地を消去できます。

⑦ 設定・編集 *(→P314)*
本機の各種設定や一部の編集操作が行えます。

⑧ NAVI *(→P28)*
NAVIメニューを表示します。
画面をフリック*(P24)*/スライド*(P25)*しても切り換えることができます。

⑨ 乗降IC指定 *(→P247)*
ルート上に入口または出口のインターチェンジがある場合、利用したいインターチェンジを選ぶことができます。

⑩ 探索条件変更 *(→P242)*
ルートの探索条件を変更できます。

⑪ 全ルート表示 *(→P238)*
現在地から目的地までのルートを確認できる縮尺の地図を表示します。

⑫ ルート消去 *(→P251)*
設定した目的地や経由地を削除し、ルートを消します。

INFOメニュー

[MENU]キーを押し、画面を左へスライドして表示するINFOメニューについて説明します。

① NAVI *(→P28)*
NAVIメニューを表示します。
画面をフリック*(P24)*/スライド*(P25)*しても切り換えることができます。

② カメラ ※1 *(→P298)*
リアカメラが接続されている場合、カメラの映像を表示します。

③ ETC ※2 *(→P280)*
ETC車載器またはETC2.0車載器が接続されている場合にETCを使用した履歴や料金を確認できます。

④ バージョン *(→P309)*
本機の各バージョンを確認できます。

⑤ エコ *(→P276)*
運転操作がどれくらい燃費に良いかの評価を確認できます。

⑥ 設定・編集 *(→P314)*
本機の各種設定や一部の編集操作が行えます。

⑦ メンテナンス *(→P305)*
お車の各パーツの交換時期を管理できます。

⑧ 電話 ※3 *(→P289)*
携帯電話がBluetoothで本機に接続されている場合にハンズフリー機能をご利用になれます。

⑨ ニュースリーダー ※4 *(→P284)*
ニュース情報を表示、読み上げることができます。

⑩ 地図データ更新 ※5 *(→P303)*
「開通道路情報」の地図データを更新できます。

⑪ 特別登録番号 ※3
よくかける電話番号を登録することで、INFOメニューから直接、電話をかけることができます。
「特別登録番号」のボタン名称は、登録した名称に変更されます。

※1 別売のリアカメラが必要です。さらに別売の接続ケーブルも必要です。
※2 別売のETC車載器またはETC2.0車載器が必要です。さらに別売の接続ケーブルも必要です。
※3 Bluetooth接続ができる携帯電話が必要です。
※4 Wi-Fi接続可能な通信機器が必要です。
※5 更新を行うには、OpenInfoサービスへのユーザー登録が必要です。

マイメニュー

よく使う機能を自由にまとめておけるメニューです。現在地画面 *(P179)* から呼び出すことができます。

■ マイメニューから機能を呼び出す

1 現在地画面から マイメニュー にタップする

2 呼び出したい "機能" にタップする

▼

タップした機能を呼び出します。

■ マイメニューをカスタマイズする

あらかじめ用意された一覧をカスタマイズします。マイメニューに登録できる機能については、*「登録できる機能について」(P32)* をご覧ください。

1 現在地画面から マイメニュー にタップする

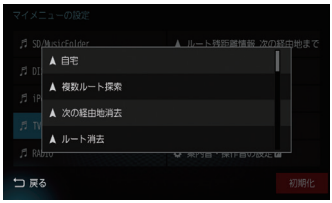
マイメニューが開きます。

2 設定 にタップする

3 設定したい場所の "リスト" にタップする

メニュー一覧が表示されます。

4 一覧から設定したい "メニュー" にタップする



▼

タップしたリストの位置に選択したメニューが設定されます。

■ マイメニューを初期化する

1 現在地画面から マイメニュー にタップする

2 設定 にタップする

3 初期化 → 初期化する にタップする

▼

マイメニューの内容を初期化します。

■ 登録できる機能について

マイメニューには以下の機能から10件まで登録できます。

機能	タップ時の動作	参照
自宅	登録されている自宅への案内を開始します。	(P213)
	自宅が登録されていない場合は、自宅の登録画面を表示します。	(P252)
複数ルート探索	5つの探索条件のルートを一度に探索し、選ぶことができます。	(P248)
次の経由地消去	次に通過する予定の経由地を消去できます。	(P245)
ルート消去	作成した目的地や経由地を消去し、ルートを消します。	(P251)
VICSの設定	VICSに関する設定の変更が行えます。	(P320)
ルート残距離情報（次の経由地/目的地）まで※	ルート設定時の現在地画面(P180)で表示する“目的地/経由地情報”での距離の基準を変更できます。	(P317)
登録地名称（表示する/表示しない）	地図に表示する登録地名称について、表示有無を設定できます。	(P316)
一般道方面看板（表示する/表示しない）	一般道での交差点の手前で方面看板を表示するかしないかを設定できます。	(P316)
スマホDEメモ地点名称（表示する/表示しない）	スマホDEメモ(P232)で登録した地点の名称、アイコンを地図上に表示するかしないかを設定できます。	(P321)
周辺検索アシスト（使用する/使用しない）	周辺検索アシストを使用するかしないかを設定できます。	(P345)
SD/MusicFolder※	音楽ファイルまたは動画ファイルが記録されたSDカードを本機で再生したり、SDカードに音楽CDの曲を録音し、再生したりすることができます。	(P104)
DISC※	音楽CD（CD-DA/CD-TEXT）またはディスク内の音楽ファイルを再生できます。	(P82)
iPod/USB※	iPodの曲やUSBデバイス内の音楽ファイルまたは動画ファイルを再生できます。	(P134)
TV※	TVをご覧になることができます。	(P147)
Bluetooth®Audio	市販されているBluetooth対応オーディオ機器の曲を再生できます。	(P165)
RADIO※	FM放送やAM放送のラジオを聴くことができます。	(P78)
AUX	外部入出力ケーブルおよびAUX機器を本機に接続することで、映像や音声を本機に入力し、再生できます。	(P170)
交通情報	交通情報を聴くことができます。	(P81)
Audio（ON/OFF）	オーディオ機能のON/OFFが行えます。	(P62)
Sound Settings	音質の設定を変更することができます。	(P37)
PremiDIA RealPositionの設定	最適な音を聴くシートを変更します。	(P49)
友達マップ（ON/OFF）※	友達マップの連携を自動的に行うか、「友達マップ全体表示」の[表示する]を選択したときのみ、連携を行うかを切り換えることができます。	(P331)
Bluetooth®の設定※	市販されているBluetooth機器を本機に接続できます。	(P336)
Wi-Fi®の設定※	市販されているWi-Fi機器（スマートフォンの場合はテザリング可能な機器）を本機に接続できます。	(P340)
HUD表示（ON/OFF）	HUD表示のON/OFFが行えます。	(P332)
案内音・操作音の設定※	案内音量や操作音量の設定が行えます。	(P344)

「※」は、工場出荷時に設定されているメニューです。

AV

オーディオ機能に関する操作方法を説明します。

Sound Settings 37

初期設定 37
簡単プリセット 37
詳細車種設定 38
　設定できる項目について 40
システム構成図 41
フロントフルレンジ 42
フロントフルレンジ＋サブウーファー 42
フロントフルレンジ＋リア 43
フロントフルレンジ＋リア＋サブウーファー 44
フロント2Way 45
フロント2Way ＋サブウーファー 45
フロント2Way ＋リア 46
フロント2Way ＋リア＋サブウーファー 47
音質の設定を変更する 48
　設定できる項目について 48
サラウンド設定 53
サウンドチューニング 53
　タイムアライメント設定 55
　クロスオーバー設定 56
　タイムアライメント設定のサブメニュー 59
　クロスオーバー設定のサブメニュー 59
　テスト信号について 59
イコライザー設定 60
　ジャンルを選ぶ 60
　イコライザーを調整する 60
PremiDIA Bass 61
PremiDIA VBL 61

オーディオ機能について 62

基本操作 62
AV メニューを表示する 62
オーディオを ON/OFF する 62
　オーディオ機能が ON のとき 62
　オーディオ機能が OFF のとき 62
音量を調節する 63
AV 再生情報について 63
音声案内時のオーディオ音量について 64
再生できるディスクの種類について 65
　再生できないディスク 66
　CD 規格外ディスクについて 66
　DualDisc について 66
　DVD ビデオに関して 67
　DVD ビデオに
　表示されているマークの意味 67
音楽ファイルについて 68
再生できる音楽ファイル形式 68
フォルダーの構成について 69
MP3 とは 70
　再生できる
　MP3 ファイルの規格について 70
WMA とは 71
　再生できる
　WMA ファイルの規格について 71
AAC とは 72
　再生できる
　AAC ファイルの規格について 72
WAV とは 73
　再生できる WAV ファイルの規格について 73
FLAC とは 74
　再生できる FLAC ファイルの規格について 74
動画ファイルについて 75
再生できる動画ファイル形式 75
フォルダーの構成について 76
再生可能な動画ファイルの仕様 77

ラジオ / 交通情報 78

ラジオを聴く 78
好みの放送局を登録する 78
表示内容について 79
　再生情報画面について 79
受信状態の良い放送局を探す 80
　シークを開始する 80
　StationList から探す 80
交通情報を聴く 81
表示内容について 81

DISC 82

音楽CDを聴く.....82
リストを表示する.....82
表示内容について.....83
再生情報画面について.....83
リストについて.....84
再生モードを変更する.....85
再生モードについて.....85
タイトル情報を取得する.....85
取得できる情報について.....86
Gracenoteデータベースを
SDカードで更新する.....86
手動で取得する.....87
ディスクの音楽ファイルを聴く.....88
リストを表示する.....88
表示内容について.....89
再生情報画面について.....89
リストについて.....90
再生モードを変更する.....91
再生モードについて.....91
DVDビデオを見る.....92
DVDビデオの操作画面を表示する.....93
表示内容について.....94
再生中の操作画面.....94
停止中の操作画面.....96
走行中の操作制限について.....97
タイトル番号やチャプター番号を選ぶ.....97
停止画面からの操作.....98
音声/字幕を切り換える.....98
画面表示を切り換える.....99
表示モードについて.....99
アングルを切り換える.....100
メニューを操作する.....100
タイトルメニューの場合.....100
メインメニューの場合.....101
数字入力でメニューを選ぶ.....101
静止画を送る.....102
音声多重を切り換える.....102
タイトルリストを表示する.....103

SD/MusicFolder 104

SDカードについて.....104
SDカードの曲を聴く.....105
リストを表示する.....105
表示内容について.....106
再生情報画面について.....106
リストについて.....107
再生モードを変更する.....108
再生モードについて.....108
カテゴリーから探す.....109
再生情報の画面を表示する.....109
SDカードの動画を見る.....110
リストを表示する.....110
表示内容について.....111
ソースプレートについて.....112
再生モードを変更する.....113
再生モードについて.....113
画面表示を切り換える.....114
表示モードについて.....114
MusicFolderに録音する.....115
MusicFolderへの録音について.....115
録音を開始/停止する.....116
MusicFolderを聴く.....117
SD-Audioについて.....117
表示内容について.....118
再生情報画面について.....118
プレイリスト選択画面.....119
トラックリストについて.....120
プレイリスト選択画面を表示する.....121
プレイリストを編集する.....121
プレイリストの
タイトルを変更する.....121
プレイリストを消去する.....122
プレイリストの
再生順序を変更する.....123
トラックリストを表示する.....123
全曲再生の
トラックリストを表示する.....123
プレイリスト内の
トラックリストを表示する.....124

トラックを編集する.....124
トラックの情報を編集する.....124
トラックを消去する.....125
トラックの再生順序を変更する.....126
再生モードを変更する.....126
再生モードについて.....127
カテゴリーから探す.....128
再生情報の画面を表示する.....128
タイトル情報を取得する.....129
本機から取得する.....129
通信で取得する.....129
タイトル候補の選択画面について.....130
NoTitleリストを管理する.....130
本機からタイトル情報を取得する.....130
通信でタイトル情報を取得する.....131
パソコンから
タイトル情報を取得する.....132
NoTitleリストから消去する.....133
MusicFolder内の曲をすべて消す.....133

iPod/USBメモリ 134

接続する.....134
iPodについて.....135
USBデバイスについて.....135
iPodを再生する.....136
表示内容について.....137
再生情報画面について.....137
再生モードを変更する.....138
再生モードについて.....138
リストで探す.....139
再生情報の画面を表示する.....139
USBデバイスの曲を聴く.....140
リストを表示する.....140
表示内容について.....141
再生情報画面について.....141
リストについて.....142
再生モードを変更する.....143
再生モードについて.....143
カテゴリーから探す.....144
再生情報の画面を表示する.....144
USBデバイスの動画を見る.....145
リストを表示する.....145
表示内容について.....146

TV 147

テレビ機能について.....147
受信について.....147
テレビを見る.....148
はじめてテレビを見るとき.....148
放送局を選ぶ.....149
表示内容について.....150
操作パネルについて.....150
ロングバナーについて.....151
走行中の操作制限について.....152
CHモードを切り換える.....152
番組の内容を見る.....153
記号について.....153
放送局を探す.....154
番組表で探す.....154
現在放送中の番組から探す.....154
番組表を取得するには.....154
番組表の内容を確認する.....155
チャンネルリストから探す.....155
系列局を探す.....156
受信状態の良い放送局を探す.....156
好みの放送局を登録する.....157
ホームCHスキャンを行う.....157
初期ホームCHスキャン.....157
再ホームCHスキャン.....157
ドライブCHスキャンを行う.....158
初期ドライブCHスキャン.....158
再ドライブCHスキャン.....159
情報を確認する.....160
メールを確認する.....160
デバイスIDを確認する.....160
ソフトウェアバージョンを確認する.....161
その他の操作.....162
リモコン番号を変更する.....162
フルセグとワンセグを切り換える.....162
自動ワンセグ切り換えについて.....163
映像や音声を切り換える.....164

外部入力機器 165
Bluetooth Audioを使う 165
対応プロファイルと
対応機能について..... 165
Bluetooth対応
オーディオ機器を接続する 166
Bluetooth対応
オーディオ機器の曲を聴く 166
表示内容について..... 167
再生情報画面について..... 167
再生モードを変更する..... 168
再生モードについて..... 168
リストで探す 169
AUXを使う 170
表示するには 170
画面表示を切り換える..... 170
表示モードについて..... 170

初期設定

音質調整を行う前の準備を行います。
接続しているスピーカーのシステムやリスニングポジション、車の形状を設定します。
設定方法は「簡単プリセット」、「詳細車種設定」の２つがあります。

注 意

- 初期設定が完了するまで音を出さないでください。スピーカー破損の原因となります。
- 初期設定を行うと、それまでに設定していたサウンドチューニングおよび初期設定の設定値が更新されます。

簡単プリセット

お知らせ

- 本機能は純正２スピーカー～６スピーカー、内蔵アンプ使用を想定しております。システムアップ・音質調整を行う場合は本機能を使用せず、*「詳細車種設定」(P38)* を行ってください。
- サブウーファープリアウトには対応しておりません。
- 外部アンプには対応しておりません。
- 本設定値は音質調整予測値です。必ずしもベストな音質調整データではありません。詳細な設定が必要な場合は、当社「CLUB DIATONE」に掲載している「おススメ音質調整店」にて音質調整を行ってください。音質調整費用（チューニング費用）は店舗・車種・システム内容等により異なりますので直接店舗へご相談ください。
- プレミアム認証を行うと本機能は使用できなくなります。

1 AV メニューを表示する *(→P62)*

2 Sound Settings にタップする

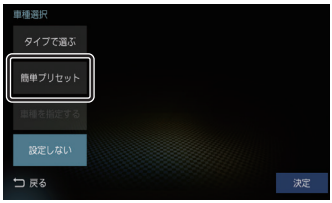
音質調整ができる Sound Settings 画面を表示します。

3 “初期設定” の 未設定 にタップする

初期設定画面を表示します。

4 “車種選択” の ー ー ー ー ー にタップする

5 簡単プリセット にタップする



6 該当する “車幅” にタップする

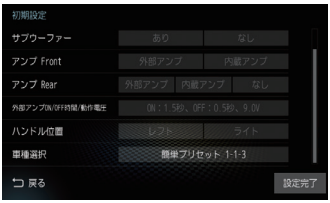
7 スピーカーのシステムにあった設定を行う

「システム構成図」(P41) を確認し、実際に取り付けているスピーカーシステムどおりの設定を行ってください。

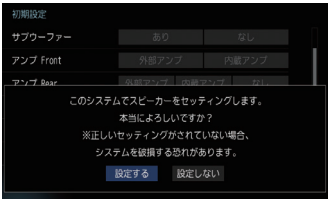
次のページにつづく

8 決定 にタップする

9 設定完了 にタップする



10 設定する にタップする



▼

初期設定が完了します。
以降はスピーカーのシステム構成が変わらなければ変更する必要はありません。

詳細車種設定

1 AV メニューを表示する
(→P62)

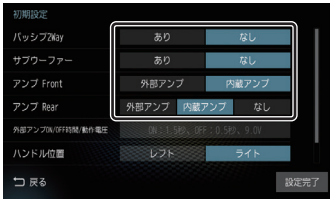
2 Sound Settings にタップする

音質調整ができる Sound Settings 画面を表示します。

3 “初期設定” の 未設定 にタップする

初期設定画面を表示します。

4 スピーカーのシステムにあった設定を行う



「システム構成図」(P41) を確認し、実際に取り付けているスピーカーシステムどおりの設定を行ってください。
設定内容については *「設定できる項目について」(P40)* をご覧ください。

5 “ハンドル位置” を設定する

ハンドル位置を選択してください。タイムアライメント設定の基準となるリスニングポジションになります。

6 “車種選択” の ー ー ー ー ー にタップする

7 タイプで選ぶ にタップする

8 車の形状を選択する

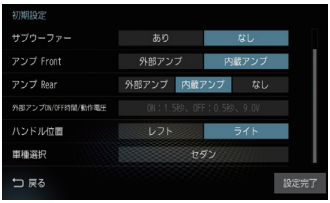
本機を接続している車に最も近い形状にタップします。

お知らせ

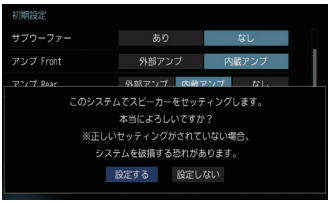
- [簡単プリセット]を選択しないでください。[簡単プリセット]で設定を行うと、それまでに設定していたサウンドチューニングおよび初期設定の設定値が更新されます。

9 決定 にタップする

10 設定完了 にタップする



11 設定する にタップする



▼

初期設定が完了します。
以降はスピーカーのシステム構成が変わらなければ変更する必要はありません。

■ 設定できる項目について

設定名	設定値	設定内容
パッシブ2Way	あり	パッシブ2Wayタイムアライメント機能の有無を設定します。ツィーターを設置している場合は、[あり]を選択してください。
	なし	
サブウーファー	あり	サブウーファーの有無を設定します。サブウーファーを設置している場合は、[あり]を選択してください。
	なし	
アンプ Front※1	外部アンプ	フロントスピーカーまたはウーファーのアンプ構成を設定します。本機と、フロントスピーカーまたはウーファーの間に別売の外部アンプが設置されている場合は、[外部アンプ]を選択してください。
	内蔵アンプ	
アンプ Rear※1	外部アンプ	リアスピーカーまたはツィーターのアンプ構成を設定します。本機と、リアスピーカーまたはツィーターの間に別売の外部アンプが設置されている場合は、[外部アンプ]を選択してください。
	内蔵アンプ	
	なし	リアスピーカーまたはツィーターがない場合は、[なし]を選択してください。
外部アンプON/OFF時間/動作電圧※2	ON：1.0～**1.5**～3.0秒	ACCをONにしたときやOFFにしたとき、外部アンプの電源がON/OFFになるまでの時間を0.1秒ごとに設定できます。本機と外部アンプを接続するとACCをON/OFFしたときに異音がでることがあります。異音がでる場合は、時間を調整してください。
	OFF：0.3～**0.5**～2.0秒	
	電圧値：6.0～**9.0**～14.0V	外部アンプの動作保証最低電圧値に設定してください。0.5Vごとに設定できます。
ハンドル位置	レフト	ハンドルの位置を選択してください。タイムアライメント設定の基準となるリスニングポジションになります。（フロントシートの右または左）
	ライト	
車種選択	タイプで選ぶ	車のタイプやスピーカーのシステムを設定するだけで、簡単に初期設定ができます。*(→P38)*（軽・コンパクト、ミニバン、セダン、SUV、ワゴン、1BOX）
	簡単プリセット	車幅やスピーカーのシステムを設定するだけで、簡単に初期設定ができます。*(→P37)*「詳細車種設定」では使用しません。
	車種を指定する	本機ではご使用になれません。
	設定しない	車種形状の情報を使用しません。Sound Settings画面では[－－－－－]と表示します。

※「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

※1　外部アンプやプロセッサーを使用した場合、それらの機器のゲイン、遅延時間やフィルタ特性によっては、電話音声にエコーがついたり、聞き取りにくくなったりする場合があります。

※2　*「詳細車種設定」(P38)*で「サブウーファー」を[なし]に設定、「アンプ Front」を[内蔵アンプ]に設定、「アンプ Rear」を[内蔵アンプ]または[なし]に設定や*「簡単プリセット」(P37)*で設定した場合は選択できません。

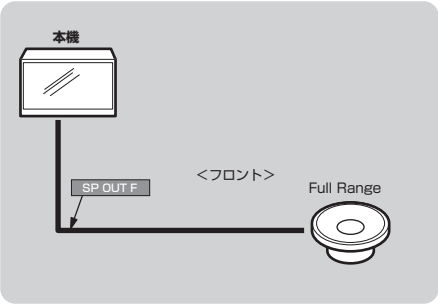
システム構成図

装着しているスピーカーのシステムを以下の表から探し、対象の構成図を確認してください。
「初期設定」(P37) で必要な設定値を確認できます。

システム	フロントスピーカー構成		サブウーファー	外部アンプ有無		構成図	クロスオーバー
	フルレンジ	2Way	有無	フロント	リア	(ページ)	設定(ページ)
フロントのみ	●	–	–	–	–	A-1 *(P42)*	*(P56)*
				●	–	A-2 *(P42)*	*(P56)*
			●	–	–	B-1 *(P42)*	*(P56)*
				●	–	B-2 *(P42)*	*(P56)*
	–	●	–	–	–	E-1 *(P45)*	*(P57)*
				●	–	E-2 *(P45)*	*(P57)*
			●	–	–	F-1 *(P45)*	*(P57)*
				●	–	F-2 *(P45)*	*(P57)*
フロント+リア	●	–	–	–	–	C-1 *(P43)*	*(P56)*
				●	–	C-2 *(P43)*	*(P56)*
					●	C-3 *(P43)*	*(P56)*
			●	–	–	D-1 *(P44)*	*(P56)*
				●	–	D-2 *(P44)*	*(P56)*
					●	D-3 *(P44)*	*(P56)*
	–	●	–	–	–	G-1 *(P46)*	*(P57)*
				●	–	G-2 *(P46)*	*(P57)*
					●	G-3 *(P46)*	*(P57)*
			●	–	–	H-1 *(P47)*	*(P57)*
				●	–	H-2 *(P47)*	*(P57)*
					●	H-3 *(P47)*	*(P57)*

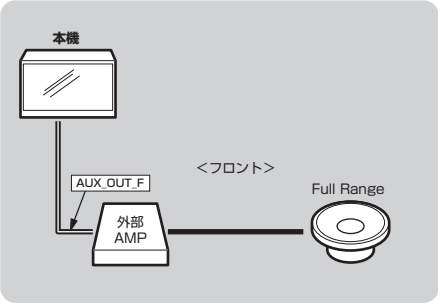
フロントフルレンジ

構成 A-1



パッシブ 2Way	なし
サブウーファー	なし
アンプ Front	内蔵アンプ
アンプ Rear	なし

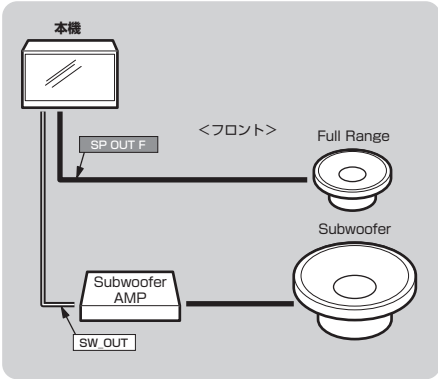
構成 A-2



パッシブ 2Way	なし
サブウーファー	なし
アンプ Front	外部アンプ
アンプ Rear	なし

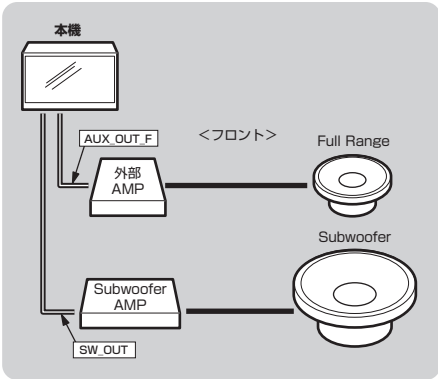
フロントフルレンジ+サブウーファー

構成 B-1



パッシブ 2Way	なし
サブウーファー	あり
アンプ Front	内蔵アンプ
アンプ Rear	なし

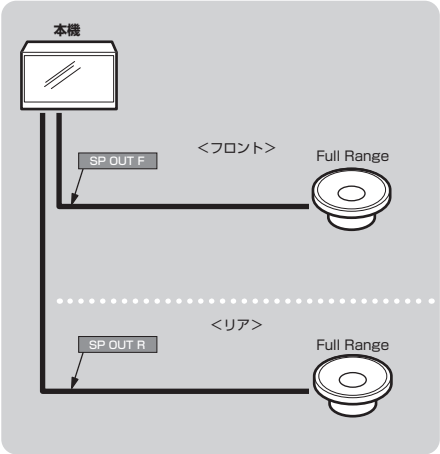
構成 B-2



パッシブ 2Way	なし
サブウーファー	あり
アンプ Front	外部アンプ
アンプ Rear	なし

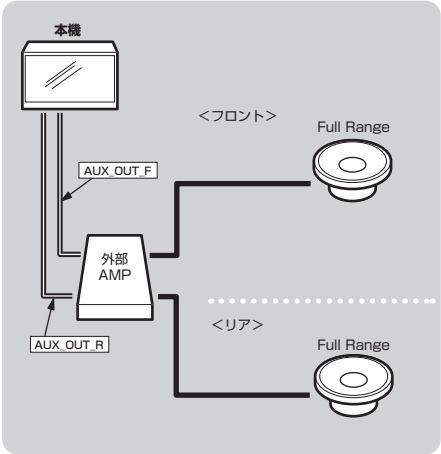
フロントフルレンジ+リア

構成 C-1



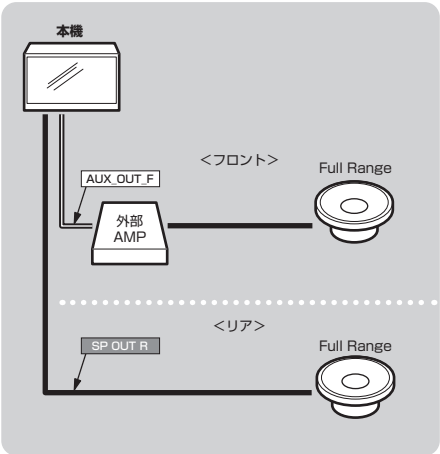
パッシブ 2Way	なし
サブウーファー	なし
アンプ Front	内蔵アンプ
アンプ Rear	内蔵アンプ

構成 C-3



パッシブ 2Way	なし
サブウーファー	なし
アンプ Front	外部アンプ
アンプ Rear	外部アンプ

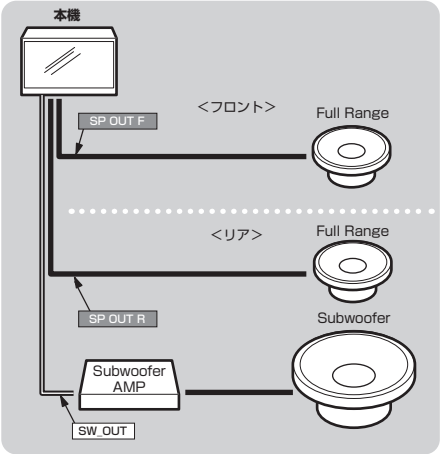
構成 C-2



パッシブ 2Way	なし
サブウーファー	なし
アンプ Front	外部アンプ
アンプ Rear	内蔵アンプ

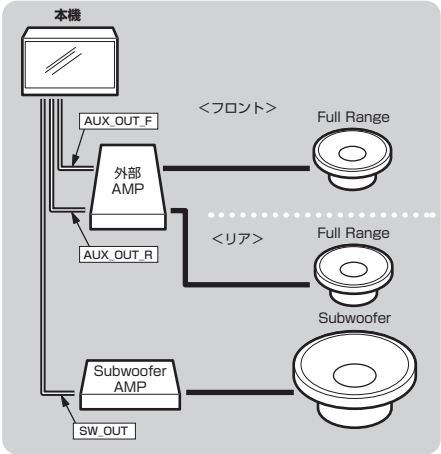
フロントフルレンジ＋リア＋サブウーファー

構成D-1



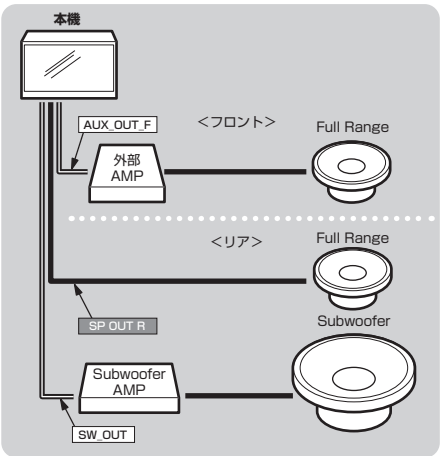
パッシブ2Way	なし
サブウーファー	あり
アンプ Front	内蔵アンプ
アンプ Rear	内蔵アンプ

構成D-3



パッシブ2Way	なし
サブウーファー	あり
アンプ Front	外部アンプ
アンプ Rear	外部アンプ

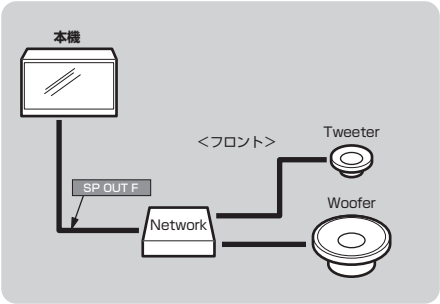
構成D-2



パッシブ2Way	なし
サブウーファー	あり
アンプ Front	外部アンプ
アンプ Rear	内蔵アンプ

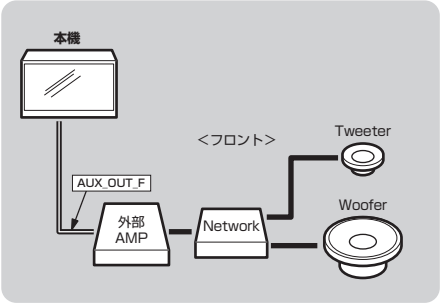
フロント2Way

構成E-1



パッシブ2Way	あり
サブウーファー	なし
アンプ Front	内蔵アンプ
アンプ Rear	なし

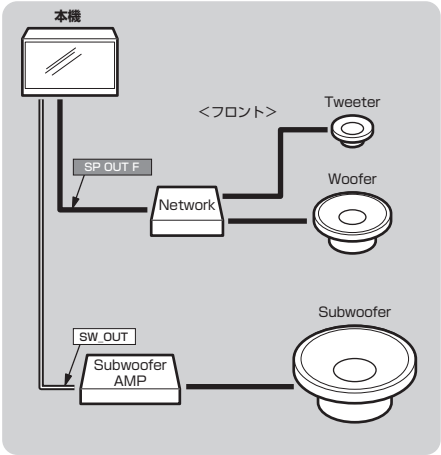
構成E-2



パッシブ2Way	あり
サブウーファー	なし
アンプ Front	外部アンプ
アンプ Rear	なし

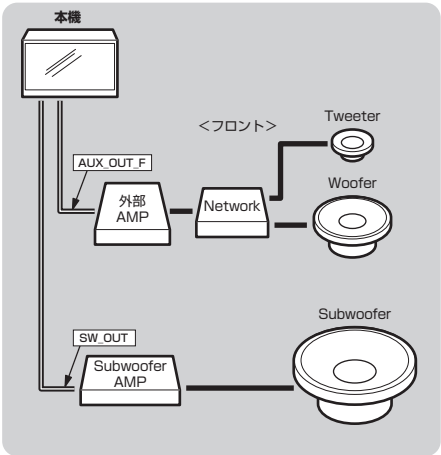
フロント2Way＋サブウーファー

構成F-1



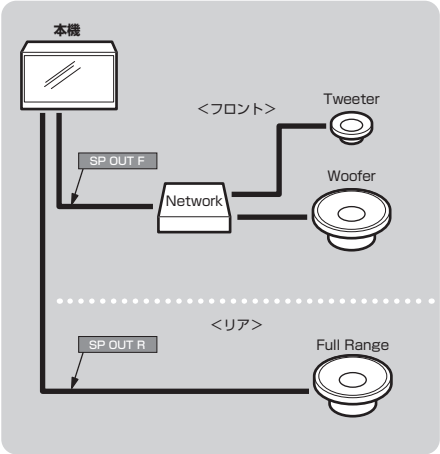
パッシブ2Way	あり
サブウーファー	あり
アンプ Front	内蔵アンプ
アンプ Rear	なし

構成F-2



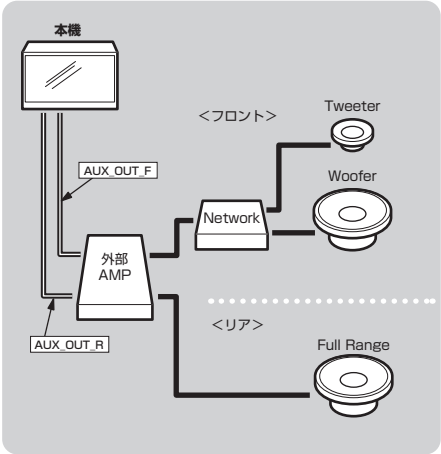
パッシブ2Way	あり
サブウーファー	あり
アンプ Front	外部アンプ
アンプ Rear	なし

構成G-1



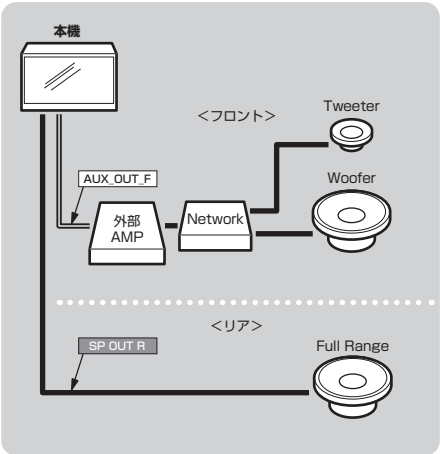
パッシブ2Way	あり
サブウーファー	なし
アンプ Front	内蔵アンプ
アンプ Rear	内蔵アンプ

構成G-3



パッシブ2Way	あり
サブウーファー	なし
アンプ Front	外部アンプ
アンプ Rear	外部アンプ

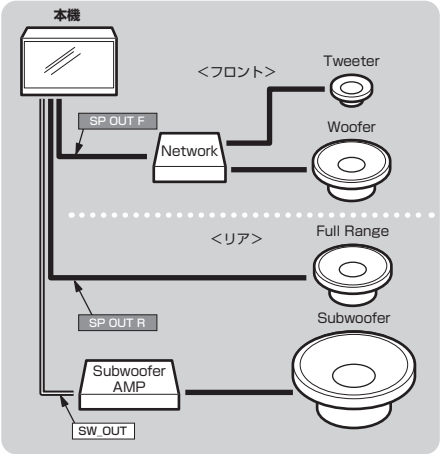
構成G-2



パッシブ2Way	あり
サブウーファー	なし
アンプ Front	外部アンプ
アンプ Rear	内蔵アンプ

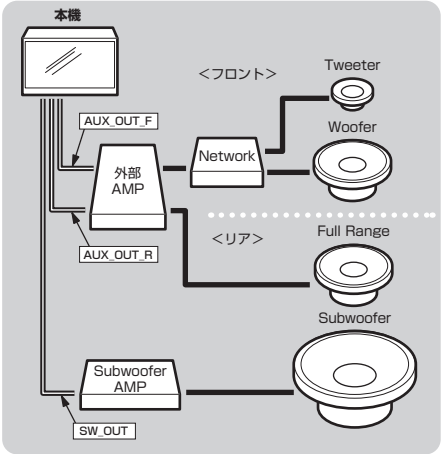
フロント2Way＋リア＋サブウーファー

構成H-1



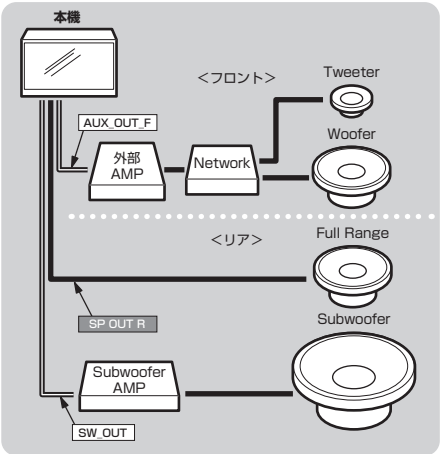
パッシブ2Way	あり
サブウーファー	あり
アンプ Front	内蔵アンプ
アンプ Rear	内蔵アンプ

構成H-3



パッシブ2Way	あり
サブウーファー	あり
アンプ Front	外部アンプ
アンプ Rear	外部アンプ

構成H-2



パッシブ2Way	あり
サブウーファー	あり
アンプ Front	外部アンプ
アンプ Rear	内蔵アンプ

音質の設定を変更する

AV メニュー *(P62)* → [Sound Settings] にタップすると表示する Sound Settings 画面で以下の設定が変更できます。

お知らせ

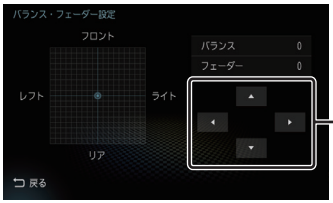
- Audio ON で「音質効果 ON/OFF 設定」が [ON] の状態で設定してください。
- オーディオ再生時、Sound Settings 画面に切り換わるときと元の画面に戻るときに音質設定の変更を準備するため、一時的に音声が消音（ミュート）状態になりますが故障ではありません。
- Sound Settings 中とそれ以外の再生状態では演算方式が異なるため、Sound Settings を抜けると音質が変化（向上）します。
  詳細はアジャスタブル FIR グラフィックイコライザー *(P373)* をご覧ください。
  Sound Settings 中の FIR 方式の音質確認は IIR/FIR 切替を使用してください。
  (→P55,56,57,58)

■ 設定できる項目について

設定名	設定値	設定内容
イコライザー	ポップス	「ポップス」や「ジャズ」など各ジャンルの曲調に合わせた周波数の設定を選ぶことができます。 また、10 バンドの周波数に対しての調整が行えます。*(→P60)*
	ロック	
	ジャズ	
	R & B	
	フラット	
	カスタム 1	イコライザー調整画面で登録したイコライザー設定を呼び出します。
	カスタム 2	
	調整	イコライザー調整画面に切り換わります。調整後、[カスタム 1] または [カスタム 2] に登録できます。
トーンコントロール	バス： -6 ～ **0** ～ +6dB	低音域（100Hz 以下）や高音域（10kHz 以上）の音量を 1dB ごとに強調 / 減衰させることができます。
	トレブル： -6 ～ **0** ～ +6dB	

※「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

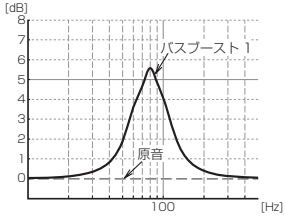
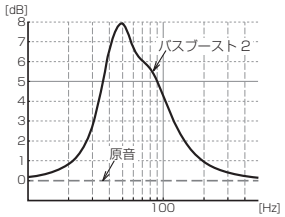
設定できる項目のつづき

設定名	設定値	設定内容
バランス・フェーダー	バランス： 1 ～ 9（レフト） **0** 1 ～ 9（ライト）	各スピーカーから出力する左右・前後のレベルをカーソルボタンまたは直接タップして調節できます。 
	フェーダー： 1 ～ 9（フロント） **0** 1 ～ 9（リア）	
ラウドネス	**OFF**	小音量時に不足しがちな低音・高音を増幅できます。
	1	
	2	
PremiDIA RealPosition	オール	最適な音を聴くシートを変更します。 初期状態は*「初期設定」（P37）*の「ハンドル位置」と同じ状態になります。（**[ライト]**または**[レフト]**）
	フロント	
	フロントL	
	フロントR	
	定位バランス -5 ～ **0** ～ 5	フロント、リアの中音域の周波数特性を調整できます。 マイナス方向に補正すると音像が車両外側（窓側）に移動し、プラス方向に補正すると音像が車両中央側に移動します。 [オール]または[フロント]設定時に調整が可能となります。
サラウンド設定	**Standard Surround**	DIATONE独自のサラウンド処理を行わず再生します。 DVDの5.1ch音源をフロント、リアの4chにダウンミックス再生し、リアスピーカーが無いシステムの場合は、2chにダウンミックスして再生します。また、CD、TV、ラジオ、SD、USBなどは2chで再生します。
	PremiDIA Surround	選択すると「Pure Extend Wide Surround」、「DIATONE SURROUND」の設定ができます。PremiDIA Surround設定は、DIATONE独自のサラウンド処理を付加して、サラウンド効果を高めます。2ch音声ソースの場合に「Pure Extend Wide Surround」が、5.1ch音声ソースの場合に「DIATONE SURROUND」が設定できます。
	Pure Extend Wide Surround for 2ch レベル 1 ～ 10	[PremiDIA Surround]を選択すると設定できます。 フロントスピーカー（2ch）だけでCDなどのステレオ音源に高音質で自然な立体感のある音の広がりを与えます。*（→P53）* 2ch音声再生時に調整が可能となります。
	DIATONE SURROUND for マルチch レベル 1 ～ 10	[PremiDIA Surround]を選択すると設定できます。 フロント（2ch）およびフロント/リア（4ch）のスピーカーだけで5.1chのサラウンド音響を再現できます。*（→P53）* DVDの5.1ch音声再生時に調整が可能となります。
	リアミュートON/OFF	リアスピーカーの音がミュートになります。再度、タップするとミュートが解除されます。

※「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

次のページにつづく

設定できる項目のつづき

設定名	設定値	設定内容
DVD音声モード切替	**オート**	DVD再生時、音源のフォーマットに応じて2ch信号処理とマルチch信号処理が自動で切り替わります。 その際に発生する音声の頭切れを防止するため2chまたはマルチchの固定モードが設定できます。
	マルチch	
	2ch	
DRC 設定	**ON**	DVD再生時のDRC（ダイナミックレンジ圧縮）を設定できます。 ディスクを取り出した状態にして設定してください。
	OFF	
DIATONE Volume	**OFF**	オーディオソース間や楽曲内の音量の差を自動的に軽減できます。数字が大きいほど軽減する補正値が大きくなります。
	1	
	2	
車速連動VOL調整	**OFF**	車の速度に応じて音量が自動的に調節されます。 数字が大きくなるほど調節幅が大きくなります。
	1	
	2	
	3	
PremiDIA HD	OFF	音楽データの圧縮時に欠落した音声の高域情報を予測補完しオリジナル音声が持つ立体感、奥行き感を再現するための補正量を調節できます。
	1	
	2	
PremiDIA HD 補正対象	全体	すべてのオーディオソースを対象にPremiDIA HDの補正を行います。（DVDの5.1ch音声は除く）
	オート	**補正対象：** MusicFolder、音楽ファイル、iPod、TV、AUX、 Bluetooth Audioを対象にPremiDIA HDの補正を行います。
		補正対象外： 音楽CD、ラジオ（FM/AM）、交通情報、DVD-Video、 DVD-VRは本設定の対象外となります。
バスブースト	**OFF**	バスブーストを使用しません。
	1	低音域を図のように強調補正します。 
	2	低音域を図のように強調補正します。 

※「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

設定できる項目のつづき

設定名	設定値	設定内容
PremiDIA Bass	**OFF**	時間軸方向の低音の残響時間を調整できます。*(→P61)* [ON] にすると低音の量感、厚みを増強できます。 フロント/リアでの個別の設定ができます。
	ON：0 ～ 10	
PremiDIA VBL	**OFF**	自動で低音をカットする補正値を設定できます。*(→P61)* [ON] にすると大音量時の低音をカットし、大音量時特有の音の歪みを軽減させることができます。
	ON：1 ～ 20	
Pure Audio Mode	ON	[ON] に設定するとTVを視聴していないときにTVチューナの電源がOFFになります。TVチューナの電源をOFFにすることでより高音質な音楽再生ができます。 ただし、TVに切り換えた際のTV番組情報の表示が遅くなります（約5秒）。
	OFF	
音質効果 ON/OFF 設定	**ON**	音質調整を行う前と後を比較したいときに使用します。[OFF] にすると初期設定を除く音質調整内容を一時的に無効にします。（調整した内容が消えることはありません。） このとき、一部の音質設定項目は選択できないようになります。「バランス・フェーダー」、「DVD音声モード切替」、「DRC設定」、「Pure Audio Mode」は選択できます。
	OFF	
サウンドチューニング※1 ※2	TA/X'oを調整する	「タイムアライメント設定」や「クロスオーバー設定」が設定できます。*(→P53)*
サウンドチューニング設定選択	1	サウンドチューニングで登録した「User1」、「User2」に切り換えられます。
	2	
プレミアム認証	**未認証**	同梱のTuning Bridgeカードを使用してプレミアム認証を行います。 プレミアム認証を行うことで、Sound Settingsを“プレミアムモード”でご使用になれます。 通常の“スタンダードモード”でご使用の場合、本操作は必要ありません。
	認証済み	プレミアム認証が完了していることを示します。
	再認証	プレミアム認証完了後、Tuning Bridgeカードが抜かれた状態で、ACCをOFF→ONにするとこの表示になります。
初期設定※1	**未設定**	オーディオの音質調整に必要な初期設定を行うことができます。*(→P37)* オーディオ機能がOFFの状態 *(P62)* で行ってください。[未設定] になっている場合は必ず行ってください。
	設定済み	
音質設定の初期化	音質設定を初期化する	Sound Settingsの設定内容をすべて工場出荷時の状態に戻します。オーディオ機能がOFFの状態 *(P62)* で行ってください。

※「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

※1 “プレミアムモード”の場合、「プレミアム認証」が[再認証]のときは選択できません。

※2 「PremiDIA RealPosition」と*「詳細車種設定」(P38)*の「ハンドル位置」が同じシートでなければ選択できません。

音質効果OFF設定について

「音質効果 ON/OFF 設定」を[OFF]にすると、設定が以下のとおりに変わります。
[ON]にすると、元の設定に戻ります。

設定名	設定値	設定名	設定値
イコライザー	フラット	PremiDIA HD	OFF
トーンコントロール	バス：0dB	PremiDIA HD補正対象	-
	トレブル：0dB	バスブースト	OFF
ラウドネス	OFF	PremiDIA Bass	OFF
PremiDIA RealPosition	オール	PremiDIA VBL	OFF
サラウンド設定	OFF	サウンドチューニング（タイムアライメント設定）	全スピーカー：0.00cm
DIATONE Volume	OFF	サウンドチューニング（クロスオーバー設定）	初期値
車速連動VOL調整	OFF	サウンドチューニング設定選択	-

サラウンド設定

「Pure Extend Wide Surround」や「DIATONE SURROUND」の設定ができます。2ch音声ソースの場合は「Pure Extend Wide Surround」に、5.1ch音声ソースの場合は「DIATONE SURROUND」に自動で切り換わります。

Pure Extend Wide Surround

フロントスピーカー（2ch）だけでCDなどのステレオ音源に高音質で自然な立体感のある音の広がりを与えます。レベルを10方向へ補正すると音の広がりが大きくなります。2ch音声再生時に調整が可能となります。

DIATONE SURROUND

フロント（2ch）およびフロント/リア（4ch）のスピーカーだけで5.1chのサラウンド音響を再現できます。レベルを10方向へ補正すると5.1chのサラウンド効果が大きくなります。DVDの5.1ch音声再生時に調整が可能となります。

1 Sound Settingsの画面で「サラウンド設定」の項目にタップする

サラウンド設定画面を表示します。

2 PremiDIA Surround にタップする

3 左右のカーソルボタンでレベルを調整する

4 戻る にタップする

▼

サラウンド設定が完了します。

アドバイス

- [リアミュートOFF]にタップすると、リアスピーカーの音がミュートになります。再度、タップするとミュートが解除されます。

サウンドチューニング

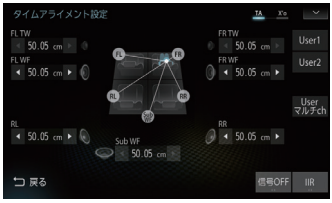
「タイムアライメント設定」や「クロスオーバー設定」が設定できます。

お知らせ

- *「初期設定」(P37)*の「ハンドル位置」と「PremiDIA RealPosition」が同じシートでなければ本機能は使用できません。「音質効果ON/OFF設定」が[OFF]のときも使用できません。

1 Sound Settingsの画面で「サウンドチューニング」の TA/X'oを調整する にタップする

▼



タイムアライメント設定画面*(→P55)*

2 画面を左にスライドする

▼

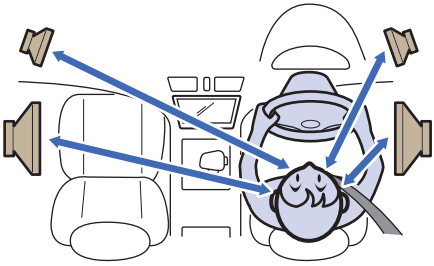
クロスオーバー設定画面*(→P56)*

3 画面を右にスライドする

▼

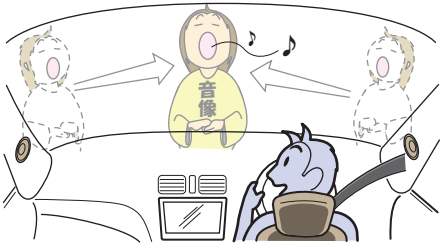
タイムアライメント設定画面に戻ります。

タイムアライメントについて



車の中では、各スピーカーからリスニングポジションまでの距離がそれぞれ違うため、楽曲が本来持つ音像や音場が再現できていません。

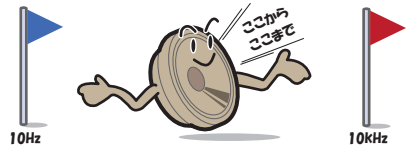
各スピーカーからリスニングポジションまでの距離を本機に入力することで、リスニングポジションまでの音の到達時間を補正できます。



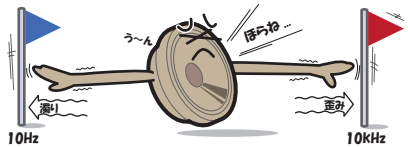
その結果、音が同時にリスニングポジションへ到達するようになり、音像や音場がより再現できるようになります。
→「タイムアライメント設定」(P55)

マルチウェイ・タイムアライメント
タイムアライメントを行うには、スピーカーユニットごとにパワーアンプを装備したマルチチャンネルシステムにする必要がありました。当社が開発した独自の引き算型FIRデジタルネットワークアルゴリズムを搭載することにより、パッシブネットワークを使用したマルチウェイスピーカーシステムでも特性を乱さずに各スピーカーを独立かつ任意に時間補正することを実現しました。
2chのパワーアンプ1台でシステム構築ができることにより、高域から低域までのすべての音域を同一のパワーアンプがカバーするので、音色に統一感がでます。

クロスオーバーについて

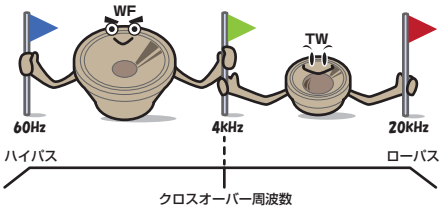


ツィーターやウーファーなどスピーカーにはそれぞれ再生可能な周波数帯域というものがあります。



しかし、再生可能な帯域であっても周波数が高すぎたり低すぎたりすると音の歪みや濁りが発生します。

クロスオーバー設定では、各スピーカーの特性(得意とする部分)を活かした再生周波数帯域に調整できます。



その結果、各スピーカーが余裕を持って動作するようになり、音の歪みや濁りを無くし、より音質を高めることができます。
→「クロスオーバー設定」(P56)

注 意

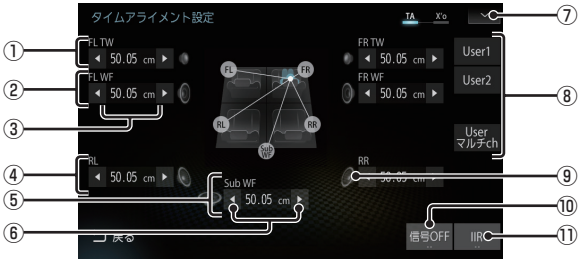
- 各スピーカーの仕様(再生周波数帯域)を超えた設定を行うと、スピーカー破損の原因となります。必ず各スピーカーの仕様を確認した上で本設定を行ってください。

■ タイムアライメント設定

スピーカーユニットの中心から顔の中心までの直線距離をメジャーで直接測り、その距離を目安として入力してください。
また、一番遠いスピーカーユニットから他のスピーカーユニットの距離を引いた距離を入力することでも同様に設定できます。スピーカーユニットの位置をすべて一番遠いスピーカーユニットと同じ距離にするイメージです。

お知らせ

- *「初期設定」(P37)* の「車種選択」で選んだ形状の値があらかじめ目安として入力されています。「車種選択」が[－－－－－]の場合はすべての距離が「50.05cm」となります。



※ 画面例はフロント2Way + リア + サブウーファー装着状態です。
※ 初期設定 *(P37)* で、設定されていないスピーカーは選択できません。

① **フロントツィーター**

② **フロントウーファー**

③ **○.○○cm**
リスニングポジションまでの距離を示します。
サブウーファー以外：0.00 ～ 192.5cm
サブウーファーのみ：0.00 ～ 338.8cm

④ **リアスピーカー**

⑤ **サブウーファー**

⑥ [◀], [▶]
タップすると、スピーカーの距離を変更できます。(0.77cm/1step)

⑦ [∨] *(→P59)*
タップすると、サブメニューを表示します。

⑧ [User1], [User2], [User マルチch]
タップすると、前回登録したタイムアライメント設定を呼び出します。ロングタップ *(P24)* すると、現在の調整内容を登録します。
未登録の場合、タップすると初期値が反映されます。調整後、[User○]に登録することをおすすめします。

⑨ **スピーカーイラスト**
タップするとミュートになり、再度タップするとミュートを解除します。

⑩ [信号OFF] / [信号ON] *(→P59)*
タップするたびに、[信号ON]→[信号OFF]→[信号ON]と切り換わります。
信号は、タイムアライメント設定用のテスト信号です。

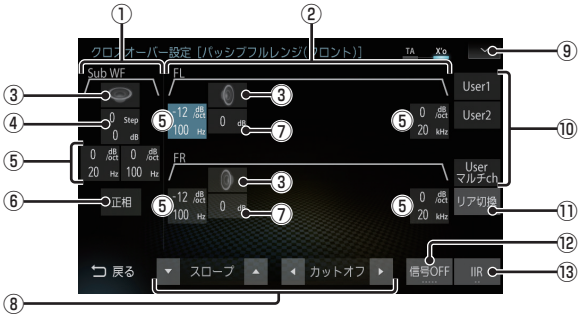
⑪ [IIR] / [FIR] ※1
タップするたびに、IIRフィルターとFIRフィルターを切り換えることができます。
調整中の音質確認に使用してください。

※1 FIRフィルターに切り換えると、タイムアライメントの設定が変更できません。設定を変更する際は、IIRフィルターに切り換えてから行ってください。

■ クロスオーバー設定

アジャスタブルFIRクロスオーバーネットワークの設定を行います。
システム構成によって画面が異なります。

フロント（パッシブ フルレンジ）



※『システム構成図』(P41) のA-1, A-2, B-1, B-2, C-1, C-2, C-3, D-1, D-2, D-3のときに表示される画面です。

① **サブウーファーの情報**

② **フルレンジの情報**

③ **スピーカーイラスト**
タップするとミュートになり、再度タップするとミュートを解除します。

④ ○Step ○.○dB
選択すると、サブウーファーのローブースト *(P374)* とゲイン（0.5dB/1step）をファンクションボタンで調整できます。
（上：ローブースト，下：ゲイン）

⑤ ○dB/oct ○.○Hz
ハイパスフィルターとローパスフィルターを示します。選択すると、ファンクションボタンでスロープおよびカットオフ周波数を調整できます。
（上：スロープ，下：カットオフ周波数）

⑥ 正相 , 逆相
タップするたびに、サブウーファーの正相と逆相を切り換えることができます。

⑦ ○.○dB
選択すると、そのスピーカーのゲインをファンクションボタンで調整できます。
（0.2dB/1step）

⑧ **ファンクションボタン**
選択状態によって以下の調整が行えます。
▼ ゲイン ▲ ：ゲインの調整
◀ ローブースト ▶ ：ローブーストの調整
▼ スロープ ▲ ：スロープの調整
◀ カットオフ ▶ ：カットオフ周波数の調整

⑨ ∨ *(→P59)*
タップすると、サブメニューを表示します。

⑩ User1 , User2 , User マルチch
タップすると、前回登録したクロスオーバー設定を呼び出します。ロングタップ *(P24)* すると、現在の調整内容を登録します。未登録の場合、タップすると初期値が反映されます。調整後、[User○] に登録することをおすすめします。

⑪ リア切換
リアスピーカー側の設定画面を表示します。

⑫ 信号○ *(→P59)*
タップするたびに [信号 1] → [信号 2] → [信号 3] → [信号 4] → [信号 OFF] → [信号 1] と切り換わります。信号は、クロスオーバー設定用のテスト信号です。

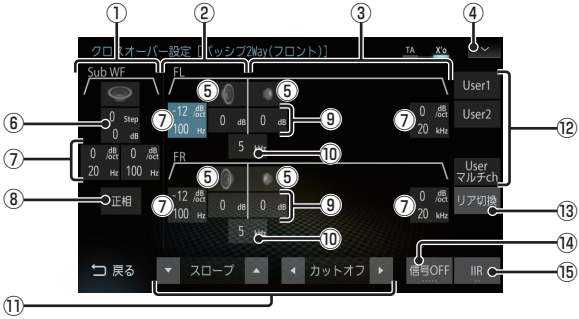
⑬ IIR / FIR ※1
タップするたびに、IIRフィルターとFIRフィルターを切り換えることができます。調整中の音質確認に使用してください。

注 意

- 各スピーカーの仕様（再生周波数帯域）を超えた設定を行うと、スピーカー破損の原因となります。必ず各スピーカーの仕様を確認した上で本設定を行ってください。

※1 FIRフィルターに切り換えると、クロスオーバーの設定が変更できません。設定を変更する際は、IIRフィルターに切り換えてから行ってください。

フロント（パッシブ 2Way）



※「システム構成図」（P41）のE-1, E-2, F-1, F-2, G-1, G-2, G-3, H-1, H-2, H-3のときに表示される画面です。

① サブウーファーの情報

② ウーファーの情報

③ ツィーターの情報

④ [∨] *（→P59）*
タップすると、サブメニューを表示します。

⑤ スピーカーイラスト
タップするとミュートになり、再度タップするとミュートを解除します。

⑥ [○Step ○.○dB]
選択すると、サブウーファーのローブースト*（P374）*とゲイン（0.5dB/1step）をファンクションボタンで調整できます。
（上：ローブースト，下：ゲイン）

⑦ [○dB/oct ○.○Hz]
ハイパスフィルターとローパスフィルターを示します。選択すると、ファンクションボタンでスロープおよびカットオフ周波数を調整できます。
（上：スロープ，下：カットオフ周波数）

⑧ [正相] , [逆相]
タップするたびに、サブウーファーの正相と逆相を切り換えることができます。

⑨ [○.○dB]
選択すると、そのスピーカーのゲインをファンクションボタンで調整できます。
（0.2dB/1step）

⑩ [○○.○kHz]
選択すると、各スピーカー間のクロスオーバー周波数をファンクションボタンで調整できます。

⑪ ファンクションボタン
選択状態によって以下の調整が行えます。
[▼ ゲイン ▲]：ゲインの調整
[◀ ローブースト ▶]：ローブーストの調整
[▼ スロープ ▲]：スロープの調整
[◀ カットオフ ▶]：カットオフ周波数の調整
[◀ クロス ▶]：クロスオーバー周波数の調整

⑫ [User1] , [User2] , [User マルチ ch]
タップすると、前回登録したクロスオーバー設定を呼び出します。ロングタップ*（P24）*すると、現在の調整内容を登録します。未登録の場合、タップすると初期値が反映されます。調整後、[User○] に登録することをおすすめします。

⑬ [リア切換]
リアスピーカー側の設定画面を表示します。

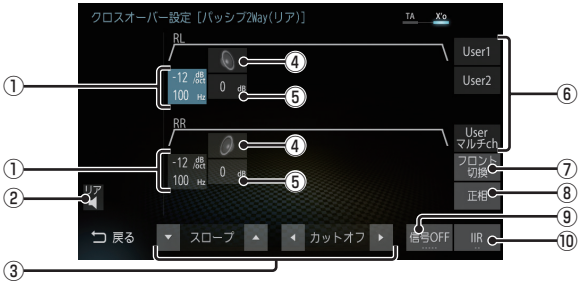
⑭ [信号○] *（→P59）*
タップするたびに [信号 1] → [信号 2] → [信号 3] → [信号 4] → [信号 OFF] → [信号 1] と切り換わります。信号は、クロスオーバー設定用のテスト信号です。

⑮ [IIR] / [FIR] ※1
タップするたびに、IIR フィルターと FIR フィルターを切り換えることができます。調整中の音質確認に使用してください。

注 意

- 各スピーカーの仕様（再生周波数帯域）を超えた設定を行うと、スピーカー破損の原因となります。必ず各スピーカーの仕様を確認した上で本設定を行ってください。

※1　FIR フィルターに切り換えると、クロスオーバーの設定が変更できません。設定を変更する際は、IIR フィルターに切り換えてから行ってください。



※ 画面例はフロント2Way + リア装着状態です。

① ○dB/oct ○.○Hz
ハイパスフィルターを示します。選択すると、ファンクションボタンでスロープおよびカットオフ周波数を調整できます。
（上：スロープ，下：カットオフ周波数）

② リア
タップするとリアスピーカーがミュートになり、再度タップするとミュートを解除します。

③ **ファンクションボタン**
選択状態によって以下の調整が行えます。
▼ ゲイン ▲ ：ゲインの調整
▼ スロープ ▲ ：スロープの調整
◀ カットオフ ▶ ：カットオフ周波数の調整

④ **スピーカーイラスト**
タップするとミュートになり、再度タップするとミュートを解除します。

⑤ ○.○dB
選択すると、そのスピーカーのゲインをファンクションボタンで調整できます。
（0.5dB/1step）

⑥ User1 , User2 , User マルチ ch
タップすると、前回登録したクロスオーバー設定を呼び出します。ロングタップ *(P24)* すると、現在の調整内容を登録します。未登録の場合、タップすると初期値が反映されます。調整後、[User○] に登録することをおすすめします。

⑦ フロント切換
フロントスピーカー側の設定画面を表示します。

⑧ 正相 , 逆相
タップするたびに、正相と逆相を切り換えることができます。

⑨ 信号○ *(→P59)*
タップするたびに [信号 1] → [信号 2] → [信号 3] → [信号 4] → [信号 OFF] → [信号 1] と切り換わります。信号は、クロスオーバー設定用のテスト信号です。

⑩ IIR / FIR ※1
タップするたびに、IIR フィルターと FIR フィルターを切り換えることができます。調整中の音質確認に使用してください。

※1 FIR フィルターに切り換えると、クロスオーバーの設定が変更できません。設定を変更する際は、IIR フィルターに切り換えてから行ってください。

■ タイムアライメント設定のサブメニュー

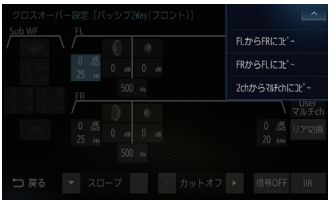
タイムアライメント設定画面で [∨] にタップして表示するサブメニューについて説明します。

2chからマルチchにコピー	2chの設定内容を[Userマルチch]にコピーします。
[∧]	サブメニューを閉じます。

■ クロスオーバー設定のサブメニュー

クロスオーバー設定画面で [∨] にタップして表示するサブメニューについて説明します。

フロント



FLからFRにコピー	左側の設定内容を右側にコピーします。
FRからFLにコピー	右側の設定内容を左側にコピーします。
2chからマルチchにコピー	2chの設定内容を[Userマルチch]にコピーします。
[∧]	サブメニューを閉じます。

■ テスト信号について

タイムアライメント、クロスオーバー設定に使用するテスト信号について説明します。

タイムアライメント

タイムアライメント設定画面で[信号OFF]にタップすると、[信号ON]に変わりテスト信号が出力されます。
タップするたびに[信号ON]→[信号OFF]→[信号ON]と切り換わります。
テスト信号は低音の定位調整用です。周期的に「ポン、ポン」という音が出力されます。この音を聴きながらタイムアライメントの値を微調整することで、低音の定位位置やサブウーファーの音調整をスムーズに行うことができます。

クロスオーバー

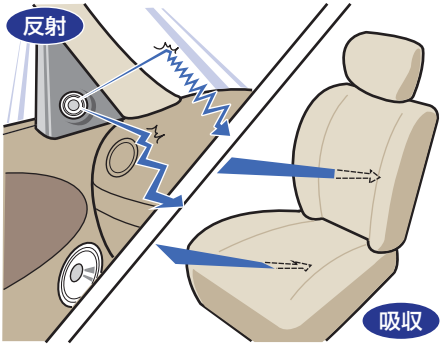
クロスオーバー設定画面で[信号OFF]にタップすると、[信号1]に変わりテスト信号が出力されます。タップするたびに[信号1]→[信号2]→[信号3]→[信号4]→[信号OFF]→[信号1]と切り換わります。
テスト信号はピンクノイズが出力されます。

[信号1]	FL+FRのみ出力されます。
[信号2]	FR+RRのみ出力されます。
[信号3]	RL+RRのみ出力されます。
[信号4]	FL+RLのみ出力されます。

イコライザー設定

「ポップス」や「ジャズ」など各ジャンルの曲調に合わせた周波数の設定を選ぶことができます。また、音響特性の乱れやくせを調整し、補正できるアジャスタブルFIRグラフィックイコライザーの調整を行います。

イコライザー調整について



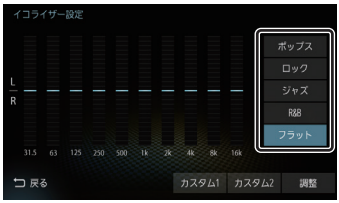
ガラスやダッシュボード、シートなどの影響で車の中は、音の反射や吸収が複雑に入り交じり音響特性が乱れがちです。

そんな乱れた音響特性をイコライザー調整することで補正できます。その結果、本機やスピーカーが本来持っているクォリティーをさらに引き出すことができます。

■ ジャンルを選ぶ

1 Sound Settingsの画面で「イコライザー」の項目にタップする

2 好みの“ジャンル”にタップする



▼

イコライザーの選択が完了します。

■ イコライザーを調整する

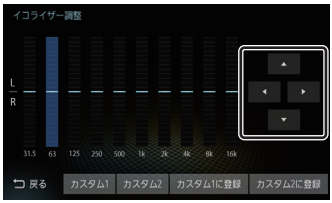
本調整はフロントスピーカーとリアスピーカーを同時に調整します。

1 Sound Settingsの画面で「イコライザー」の項目にタップする

2 調整のためのベースにしたい“ジャンル”にタップする

3 調整 にタップする

4 カーソルボタンで各周波数のレベルを調整する



5 カスタム１に登録 または、カスタム２に登録 にタップする

▼

[カスタム 1]または、[カスタム 2]に調整したイコライザー情報を登録します。

アドバイス

- 手順４で画面にタップすることでも直接変更できます。
- 手順５で[カスタム○に登録]を行わず[戻る]にタップした場合、変更内容は破棄されます。

PremiDIA Bass

時間軸方向の低音の残響時間を調整できます。この設定を行うと低音の量感、厚みを増強できます。
フロント/リアでの個別の設定ができます。

1 **Sound Settingsの画面で「PremiDIA Bass」の項目にタップする**

PremiDIA Bass設定画面を表示します。

2 **フロントまたはリアの ON にタップする**

3 **左右カーソルボタンでレベルを調整する**

レベルを10方向へ補正すると低音の量感、厚みを増強できます。

4 **戻る にタップする**

▼

PremiDIA Bassの設定が完了します。

アドバイス

- PremiDIA Bassを使用しない場合は、[OFF]にタップします。

PremiDIA VBL

自動で低音をカットする補正値を設定できます。この設定を行うと、大音量時の低音をカットし、大音量時特有の音の歪みを軽減させることができます。

1 **Sound Settingsの画面で「PremiDIA VBL」の項目にタップする**

PremiDIA VBL設定画面を表示します。

2 **ON にタップする**

3 **左右カーソルボタンでレベルを調整する**

レベルを20方向へ補正するとより低音を抑えることができます。

4 **戻る にタップする**

▼

PremiDIA VBLの設定が完了します。

アドバイス

- PremiDIA VBLを使用しない場合は、[OFF]にタップします。

オーディオ機能について

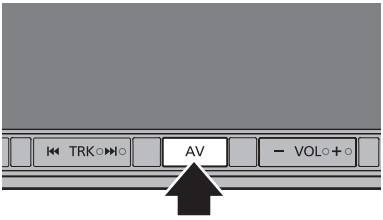
基本操作

お知らせ

- 本書のオーディオ機能およびそれに関連する機能で使用している画像について、タイトル情報のアルバム名やタイトル名などは説明用に作成したものです。実際に存在するタイトル情報とは一切関係ありません。

AV メニューを表示する

1 **AV キーを押す**



AV メニューまたは AV 再生画面を表示します。
AV 再生画面が表示された場合は、手順 2 へ進みます。

2 **再度、AV キーを押す**

▼

AV メニューを表示します。

アドバイス

- AV 再生画面が表示されているとき、[AV Source] にタップすると、AV メニューを表示します。

オーディオを ON/OFF する

オーディオ機能の ON/OFF が行えます。

アドバイス

- 下記の操作でも、オーディオ機能の ON/OFF を行うことができます。
  - [AV] キーを押し続ける。
  - 別売のドライビングリモコンの [AV on/off] キーを押す。

■ オーディオ機能が ON のとき

1 **AV メニューを表示する** *(→P62)*

2 **Audio ON/OFF にタップする**

▼

オーディオ機能が OFF になります。

■ オーディオ機能が OFF のとき

1 **AV メニューを表示する** *(→P62)*

2 **Audio ON/OFF にタップする**

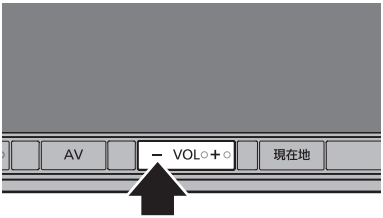
▼

オーディオ機能が ON になります。

音量を調節する

オーディオ機能の音量を調節します。

1 オーディオ再生中に − VOL キーを押す



▼

音量表示

音量が小さくなります。

2 VOL + キーを押す

▼

音量が大きくなります。

AV 再生情報について

オーディオ再生中、ナビ画面のステータスバーにタップするとAV再生情報を表示します。以下のように現在再生中のオーディオソースを示すアイコンと情報を表示します。

AV 再生情報

ラジオ（例：FM）

1 △△ FM/76.1 MHz

プリセット番号、放送局名、周波数を表示します。

交通情報

交通情報/1620 kHz

周波数を表示します。

ディスク（例：音楽CD）

01 夕日に走れ/オーバーラップ

トラック番号、トラック名、アルバム名（フォルダー名）を表示します。

DVD

TITLE 01/CHAPTER 01

タイトル番号、チャプター番号を表示します。

SDカードの音楽/動画ファイル

01 夕日に走れ/オーバーラップ

トラック番号、トラック名、アルバム名（フォルダー名）を表示します。

MusicFolder

01 夕日に走れ/オーバーラップ

トラック番号、トラック名、プレイリスト名を表示します。

iPod

01 夕日に走れ/オーバーラップ

トラック番号、トラック名、アルバム名を表示します。

次のページにつづく

USB メモリーの音楽 / 動画ファイル

01 夕日に走れ/オーバーラップ

トラック番号、トラック名、アルバム名（フォルダー名）を表示します。

TV

○○テレビ　日本の風景「朝日編」

放送局名、番組名を表示します。

Bluetooth Audio

夕日に走れ/オーバーラップ

トラック名、アルバム名を表示します。

AUX

音声案内時のオーディオ音量について

ナビ機能などの音声案内が行われるとき、
オーディオ音量が小さくなります。
（すべてのスピーカーが対象となります。）
この機能によって、音声案内を聞き取りやすくなります。

注 意

- 運転中は車外の音が聞こえる程度の音量でお使いください。車外の音が聞こえない状態で運転すると思わぬ事故につながるおそれがあります。

再生できるディスクの種類について

以下のマークはディスクのレーベル面やパッケージ、ジャケットなどに記載されています。

種類	サイズ	最大再生時間	備考
DVDビデオ	12cm/片面 12cm/両面	133分（1層）/ 242分（2層） 266分（1層）/ 484分（2層） （MPEG2方式）	• リージョン番号に「2」を含むもの。または、「ALL」。 • NTSC方式で記録されたもの
DVD+R/RW DVD-R/RW	12cm/片面 12cm/両面	—	• CPRM/2層ディスクを含む • DVD VIDEO/DVD-VRフォーマット規格で記録されたディスク • MP3/WMA/AAC/WAVファイルが記録されたディスク
CD-DA	12cm/片面	74分	—
CD-TEXT	12cm/片面	74分	• 日本語と英語以外の言語には対応しておりません。ウムラウト記号「 Ää 」など記号のついた文字には対応しておりません。
CD-R/RW	12cm/片面	—	• MP3/WMA/AAC/WAVファイルが記録されたディスク

■ 再生できないディスク

- 「再生できるディスクの種類」に記載のないディスクの再生は保証いたしかねます。
- 8cmディスクやアダプターを取り付けたディスクは使用できません。
- 異形のディスク（ハート形など）は故障の原因となるため、使用しないでください。
  また、一部が透明なディスクは再生できません。
- ファイナライズしていないディスクは再生できません。
- レコーダーやPC（パソコン）によって正しいフォーマットで記録したディスクでも、アプリケーションソフトの設定や環境もしくはディスクの特性や傷、汚れ、または本機内部のレンズの汚れ、露などにより、本機で再生できない場合があります。
- ディスクによっては、一部機能が使用できない場合や再生できない場合があります。
- ヒビの入ったディスクや反ったディスクは使用しないでください。
- ディスクにシールを貼っている場合、はがれかかっているもの、のりあとが付着しているものは使用できません。
- ディスクに飾り用のラベルやシールを貼ったものは使用できません。

■ CD規格外ディスクについて

本機では音楽CDをお楽しみいただけますが、CDの規格について以下の点にご注意ください。

- ディスクレーベル面に disc の入ったものなど、JIS規格に合致したディスクをご使用ください。
- CD規格外ディスクを使用された場合には再生の保証をいたしかねます。また再生できた場合であっても音質の保証はいたしかねます。
- CD規格外ディスクを再生した場合、次の症状が発生することがあります。
  - ● 再生時に雑音が混入する。
  - ● 音飛びする。
  - ● ディスクを認識しない。
  - ● 1曲目を再生しない。
  - ● 頭出しの時間が通常より長い。
  - ● 曲の途中から再生する。
  - ● 部分的に再生できない箇所がある。
  - ● 再生の途中でフリーズする。
  - ● 誤表示する。

■ DualDiscについて

本機はDualDiscの再生に対応しておりません。DualDiscは、片面にDVD規格準拠の映像やオーディオ、もう片面にCD再生機での再生を目的としたオーディオが収録されています。

■ DVDビデオに関して

DVDビデオによっては、一部の機能がご使用になれない場合や再生できない場合があります。

■ DVDビデオに表示されているマークの意味

DVDビデオディスクのレーベル面やパッケージには、以下のようなマークが表示されています。それぞれのマークは、そのディスクに記録されている映像または言語のタイプ、使える機能を表しています。

マーク	意味
2	音声言語の数
2	字幕言語の数
3	アングルの数
16:9 LB	画面サイズ（アスペクト比：横と縦の比率）の種別
2 ALL	再生可能な地域を限定する番号。本機で再生可能なリージョン番号（地域番号）は、「2」を含んだもの、または「ALL」です。
NTSC	日本で対応している映像方式です。この方式以外は再生できません。

音楽ファイルについて

再生できる音楽ファイル形式

本機ではディスク※1やUSBデバイス、SDカードに記録された以下の音楽ファイルを再生できます。

- MP3
- WMA
- AAC
- WAV※2
- FLAC※3

※1 *「再生できるディスクの種類について」(P65)*をご覧ください。

※2 ディスクに書き込んだWAV形式の音楽ファイルはサンプリング周波数、ビット数によっては再生時に音飛びが発生することがあります。

※3 ディスクに書き込んだFLAC形式の音楽ファイルは再生できません。

使用できるファイルやメディアについては制限がありますので上記形式の音楽ファイルをメディアに書き込む(コピーする)前に以下の内容をよくお読みください。
また、お手持ちのディスクドライブやライティングソフトの取扱説明書もよくお読みになり、正しくご使用ください。
音楽ファイル内にタイトル情報などのデータが記録されている場合は、ディスプレイに表示できます。

注 意

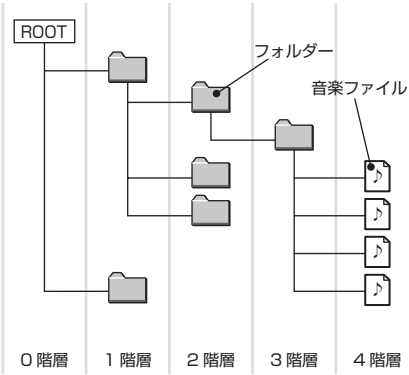
- 音楽CDから書き込んだ(コピーした)ディスクやファイルを無償・有償にかかわらず他人に配るなどの行為、インターネットなどのサーバーへアップロードする行為は違法ですので決して行わないでください。
- 拡張子(「.mp3」など)を異なったファイル形式のファイルに付けないでください。そのようなファイルが書き込まれたメディアを再生すると誤認識して再生する可能性があるため、大きな雑音がでてスピーカーの破損や思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス

- 音楽ファイルによっては正常に再生できない場合があります。
- ディスク書き込みに使用したレコーダーやレコーディングソフトの状態によっては正しく再生できない場合があります。その場合はご使用になった機器・ソフトの取扱説明書をご覧ください。
- パソコンのOSの種類やバージョン、ソフト、設定によって拡張子が付かない場合があります。その場合はファイルの最後に拡張子(「.mp3」など)を付けてからメディアに書き込んで(コピーして)ください。
- 2GBを超えるサイズのファイルは再生できません。
- 複数の形式の音楽ファイルが混在したメディアも再生できます。

フォルダーの構成について

フォルダーは８階層まで認識できます。
ジャンル→アーティスト→アルバム→トラック（再生可能な形式の音楽ファイル）といった階層を作成して曲を管理できます。



名称	規格	説明	
フォーマット仕様	ISO9660	レベル１	最大８文字のファイル名と３文字の拡張子を持つ。（半角英大文字と半角数字、“_”が使用可能）
	ISO9660 拡張	Joliet	最大64文字までをファイル名として使用可能。
		Romeo	最大128文字までをファイル名として使用可能。
	UDF 1.02（Access Type = ReadOnly）※1		
マルチセッション	非対応（先頭のセッションのみ対象）		
最大フォルダー階層数	８階層（Rootを０階層目とした場合）		
最大フォルダー数	500フォルダー（Rootを含む）		
最大ファイル数※2	5000ファイル （メディア内合計数。再生不可のファイルは含まず）		
ファイル名、フォルダー名の制限	上限255バイトで、上限を超えるファイル名やフォルダー名の表示はできません。またそのファイルやフォルダーの再生もできません。		
USB、SDカードの対応フォーマット	USBデバイスの推奨ファイルシステムは、exFATです。 SDカードは本機でフォーマット *(P353)* したものをご使用ください。 １パーティションのみ対応しております。 SDカードの容量は設計上最大2TBまでサポートしております。SDカードのスピードクラスはClass10以上、容量は128GBまでを推奨いたします。なお、すべてのSDカードに対して動作を保証するものではありません。		

※１　パケットライトは非対応です。

※２　再生不可のファイルは含みません。但し、同じフォルダーに多数の楽曲を格納している場合は最大曲数以下の場合でも認識しない場合があります。その場合は複数のフォルダーに分けて格納してください。

お知らせ

- 本機で表示されるフォルダーおよびファイルの順番はPCで表示される順番と異なる場合があります。

MP3とは

MP3とは「MPEG-1 Audio Layer3」の略称。MPEGとは「Moving Picture Experts Group」の略称でビデオCDなどに採用されている映像圧縮規格です。
MP3はMPEGの音声に関する規格に含まれる音声圧縮方式の1つで、人間の耳で聞こえない範囲の音や大きい音に埋もれて聞き取れない音を処理することにより、高音質で小さなデータ容量のファイルを作ることができます。
音楽CDの音質をほとんど損なうことなく約1/10のデータ容量に圧縮することができるため、約10枚分の音楽CDを1枚のCD-R/RWへ書き込むことが可能になります。

■ 再生できるMP3ファイルの規格について

再生できるMP3ファイルの仕様は以下のとおりです。

項目	内容	
規格	MPEG-1 AUDIO LAYER3	
	MPEG-2/2.5 AUDIO LAYER3	
サンプリング周波数[kHz]※1	MPEG-1：32/44.1/48	
	MPEG-2：16/22.05/24	
	MPEG-2.5：8/11.025/12	
ビットレート[kbps]	MPEG-1：32/40/48/56/64/80/96/112/128/160/192/224/256/320	
	MPEG-2：8/16/24/32/40/48/56/64/80/96/112/128/144/160	
	MPEG-2.5：8/16/24/32/40/48/56/64	
VBR（可変ビットレート）	対応	
チャンネルモード	ステレオ/ジョイントステレオ/デュアルチャンネル/モノラル	
拡張子	mp3	
対応タグ情報	ID3タグVer.1.0、Ver.1.1、Ver.2.2、Ver.2.3、Ver.2.4 (ISO-8859-1※2、UTF-16 (Unicode)、UTF-8) タイトル、アーティスト名、アルバム名、ジャケット写真、ジャンル	
ステータスバー※3に表示できる最大文字数	タイトル名/アルバム名：合計で全角28文字 タイトル名が長すぎると、アルバム名が表示されないことがあります。	
リストに表示できる最大文字数	フォルダーリスト表示時	全角28文字※4（1階層のとき（Rootを0階層とする）） ● 階層の表示により、表示文字数は変化します。1階層下がるごとに半角2文字（全角1文字）減少します。
	トラックリスト表示時	ファイル名:全角28文字※4

※1　64kHzは対応しておりません。
※2　ウムラウト記号「Ä ä」など記号のついた文字には対応しておりません。
※3　ナビ画面で表示するステータスバーです。
※4　文字によって幅が異なるため、必ずしも最大文字数まで表示できるとは限りません。

注 意

- 上記規格以外で書き込まれたMP3ファイルは正常に再生できない場合やファイル名、フォルダー名などが正しく表示されない場合があります。

WMAとは

WMAとは、Windows Media Audioの略称で、Microsoft社の音声圧縮フォーマットです。
MP3よりも高い圧縮率で音声データを圧縮する方式です。

※Microsoft、Windows Media、Windowsは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

注 意

- WMAは著作権保護機能（DRM）をサポートしており、著作権で保護されたWMAファイルを本オーディオシステムでは再生できません。

■ 再生できるWMAファイルの規格について

再生できるWMAファイルの仕様は以下のとおりです。

項目		内容
規格		Windows Media Audio Version7/8/9
サンプリング周波数[kHz]※1		8/11.025/16/22.05/32/44.1/48
ビットレート[kbps]		5～384
VBR（可変ビットレート）		対応
チャンネルモード		ステレオ/モノラル/5.1chダウンミックス
拡張子		wma
対応タグ情報		WMAタグ タイトル、アーティスト名、アルバム名、ジャケット写真、ジャンル
ステータスバー※2に表示できる最大文字数		タイトル名/アルバム名：合計で全角28文字 タイトル名が長すぎると、アルバム名が表示されないことがあります。
リストに表示できる最大文字数	フォルダーリスト表示時	全角28文字※3（1階層のとき（Rootを0階層とする）） ● 階層の表示により、表示文字数は変化します。1階層下がるごとに半角2文字（全角1文字）減少します。
	トラックリスト表示時	ファイル名：全角28文字※3

※1　64kHzは対応しておりません。

※2　ナビ画面で表示するステータスバーです。

※3　文字によって幅が異なるため、必ずしも最大文字数まで表示できるとは限りません。

注 意

- 上記規格以外で書き込まれたWMAファイルは正常に再生できない場合やファイル名、フォルダー名などが正しく表示されない場合があります。
- 「Lossless」「Voice」には対応しておりません。

AACとは

AACとはAdvanced Audio Codingの略称で、映像の圧縮規格「MPEG-2」や「MPEG-4」で使われている音声圧縮方式です。MP3よりも約1.4倍圧縮効率が高く、音質はほぼ同じです。

注 意

- AACは著作権保護機能（DRM）をサポートしており、著作権で保護されたAACファイルを本オーディオシステムでは再生できません。

■ 再生できるAACファイルの規格について

再生できるAACファイルの仕様は以下のとおりです。

項目		内容	
規格		MPEG4/AAC-LC MPEG2/AAC-LC MPEG4/HE-AAC　v1,v2 MPEG2/HE-AAC　v1,v2	
サンプリング周波数[kHz]※1	AAC-LC	8/11.025/12/16/22.05/24/32/44.1/48/88.2/96	
	HE-AAC	16/22.05/24/32/44.1/48	
ビットレート[kbps]	AAC-LC	8～576	
	HE-AAC	8～144	
VBR（可変ビットレート）		対応	
チャンネルモード		ステレオ/モノラル	
拡張子		m4aおよびaac （ただし、AppleLossless形式は再生できません）	
対応タグ情報		AACタグまたはID3タグ タイトル、アーティスト名、アルバム名、ジャケット写真、ジャンル	
ステータスバー※2に表示できる最大文字数		タイトル名/アルバム名：合計で全角28文字 タイトル名が長すぎると、アルバム名が表示されないことがあります。	
リストに表示できる最大文字数	フォルダーリスト表示時	全角28文字※3（1階層のとき（Rootを0階層とする）） ● 階層の表示により、表示文字数は変化します。1階層下がるごとに半角2文字（全角1文字）減少します。	
	トラックリスト表示時	ファイル名：全角28文字※3	

※1　64kHzは対応しておりません。

※2　ナビ画面で表示するステータスバーです。

※3　文字によって幅が異なるため、必ずしも最大文字数まで表示できるとは限りません。

注 意

- 上記規格以外で書き込まれたAACファイルやADIF形式のAACファイルは正常に再生できない場合やファイル名、フォルダー名などが正しく表示されない場合があります。

WAVとは

WAVとは「RIFF waveform Audio Format」の略称で主にWindowsで使用されています。通常は非圧縮の音楽ファイルで、Microsoft社とIBM社で開発された音声データフォーマットです。

■ 再生できるWAVファイルの規格について

再生できるWAVファイルの仕様は以下のとおりです。

項目		内容
規格		RIFF waveform Audio Format リニアPCM
サンプリング周波数[kHz]※1		8/11.025/12/16/22.05/24/32/44.1/48/88.2/96/176.4/192
ビット数[bit]		8/16/24
チャンネルモード		ステレオ/モノラル
拡張子		wav
対応タグ情報		非対応
ステータスバー※2に表示できる最大文字数		タイトル名/アルバム名：合計で全角28文字 タイトル名が長すぎると、アルバム名が表示されないことがあります。
リストに表示できる最大文字数	フォルダーリスト表示時	全角28文字※3（1階層のとき（Rootを0階層とする）） ● 階層の表示により、表示文字数は変化します。1階層下がるごとに半角2文字（全角1文字）減少します。
	トラックリスト表示時	ファイル名：全角28文字※3

※1　64kHzは対応しておりません。

※2　ナビ画面で表示するステータスバーです。

※3　文字によって幅が異なるため、必ずしも最大文字数まで表示できるとは限りません。

注意

- 上記規格以外で書き込まれたWAVファイルは正常に再生できない場合やファイル名、フォルダー名などが正しく表示されない場合があります。

FLAC とは

FLAC とは Free Lossless Audio Codec の略称でライセンスフリーの音声データフォーマットです。可逆圧縮による音源のため音質の劣化がないのが特徴です。

■ 再生できる FLAC ファイルの規格について

再生できる FLAC ファイルの仕様は以下のとおりです。

項目		内容
規格		FLAC 1.3.0
サンプリング周波数 [kHz]※1		8/11.025/12/16/22.05/24/32/44.1/48/64/88.2/96/128/176.4/192
ビット数 [bit]		4 ～ 24
チャンネルモード		ステレオ / モノラル /5.1ch ダウンミックス
拡張子		flac および fla
対応タグ情報		タイトル、アーティスト名、アルバム名、ジャケット写真、ジャンル
ステータスバー※2 に表示できる最大文字数		タイトル名 / アルバム名：合計で全角 28 文字 タイトル名が長すぎると、アルバム名が表示されないことがあります。
リストに表示できる最大文字数	フォルダーリスト表示時	全角 28 文字※3（1 階層のとき（Root を 0 階層とする）） ● 階層の表示により、表示文字数は変化します。1 階層下がるごとに半角 2 文字（全角 1 文字）減少します。
	トラックリスト表示時	ファイル名：全角 28 文字※3

※1　64kHz は対応しておりません。

※2　ナビ画面で表示するステータスバーです。

※3　文字によって幅が異なるため、必ずしも最大文字数まで表示できるとは限りません。

注 意

- 上記規格以外で書き込まれた FLAC ファイルは正常に再生できない場合やファイル名、フォルダー名などが正しく表示されない場合があります。

動画ファイルについて

再生できる動画ファイル形式

本機ではUSBデバイスやSDカードに記録された以下の動画ファイルを再生できます。

- MP4
- AVI 1.0/2.0（DivXは除く）

使用できるファイルやメディアについては制限がありますので上記形式の動画ファイルをメディアに書き込む（コピーする）前に以下の内容をよくお読みください。

注 意

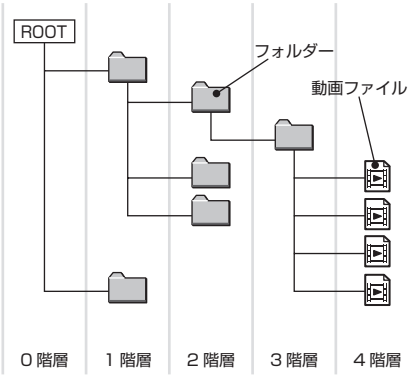
- 拡張子（「.mp4」など）を異なったファイル形式のファイルに付けないでください。そのようなファイルが書き込まれたメディアを再生すると誤認識して再生する可能性があるため、大きな雑音がでてスピーカーの破損や思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス

- 動画ファイルによっては正常に再生できない場合があります。
- パソコンのOSの種類やバージョン、ソフト、設定によって拡張子が付かない場合があります。その場合はファイルの最後に拡張子（「.mp4」など）を付けてからメディアに書き込んで（コピーして）ください。
- 2GBを超えるサイズのファイルは再生できません。
- 複数の形式の動画ファイルが混在したメディアも再生できます。

フォルダーの構成について

フォルダーは８階層まで認識できます。
ジャンル→製作年月→タイトル（再生可能な形式の動画ファイル）といった階層を作成して動画を管理できます。



名称	説明
最大フォルダー階層数	８階層（Rootを０階層目とした場合）
最大フォルダー数	500フォルダー（Rootを含む）
最大ファイル数※1	5000ファイル （メディア内合計数。再生不可のファイルは含まず）
ファイル名、フォルダー名の制限	上限255バイトで、上限を超えるファイル名やフォルダー名の表示はできません。またそのファイルやフォルダーの再生もできません。
USB、SDカードの対応フォーマット	USBデバイスの推奨ファイルシステムは、exFATです。 SDカードは本機でフォーマット *(P353)* したものをご使用ください。 １パーティションのみ対応しております。 SDカードの容量は設計上最大2TBまでサポートしております。SDカードのスピードクラスはClass10以上、容量は128GBまでを推奨いたします。なお、すべてのSDカードに対して動作を保証するものではありません。

※１　再生不可のファイルは含みません。但し、同じフォルダーに多数の動画を格納している場合は最大動画数以下の場合でも認識しない場合があります。その場合は複数のフォルダーに分けて格納してください。

お知らせ

- 本機で表示されるフォルダーおよびファイルの順番はPCで表示される順番と異なる場合があります。

再生可能な動画ファイルの仕様

再生できる動画ファイルの仕様は以下のとおりです。

形式	拡張子	映像					音声
		コーデック	プロファイル/レベル	最大解像度	最大ビットレート	最大フレームレート	コーデック
MP4	mp4 m4v	H.264/ MPEG-4 AVC	Baseline Profile Level 3.1 Main Profile Level 3.1 HighProfile/3.1	1280×720	17.5Mbps	30fps	MP3 AAC
		MPEG-4 (ISO/IEC 14496 Part.2)	Advanced Simple Profile/5	1280×720	12Mbps	30fps	
AVI 1.0/2.0 (DivX除く)	avi	H.264/ MPEG-4 AVC	Baseline Profile Level 3.1 Main Profile Level 3.1 HighProfile/3.1	1280×720	17.5Mbps	30fps	MP3 AAC WMA
		MPEG-4 (ISO/IEC 14496 Part.2)	Advanced Simple Profile/5	1280×720	12Mbps	30fps	
		VC-1	SimpleProfile/Medium MainProfile/Medium Level AdvancedProfile/2	1280×720	20Mbps	30fps	

注意

- 上記規格以外で書き込まれた動画ファイルは正常に再生できない場合やファイル名、フォルダー名などが正しく表示されない場合があります。

ラジオ / 交通情報

ラジオを聴く

FM放送やAM放送のラジオの聴きかたについて説明します。

お知らせ

- 本機はワイドFMに対応しており、95MHzまで受信が可能です。
- 車両により90.1MHz以上が受信できない場合があります。

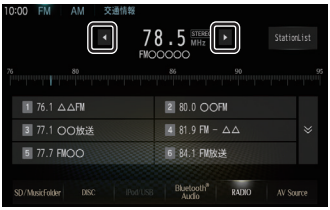
1 AVメニューを表示する
(→P62)

2 RADIO にタップする

ラジオの再生情報画面を表示します。

3 FM または AM にタップする

4 ◀ または ▶ にタップして選局する



▼

選局した周波数の音声が流れます。

好みの放送局を登録する

お好みの放送局をFMに12局、AMに6局まで記憶できます。

1 ラジオ再生情報画面で ◀ または ▶ にタップし、登録したい“放送局”を探す

2 登録したい“プリセットボタン”に「ピッ!」と鳴るまでロングタップする

→「操作のしかた」(P24)

プリセットボタン

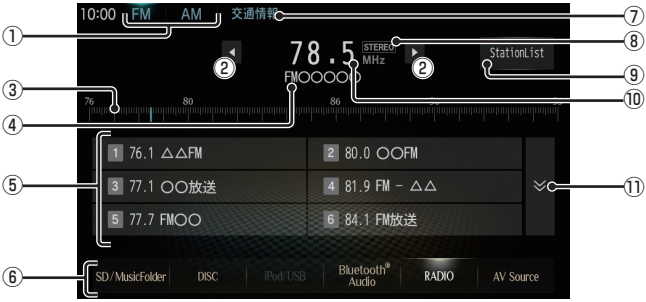
▼

ロングタップしたプリセットCH番号のボタンに選局した放送局を登録します。

アドバイス

- “プリセットボタン”に登録した放送局は ⏮TRK キーまたは TRK⏭ キーを押して選ぶことができます。
- 放送局の選択にStationListを利用すると、受信可能な放送局がリストになっているため便利です。
  →「StationListから探す」(P80)

■ 再生情報画面について



① FM , AM
FM放送、AM放送へ切り換えるときに使用します。
FMは12局、AMは6局までお好みの放送局を登録できます。

② ◀ , ▶
周波数を変更するときに使用します。

③ **目盛り**
現在選ばれている周波数を目盛りで確認できます。

④ **放送局名**
現在選ばれている放送局名を表示します。

⑤ **プリセットボタン**
お好みの放送局を登録できます。
希望のプリセットCH番号のボタンに「ピッ！」と鳴るまでロングタップ *(P24)* すると、現在受信中の放送局を登録できます。
→*「好みの放送局を登録する」(P78)*

⑥ **AVソースボタン**
各ボタンにタップすると、AVソースが切り換わります。
[AV Source] にタップするとAVメニューを表示します。
→*「AVメニュー」(P27)*

⑦ 交通情報
交通情報画面を表示します。
→*「交通情報を聴く」(P81)*

⑧ **ステレオインジケータ**
ステレオ受信時に表示します。

⑨ StationList
受信できる放送局を探し、受信した放送局を表示します。

⑩ **周波数**
現在選ばれている周波数を表示します。

⑪ ≫ , ≪
FM放送選択時に、プリセットボタンの表示を切り換えます。

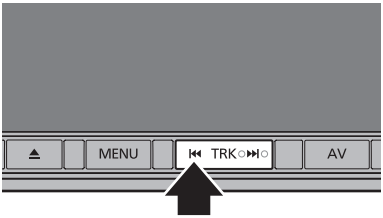
受信状態の良い放送局を探す

旅行先など受信周波数の異なる地域に移動したときに受信できる放送局を探す場合に便利です。
ここでは、ラジオの再生情報画面からの操作方法を説明します。

■ シークを開始する

受信できる放送局を 1 つずつ探します。

1 ラジオの再生情報画面で「ピッ !」と鳴るまで ⏮ キーまたは ⏭ キーを押し続ける



▼

受信できる放送局が見つかると、音声が流れます。

■ StationListから探す

放送局をサーチして、受信できる放送局の一覧を表示します。

アドバイス

- リストは最大50件まで表示します。
- 電波の状況によりStationListに表示された放送局でも受信できない場合があります。

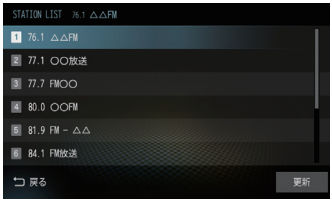
1 ラジオの再生情報画面で StationList にタップする

受信できる放送局を一覧表示します。

お知らせ

- ラジオモード中は自動で更新がされません。手動で更新してください。

2 聴きたい“放送局”にタップする



▼

放送局が切り換わります。

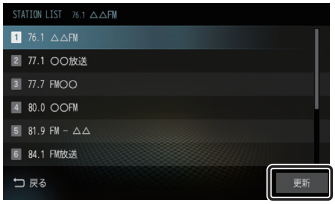
StationListを更新する

受信できる放送局を手動で更新できます。

アドバイス

- StationListは自動更新されません。受信できない放送局がある場合は手動で更新をしてください。

1 StationList表示中に 更新 にタップする



▼

受信できる放送局を一覧表示します。

交通情報を聴く

交通情報の聴きかたについて説明します。

1 AVメニューを表示する
(→P62)

2 交通情報 にタップする

交通情報の再生情報画面を表示します。

3 聴きたい“周波数”にタップする

▼

選んだ周波数の交通情報が流れます。

表示内容について

① FM , AM

FM放送、AM放送へ切り換えるときに使用します。

② **周波数**

現在選ばれている周波数を表示します。

③ 1620 , 1629

交通情報の周波数、1620kHzもしくは1629kHzを選ぶときにタップします。

④ **AVソースボタン**

各ボタンにタップすると、AVソースが切り換わります。

[AV Source]にタップするとAVメニューを表示します。

→*「AVメニュー」(P27)*

音楽CDを聴く

音楽CD（CD-DA/CD-TEXT）の聴きかたについて説明します。

本機にディスクを挿入すると、自動的に再生します。→「ディスクを挿入する」（P22）
また、工場出荷時の設定であれば本機に音楽CD挿入後、[録音する]にタップすることでMusicFolderへの録音を開始します。
→「MusicFolderに録音する」（P115）
→「音楽CDの録音方法を変更する」（P324）

お知らせ

- 音楽CDを本機に挿入した状態で操作してください。

1 AVメニューを表示する （→P62）

2 DISC にタップする

音楽CDの再生情報画面を表示します。

3 ⏮ または ⏭ にタップして曲を選ぶ

▼

選んだ曲を再生します。

アドバイス

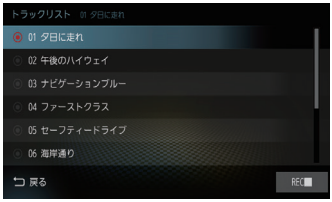
- ⏮ または ⏭ にロングタップ（P24）すると、再生中の曲を早送り、早戻しができます。
- ⏮TRK キーまたは TRK⏭ キーを押すと曲を選び、押し続けると早送り、早戻しができます。

リストを表示する

トラックリストを表示できます。
ここでは、音楽CDの再生情報画面からの操作方法を説明します。

1 音楽CDの再生情報画面で リスト表示 にタップする

▼



トラックリストを表示します。

2 戻る にタップする

▼

音楽CDの再生情報画面に戻ります。

■ 再生情報画面について

① **アルバム名**
タイトル情報があればアルバム名を表示します。タイトル情報がなければ「No Title」と表示します。

② **トラック番号/曲名**
タイトル情報があれば曲名を表示します。タイトル情報がなければ「No Title」と表示します。

③ **アーティスト名**
タイトル情報があればアーティスト名を表示します。タイトル情報がなければ「No Name」と表示します。

④ REC● / REC■
録音の開始や停止が行えます。
→*「録音を開始/停止する」(P116)*

⑤ **ジャンル**
再生しているトラックのジャンル名を表示します。タイトル情報にジャンル情報があれば表示します。

⑥ ⏮ , ⏸ , ▶ , ⏭
トラックの選択や一時停止、再生が行えます。
⏮ または ⏭ にロングタップ *(P24)* すると、再生中の曲を早送り、早戻しができます。

⑦ **シークバー**
シークバーをタップまたはスライドすることで、再生位置を指定できます。

⑧ **AVソースボタン**
各ボタンにタップすると、AVソースが切り換わります。[AV Source] にタップするとAVメニューを表示します。
→*「AVメニュー」(P27)*

⑨ リスト表示
トラックリストを表示します。
→*「リストを表示する」(P82)*

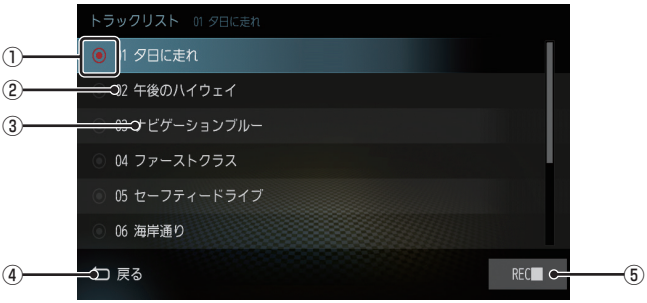
⑩ タイトル取得
手動でタイトル情報を取得します。
→*「タイトル情報を取得する」(P85)*

⑪ **再生モードボタン**
各ボタンにタップして再生モードを変更します。
→*「再生モードを変更する」(P85)*

⑫ 録音設定
録音方法の設定が行えます。
→*「音楽CDの録音方法を変更する」(P324)*

⑬ **再生時間/曲の長さ**

■ リストについて



① **録音状態アイコン**
■ :未録音（グレー）
◉ :録音中（赤）
※ 録音済みは表示されません。

② **トラック番号**

③ **トラック名**
トラック名を表示します。
トラック名の情報が空白だった場合は、「No Title」と表示します。

④ 戻る
音楽CDの再生情報画面に戻ります。

⑤ REC● / REC■
録音の開始や停止が行えます。
→「*録音を開始／停止する*」（P116）

再生モードを変更する

リピート再生、スキャン再生、ランダム再生が行えます。ここでは、音楽CDの再生情報画面からの操作方法を説明します。

1 音楽CDの再生情報画面で変更したい“モード”にタップする

▼

選んだモードの再生を開始します。

アドバイス

- 同一の再生モードボタン *(P83)* をタップするたびに、モードが切り換わります。解除するときは、モード解除を示すアイコン *(P85)* になるまでタップしてください。

■ 再生モードについて

Scan（スキャン）	ディスク内のすべての曲が対象で、始めの部分を約10秒間ずつ順番に再生します。
Scan（スキャン解除）	スキャンを解除します。
（リピート）	再生中の曲を繰り返して再生します。
（リピート解除）	リピートを解除します。
（ランダム）	ディスク内の曲を順不同に再生します。
（ランダム解除）	ランダムを解除します。

タイトル情報を取得する

音楽CDを本機に挿入すると、自動的にタイトル情報を取得します。

お知らせ

- タイトル情報は、本機に記録されているGracenoteデータベースを利用してタイトル情報を取得します。
- CD-TEXTの場合はCD内からTEXT情報を取得して表示します。TEXT情報がない場合は、本機内のGracenoteデータベースからタイトル情報を取得して表示します。
- タイトル情報が取得できない場合は、「No Title」や「No Name」などと表示され、NoTitleリストに登録されます。
- 本機の発売時期以降に発売された音楽CDのタイトル情報は本機に記録されたGracenoteデータベースから取得できません。また、それ以前の音楽CDでも情報を取得できない場合があります。
- 複数の情報を表示する場合や異なった情報を表示する場合があります。
- CD-TEXTは日本語と英語以外の言語には対応しておりません。また、ウムラウト記号「Ää」など記号の付いた文字には対応しておりません。
- タイトル情報の取得が完了するまでに時間がかかる場合があります。
- スマートフォン（Wi-Fi通信）でタイトル情報を取得する場合は、スマートフォンの表示を待ち受け画面にしてください。

■ 取得できる情報について

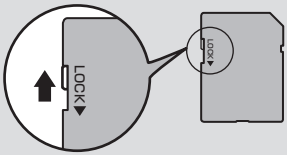
- アルバム名
- アルバムのアーティスト名
- トラック名
- トラックのアーティスト名
- ジャンル名

■ Gracenote データベースを SD カードで更新する

ご自宅のパソコンからインターネットを利用して Gracenote のデータベースを SD カードで取得できます。

お知らせ

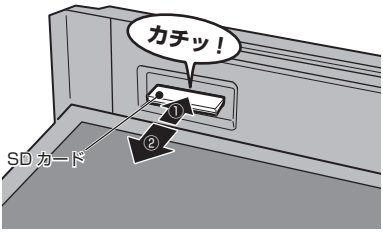
- あらかじめ SD カードのロックを解除しておいてください。



- あらかじめ Gracenote データベースバージョンを確認しておいてください。
→「バージョンアップする」(P309)

1 本機から SD カードを取り出す

（SD カードが挿入されている場合のみ）



→「SD カードを取り出す」(P20)

2 ご自宅のパソコンから Gracenote データベースを取得する

三菱電機のホームページから Gracenote データベースをダウンロードします。

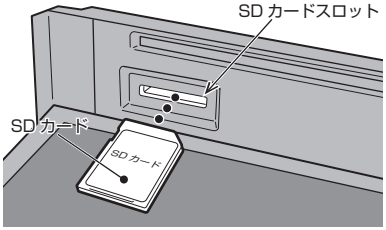
3 ダウンロードした圧縮ファイルを解凍する

ZIP 圧縮されているファイルは、解凍しておく必要があります。

4 解凍したファイルをすべて SD カードにコピーする

解凍したファイルの容量を確認し、容量にあった SD カードを準備してください。

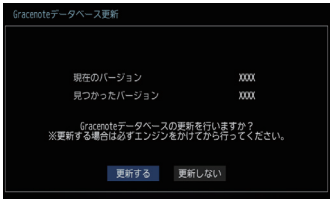
5 ファイルがコピーされた SD カードを本機に挿入する



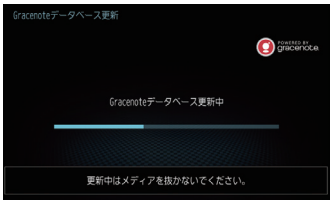
→「SD カードを挿入する」(P20)

6 更新する にタップする

本機データベースのバージョンよりも新しいバージョンであれば、以下の画面を表示します。



▼



Gracenote データベースの更新が完了します。

アドバイス

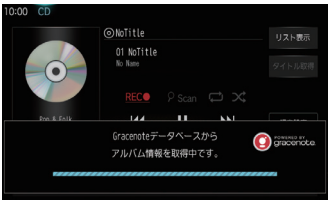
- CD-R に解凍済みのファイルを書き込めば、本機に挿入することで手順 6 以降の操作で Gracenote データベースを更新できます。

■ 手動で取得する

ここでは、音楽CDの再生情報画面からの操作方法を説明します。

1 音楽CDの再生情報画面で タイトル取得 にタップする

▼



タイトル情報の検索を開始します。タイトル情報が取得できた場合、タイトル候補の選択画面を表示します。

2 いずれかにタップする

アルバム名/アーティスト名	タイトル情報が取得できた場合に表示します。タップすることでそのタイトル情報を適用します。
該当なし	タイトル情報なしの状態となります。NoTitleリスト*(P130)*への登録も行いません。
NoTitleリストに登録	MusicFolderのNoTitleリストにこの音楽CDの情報を登録します。後でまとめてタイトル情報を取得できます。 →*「NoTitleリストを管理する」(P130)*
通信で取得	Wi-Fi機器(スマートフォンなど)のデータ通信機能を使ってタイトル情報を取得します。但し、あらかじめWi-Fi機器を本機と接続しておく必要があります。 →*「通信の設定」(P336)*
トラック情報	トラック情報を確認できます。複数のアルバム情報がある場合は、[トラック情報]にタップ後、確認したいアルバム情報にタップしてください。

ディスクの音楽ファイルを聴く

ディスク内の音楽ファイルの聴きかたについて説明します。

本機にディスクを挿入すると、自動的に再生します。→「ディスクを挿入する」(P22)

お知らせ

- 音楽ファイルのディスクを本機に挿入した状態で操作してください。
- 本機で表示できない文字列は記号（細長い四角形）で表示されますが故障ではありません。（特殊文字など）

1 AV メニューを表示する (→P62)

2 DISC にタップする

音楽ファイルの再生情報画面を表示します。

3 ▲ または ▼ にタップしてフォルダーを選ぶ

4 ⏮ または ⏭ にタップして曲を選ぶ

▼

選んだ曲を再生します。

アドバイス

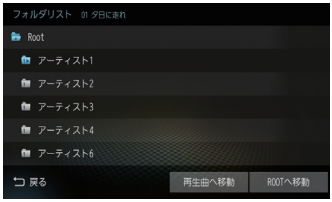
- ⏮ または ⏭ にロングタップ (P24) すると、再生中の曲を早送り、早戻しができます。
- ⏮TRK キーまたは TRK⏭ キーを押すと曲を選び、押し続けると早送り、早戻しができます。

リストを表示する

リストを表示すると、フォルダーの階層を確認しながら曲を探すことができます。
ここでは、音楽ファイルの再生情報画面からの操作方法を説明します。

1 音楽ファイルの再生情報画面で FolderList にタップする

▼



リストを表示します。

2 戻る にタップする

▼

音楽ファイルの再生情報画面に戻ります。

アドバイス

- [ROOT へ移動] にタップすると、ROOT フォルダーへ移動します。

■ 再生情報画面について

① **アルバム名**
タイトル情報にアルバム名があれば表示します。WAV形式の場合はフォルダー名を表示します。

② **ジャケット**
タイトル情報にジャケット写真があれば表示します。※1 ※2

③ ▲ , ▼
フォルダーを選ぶときに使用します。
タップすると、前後のフォルダーへと切り換わり、最初の曲を再生します。

④ **ジャンル**
再生しているトラックのジャンル名を表示します。タイトル情報にジャンル情報があれば表示します。※2

⑤ **シークバー**
シークバーをタップまたはスライドすることで、再生位置を指定できます。

⑥ **AVソースボタン**
各ボタンにタップすると、AVソースが切り換わります。[AV Source] にタップするとAVメニューを表示します。
→「AVメニュー」(P27)

⑦ FolderList
フォルダーリストを表示します。
→「リストについて」(P90)

⑧ **トラック番号/曲名**
タイトル情報に曲名があれば表示します。WAV形式の場合はファイル名を表示します。

⑨ **アーティスト名**
タイトル情報にアーティスト名があれば表示します。※2

⑩ **再生モードボタン**
各ボタンにタップして再生モードを変更します。
→「再生モードを変更する」(P91)

⑪ ⏮ , ⏸ , ▶ , ⏭
ファイルの選択や一時停止、再生が行えます。
⏮ または ⏭ にロングタップ(P24)すると、再生中の曲を早送り、早戻しができます。

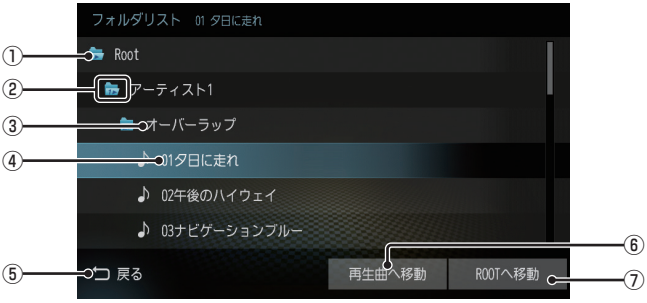
⑫ **再生時間/曲の長さ**

⑬ **チャンネルモード**
タイトル情報にチャンネルモードの情報があれば以下のアイコンを表示します。
Stereo：ステレオ
JointStereo：ジョイントステレオ
DualChannel：デュアルチャンネル
Monaural：モノラル

⑭ **ファイル形式**
再生中の音楽ファイルのファイル形式を表示します。

※1 画像データのサイズが大きいと表示されない場合があります。
※2 WAV形式は対応しておりません。

■ リストについて



① ROOT
階層の最上位を示します。

② **階層番号**
フォルダーの階層位置を示します。

③ **フォルダー名**
タップすると、フォルダーを展開します。

④ **ファイル名**
タップすると、曲の再生を開始します。

⑤ 戻る
音楽ファイルの再生情報画面に戻ります。

⑥ 再生曲へ移動
再生中の曲を先頭にしたリストを表示します。

⑦ ROOTへ移動
ROOTフォルダーへ移動します。

再生モードを変更する

リピート再生、スキャン再生、ランダム再生などが行えます。

1 音楽ファイルの再生情報画面で変更したい“モード”にタップする

▼

選んだモードの再生を開始します。

アドバイス

- 同一の再生モードボタン *(P89)* をタップするたびに、モードが切り換わります。解除するときは、モード解除を示すアイコン *(P91)* になるまでタップしてください。

■ 再生モードについて

Scan（スキャン）	再生中の曲があるフォルダー内のすべての曲が対象で、始めの部分を約10秒間ずつ順番に再生します。
Scan（フォルダスキャン）	ディスク内の全フォルダーの1曲目を約10秒間ずつ順番に再生します。
Scan（スキャン解除）	スキャンを解除します。
（リピート）	再生中の曲を繰り返して再生します。
（フォルダリピート）	再生中の曲があるフォルダーを繰り返して再生します。
（リピート解除）	リピートを解除します。
（ランダム）	再生中の曲があるフォルダー内の曲を順不同に再生します。
ALL（オールランダム）	ディスク内の曲すべてを順不同に再生します。
（ランダム解除）	ランダムを解除します。

DVDビデオを見る

DVDビデオの見かたについて説明します。

注 意

- DVDビデオの映像は安全のため走行中は表示されません。(後席モニターには表示されます)
- DVDビデオをご覧になるときは、安全な場所に停車してください。
- エンジンが停止している状態で使用していると、バッテリーの充電状態によってはエンジンの始動ができなくなることがあります。

お知らせ

- DVDビデオによってはメニューがない場合や場面によって表示できない場合があります。また、DVDビデオ側の規制から早送りやチャプタースキップなどの操作ができない場合があります。そのようなときは、🚫 マークを表示します。
- MPEG2オーディオなどの多チャンネル方式で記録した音声は、本機ではステレオ2chで出力します。
- DVDビデオはディスクによって録音レベルが異なるため、他のメディアからDVDビデオに切り換えると、音量に差が感じられることがあります。

本機にディスクを挿入すると、自動的に再生します。→*「ディスクを挿入する」(P22)*

お知らせ

- DVDビデオを本機に挿入した状態で操作してください。

1 **AVメニューを表示する** *(→P62)*

2 **DISC にタップする**

DVDビデオの再生画面を表示します。

3 **⏮ キーまたは ⏭ キーを押してチャプターを選ぶ**

選んだチャプターの再生を開始します。

アドバイス

- ⏮TRK キーまたは TRK⏭ キーを押し続けることで早送り、早戻しができます。約5秒以上押し続けると、キーから指を離しても早送り、早戻しを継続します。解除するときは、再度 ⏮TRK キーまたは TRK⏭ キーを押します。

DVDビデオの操作画面を表示する

DVDビデオを操作するためのメニューを表示します。

1 画面のいずれかにタップする

▼

操作画面を表示します。

お知らせ

- 本書ではDVDビデオの各モードを区別するために以下のように表記しています。

DVD VIDEO	ビデオモードで記録されたディスク
DVD-VR	VRモードで記録されたディスク

■ 再生中の操作画面

DVD VIDEO の場合

再生中、画面にタップしたときに表示する操作画面について説明します。

① **ソースプレート**

現在選ばれているメディア名およびタイトル番号、チャプター番号、状態アイコン、再生経過時間を表示します。

状態アイコン

▶ ：再生中
❚❚ ：一時停止中
▶▶ ：早送り中
◀◀ ：早戻し中
1/2 ▶ ：スロー再生中

② **サーチ**

タイトル番号やチャプター番号を入力して選ぶことができます。

→「*タイトル番号やチャプター番号を選ぶ*」(*P97*)

③ **切換** ※1

音声の言語 / 種別や字幕情報の選択 (*P98*) や画面表示の切り換え (*P99*)、アングルの切り換え (*P100*) が行えます。

④ **数字入力**

DVDビデオのメニューに番号が設定されていれば、数字入力でメニューを選ぶことができます。

→「*数字入力でメニューを選ぶ*」(*P101*)

⑤ **メニュー**

記録されているタイトルメニューを表示します。

→「*メニューを操作する*」(*P100*)

⑥ **メニュー操作**

メニュー操作パネルを表示します。

⑦ **< TITLE >**

前後のタイトルを選ぶときに使用します。

⑧ **再生**

一時停止、スロー再生の状態を解除して通常の再生に戻ります。

⑨ **一時停止**

映像が表示された状態で停止します。

⑩ **停止**

再生を停止します。停止中は操作画面が変わります。

→「*停止中の操作画面*」(*P96*)

⑪ **スロー**

タップするたびに
[1/2]→[1/8]→[1/32]→[1/2]・・・
と再生速度が変わります。(スロー再生)

⑫ **リターン**

あらかじめDVDビデオ側で決められた特定の範囲を再生します。(リターン再生)

※1　一時停止中は、[音声]、[字幕]、[アングル]の選択ができません。

DVD-VR の場合

① **ソースプレート**
現在選ばれているメディア名およびタイトル番号、タイトル、チャプター番号、音声多重アイコン、状態アイコン、再生経過時間を表示します。

状態アイコン

▶ ：再生中
❚❚ ：一時停止中
▶▶ ：早送り中
◀◀ ：早戻し中
1/2 ▶ ：スロー再生中

② サーチ
タイトル番号やチャプター番号を入力して選ぶことができます。
→「タイトル番号やチャプター番号を選ぶ」(P97)

③ 切換
音声の番号 / 種別や字幕 ON/OFF の選択 (P98) や画面表示の切り換え (P99) が行えます。

④ タイトルリスト
記録されているタイトルリストを表示します。
→「タイトルリストを表示する」(P103)

⑤ 音声多重切換
二ヶ国語放送のような複数の音声が収録されていた場合、タップするたびに [主音声] → [副音声] → [主 / 副] → [主音声] ・・・のように音声を切り換えることができます。
→「音声多重を切り換える」(P102)

⑥ ＜ TITLE ＞
前後のタイトルを選ぶときに使用します。

⑦ 再生
一時停止、スロー再生の状態を解除して通常の再生に戻ります。

⑧ 一時停止
映像が表示された状態で停止します。

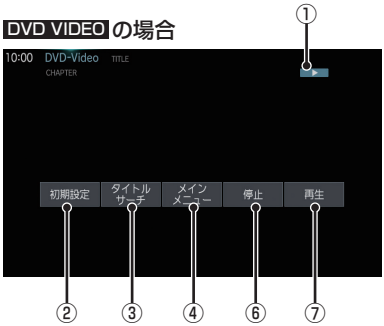
⑨ 停止
再生を停止します。停止中は操作画面が変わります。
→「停止中の操作画面」(P96)

⑩ スロー
タップするたびに
[1/2] → [1/8] → [1/32] → [1/2] ・・・
と再生速度が変わります。(スロー再生)

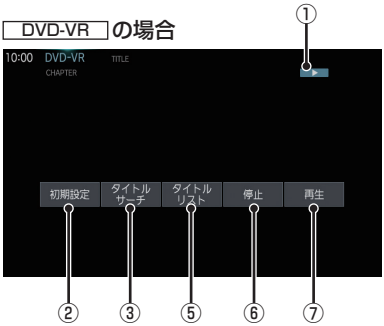
■ 停止中の操作画面

停止中、画面にタップしたときに表示する操作画面について説明します。

DVD VIDEO の場合



DVD-VR の場合



① **状態アイコン**

▶（点滅）：停止中（続き再生可能）

■：停止中（続き再生不可）

② **初期設定**

音声言語や字幕言語などの初期設定を行うことができます。毎回音声や字幕の言語を切り換えなくてもよくなります。

→*「DVDビデオの初期設定」（P326）*

③ **タイトルサーチ**

タイトル番号を入力して選ぶことができます。

→*「タイトル番号やチャプター番号を選ぶ」（P97）*

④ **メインメニュー**

記録されているメインメニューを表示します。

→*「メニューを操作する」（P100）*

⑤ **タイトルリスト**

記録されているタイトルリストを表示します。

→*「タイトルリストを表示する」（P103）*

⑥ **停止**

再生中から停止にしたとき（状態アイコン ▶ が点滅状態）は続き再生ができます。再度［停止］にタップすると状態アイコンが ■ になり続き再生ができなくなります。

⑦ **再生**

状態アイコン ▶ が点滅状態であれば、続き再生ができます。

状態アイコンが ■ であれば、続き再生は行われず最初からの再生となります。

■ 走行中の操作制限について

走行中は操作が制限され、映像は表示されません。

① 再生
一時停止、スロー再生の状態を解除して通常再生に戻ります。

② 一時停止
一時停止します。

③ 停止
再生を停止します。停止中は操作画面が変わります。(→P96)

④ < TITLE >
前後のタイトルを選ぶときに使用します。

DVD VIDEO　DVD-VR

タイトル番号やチャプター番号を選ぶ

タイトル番号やチャプター番号を入力して選ぶことができます。

1 再生中、画面にタップする

2 サーチ にタップする

3 タイトル または チャプター にタップする

4 再生したい“番号”を入力する

→「文字入力のしかた」(P192)

5 決定 にタップする

▼

指定した番号のタイトルまたはチャプターから再生します。

アドバイス

- タイトルの場合は最大で２桁、チャプターの場合は最大３桁まで入力できます。
- 手順４で最大桁数まで入力した場合は、手順５の[決定]は必要ありません。

■ 停止画面からの操作

停止中では、タイトル番号の変更のみ行えます。

1 停止中、画面にタップする

2 タイトルサーチ にタップする

3 再生したい“番号”を入力する

→「文字入力のしかた」(P192)

4 決定 にタップする

▼

指定した番号のタイトルから再生します。

アドバイス

- 手順３で最大桁数の２桁まで入力した場合は、手順４の[決定]は必要ありません。

DVD VIDEO DVD-VR

音声 / 字幕を切り換える

DVD VIDEO では音声の言語 / 種別や字幕情報の選択が行え、DVD-VR では音声の番号 / 種別や字幕 ON/OFF の選択が行えます。

DVD VIDEO の場合、一時停止中は[音声]、[字幕]の選択ができません。

1 再生中、画面にタップする

2 切換 にタップする

3 音声 または 字幕 にタップする

音声または字幕の切換メニューを表示します。

4 音声 または 字幕 にタップする

▼

タップするたびに、音声または字幕が切り換わります。

アドバイス

- 変更中には音声情報または字幕情報がソースプレートに表示されます。

DVD VIDEO　DVD-VR

画面表示を切り換える

DVDビデオでは３種類のモードが用意されており、表示方法を切り換えることができます。

1 再生中、画面にタップする

2 切換 にタップする

3 ワイド にタップする

モードの切換メニューを表示します。

4 いずれかの“モード”にタップする

▼

画面表示のモードが切り換わります。

お知らせ

- 営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、本機の表示モード切り換え機能を利用すると（フル、ズームなどで画面の圧縮や引き伸ばしなどを行う）、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害するおそれがあります。

■ 表示モードについて

ノーマル	表示映像のアスペクト比は４:３です。ディスプレイの上下にフィットするように表示します。 左右に黒い帯が入ります。
フル	映像を縦横ともに、ディスプレイのサイズにフィットするよう拡大、縮小して表示します。 入力映像のアスペクト比は保たれません。
ズーム	表示映像のアスペクト比は４:３です。ノーマルの映像から黒い帯がなくなるように拡大、縮小して表示します。 映像の上下が切れて表示されます。

DVD VIDEO

アングルを切り換える

複数のアングルが収録されたDVDビデオであればアングルを切り換えることができます。一時停止中は、[アングル]の選択ができません。

1 再生中、画面にタップする

2 切換 にタップする

3 アングル にタップする

アングルの切換メニューを表示します。

4 アングル にタップする

▼

タップするたびに、アングルが切り換わります。

アドバイス

- 変更中にはアングル番号がソースプレートに表示されます。

DVD VIDEO

メニューを操作する

タイトルメニューやメインメニューを表示し、各メニューの選択および決定が行えます。

■ タイトルメニューの場合

1 再生中、画面にタップする

2 メニュー にタップする

タイトルメニューを表示します。
直接、画面のメニューボタンにタップして選択または決定を行います。
メニュー操作パネルで操作したい場合は、手順３へ進みます。

アドバイス

- PsideP *(P197)* を表示しているときは、メニューボタンを直接タップできません。

3 ボタンON にタップする

メニュー操作パネルを表示します。

4 カーソルボタンにタップしてメニューを選ぶ

5 決定 にタップする

▼

選択したメニューの再生を開始します。

アドバイス

- メニュー操作パネルは、DVDのコンテンツの構成によって直接タップするのが困難な場合に便利です。
- メニュー操作パネルで[戻る]にタップすると映像はタイトルメニューのまま操作画面を表示します。
- [左へ移動]または[右へ移動]にタップすると、メニュー操作パネルを移動させることができます。

■ メインメニューの場合

1 停止中、画面にタップする

2 メインメニュー にタップする

メインメニューを表示します。
直接、画面のメニューボタンにタップして選択または決定を行います。
メニュー操作パネルで操作したい場合は、手順３へ進みます。

アドバイス

- PsideP *(P197)* を表示しているときは、メニューボタンを直接タップできません。

3 ボタンON にタップする

メニュー操作パネルを表示します。

4 カーソルボタンにタップしてメニューを選ぶ

5 決定 にタップする

▼

選択したメニューの再生を開始します。

アドバイス

- メニュー操作パネルは、DVDのコンテンツの構成によって直接タップするのが困難な場合に便利です。
- メニュー操作パネルで［戻る］にタップすると映像はタイトルメニューのまま操作画面を表示します。
- ［左へ移動］または［右へ移動］にタップすると、メニュー操作パネルを移動させることができます。

DVD VIDEO

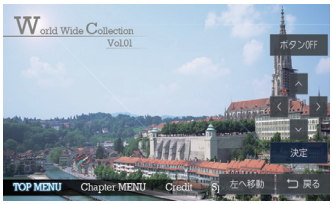
数字入力でメニューを選ぶ

DVDビデオのメニューに番号が設定されていれば、数字入力でメニューを選ぶことができます。

1 メニューを表示する

→「メニューを操作する」(P100)

2 戻る にタップする



▼

操作画面を表示します。

3 数字入力 にタップする

4 再生したい“メニュー番号”を入力する

→「文字入力のしかた」(P192)

5 決定 にタップする

▼

指定したメニュー番号の項目を再生します。

DVD-VR

静止画を送る

静止画表示中に、次の静止画を表示できます。

1 静止画表示中、画面にタップする

2 次の静止画 にタップする

▼

タップするたびに、次の静止画の表示に切り換わります。

DVD-VR

音声多重を切り換える

二ヶ国語放送のような複数の音声が収録されていた場合、音声を切り換えることができます。

1 再生中、画面にタップする

2 音声多重切換 にタップする

▼

タップするたびに、[主音声]→[副音声]→[主/副]→[主音声]・・・と切り換わります。

DVD-VR

タイトルリストを表示する

1 再生中または停止中、画面にタップする

2 タイトルリスト にタップする

タイトルリストを表示します。

3 オリジナル または プレイリスト にタップする

4 再生したい“メニュー”にタップする

▼

選んだメニューの再生を開始します。

SDカードについて

お知らせ

- SDカードの種類によっては、ご利用になれない場合やご利用いただける機能に制限がある場合があります。
- 本機でフォーマットしたSDカードをご使用ください。→*「メモリ初期化」(P353)*
- SDカードの容量は設計上最大2TBまでサポートしております。SDカードのスピードクラスはClass10以上、容量は128GBまでを推奨いたします。なお、すべてのSDカードに対して動作を保証するものではありません。
- 音楽ファイルや動画ファイルが記録されたSDカードを本機のSDカードスロットに挿入した状態で操作してください。
- 本機で表示できない文字列は記号（細長い四角形）で表示されますが故障ではありません。（特殊文字など）

注意

- データ破損のおそれがあるためファイルのバックアップをおすすめします。
- SDカードの破損、記録されたデータの消失または破損に対する一切の保証はいたしかねます。

SDカードの曲を聴く

音楽ファイルが記録されたSDカードを本機で再生できます。

1 AVメニューを表示する *(→P62)*

2 SD/MusicFolder にタップする

前回の再生情報画面を表示します。
音楽ファイルのみ記録されたSDカードを挿入していた場合は、手順4へ進みます。

3 SDMusic にタップする

音楽ファイルの再生情報画面を表示します。

4 ▲ または ▼ にタップしてフォルダーを選ぶ

5 ⏮ または ⏭ にタップして曲を選ぶ

▼

選んだ曲を再生します。

アドバイス

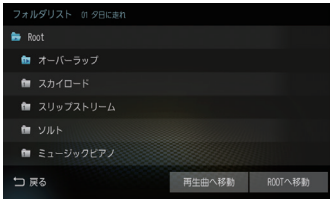
- ⏮ または ⏭ にロングタップ *(P24)* すると、再生中の曲を早送り、早戻しができます。
- ⏮TRK キーまたは TRK⏭ キーを押すと曲を選び、押し続けると早送り、早戻しができます。

リストを表示する

CategorySearchモード *(P108)* がOFFのとき、フォルダーの階層を確認しながら曲を探すことができます。
ここでは、SDカードの再生情報画面からの操作方法を説明します。

1 SDカードの再生情報画面で FolderList にタップする

▼



リストを表示します。

2 戻る にタップする

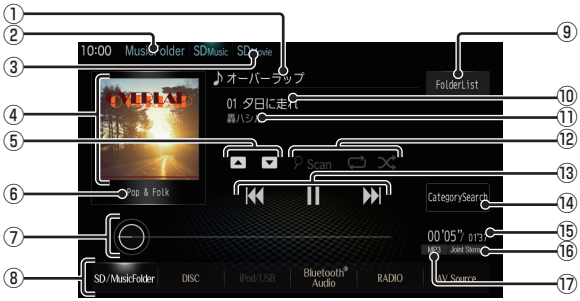
▼

SDカードの再生情報画面に戻ります。

アドバイス

- [ROOTへ移動] にタップすると、ROOTフォルダーへ移動します。
- CategorySearchモードがONのとき、[FolderList] ボタンは非表示になります。[CategorySearch] にタップしてCategorySearchモードをOFFにしてください。
  このとき、再生モード *(P108)* を設定している場合は、再生モードは解除されます。

■ 再生情報画面について



① **アルバム名**
タイトル情報にアルバム名があれば表示します。WAV形式の場合はフォルダー名を表示します。

② MusicFolder
再生情報画面をMusicFolderに切り換え、MusicFolderの再生を開始します。
→「MusicFolderを聴く」(P117)

③ SDMovie
SDカードの動画再生画面に切り換え、再生を開始します。
→「SDカードの動画を見る」(P110)

④ **ジャケット**
タイトル情報にジャケット写真があれば表示します。※1 ※2

⑤ ▲ , ▼
フォルダーを選ぶときに使用します。
タップすると、前後のフォルダーへと切り換わり、最初の曲を再生します。

⑥ **ジャンル**
再生しているトラックのジャンル名を表示します。タイトル情報にジャンル情報があれば表示します。※2

⑦ **シークバー**
シークバーをタップまたはスライドすることで、再生位置を指定できます。

⑧ **AVソースボタン**
各ボタンにタップすると、AVソースが切り換わります。[AV Source]にタップするとAVメニューを表示します。
→「AVメニュー」(P27)

⑨ FolderList
フォルダーリストを表示します。
→「リストについて」(P107)

⑩ **トラック番号/曲名**
タイトル情報に曲名があれば表示します。WAV形式の場合はファイル名を表示します。

⑪ **アーティスト名**
タイトル情報にアーティスト名があれば表示します。※2

⑫ **再生モードボタン**
各ボタンにタップして再生モードを変更します。
→「再生モードを変更する」(P108)

⑬ ⏮ , ⏸ , ▶ , ⏭
ファイルの選択や一時停止、再生が行えます。
⏮ または ⏭ にロングタップ(P24)すると、再生中の曲を早送り、早戻しができます。

⑭ CategorySearch
CategorySearchモードをON/OFFに切り換えます。
→「カテゴリーから探す」(P109)

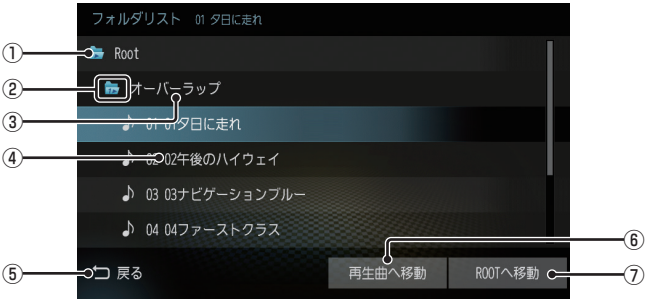
⑮ **再生時間/曲の長さ**

⑯ **チャンネルモード**
タイトル情報にチャンネルモードの情報があれば以下のアイコンを表示します。
Stereo ：ステレオ
JointStereo ：ジョイントステレオ
DualChannel ：デュアルチャンネル
Monaural ：モノラル

⑰ **ファイル形式**
再生中の音楽ファイルのファイル形式を表示します。

※1 画像データのサイズが大きいと表示されない場合があります。
※2 WAV形式は対応しておりません。

■ リストについて



① **ROOT**
階層の最上位を示します。

② **階層番号**
フォルダーの階層位置を示します。

③ **フォルダー名**
タップすると、フォルダーを展開します。

④ **ファイル名**
タップすると、曲の再生を開始します。

⑤ 戻る
SD カードの再生情報画面に戻ります。

⑥ 再生曲へ移動
再生中の曲を先頭にしたリストを表示します。

⑦ ROOT へ移動
ROOT フォルダーへ移動します。

再生モードを変更する

リピート再生、スキャン再生、ランダム再生などが行えます。

1 SDカードの再生情報画面で変更したい“モード”にタップする

▼

選んだモードの再生を開始します。

アドバイス

- 同一の再生モードボタン*(P106)*をタップするたびに、モードが切り換わります。解除するときは、モード解除を示すアイコン*(P108)*になるまでタップしてください。

■ 再生モードについて

CategorySearchモードOFFのとき

Scan（スキャン）	再生中の曲があるフォルダー内のすべての曲が対象で、始めの部分を約10秒間ずつ順番に再生します。
Scan（フォルダスキャン）	SDカード内の全フォルダーの1曲目を約10秒間ずつ順番に再生します。
Scan（スキャン解除）	スキャンを解除します。
（リピート）	再生中の曲を繰り返して再生します。
（フォルダリピート）	再生中の曲があるフォルダーを繰り返して再生します。
（リピート解除）	リピートを解除します。
（ランダム）	再生中の曲があるフォルダー内の曲を順不同に再生します。
ALL（オールランダム）	SDカード内の曲すべてを順不同に再生します。
（ランダム解除）	ランダムを解除します。

CategorySearchモードONのとき

（リピート）	再生中の曲を繰り返して再生します。
（リピート解除）	リピートを解除します。
（ランダム）	再生中の曲があるカテゴリーで絞り込んだリスト内の曲を順不同に再生します。
（アルバムランダム）	再生中の曲があるカテゴリーで絞り込んだリスト内のすべてのアルバムを順不同に再生します。アルバム内の曲順は変わりません。
（ランダム解除）	ランダムを解除します。

アドバイス

- CategorySearchモードONのときは、リピート再生中にランダムやアルバムランダム再生を行ってもリピート再生は継続します。
- ランダム、アルバムランダム再生を行うと、リストも並び替わります。

カテゴリーから探す

カテゴリー別にリストを表示して曲を探すことができます。
ここでは、SDカードの再生情報画面（CategorySearchモードOFF時）からの操作方法を説明します。

1 SDカードの再生情報画面で CategorySearch にタップする

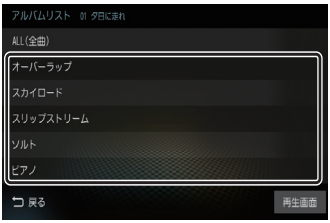
CategorySearchモードをONにします。

アドバイス

- CategorySearchモードをONにすると、カテゴリーをトラックリストにしたときの先頭曲から再生を開始します。
- 再生モード*(P108)*を設定している場合は、再生モードは解除されます。

2 いずれかの“カテゴリー”にタップする

3 リストから再生したい“項目”にタップする



▼

選んだ項目内のリストを表示します。手順3の操作を繰り返し、曲（トラック）を探します。リストから再生したい曲（トラック）にタップすると、再生を開始します。

アドバイス

- 手順2で選んだカテゴリーによって、手順3で操作する項目の階層が変わります。
- 表示するリストには、ファイルに記録されているタイトル情報を表示します。

■ 再生情報の画面を表示する

リスト表示しているとき、現在再生している再生情報画面を表示できます。

1 リスト表示画面で 再生画面 にタップする

▼

SDカードの動画を見る

動画ファイルが記録されたSDカードを本機で再生できます。

1 **AVメニューを表示する**
(→P62)

2 **SD/MusicFolder にタップする**

前回の再生情報画面を表示します。
動画ファイルのみ記録されたSDカードを挿入していた場合は、手順4へ進みます。

3 **SDMovie にタップする**

動画ファイルの再生画面を表示します。

4 **⏮ キーまたは ⏭ キーを押して再生する動画を選ぶ**

選んだ動画の再生を開始します。

アドバイス

- ⏮TRK キーまたは TRK⏭ キーを押し続けることで早送り、早戻しができます。約5秒以上押し続けると、キーから指を離しても早送り、早戻しを継続します。解除するときは、再度 ⏮TRK キーまたは TRK⏭ キーを押します。

お知らせ

- MusicFolderへの録音中はSDカードの動画を見ることができません。

リストを表示する

フォルダーの階層を確認しながら動画を探すことができます。
ここでは、動画ファイルの再生画面からの操作方法を説明します。

1 **再生中、画面にタップする**

操作画面を表示します。

2 **FolderList にタップする**

▼

リストを表示します。
詳しくは、*「リストについて」(P107)* を参考にご覧ください。

3 **戻る にタップする**

▼

動画ファイルの操作画面に戻ります。

表示内容について

再生中、画面にタップしたときに表示する操作画面について説明します。

① **ソースプレート**
現在の状態を表示します。詳しくは、*「ソースプレートについて」(P112)*をご覧ください。

② 表示モード
画面表示を切り換えます。
→*「画面表示を切り換える」(P114)*

③ FolderList
フォルダーリストを表示します。
→*「リストについて」(P107)*

④ SDMusic
再生情報画面をSDカードの音楽ファイルに切り換え、再生を開始します。
→*「SDカードの曲を聴く」(P105)*

⑤ MusicFolder
MusicFolderの再生情報画面*(P118)*を表示します。

⑥ **シークバー**
シークバーをタップまたはスライドすることで、再生位置を指定できます。

⑦ 再生
一時停止、スロー再生の状態を解除して通常の再生に戻ります。

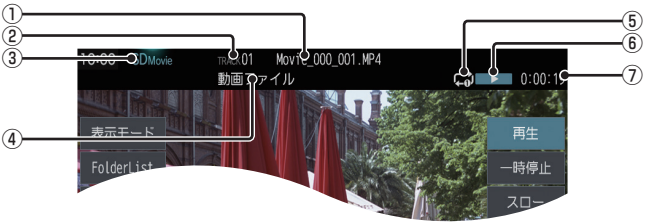
⑧ 一時停止
映像が表示された状態で停止します。

⑨ スロー
タップするたびに
[1/2]→[1/8]→[1/32]→[1/2]・・・
と再生速度が変わります。(スロー再生)

⑩ < Folder >
前後のフォルダーを選ぶときに使用します。選んだフォルダーの先頭ファイルの再生を開始します。

⑪ **再生モードボタン**
各ボタンにタップして再生モードを変更します。
→*「再生モードを変更する」(P113)*

■ ソースプレートについて



① **トラック名**
再生している動画のトラック名を表示します。

② **トラック番号**
再生している動画のトラック番号を表示します。

③ **ソース名**

④ **フォルダー名**
再生している動画ファイルのフォルダー名を表示します。

⑤ **再生モード**
現在の再生モードをアイコンで表示します。
→*「再生モードを変更する」(P113)*

⑥ **状態アイコン**
再生の状態をアイコンで表示します。

- ▶ ：再生中
- ❚❚ ：一時停止中
- ▶▶ ：早送り中
- ◀◀ ：早戻し中
- 1/2 ▶ ：スロー再生中

⑦ **再生時間**

再生モードを変更する

1 **再生中、画面にタップする**

操作画面を表示します。

2 **変更したい“モード”にタップする**

▼

選んだモードの再生を開始します。

アドバイス

- 同一の再生モードボタン*(P111)*をタップするたびに、モードが切り換わります。解除するときは、モード解除を示すアイコン*(P113)*になるまでタップしてください。

■ 再生モードについて

Scan（スキャン）	再生中の動画があるフォルダー内のすべての動画が対象で、始めの部分を約10秒間ずつ順番に再生します。
Scan（フォルダスキャン）	SDカード内の全フォルダーの1つ目を約10秒間ずつ順番に再生します。
Scan（スキャン解除）	スキャンを解除します。
（リピート）	再生中の動画を繰り返して再生します。
（フォルダリピート）	再生中の動画があるフォルダーを繰り返して再生します。
（リピート解除）	リピートを解除します。
（ランダム）	再生中の動画があるフォルダー内の動画を順不同に再生します。
ALL（オールランダム）	SDカード内の動画すべてを順不同に再生します。
（ランダム解除）	ランダムを解除します。

アドバイス

- リピート再生中にランダム再生を行うと、リピート再生が解除されます。
- ランダム再生を行うと、リストも並び替わります。

画面表示を切り換える

動画ファイルでは３種類のモードが用意されており、表示方法を切り換えることができます。

1 再生中、画面にタップする

操作画面を表示します。

2 表示モード にタップする

モードの切換メニューを表示します。

3 いずれかの“モード”にタップする

▼

画面表示のモードが切り換わります。

お知らせ

- 営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、本機の表示モード切り換え機能を利用すると（モード２、モード３などで画面の圧縮や引き伸ばしなどを行う）、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害するおそれがあります。

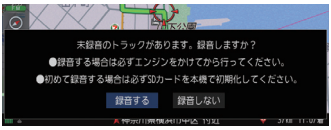
■ 表示モードについて

モード１	入力映像のアスペクト比を保ったまま、映像の全体がディスプレイに収まるように拡大、縮小して表示します。上下または左右に黒い帯が入ります。
モード２	映像を縦横ともに、ディスプレイのサイズにフィットするよう拡大、縮小して表示します。入力映像のアスペクト比は保たれません。
モード３	入力映像のアスペクト比を保ったまま、ノーマル映像から黒い帯がなくなるように拡大、縮小して表示します。映像の上下または左右の映像が切れて表示されます。

MusicFolderに録音する

MusicFolderへの録音について

本機は、挿入した音楽CDの曲を約４倍速でSDカードに録音できます。工場出荷時の設定であれば、本機に音楽CDを挿入後、[録音する]にタップすることで音楽CD内の曲をすべてMusicFolderに録音します。

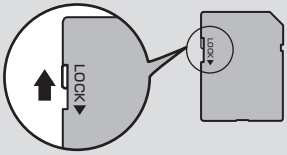


注 意

- 録音したものを個人で楽しむ以外の目的で使用することは、著作権法上禁止されています。
- CPRM（著作権保護技術）が実装されたSDカードを使用してください。CPRM非対応のSDカードには録音できません。
- 市販されているSDカードを使用するには、あらかじめ*「メモリ初期化」（P353）*の[SDカードの初期化]で初期化しておく必要があります。
- MusicFolderに録音できるのは音楽CD（CD-DA）からのみです。MP3/WMA/AAC/WAV/FLACなどの音楽ファイルが記録されたディスクやその他のメディア（SDカードやUSBメモリーなど）からの録音はできません。
- DTS-CDの曲が一緒に収録されている音楽CD（CD-DA）を録音すると、DTS-CDの曲も録音されます。録音されたDTS-CDの曲を再生するとノイズが再生されますのでDTS-CDの曲は録音しないでください。
- 録音はエンジンがかかっている状態のときに行ってください。録音中にエンジンをかけると正しく録音できない場合があります。また、SDカードが破損する可能性があります。

お知らせ

- 読み書き可能なSDカードを本機のSDカードスロットに挿入した状態で操作してください。（SDカードのLockは解除しておいてください。）



- SDカードの容量は設計上最大2TBまでサポートしております。SDカードのスピードクラスはClass10以上、容量は128GBまでを推奨いたします。なお、すべてのSDカードに対して動作を保証するものではありません。
- SDカードによっては、正常に録音できない場合があります。
- Class10未満の場合は、充分な録音速度が出ないため正常に録音できない場合があります。
- 録音中に追いかけ再生またはMusicFolderの曲を再生したとき、SDカードによっては再生音が一瞬途切れることがあります。再生音が途切れても録音は正常にされています。
- １枚のSDカードに最大CD99枚まで録音できます。
- 録音ビットレートは高速録音、高音質録音ともに128kbpsです。
- 録音したものは原音とは音質が異なる場合やノイズが混入する可能性があります。
- MusicFolderに録音した曲を別のメディア（CD-R/RW、ハードディスク、USBメモリー、SDカードなど）には複製/移動できません。
- すでに録音した曲は同じ音楽CDから重複して録音できません。
- 録音中は本機の操作に時間がかかることがあります。
- 高音質録音は高速録音より処理負荷がかかるため、録音に時間がかかります。

次のページにつづく

お知らせ

- 追いかけ再生準備のため、録音開始直後は再生に時間がかかることがあります。別のオーディオソースをお楽しみいただくことをおすすめいたします。
- 録音状況により再生を一時停止することがあります。(録音は継続します。)
  再生が一時停止すると、しばらく無音状態となりますので、別のオーディオソースをお楽しみいただくことをおおすすめいたします。
- 読み込みエラーがあった場合は、次の曲に進み録音を開始します。
- 曲と曲の間にブランクがない場合は、曲間に無音が録音されます。
- SCMS(孫コピー防止技術)の働きにより、音楽CDをデジタル録音したディスクからMusicFolderへは録音できません。
- 録音中はSDカードの動画を見ることができません。
- 最大999曲まで録音が可能です。
- AACファイルで録音されます。

録音を開始/停止する

ここでは、音楽CDの再生情報画面からの操作方法を説明します。

→「音楽CDを聴く」(P82)

アドバイス

- 録音方法を変更できます。
  →「音楽CDの録音方法を変更する」(P324)
- 録音設定が「シングル録音」だった場合、1曲目以外は録音できません。

1 録音したい曲を再生する

2 音楽CDの再生情報画面で REC● にタップする

3 開始する にタップする

▼

選んだ曲の録音を開始し、追いかけ再生を行います。

4 録音を停止するときは、REC■ にタップする

▼

録音を停止します。

MusicFolderを聴く

MusicFolderとは、SDカードに音楽CDの曲を録音し、再生する機能です。

注 意

- SDカードの破損、記録されたデータの消失または破損に対する一切の保証はいたしかねます。

お知らせ

- 本製品を譲渡するときなどは著作権法上、音楽録音したSDカードを必ず抜き取り譲渡対象外としてください。
→「メモリ初期化」(P353)
- SDカードの種類によっては、ご利用になれない場合やご利用いただける機能に制限がある場合があります。
- 本機で表示できない文字列は記号(細長い四角形)で表示されますが故障ではありません。(特殊文字など)

1 AVメニューを表示する
(→P62)

2 SD/MusicFolder にタップする

前回の再生情報画面を表示します。
MusicFolderのみ記録されたSDカードを挿入していた場合は、手順4へ進みます。

3 MusicFolder にタップする

MusicFolderの再生情報画面を表示します。

4 ⏮ または ⏭ にタップして曲を選ぶ

▼

選んだ曲を再生します。

アドバイス

- ⏮ または ⏭ にロングタップ(P24)すると、再生中の曲を早送り、早戻しができます。
- ⏮TRK キーまたは TRK⏭ キーを押すと曲を選び、押し続けると早送り、早戻しができます。
- プレイリスト内の曲を再生している場合は、▲ または ▼ にタップすると、前後のプレイリストへと切り換わり、最初の曲を再生します。

■ SD-Audioについて

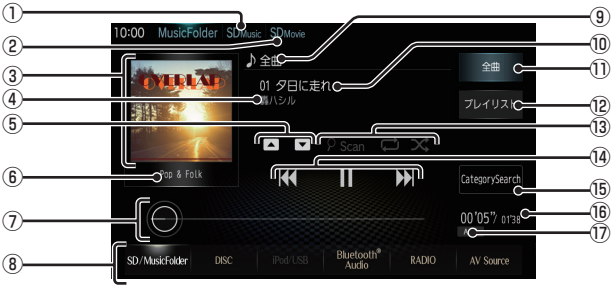
本機のMusicFolderはSD-Audio規格に対応しています。
ご家庭のパソコンなどでSD-Audio規格で録音した音楽ファイルのSDカードを本機のSDカードスロットに挿入することで、MusicFolderとして再生できます。
SD-Audio規格は、著作権保護のため暗号化をしています。そのため暗号を解除できない音楽ファイルは再生できません。(音楽ファイルだけをそのままSDカードにコピーした場合など)

他の機器で録音したプレイリストの情報について

他の機器で録音したプレイリストの情報を本機で編集すると、以下のようになります。

- プレイリスト名/トラック名/アルバム名/アーティスト名/ジャンル名以外の情報は消去されます。
- 各名称の31文字以降はカットされます。
- 規定外の文字コードで入力されている文字は“□”で表示されます。

■ 再生情報画面について



① SDMusic
再生情報画面をSDカードの音楽ファイルに切り換え、再生を開始します。
→「SDカードの曲を聴く」(P105)

② SDMovie
SDカードの動画再生画面に切り換え、再生を開始します。

③ **ジャケット**
タイトル情報にジャケット写真があれば表示します。※1

④ **アーティスト名**
タイトル情報があればアーティスト名を表示します。タイトル情報がなければ「No Name」と表示します。

⑤ ▲, ▼
プレイリストを選ぶときに使用します。(プレイリスト内の曲を再生しているときに選択できます。)
タップすると、前後のプレイリストへと切り換わり、最初の曲を再生します。

⑥ **ジャンル**
再生しているトラックのジャンル名を表示します。タイトル情報にジャンル情報があれば表示します。

⑦ **シークバー**
シークバーをタップまたはスライドすることで、再生位置を指定できます。

⑧ **AVソースボタン**
各ボタンにタップすると、AVソースが切り換わります。[AV Source]にタップするとAVメニューを表示します。
→「AVメニュー」(P27)

⑨ **全曲/プレイリスト名**
全曲再生の場合は、「全曲」と表示します。プレイリスト内の曲を再生している場合は、再生中のプレイリスト名を表示します。

⑩ **トラック番号/曲名**
タイトル情報があれば曲名を表示します。タイトル情報がなければ「No Title」と表示します。録音中であれば、「Now Recording」と表示します。

⑪ 全曲
全曲のトラックリストを表示します。
→「トラックリストについて」(P120)

⑫ プレイリスト
プレイリスト選択画面を表示します。
→「プレイリスト選択画面」(P119)

⑬ **再生モードボタン**
各ボタンにタップして再生モードを変更します。
→「再生モードを変更する」(P126)

⑭ ⏮, ⏸, ▶, ⏭
トラックの選択や一時停止、再生が行えます。
⏮ または ⏭ にロングタップ(P24)すると、再生中の曲を早送り、早戻しができます。

⑮ CategorySearch
CategorySearchモードをON/OFFに切り換えます。
→「カテゴリーから探す」(P128)

⑯ **再生時間/曲の長さ**

⑰ **ファイル形式**
再生中の音楽ファイルのファイル形式を表示します。

※1 画像データのサイズが大きいと表示されない場合があります。

■ プレイリスト選択画面

① **プレイリスト名**
タップすると、そのプレイリスト内のトラックリストを表示します。
→「トラックリストについて」(P120)

② 戻る
MusicFolderの再生情報画面(P118)に戻ります。

③ No Titleリスト
取得できなかったアルバムのタイトル情報をさまざまな方法で取得できます。
→「タイトル情報を取得する」(P129)

④ ∧ PLAYLIST ∨
プレイリストを選ぶときに使用します。
タップすると、前後のプレイリストへと切り換わり、最初の曲を再生します。

⑤ 編集・消去
プレイリストの編集(P121)または消去(P122)が行えます。

⑥ 再生順変更
プレイリストの再生順序を変更できます。
→「プレイリストの再生順序を変更する」(P123)

■ トラックリストについて

① **全曲 / プレイリスト名**
全曲再生の場合は、「全曲」と表示します。プレイリスト内の曲を再生している場合は、再生中のプレイリスト名を表示します。

② **トラック番号 / 曲名**
タイトル情報があれば曲名を表示します。タイトル情報がなければ「No Title」と表示します。録音中であれば、「Now Recording」と表示します。
タップすると、選択した曲の再生を開始します。

③ **No Titleリスト**
取得できなかったアルバムのタイトル情報をさまざまな方法で取得できます。
→*「タイトル情報を取得する」(P129)*

④ **戻る**
全曲再生の場合は、再生情報画面 *(P118)* を表示し、プレイリスト内の曲を再生している場合は、プレイリスト選択画面 *(P119)* を表示します。

⑤ **再生画面**
MusicFolderの再生情報画面 *(P118)* に戻ります。

⑥ **∧ PLAYLIST ∨**
プレイリストを選ぶときに使用します。
タップすると、前後のプレイリストへと切り換わり、最初の曲を再生します。

⑦ **編集・消去**
トラックの編集 *(P124)* または消去 *(P125)* が行えます。

⑧ **再生順変更**
トラックの再生順序を変更できます。
→*「トラックの再生順序を変更する」(P126)*

プレイリスト選択画面を表示する

MusicFolderに音楽CDの曲を録音すると、自動的にアルバムごとのプレイリストが作成されます。このプレイリストをアルバムごとに選択できます。
ここでは、MusicFolderの再生情報画面からの操作方法を説明します。

お知らせ

- MusicFolderに1曲も録音されていない場合は、以下の操作ができません。

1 MusicFolderの再生情報画面で、プレイリスト にタップする

▼

プレイリスト選択画面を表示します。
各プレイリストにタップすると、そのプレイリストのトラックリストを表示します。

2 戻る にタップする

▼

MusicFolderの再生情報画面に戻ります。

アドバイス

- CategorySearchモードがONのとき、[プレイリスト]ボタンは非表示になります。[CategorySearch]にタップしてCategorySearchモードをOFFにしてください。
このとき、再生モード*(P127)*を設定している場合は、再生モードは解除されます。

プレイリストを編集する

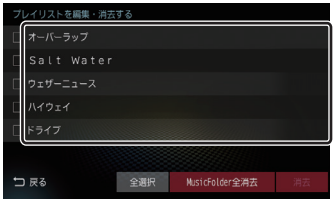
プレイリストのタイトルや再生順序の変更、消去が行えます。

■ プレイリストのタイトルを変更する

ここでは、プレイリスト選択画面からの操作方法を説明します。
→*「プレイリスト選択画面を表示する」(P121)*

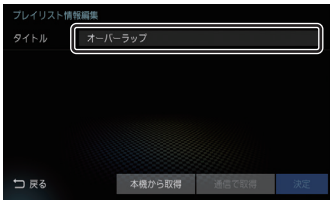
1 編集・消去 にタップする

2 タイトルを変更したい“プレイリスト”にタップする



プレイリストの情報編集画面を表示します。

3 “タイトル”にタップする



アドバイス

- [本機から取得]または[通信で取得]にタップすると、選択しているプレイリストのタイトル情報を取得できます。
→*「タイトル情報を取得する」(P129)*

次のページにつづく

4 変更したい“タイトル”を入力し、入力完了 にタップする

→「文字入力のしかた」(P192)

▼

プレイリストの情報編集画面に戻ります。

5 決定 にタップする

▼

選択したプレイリストのタイトル変更が完了します。

■ プレイリストを消去する

ここでは、プレイリスト選択画面からの操作方法を説明します。

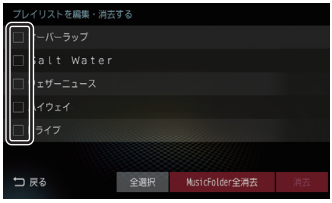
→「プレイリスト選択画面を表示する」(P121)

アドバイス

- 録音中にこの操作は行えません。

1 編集・消去 にタップする

2 消去したいプレイリストの“チェックボックス”にタップし、選択する



アドバイス

- [全選択]にタップすると、すべてのプレイリストを選択できます。
- [全解除]にタップすると、選択状態をすべて解除できます。

3 消去 にタップする

4 消去する にタップする

▼

選択したすべてのプレイリストの消去が完了します。

■ プレイリストの再生順序を変更する

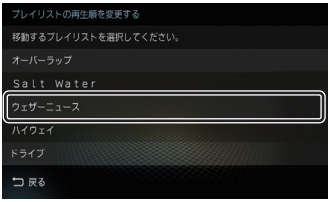
MusicFolder内のプレイリストは録音順に格納され、通常その順序で再生されます。本機能は、プレイリストの再生順序を変更できます。ここでは、プレイリスト選択画面からの操作方法を説明します。

→「プレイリスト選択画面を表示する」(P121)

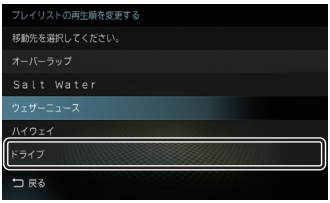
1 再生順変更 にタップする

再生順序を変更する画面を表示します。

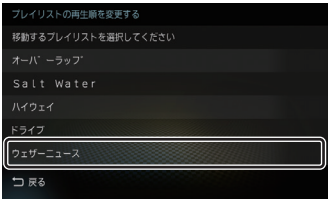
2 再生順序を変更したい“プレイリスト”にタップする



3 移動先の“プレイリスト”にタップする



▼



再生順序の変更が完了します。

アドバイス

- 手順3でプレイリストを直接タップすることでタップしたトラックの位置に移動します。

トラックリストを表示する

お知らせ

- MusicFolderに1曲も録音されていない場合は、以下の操作ができません。

■ 全曲再生のトラックリストを表示する

MusicFolder内に録音されたすべてのトラックリストを表示します。

ここでは、MusicFolderの再生情報画面からの操作方法を説明します。

1 MusicFolderの再生情報画面で、全曲 にタップする

全曲のトラックリストを表示します。

各トラックにタップすると、そのトラックの再生を開始します。

2 戻る にタップする

▼

MusicFolderの再生情報画面に戻ります。

アドバイス

- CategorySearchモードがONのとき、[全曲]ボタンは非表示になります。[CategorySearch]にタップしてCategorySearchモードをOFFにしてください。
  このとき、再生モード(P127)を設定している場合は、再生モードは解除されます。

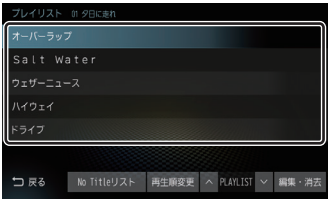
■ プレイリスト内のトラックリストを表示する

アルバムごとに管理されたプレイリストを選択し、そのトラックリストを表示します。

1 MusicFolderの再生情報画面で、プレイリスト にタップする

プレイリスト選択画面を表示します。

2 再生したい“プレイリスト”にタップする



▼

選択したプレイリストのトラックリストを表示します。
各トラックにタップすると、そのトラックの再生を開始します。

3 戻る にタップする

▼

プレイリスト選択画面に戻ります。

トラックを編集する

トラックの情報や再生順序の変更、消去が行えます。

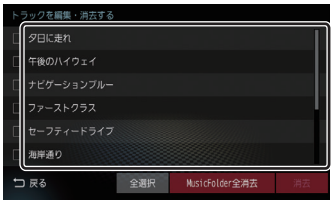
■ トラックの情報を編集する

トラックのタイトルやアルバム名などの情報を変更できます。ここでは、トラックリストからの操作方法を説明します。

→「トラックリストを表示する」(P123)

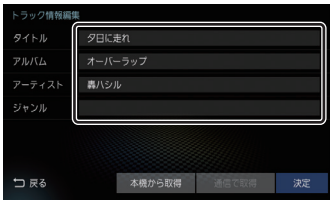
1 編集・消去 にタップする

2 タイトルを変更したい“トラック”にタップする

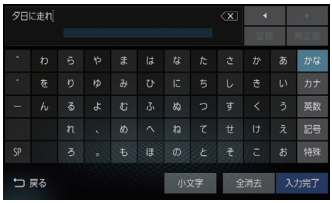


トラックの情報編集画面を表示します。

3 変更したいいずれかの“入力ボックス”にタップし、入力する



4 入力完了 にタップする



→「文字入力のしかた」(P192)

アドバイス

- [本機から取得]または[通信で取得]にタップすると、選択しているトラックのタイトル情報を取得できます。
  →「タイトル情報を取得する」(P129)

5 決定 にタップする

▼

選択したトラック情報の変更が完了します。

■ トラックを消去する

ここでは、トラックリストからの操作方法を説明します。

→「トラックリストを表示する」(P123)

1 編集・消去 にタップする

2 消去したいトラックの“チェックボックス”にタップし、選択する

アドバイス

- [全選択]にタップすると、すべてのトラックを選択できます。
- [全解除]にタップすると、選択状態をすべて解除できます。

3 消去 にタップする

4 消去する にタップする

▼

選択したすべてのトラックの消去が完了します。

■ トラックの再生順序を変更する

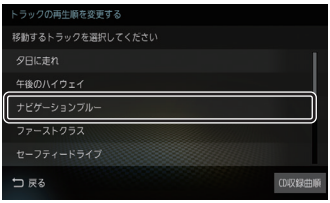
ここでは、トラックリストからの操作方法を説明します。

→「トラックリストを表示する」(P123)

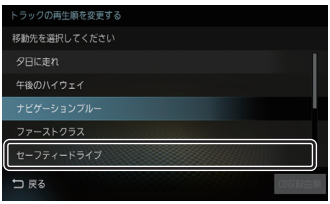
1 再生順変更 にタップする

再生順序を変更する画面を表示します。

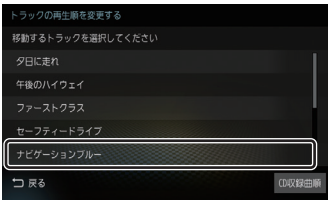
2 再生順序を変更したい“トラック”にタップする



3 移動先の“トラック”にタップする



▼



再生順序の変更が完了します。

アドバイス

- 手順3でトラックを直接タップすることでタップしたトラックの位置に移動します。
- [CD収録曲順]にタップすると、CDの収録した順番に並び替えます。

再生モードを変更する

リピート再生、スキャン再生、ランダム再生などが行えます。

この操作は、MusicFolderの再生情報画面(P118)から行えます。

1 MusicFolderの再生情報画面で変更したい“モード”にタップする

▼

選んだモードの再生を開始します。

■ 再生モードについて

CategorySearchモードOFFのとき

Scan（スキャン）	再生中の曲があるプレイリスト内のすべての曲が対象で、始めの部分を約10秒間ずつ順番に再生します。
Scan（プレイリストスキャン）	MusicFolder内の全プレイリストの1曲目を約10秒間ずつ順番に再生します。
Scan（スキャン解除）	スキャンを解除します。
（リピート）	再生中の曲を繰り返して再生します。
（プレイリストリピート）	再生中の曲があるプレイリストを繰り返して再生します。
（リピート解除）	リピートを解除します。
（ランダム）	再生中の曲があるプレイリスト内の曲を順不同に再生します。
（プレイリストランダム）	MusicFolder内の全プレイリストを順不同に選択し、プレイリスト内の曲を順番に再生します。
ALL（オールランダム）	MusicFolder内の曲すべてを順不同に再生します。
（ランダム解除）	ランダムを解除します。

アドバイス

- 全曲再生中 *(P123)* の場合は、プレイリストスキャン、プレイリストリピート、プレイリストランダム、オールランダムの設定はできません。

CategorySearchモードONのとき

（リピート）	再生中の曲を繰り返して再生します。
（リピート解除）	リピートを解除します。
（ランダム）	再生中の曲があるカテゴリーで絞り込んだリスト内の曲を順不同に再生します。
（アルバムランダム）	再生中の曲があるカテゴリーで絞り込んだリスト内のすべてのアルバムを順不同に再生します。アルバム内の曲順は変わりません。
（ランダム解除）	ランダムを解除します。

アドバイス

- CategorySearchモードONのときは、リピート再生中にランダムやアルバムランダム再生を行ってもリピート再生は継続します。
- ランダム、アルバムランダム再生を行うと、リストも並び替わります。

カテゴリーから探す

カテゴリー別にリストを表示して曲を探すことができます。
ここでは、MusicFolderの再生情報画面（CategorySearchモードOFF時）からの操作方法を説明します。

1 MusicFolderの再生情報画面で CategorySearch にタップする

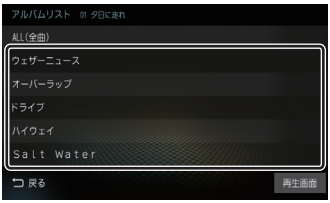
CategorySearchモードをONにします。

アドバイス

- CategorySearchモードをONにすると、カテゴリーをトラックリストにしたときの先頭曲から再生を開始します。
- 再生モード*(P126)*を設定している場合は、再生モードは解除されます。

2 いずれかの“カテゴリー”にタップする

3 リストから再生したい“項目”にタップする



▼

選んだ項目内のリストを表示します。手順3の操作を繰り返し、曲（トラック）を探します。リストから再生したい曲（トラック）にタップすると、再生を開始します。

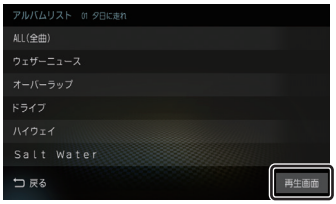
アドバイス

- 手順2で選んだカテゴリーによって、手順3で操作する項目の階層が変わります。
- 表示するリストには、ファイルに記録されているタイトル情報を表示します。

■ 再生情報の画面を表示する

リスト表示しているとき、現在再生している再生情報画面を表示できます。

1 リスト表示画面で 再生画面 にタップする



▼

タイトル情報を取得する

通常は、音楽CDを本機に挿入すると、自動的にタイトル情報を取得しますが、MusicFolderに録音した後の再取得について説明します。
MusicFolderからのタイトル情報の取得は、プレイリストの情報編集画面 *(P121)* またはトラックの情報編集画面 *(P124)* から行うことができます。

お知らせ

- タイトル情報について詳しくは*「タイトル情報を取得する」(P85)* をご覧ください。
- 本機のGracenoteデータベースを更新する場合は、*「Gracenoteデータベースを SDカードで更新する」(P86)* をご覧ください。

■ 本機から取得する

本機に記録されているデータからタイトル情報を取得します。

1 各情報編集画面で 本機から取得 にタップする

タイトル情報の検索を開始します。タイトル情報が取得できた場合、タイトル候補の選択画面を表示します。

2 いずれかにタップする

→*「タイトル候補の選択画面について」(P130)*

■ 通信で取得する

Wi-Fi機器（スマートフォンなど）のデータ通信機能を使ってタイトル情報を取得します。

お知らせ

- あらかじめWi-Fi機器（スマートフォンなど）を本機と接続しておく必要があります。→*「通信の設定」(P336)*
- 本サービスの利用は無料ですが、通信費はお客さまのご負担となります。

1 各情報編集画面で 通信で取得 にタップする

2 取得する にタップする

データ通信機能を使ったタイトル情報の検索を開始します。
タイトル情報が取得できた場合、タイトル候補の選択画面を表示します。

3 いずれかにタップする

→*「タイトル候補の選択画面について」(P130)*

■ タイトル候補の選択画面について

アルバム名/アーティスト名	タイトル情報が取得できた場合に表示します。タップすることでそのタイトル情報を適用します。
該当なし	現在のタイトル情報から変更を行いません。NoTitleリスト*(P130)*への登録も行いません。
NoTitleリストに登録	MusicFolderのNoTitleリストにこの音楽CDの情報を登録します。別の方法を使い、後でまとめてタイトル情報を取得できます。 →*「NoTitleリストを管理する」(P130)*
通信で取得	Wi-Fi機器(スマートフォンなど)のデータ通信機能を使ってタイトル情報を取得します。但し、あらかじめWi-Fi機器を本機と接続しておく必要があります。→*「通信の設定」(P336)*
トラック情報	トラック情報を確認できます。複数のアルバム情報がある場合は、[トラック情報]にタップ後、確認したいアルバム情報にタップしてください。

NoTitleリストを管理する

タイトル情報が取得できなかったアルバムをあらかじめNoTitleリストに登録しておくと、さまざまな方法でタイトル情報を取得できます。ここでは、プレイリスト選択画面からの操作方法を説明します。

→*「プレイリスト選択画面を表示する」(P121)*

1 プレイリスト選択画面で NoTitleリスト にタップする

▼

NoTitleリストを表示します。

■ 本機からタイトル情報を取得する

Gracenoteデータベースを更新*(P86)*したときや本機のバージョンアップ*(P309)*を行ったときは、以下の方法でタイトル情報を取得できます。
ここでは、NoTitleリストからの操作方法を説明します。

1 NoTitleリストで、タイトル情報を取得したい“アルバム”にタップする

タイトル情報の検索を開始します。
タイトル情報が取得できた場合、タイトル候補の選択画面を表示します。

2 いずれかにタップする

→*「タイトル候補の選択画面について」(P130)*

■ 通信でタイトル情報を取得する

Wi-Fi 機器（スマートフォンなど）のデータ通信機能を使って登録されているNoTitleリストすべてのタイトル情報を取得します。ここでは、NoTitleリストからの操作方法を説明します。

お知らせ

- あらかじめWi-Fi機器（スマートフォンなど）を本機と接続しておく必要があります。→*「通信の設定」（P336）*
- 本サービスの利用は無料ですが、通信費はお客さまのご負担となります。

1 NoTitleリストで、通信で一括取得 にタップする

2 取得する にタップする

データ通信機能を使ったタイトル情報の検索を開始します。

▼

NoTitleリストの中でタイトル情報が取得できたアルバムを表示し、それぞれ適用します。

3 確認 にタップする

▼

タイトル情報が取得できたタイトルは、NoTitleリストから消去されます。

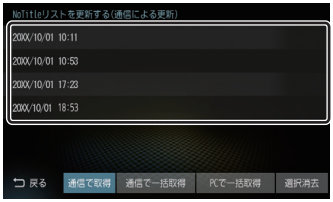
1件のみ通信で取得する場合

NoTitleリストから個別にタイトル情報を取得します。

1 NoTitleリストで、通信で取得 にタップする

［通信で取得］ボタンが選択状態になります。

2 タイトル情報を取得したい“アルバム”にタップする



3 取得する にタップする

データ通信機能を使ったタイトル情報の検索を開始します。
タイトル情報が取得できた場合、タイトル候補の選択画面を表示します。

4 いずれかにタップする

→*「タイトル候補の選択画面について」（P130）*

■ パソコンからタイトル情報を取得する

ご自宅のパソコンからインターネットを利用して登録されているNoTitleリストすべてのタイトル情報を取得します。ここでは、NoTitleリストからの操作方法を説明します。

お知らせ

- あらかじめ専用ソフトをダウンロードし、ご自宅のパソコンにインストールしておく必要があります。
  詳しくは、三菱電機のホームページをご覧ください。
  URL：http://www.MitsubishiElectric.co.jp/carele/carnavi/gracenote

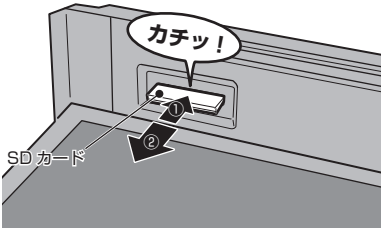
1 NoTitleリストで、PCで一括取得 にタップする

2 SDカードに書き込む にタップする

▼

SDカードにNoTitleリスト情報を書き出します。

3 本機からSDカードを取り出す



→「SDカードを取り出す」(P20)

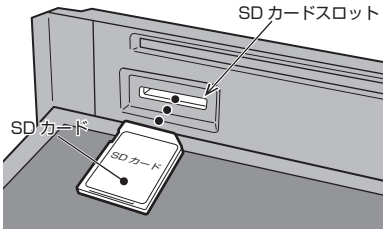
4 ご自宅のパソコンからタイトル情報を取得する

SDカードを本機から取り出し、ご自宅のパソコンにインストールした専用のソフトを使ってタイトル情報を取得します。

▼

SDカードにタイトル情報が保存されます。

5 “タイトル情報”が保存されたSDカードを本機に挿入する



→「SDカードを挿入する」(P20)

6 NoTitleリストで、PCで一括取得 にタップする

7 SDカードから取り込む にタップする

タイトル情報の取り込みを開始します。

▼

NoTitleリストの中でタイトル情報が取得できたタイトルを表示し、各タイトルへ適用します。

8 確認 にタップする

▼

タイトル情報が取得できたタイトルは、NoTitleリストから消去されます。

■ NoTitleリストから消去する

NoTitleリストの登録を解除したいアルバムがあった場合、この機能を使ってNoTitleリストから消去できます。ここでは、NoTitleリストからの操作方法を説明します。

アドバイス

- この操作を行うことでMusicFolderから曲が消去されるわけではありません。

1 NoTitleリストで、選択消去 にタップする

2 消去したいアルバムの“チェックボックス”にタップし、選択する

アドバイス

- [全選択]にタップすると、すべての項目を選択できます。
- [全解除]にタップすると、選択状態をすべて解除できます。

3 消去 にタップする

4 消去する にタップする

▼

選択したすべてのアルバムをNoTitleリストから消去します。

MusicFolder内の曲をすべて消す

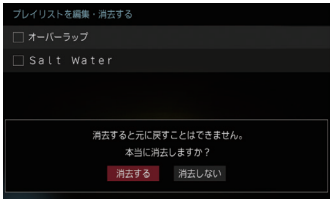
MusicFolder（挿入中のSDカード）内にあるすべての曲を消去します。
すべての曲を消去するには、プレイリスト選択画面*(P121)*またはトラックリスト画面*(P123)*から行うことができます。
ここでは、プレイリスト選択画面からの操作方法を説明します。
→*「プレイリスト選択画面を表示する」(P121)*

1 プレイリスト選択画面で 編集・消去 にタップする

2 MusicFolder全消去 にタップする

3 消去する にタップする

4 再度、消去する にタップする



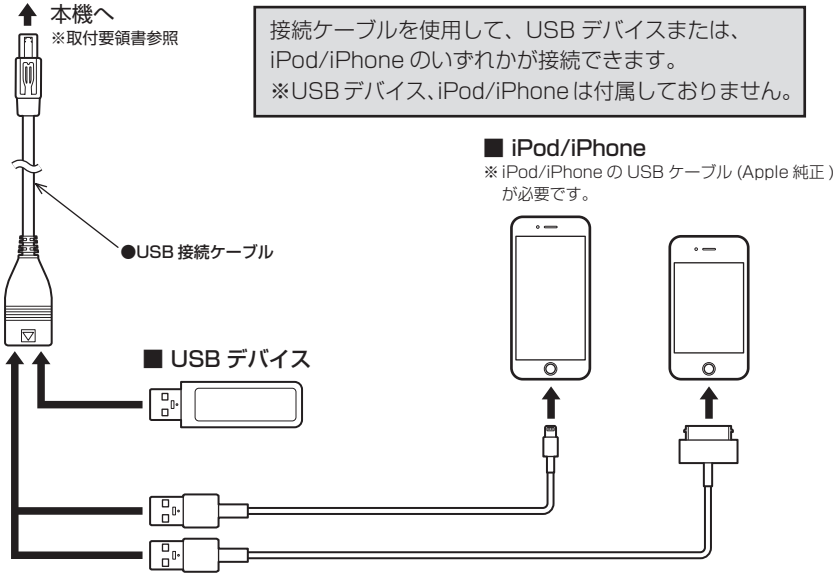
▼

MusicFolder内にあるすべての曲の消去が完了します。

iPod/USB メモリ

接続する

接続ケーブルと iPod/iPhone および USB デバイスの接続方法を説明します。



注 意

- Lightning コネクタータイプの iPod/iPhone に接続する場合は、Apple 純正の Lightning-USB ケーブル (0.5m 品) をご使用ください。
- iPod/iPhone の動画を再生する場合は AUX *(P170)* へ接続してください。
- 各コネクター方向に注意してください。コネクター方向を間違えた状態で無理に接続すると、接続ケーブルのコネクターや iPod/iPhone 本体、USB デバイスの破損の原因となります。
- 車内高温時の故障や盗難を避けるため、iPod/iPhone 本体や Apple 純正の USB ケーブルを車内に放置しないでください。
- USB 接続ケーブルの対応規格は USB2.0 です。

■ iPodについて

- iPod/iPhoneの世代や機種、ソフトウェアバージョンにより本機で再生できない場合があります。(→P9) また、本書で説明する操作方法どおりに再生できない場合があります。最新の接続確認結果については、三菱電機のホームページをご覧ください。
- iPod/iPhoneを本機に接続した状態で操作してください。
- 正しく動作しないときは、iPod/iPhoneを本機から外してリセットし、再度接続してください。
- 車内高温時の故障や盗難を避けるため、iPod/iPhone本体を車内に放置しないでください。
- 本機と接続して使用しているときにiPod/iPhoneのデータが消失しても、その補償はいたしかねます。
- 本機で表示できない文字列は記号（細長い四角形）で表示されますが故障ではありません。（特殊文字など）

■ USBデバイスについて

- USBデバイスの種類によっては、ご利用になれない場合やご利用いただける機能に制限がある場合があります。
- USBメモリーの推奨ファイルシステムは、exFATです。
- USBメモリーの対応容量は128GBまでを推奨します。なお、すべてのUSBメモリーに対して動作を保証するものではありません。
- 音楽ファイルが記録されたUSBデバイスを本機に接続した状態で操作してください。
- 本機で表示できない文字列は記号（細長い四角形）で表示されますが故障ではありません。（特殊文字など）

注 意

- 車内高温時の故障や盗難を避けるため、USBデバイスを車内に放置しないでください。
- ハードディスクやカードリーダー、メモリーリーダーは機器およびデータが破損することがあるため、使用しないでください。誤って接続した場合は車のイグニッションキーを“OFF”にしてから取り外してください。
- データ破損のおそれがあるためファイルのバックアップをおすすめします。
- USBデバイスの破損、記録されたデータの消失または破損に対する一切の保証はいたしかねます。

iPodを再生する

USB接続ケーブルおよび市販されているiPod接続ケーブル、iPodを本機に接続することで、iPodの音声を本機で再生できます。

1 AVメニューを表示する
(→P62)

2 iPod にタップする

再生情報画面を表示します。

3 ⏮ または ⏭ にタップして曲を選ぶ

▼

選んだ曲を再生します。

アドバイス

- ⏮ または ⏭ にロングタップ*(P24)*すると、再生中の曲を早送り、早戻しができます。
- ⏮TRK キーまたは TRK⏭ キーを押すと曲を選び、押し続けると早送り、早戻しができます。

お知らせ

- 本書では、以降の説明で「iPod/iPhone」をまとめて「iPod」と記載していますが「iPod」にiPhoneも含んでいます。

■ 再生情報画面について

① **アルバム名**
タイトル情報にアルバム名があれば表示します。

② **ジャケット**
タイトル情報にジャケット写真があれば表示します。

③ **アーティスト名**
タイトル情報にアーティスト名があれば表示します。

④ [⏮], [⏸], [▶], [⏭]
トラックの選択や一時停止、再生が行えます。[⏮] または [⏭] にロングタップ *(P24)* すると、再生中の曲を早送り、早戻しができます。

⑤ **ジャンル**
再生しているトラックのジャンル名を表示します。タイトル情報にジャンル情報があれば表示します。

⑥ **シークバー**
シークバーをタップまたはスライドすることで、再生位置を指定できます。

⑦ **AV ソースボタン**
各ボタンにタップすると、AV ソースが切り換わります。[AV Source] にタップすると AV メニューを表示します。
→*「AV メニュー」(P27)*

⑧ [ARTIST]
アーティストリストを表示します。

⑨ **トラック番号 / 曲名**
タイトル情報に曲名があれば表示します。

⑩ [ALBUM]
アルバムリストを表示します。

⑪ **再生モードボタン**
各ボタンにタップして再生モードを変更します。
→*「再生モードを変更する」(P138)*

⑫ [TRACK]
トラックリストを表示します。

⑬ [iPod MENU] *(→P139)*
iPod メニューからさまざまなカテゴリーのリストを表示できます。

⑭ **再生時間 / 曲の長さ**

再生モードを変更する

リピート再生やシャッフル再生などの設定が行えます。ここでは、再生情報画面からの操作を説明します。

1 再生情報画面で変更したい“モード”にタップする

▼

選んだモードの再生を開始します。

アドバイス

- 同一の再生モードボタン*(P137)*をタップするたびに、モードが切り換わります。解除するときは、モード解除を示すアイコン*(P138)*になるまでタップしてください。
- 再生モードの内容について、詳しくは*「再生モードについて」(P138)*をご覧ください。

■ 再生モードについて

お知らせ

- iPodによって操作方法が異なります。

リピート

(シングルリピート)	現在再生中の曲を繰り返して再生します。
(オールリピート)	最終曲の再生が完了すると先頭曲から再生を開始します。
(リピート解除) ※1	リピート再生を解除します。リストの最終曲の再生完了後、再生を停止します。

シャッフル

(シャッフル)	再生中の階層内にある曲を順不同に再生します。
(アルバムシャッフル) ※1	再生中の階層内にあるすべてのアルバムを順不同に再生します。アルバム内の曲順は変わりません。
(シャッフル解除)	シャッフル再生を解除します。

※1　iPodによっては対応していない場合があります。

アドバイス

- シングルリピート再生中は、シャッフル再生やアルバムシャッフル再生を行ってもシングルリピート再生を継続します。

リストで探す

リストにタップしていくことで、アルバム名や曲名を確認しながら聴きたい曲を探すことができます。
ここでは、再生情報画面からの操作を説明します。

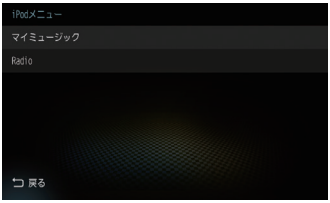
お知らせ

- iPodによって操作方法が異なります。

1 iPodの再生情報画面で iPod MENU にタップする

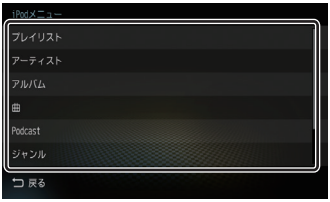
手順２の画面が表示されない場合は、手順３へ進みます。

2 マイミュージック または Radio にタップする



[Radio] にタップした場合は手順４へ進みます。

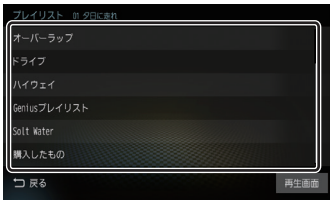
3 “カテゴリー” にタップする



▼

選んだカテゴリーのリストを表示します。

4 リストから再生したい “項目” にタップする



▼

選んだ項目内のリストを表示します。
手順４の操作を繰り返し、曲（トラック）を探します。
リストから再生したい曲（トラック）にタップすると、再生を開始します。

アドバイス

- 手順２で選んだカテゴリーによって、手順３で操作する項目の階層が変わります。
- 表示するリストには、iPodに記録されているタイトル情報を表示します。

■ 再生情報の画面を表示する

リスト表示しているとき、現在再生している再生情報画面を表示できます。

1 リスト表示画面で 再生画面 にタップする

▼

USBデバイスの曲を聴く

USB接続ケーブルおよび市販されているUSBデバイスを本機に接続することで、USBメモリーなどのUSBデバイスに記録された音楽ファイルを本機で再生できます。

1 AVメニューを表示する *(→P62)*

2 USB にタップする

前回の再生情報画面を表示します。
音楽ファイルのみ記録されたUSBデバイスを接続していた場合は手順4へ進みます。

3 USBMusic にタップする

音楽ファイルの再生情報画面を表示します。

4 ▲ または ▼ にタップしてフォルダーを選ぶ

5 ⏮ または ⏭ にタップして曲を選ぶ

▼

選んだ曲を再生します。

アドバイス

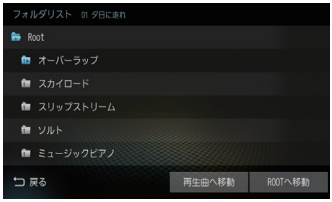
- ⏮ または ⏭ にロングタップ *(P24)* すると、再生中の曲を早送り、早戻しができます。
- ⏮TRK キーまたは TRK⏭ キーを押すと曲を選び、押し続けると早送り、早戻しができます。

リストを表示する

CategorySearchモード *(P143)* がOFFのとき、フォルダーの階層を確認しながら曲を探すことができます。
ここでは、USBデバイスの再生情報画面からの操作方法を説明します。

1 USBデバイスの再生情報画面で FolderList にタップする

▼



リストを表示します。

2 戻る にタップする

▼

USBデバイスの再生情報画面に戻ります。

アドバイス

- [ROOTへ移動] にタップすると、ROOTフォルダーへ移動します。
- CategorySearchモードがONのとき、[FolderList] ボタンは非表示になります。[CategorySearch] にタップしてCategorySearchモードをOFFにしてください。
  このとき、再生モード *(P143)* を設定している場合は、再生モードは解除されます。

■ 再生情報画面について

① **アルバム名**
タイトル情報にアルバム名があれば表示します。WAV形式の場合はフォルダー名を表示します。

② USBMovie
USBデバイスの動画再生画面に切り換え、再生を開始します。
→「USBデバイスの動画を見る」(P145)

③ **ジャケット**
タイトル情報にジャケット写真があれば表示します。※1 ※2

④ ▲ , ▼
フォルダーを選ぶときに使用します。
タップすると、前後のフォルダーへと切り換わり、最初の曲を再生します。

⑤ **ジャンル**
再生しているトラックのジャンル名を表示します。タイトル情報にジャンル情報があれば表示します。※2

⑥ **シークバー**
シークバーをタップまたはスライドすることで、再生位置を指定できます。

⑦ **AVソースボタン**
各ボタンにタップすると、AVソースが切り換わります。[AV Source]にタップするとAVメニューを表示します。
→「AVメニュー」(P27)

⑧ FolderList
フォルダーリストを表示します。
→「リストについて」(P142)

⑨ **トラック番号/曲名**
タイトル情報に曲名があれば表示します。WAV形式の場合はファイル名を表示します。

⑩ **アーティスト名**
タイトル情報にアーティスト名があれば表示します。※2

⑪ **再生モードボタン**
各ボタンにタップして再生モードを変更します。
→「再生モードを変更する」(P143)

⑫ ⏮ , ⏸ , ▶ , ⏭
ファイルの選択や一時停止、再生が行えます。
⏮ または ⏭ にロングタップ(P24)すると、再生中の曲を早送り、早戻しができます。

⑬ CategorySearch
CategorySearchモードをON/OFFに切り換えます。
→「カテゴリーから探す」(P144)

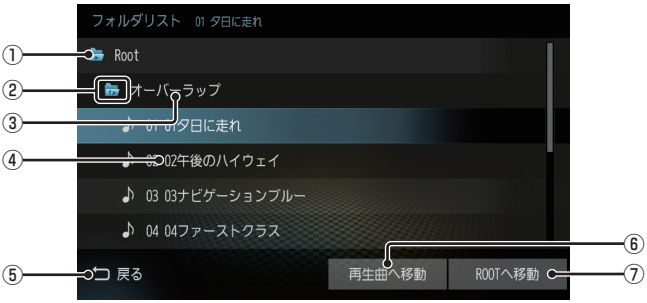
⑭ **再生時間/曲の長さ**

⑮ **チャンネルモード**
タイトル情報にチャンネルモードの情報があれば以下のアイコンを表示します。
Stereo：ステレオ
JointStereo：ジョイントステレオ
DualChannel：デュアルチャンネル
Monaural：モノラル

⑯ **ファイル形式**
再生中の音楽ファイルのファイル形式を表示します。

※1 画像データのサイズが大きいと表示されない場合があります。
※2 WAV形式は対応しておりません。

■ リストについて



① **ROOT**
階層の最上位を示します。

② **階層番号**
フォルダーの階層位置を示します。

③ **フォルダー名**
タップすると、フォルダーを展開します。

④ **ファイル名**
タップすると、曲の再生を開始します。

⑤ 戻る
USB デバイスの再生情報画面に戻ります。

⑥ 再生曲へ移動
再生中の曲を先頭にしたリストを表示します。

⑦ ROOT へ移動
ROOT フォルダーへ移動します。

再生モードを変更する

リピート再生、スキャン再生、ランダム再生などが行えます。

1 USBデバイスの再生情報画面で変更したい“モード”にタップする

▼

選んだモードの再生を開始します。

アドバイス

- 同一の再生モードボタン(P141)をタップするたびに、モードが切り換わります。解除するときは、モード解除を示すアイコン(P143)になるまでタップしてください。

■ 再生モードについて

CategorySearchモードOFFのとき

Scan（スキャン）	再生中の曲があるフォルダー内のすべての曲が対象で、始めの部分を約10秒間ずつ順番に再生します。
Scan（フォルダスキャン）	USBデバイス内の全フォルダーの1曲目を約10秒間ずつ順番に再生します。
Scan（スキャン解除）	スキャンを解除します。
（リピート）	再生中の曲を繰り返して再生します。
（フォルダリピート）	再生中の曲があるフォルダーを繰り返して再生します。
（リピート解除）	リピートを解除します。
（ランダム）	再生中の曲があるフォルダー内の曲を順不同に再生します。
ALL（オールランダム）	USBデバイス内の曲すべてを順不同に再生します。
（ランダム解除）	ランダムを解除します。

CategorySearchモードONのとき

（リピート）	再生中の曲を繰り返して再生します。
（リピート解除）	リピートを解除します。
（ランダム）	再生中の曲があるカテゴリーで絞り込んだリスト内の曲を順不同に再生します。
（アルバムランダム）	再生中の曲があるカテゴリーで絞り込んだリスト内のすべてのアルバムを順不同に再生します。アルバム内の曲順は変わりません。
（ランダム解除）	ランダムを解除します。

アドバイス

- CategorySearchモードONのときは、リピート再生中にランダムやアルバムランダム再生を行ってもリピート再生は継続します。
- ランダム、アルバムランダム再生を行うと、リストも並び替わります。

カテゴリーから探す

カテゴリー別にリストを表示して曲を探すことができます。
ここでは、USBデバイスの再生情報画面（CategorySearchモードOFF時）からの操作方法を説明します。

1 USBデバイスの再生情報画面で CategorySearch にタップする

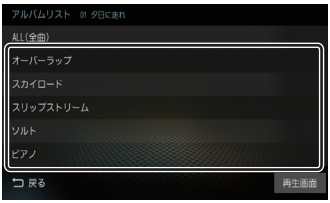
CategorySearchモードをONにします。

アドバイス

- CategorySearchモードをONにすると、カテゴリーをトラックリストにしたときの先頭曲から再生を開始します。
- 再生モード*(P143)*を設定している場合は、再生モードは解除されます。

2 いずれかの“カテゴリー”にタップする

3 リストから再生したい“項目”にタップする



▼

選んだ項目内のリストを表示します。手順3の操作を繰り返し、曲（トラック）を探します。リストから再生したい曲（トラック）にタップすると、再生を開始します。

アドバイス

- 手順2で選んだカテゴリーによって、手順3で操作する項目の階層が変わります。
- 表示するリストには、ファイルに記録されているタイトル情報を表示します。

■ 再生情報の画面を表示する

リスト表示しているとき、現在再生している再生情報画面を表示できます。

1 リスト表示画面で 再生画面 にタップする

▼

USBデバイスの動画を見る

USB接続ケーブルおよび市販されているUSBデバイスを本機に接続することで、USBメモリーなどのUSBデバイスに記録された動画ファイルを本機で再生できます。

1 AVメニューを表示する
(→P62)

2 USB にタップする

前回の再生情報画面を表示します。
動画ファイルのみ記録されたUSBデバイスを接続していた場合は、手順4へ進みます。

3 USBMovie にタップする

動画ファイルの再生画面を表示します。

4 ⏮ キーまたは ⏭ キーを押して再生する動画を選ぶ

選んだ動画の再生を開始します。

アドバイス

- ⏮TRK キーまたは TRK⏭ キーを押し続けることで早送り、早戻しができます。約5秒以上押し続けると、キーから指を離しても早送り、早戻しを継続します。解除するときは、再度 ⏮TRK キーまたは TRK⏭ キーを押します。

リストを表示する

フォルダーの階層を確認しながら動画を探すことができます。
ここでは、動画ファイルの再生画面からの操作方法を説明します。

1 再生中、画面にタップする

操作画面を表示します。

2 FolderList にタップする

▼

リストを表示します。
詳しくは、*「リストについて」(P142)* を参考にご覧ください。

3 戻る にタップする

▼

動画ファイルの操作画面に戻ります。

表示内容について

再生中、画面にタップしたときに表示する操作画面について説明します。

① **ソースプレート**
現在の状態を表示します。
詳しくは、*「ソースプレートについて」(P112)* を参考にご覧ください。

② **表示モード**
画面表示を切り換えます。
詳しくは、*「画面表示を切り換える」(P114)* を参考にご覧ください。

③ **FolderList**
フォルダーリストを表示します。
詳しくは、*「リストについて」(P142)* を参考にご覧ください。

④ **USB Music**
再生情報画面をUSBデバイスの音楽ファイルに切り換え、再生を開始します。
詳しくは、*「USBデバイスの曲を聴く」(P140)* を参考にご覧ください。

⑤ **シークバー**
シークバーをタップまたはスライドすることで、再生位置を指定できます。

⑥ **再生**
一時停止、スロー再生の状態を解除して通常の再生に戻ります。

⑦ **一時停止**
映像が表示された状態で停止します。

⑧ **スロー**
タップするたびに
[1/2]→[1/8]→[1/32]→[1/2]・・・
と再生速度が変わります。(スロー再生)

⑨ **< Folder >**
前後のフォルダーを選ぶときに使用します。選んだフォルダーの先頭ファイルの再生を開始します。

⑩ **再生モードボタン**
各ボタンにタップして再生モードを変更します。
詳しくは、*「再生モードを変更する」(P113)* を参考にご覧ください。

テレビ機能について

本機では、地上デジタルTVチューナーを使った地上デジタルTV放送をご覧になることができます。

受信について

走行にともない、受信状態が変わる場合や障害物などの影響により最良な受信状態を維持できない場合があります。

注 意

- テレビの映像は安全のため走行中は表示されません。（後席モニターには表示されます）
- テレビをご覧になるときは、安全な場所に停車してください。
- エンジンが停止している状態で使用していると、バッテリーの充電状態によってはエンジンの始動ができなくなることがあります。
- 電車の架線や高圧線、信号機やネオンなどの近くでは、画像が乱れることや雑音が入ることがあります。
- 直進性の強い電波のため、建物や山などの障害物があると、受信状態が悪くなることがあります。
- ラジオ放送やアマチュア無線用の送信アンテナ・鉄塔の近くでは画像が乱れることや雑音が入ることがあります。
- 放送局から遠いところでは、電波が弱くなり受信状態が悪くなります。
- PPV番組（有料番組）に対応しておりません。
- 地上デジタルTV放送は放送方式の特性上、従来のアナログ放送に比べチャンネルの切り換え時間が長くなります。

テレビを見る

地上デジタルTVチューナーでは、フルセグ放送およびワンセグ放送をご覧になれます。

はじめてテレビを見るとき

（ホームCHスキャン）

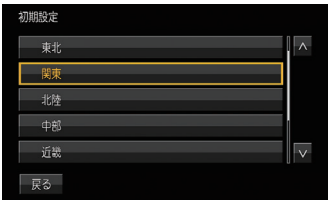
はじめてテレビを見るときは、最初に地域設定とホームCHスキャンを行う必要があります。設定した地域で受信できる放送局を調べ、ホームCHの“リモコン番号”に登録する操作です。

1 AVメニューを表示する *（→P62）*

2 TV にタップする

3 居住地域 にタップする

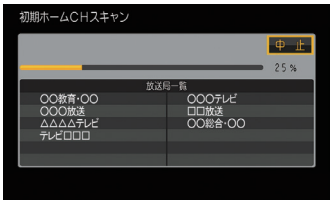
4 設定したい“地方”にタップする



5 設定したい“都道府県”にタップする

6 スキャン開始 にタップする

▼



ホームCHスキャンを開始します。

お知らせ

- 受信状態によりしばらく時間がかかります。
- スキャン中に[中止]にタップすると、中止します。
- スキャン中に中止した場合は、ホームCHへ登録される放送局が少なくなる場合があります。

7 完了 にタップする

▼

受信可能な放送局をリモコン番号に登録します。

お知らせ

- ホームCHには最大12局まで登録できます。
- [キャンセル]にタップした場合はホームCHに登録されません。

放送局を選ぶ

初期設定のスキャンで登録した放送局を選びます。

お知らせ

- 初期設定をした後に、はじめて選んだ放送局は、映像表示するまでにしばらく時間がかかります。
  2回目以降は表示に時間はかかりません。

1 画面にタップする

テレビの操作画面を表示します。

2 見たい放送局の“リモコン番号”にタップする

プリセットボタン

▼

選んだ放送局の番組を表示します。

アドバイス

- ⏮TRK キーまたは TRK⏭ キーを押すと、登録した放送局をリモコン番号の順、または逆順に選局できます。
- CHモードが[ホーム]のとき、⏮TRK キーまたは TRK⏭ キーを押し続けると、受信可能な放送局の自動選局を開始します。
  →*「受信状態の良い放送局を探す」(P156)*
- CHモードが[ドライブ]のとき、TRK⏭ キーを押し続けると、初期ドライブCHスキャン*(P158)*を行い、⏮TRK キーを押し続けると再ドライブCHスキャン*(P159)*を行います。

画面をタップして表示するテレビの操作画面について説明します。

■ 操作パネルについて

① **ノーマルバナー**
受信中の３桁チャンネル番号、リモコン番号、物理チャンネル番号および番組名を表示します。
マーク
マークでCHモードおよび選局中のリモコン番号を示します。
：ホームCH
：ドライブCH
：エリアCH
（画面のリモコン番号は「1」）

② **CHモード**
ホーム にタップすると、ホームCHスキャン *(P157)* で登録した放送局を選べます。
ドライブ にタップすると、ドライブCHスキャン *(P158)* で登録した放送局を選べます。
エリア にタップすると、現在地で見ることができる放送局を選べます。

③ **リモコン番号** *(→P149,162)*
タップすると、登録された放送局を表示します。ロングタップ *(P24)* することで“リモコン番号”の割り当てを変更できます。

④ **閉じる**
操作パネルを消しテレビ映像のみにします。

⑤ **メニュー** *(→P160,164,355,358)*
各種設定を行います。

⑥ **EPG** *(→P154)*
電子番組表（EPG）を表示します。

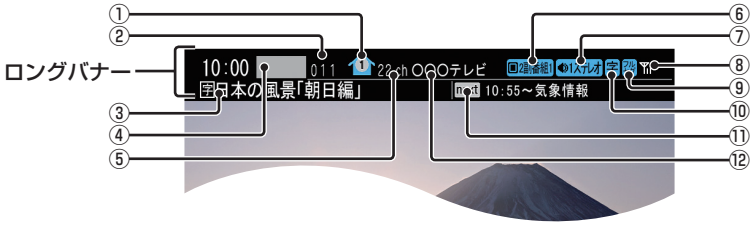
⑦ **番組内容** *(→P153)*
現在選局中の番組の内容を表示します。

⑧ **ワンセグ / フルセグ** *(→P162)*
フルセグとワンセグを切り換えます。
ロングタップ *(P24)* することで、自動ワンセグ切り換え *(P163)* の設定ができます。

⑨ **系列局** *(→P156)*
系列局の放送局を表示します。ロングタップ *(P24)* することで系列局サーチを開始します。

■ ロングバナーについて

チャンネルリスト *(P155)* から選局した後などに表示するロングバナーについて説明します。
ノーマルバナー *(P150)* よりも詳しい情報を表示します。



① **マーク**
マークでCHモードおよび選局中のリモコン番号を示します。
：ホームCH
：ドライブCH
：エリアCH
（画面のリモコン番号は「1」）

② **3桁チャンネル番号**
複数の番組が放送されているとき、それぞれの番組を区別するためにリモコン番号と組み合わされた番号を表示します。フルセグでは011番から、ワンセグは611番から始まります。

③ **番組名**
現在放送中の番組名を表示します。

④ **ロゴマーク**
放送局のロゴマークまたは放送局名（省略名）を表示します。

⑤ **物理チャンネル番号**
リモコン番号とは異なり、実際に送信されているテレビのチャンネル番号（13ch～52chまで）です。

⑥ **映像情報** *(→P164)*
複数の映像があるときに表示します。

⑦ **音声モード**
放送中の音声モードを表示します。
：ステレオ
：モノラル
：サラウンド
※ サラウンド音声は、本機ではステレオ2chで出力します。

⑧ **受信強度**
受信中の放送局の受信強度を表示します。

⑨ **放送モード** *(→P162)*
フルセグを見ているときは フルセグ 、ワンセグを見ているときは ワンセグ を表示します。
放送モードは切り換えることができます。

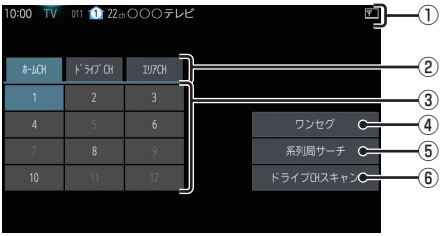
⑩ **字幕情報**
字幕放送中の番組で表示します。
「視聴設定」の［字幕／音声］で切り換えることができます。
→ *「TVの設定」(P355)*

⑪ **次の番組名**
次に放送される番組名を表示します。

⑫ **放送局名**
放送局名を表示します。

■ 走行中の操作制限について

走行中は操作が制限され、映像は表示されません。



① **ソースプレート**
現在選ばれている受信中の３桁チャンネル番号、リモコン番号、物理チャンネル番号、放送局名および番組名を表示します。

② **CHモード**
ホームCH にタップすると、ホームCHスキャン*(P157)*で登録した放送局を選べます。
ドライブCH にタップすると、ドライブCHスキャン*(P158)*で登録した放送局を選べます。
エリアCH にタップすると、現在地で見ることができる放送局を選べます。

③ **リモコン番号** *(→P149,162)*
タップすると、登録された放送局を選局します。映像は表示されません。

④ **ワンセグ/フルセグ** *(→P162)*
フルセグとワンセグを切り換えます。

⑤ **系列局サーチ** *(→P156)*
系列局サーチを開始します。再度、タップすると中止します。

⑥ **ドライブCHスキャン** *(→P158)*
タップすると、ドライブCHスキャンを行うことができます。

お知らせ

- 走行中は操作が制限され、映像は表示されません。
- 走行中はホームCHスキャンを行うことができません。

CHモードを切り換える

ホームCH、ドライブCH、エリアCHを切り換えます。

1 画面にタップする

テレビの操作画面を表示します。

2 切り換えたい“CHモード”にタップする

ホームCH

▼

ドライブCH

CHモードが切り換わります。

CHモードについて

ホーム	お住まいの地域（長期的に滞在する地域）の放送局を登録しています。あらかじめ「ホームCHスキャン」を行う必要があります。 *→「はじめてテレビを見るとき」(P148)*
ドライブ	旅行先など（一時的に滞在する地域）で放送局を登録しています。あらかじめ「ドライブCHスキャン」を行う必要があります。 *→「ドライブCHスキャンを行う」(P158)*
エリア	位置情報を取得し、そのエリア内で見ることができる放送局を自動的に登録しています。必ずしも受信状態が良い放送局とは限りません。

番組の内容を見る

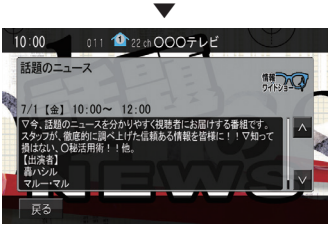
現在選局中の番組の内容を表示します。

1 画面にタップする

テレビの操作画面を表示します。

2 番組内容 にタップする

▼



選局中の番組の内容を表示します。

アドバイス

- 放送局の都合により、番組が変更になる場合があります。この場合実際の内容と番組内容が異なることがあります。
- [戻る]にタップすることで閉じることができます。

■ 記号について

番組内容の画面では記号で番組情報を示しています。

番組属性例

MV	マルチ番組
二	二重音声
サ	サラウンド ※ サラウンド音声は、本機ではステレオ 2ch で出力します。
字	字幕あり

ジャンル

以下のマークを表示します。

ニュース 報道	スポーツ
情報 ワイドショー	ドラマ
音楽	バラエティー
映画	アニメ 特撮
ドキュメンタリー 教養	劇場 公演
趣味 教育	福祉
その他	

放送局を探す

いろいろな方法で放送局・番組を探します。

番組表で探す

電子番組表（EPG）を表示し、見たい番組を探すことができます。

■ 現在放送中の番組から探す

現在放送中の番組をリストで確認できます。

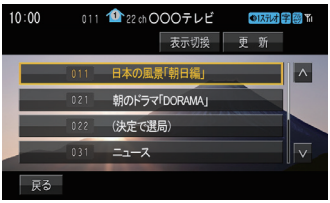
1 画面にタップする

テレビの操作画面を表示します。

2 EPG にタップする

現在放送中の番組のリストを表示します。

3 見たい“番組”にタップする



▼

選択した番組の放送局を選局します。

アドバイス

- 本機が番組データを取得できていないときには取得できたものから順に表示するため、すべて表示するまでしばらく時間がかかることがあります。
- [戻る] にタップすることで番組表を閉じることができます。

■ 番組表を取得するには

番組表を手動で取得できます。

1 画面にタップする

テレビの操作画面を表示します。

2 EPG にタップする

3 更新 にタップする

▼

番組表の取得を開始します。

アドバイス

- 番組データをすべて取得するにはしばらく時間がかかります。
- 取得中に再度 [更新中止] にタップすると更新を中止します。

■ 番組表の内容を確認する

ワンセグ放送は現在放送中の10番組分、フルセグ放送は8日分の番組内容を確認できます。

1 画面にタップする

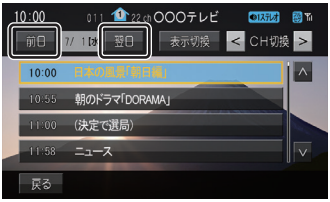
テレビの操作画面を表示します。

2 EPG にタップする

3 表示切換 にタップする

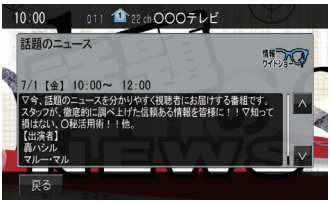
4 “CH切換” の < , > にタップし、見たい “放送局” を選ぶ

5 前日 または 翌日 にタップして見たい “日付” を選ぶ



6 見たい “番組” にタップする

▼



番組の詳細な内容を表示します。

アドバイス

- データ取得中は空欄になります。
- 通常番組データは視聴中の放送局からしか取得できません。本機が番組データを取得できていないときには取得できたものから順に表示しますので、すべて表示するまでしばらくかかることがあります。

チャンネルリストから探す

ホームCHスキャン *(P157)* やドライブCHスキャン *(P158)*、エリアCH *(P152)* で登録した放送局のリストを表示してリモコン番号の確認や選局が行えます。

1 画面にタップする

テレビの操作画面を表示します。

2 メニュー にタップする

設定メニューを表示します。

3 情報確認 → CH一覧 にタップする

現在見ているホームCHまたはドライブCHの一覧を表示します。

4 フルセグ または ワンセグ にタップする

5 見たい “放送局” にタップする

▼

選択した放送局を選局します。

系列局を探す

移動中に受信ができなくなったとき、同じ系列局の放送局に切り換えて、引き続き見ることができます。

1 画面にタップする

テレビの操作画面を表示します。

2 系列局 にタップする

▼

系列局の放送局に切り換わります。

アドバイス

- [系列局] にロングタップ *(P24)* すると系列局サーチを開始します。系列局が見つかると切り換わります。中止する場合は [中止] にタップします。また、受信状態によりしばらく時間がかかる場合があります。
- 系列局がない場合や、サーチを行っても見つからない場合があります。また、系列局があった場合でも放送局の都合により同じ番組にならないことがあります。
- 現在見ている番組の放送局がチャンネルリストにない場合は切り換わりません。

受信状態の良い放送局を探す

現在受信可能な放送局を探します。

1 画面にタップする

テレビの操作画面を表示します。

2 ホーム にタップする

3 ⏮TRK⏭ キーを押し続ける

▼

シークを開始し、受信できる放送局が見つかると表示します。

アドバイス

- 放送局が見つかるまでシークを行います。中止する場合は [中止] にタップします。
- 電波状況によってはシークを行っても放送局が見つからない場合があります。
- ホームCHまたはエリアCHのときのみ操作が可能です。

好みの放送局を登録する

受信可能な放送局を探し、ホームCHやドライブCHに放送局を登録します。

ホームCHスキャンを行う

お住まいの地域（長期的に滞在する地域）が変わったときや新しい放送局が開局されたときなどに行います。

■ 初期ホームCHスキャン

お住まいの地域（長期的に滞在する地域）が変わったときなどに行います。

1 **画面にタップする**

テレビの操作画面を表示します。

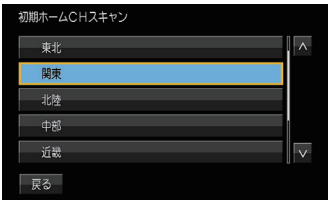
2 **メニュー にタップする**

3 **初期設定 → ホームCHスキャン にタップする**

4 **初期ホームCHスキャン にタップする**

5 **居住地域 にタップする**

6 **“地方” にタップする**



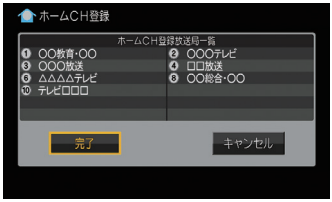
7 **“都道府県” にタップする**

8 **スキャン開始 にタップする**

▼

初期ホームCHスキャンを開始し、受信可能な放送局一覧を表示します。

9 **完了 にタップする**



▼

受信可能な放送局をリモコン番号に登録します。

アドバイス

- ホームCHには最大12局まで登録できます。
- [キャンセル] にタップした場合はホームCHに登録されません。

■ 再ホームCHスキャン

新しい放送局が開局されたときなどに行います。

1 **画面にタップする**

テレビの操作画面を表示します。

2 **メニュー にタップする**

3 **初期設定 → ホームCHスキャン にタップする**

4 **再ホームCHスキャン にタップする**

5 **スキャン開始 にタップする**

▼

再ホームCHスキャンを開始し、受信可能な放送局一覧を表示します。

6 **表示された内容を確認し、次へ にタップする**

以降の操作は、*「初期ホームCHスキャン」(P157)*の手順9以降と同じです。

ドライブCHスキャンを行う

旅行先など（一時的に滞在する地域）で受信可能な放送局を探し、ドライブCHのリモコン番号に登録します。

■ 初期ドライブCHスキャン

現在のドライブCHを消して、新たにドライブCHを登録しなおします。

1 画面にタップする

テレビの操作画面を表示します。

2 ドライブ にタップする

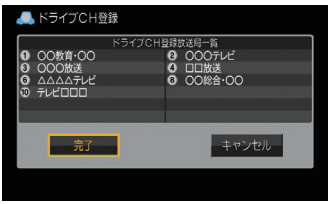
ドライブCHに切り換えます。

3 TRK▶▶| キーを押し続ける

▼

初期ドライブCHスキャンを開始し、受信可能な放送局一覧を表示します。

4 完了 にタップする

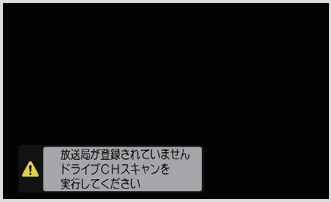


▼

受信可能な放送局をリモコン番号に登録します。

アドバイス

- はじめてドライブCHスキャンを行う場合は、以下の画面を表示します。この画面のときに TRK▶▶| キーを押し続けてください。



- ドライブCHは最大12局まで登録できます。
- [キャンセル] にタップした場合はドライブCHに登録されません。

■ 再ドライブCHスキャン

初期ドライブCHスキャンで登録したチャンネルを消さずに新たに受信できる放送局があったとき追加で登録をします。

アドバイス

- 再ドライブCHスキャンで登録する放送局の合計が13局以上になったときは、追加できない放送局があります。その場合は初期ドライブCHスキャンを行ってください。
→*「初期ドライブCHスキャン」(P158)*

1 画面にタップする

テレビの操作画面を表示します。

2 ドライブ にタップする

ドライブCHに切り換えます。

3 ⏮TRK キーを押し続ける

▼

再ドライブCHスキャンを開始し、受信可能な放送局一覧を表示します。

4 表示された内容を確認し、次へ にタップする

以降の操作は、*「初期ドライブCHスキャン」(P158)* の手順4以降と同じです。

情報を確認する

本機に関する各種情報を確認することができます。

メールを確認する

放送局から送られる放送メールや本機からお知らせする内部メールを確認できます。

1 画面にタップする

テレビの操作画面を表示します。

2 メニュー にタップする

設定メニューを表示します。

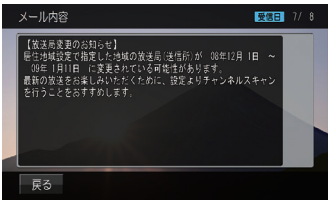
3 情報確認 → メール にタップする

▼

メール一覧を表示します。

4 読みたい“メール”にタップする

▼



選んだメールの内容を表示します。

アドバイス

- ［戻る］にタップするとメール一覧に戻ります。
- メールの保存件数は放送メールと内部メールで、各７通ずつです。
  それぞれ７通を超えた場合、既読メールの受信日が古いものから削除されます。
  すべて未読だった場合でも受信日が古いものから削除されます。

デバイス ID を確認する

受信機のメーカー ID や放送局ごとに管理されているメーカー ID を確認できます。

1 画面にタップする

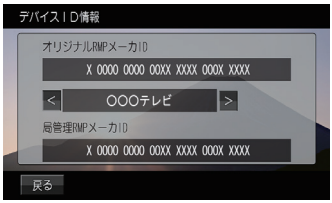
テレビの操作画面を表示します。

2 メニュー にタップする

設定メニューを表示します。

3 情報確認 → デバイス ID にタップする

▼



デバイス ID の情報を表示します。

アドバイス

- ＜ または ＞ にタップして、放送局を切り換えると、各放送局のメーカー ID を確認できます。

ソフトウェアバージョンを確認する

本機のソフトウェアバージョンを確認できます。

1 画面にタップする

テレビの操作画面を表示します。

2 メニュー にタップする

設定メニューを表示します。

3 情報確認 → S/W バージョン にタップする

▼

本機のソフトウェアバージョンを表示します。

その他の操作

リモコン番号を変更する

登録しているリモコン番号 *(P376)* を変更できます。

1 画面にタップする

テレビの操作画面を表示します。

2 変更したい“リモコン番号”にタップする

3 変更先の“リモコン番号”にロングタップする

▼

変更先のリモコン番号への登録が完了します。

お知らせ

- 同じ放送局を複数の“リモコン番号”には登録できません。変更前のリモコン番号は登録が解除されます。

フルセグとワンセグを切り換える

フルセグとワンセグの切り換えについて説明します。

1 画面にタップする

テレビの操作画面を表示します。

2 ワンセグ / フルセグ にタップする

フルセグ

▼

ワンセグ

[ワンセグ / フルセグ] をタップするたびにフルセグ→ワンセグ→フルセグと切り換わります。

■ 自動ワンセグ切り換えについて

フルセグからワンセグへの自動切り換えの設定を変更します。

アドバイス

- 工場出荷時、フルセグを優先的に視聴する設定になっています。ワンセグ優先にしたい場合や、手動切り換えのみの設定にしたい場合にこの設定を行います。

1 画面にタップする

テレビの操作画面を表示します。

2 ワンセグ / フルセグ に ロングタップする

→「操作のしかた」(P24)

▼

[ワンセグ / フルセグ] にロングタップするたびに「ON（フルセグ視聴優先）」→「ON（ワンセグ視聴優先）」→「OFF」と切り換わります。

ON（フルセグ視聴優先）	フルセグの受信状態が著しく悪くなったときに自動でワンセグに切り換えます。可能な限り高画質な状態で視聴したい方にお勧めします。
ON（ワンセグ視聴優先）	フルセグの受信状態が少しでも悪くなると自動でワンセグに切り換えます。安定した受信状態で視聴したい方にお勧めします。
OFF	自動切り換えを行いません。[ワンセグ / フルセグ] にタップする操作でのみ切り換えます。

アドバイス

- 「受信機設定」の [自動選局] でも設定を変更できます。
  →「TVの設定」(P355)
- 地上デジタルTV放送では、1つの放送局が複数の番組を送信することが可能です。また一部の番組では、フルセグとは異なるワンセグ独自サービスを行っています。
  このような場合、自動ワンセグ切換をON（フルセグ視聴優先 / ワンセグ視聴優先）に設定していると、ワンセグに切り換わったとき、番組内容が異なることがあります。同じ番組を続けて見たい場合は、自動ワンセグ切換をOFFに設定してお使いください。

映像や音声を切り換える

現在見ている番組で、複数の映像や音声の情報があるときに切り換えることができます。

1 **画面にタップする**

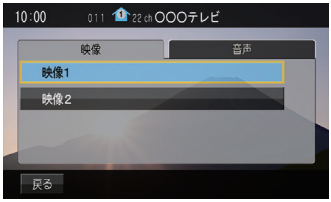
テレビの操作画面を表示します。

2 **メニュー にタップする**

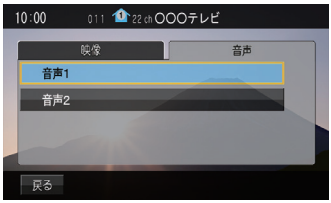
設定メニューを表示します。

3 **視聴設定 → 信号切換 にタップする**

4 **映像 または 音声 にタップする**



5 **切り換えたい "情報" にタップする**



▼

選択した情報の設定に切り換わります。

映像について

1つのチャンネルでアングルの違う映像などが複数あるときに切り換えることができます。

音声について

1つのチャンネルで同時に「主音声」、「副音声」に分けた2種類の言語を放送しているとき（二ヶ国語放送）に切り換えることができます。また、二重音声放送の場合は、[視聴設定]→[字幕/音声]の「二重音声設定」で切り換えることができます。

→「TVの設定」（P355）

Bluetooth Audioを使う

本機では、市販されているBluetooth対応オーディオ機器の曲を再生できます。

お知らせ

- Bluetooth対応オーディオ機器の種類によっては、ご利用になれない場合やご利用いただける機能に制限がある場合、カタログスペックどおりに動作しない場合があります。
- 市販されているBluetooth対応オーディオ機器の取扱説明書と合わせて確認してください。
- Wi-Fi接続している状態でBluetooth接続を行うと接続に失敗する場合があります。再度、Bluetooth接続の操作を行ってください。
- Bluetooth対応オーディオ機器を本機に接続している状態で、別機器のBluetooth接続によるデータ通信機能を使用したり、Bluetooth Audio再生中にWi-Fi機器を検索*(P341)*したりすると通信中または検索中に音飛びすることがありますが、故障ではありません。
- Bluetooth対応オーディオ機器の種類によっては、音量レベルが異なります。大音量になるおそれがありますので、ご使用前に音量を下げることをおすすめします。→*「音量を調節する」(P63)*
- 本機で表示できない文字列は記号（細長い四角形）で表示されますが故障ではありません。（特殊文字など）

■ 対応プロファイルと対応機能について

各プロファイルの対応機能について説明します。

機能	A2DP
再生中の音声出力	○

※ サンプリングレート：16kHz、32kHz、44.1kHz、48kHz

機能	AVRCP		
	v1.0	v1.3	v1.4以上
再生/一時停止の操作	○	○	○
停止	×	×	×
早送り/早戻しの操作	○	○	○
トラックの選択操作	○	○	○
アルバムの選択操作	×	○	○
リピート/ランダム/スキャン再生の操作	×	○	○
再生状態の表示	×	○	○
アルバムリストの表示	×	×	○
アルバムリストからの選曲	×	×	○

Bluetooth 対応オーディオ機器を接続する

本機とBluetooth対応オーディオ機器は、Bluetooth機能を使用して接続します。
接続のしかたについては*「Bluetoothの設定」(P336)*をご覧ください。
以降の操作方法については、接続が完了している状態を説明しています。

Bluetooth 対応オーディオ機器の曲を聴く

1 **AVメニューを表示する**
(→P62)

2 **Bluetooth® Audio にタップする**

Bluetooth Audioの再生情報画面を表示します。

3 **⏮ または ⏭ にタップして曲を選ぶ**

アドバイス

- ⏮ または ⏭ にロングタップ*(P24)*すると、再生中の曲を早送り、早戻しができます。
- ⏮TRK キーまたは TRK⏭ キーを押すと曲を選び、押し続けると早送り、早戻しができます。
- ▲ または ▼ にタップしてアルバムを選ぶことができます。
(AVRCPがv1.3、v1.4以上のとき)

■ 再生情報画面について

① **デバイス名**※
接続中の機器のデバイス名を表示します。
情報がなければ「NO NAME」と表示します。

② **アルバム名**※
アルバム情報がなければ「No Title」と表示します。

③ **アーティスト名**※
アーティスト情報がなければ「No Name」と表示します。

④ ▲ , ▼ ※
アルバムを選ぶときに使用します。
タップすると、前後のアルバムへと切り換わり、最初の曲を再生します。

⑤ **ジャンル名**※

⑥ **AV ソースボタン**
各ボタンにタップすると、AV ソースが切り換わります。[AV Source] にタップするとAV メニューを表示します。
→「AV メニュー」(P27)

⑦ **Bluetooth 接続アイコン**

⑧ MusicSearch
さまざまなカテゴリーから曲を選ぶことができます。

⑨ **トラック名**※
トラック情報がなければ「No Title」と表示します。

⑩ **再生モードボタン**※
各ボタンにタップして再生モードを変更します。
→「再生モードを変更する」(P168)

⑪ ⏮ , ▶/II , ⏭
トラックの選択や再生 / 一時停止が行えます。
⏮ または ⏭ にロングタップ (P24) すると、再生中の曲を早送り、早戻しができます。

⑫ 接続設定
Bluetooth 接続設定画面を表示します。
(→P336)

⑬ **再生時間**※

※ お使いの Bluetooth 機器が対応していない場合や、情報取得できないときは表示しません。

再生モードを変更する

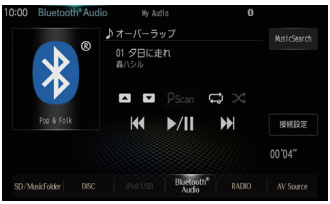
リピート再生、スキャン再生、ランダム再生などが行えます。

※ AVRCPがv1.0のときはこの機能をご利用になれません。

この操作は、Bluetooth Audioの再生情報画面(P167)から行えます。

1 Bluetooth Audioの再生情報画面で変更したい“モード”にタップする

▼



選んだモードの再生を開始します。

アドバイス

- 同一の再生モードボタン(P167)をタップするたびに、モードが切り換わります。解除するときは、モード解除を示すアイコン(P168)になるまでタップしてください。

■ 再生モードについて

Scan（スキャン）	再生中の曲があるグループ内のすべての曲が対象で、始めの部分を約10秒間ずつ順番に再生します。
Scan（グループスキャン）	Bluetooth対応オーディオ機器内の全グループの1曲目を約10秒間ずつ順番に再生します。
Scan（スキャン解除）	各スキャン再生を解除します。
（リピート）	再生中の曲を繰り返して再生します。
（グループリピート）※	再生中の曲があるグループを繰り返して再生します。
ALL（オールリピート）	Bluetooth対応オーディオ機器内にあるすべての曲を繰り返して再生します。
（リピート解除）	各リピート再生を解除します。
（ランダム）	再生中の曲があるグループ内の曲を順不同に再生します。
（グループランダム）	Bluetooth対応オーディオ機器内にある全グループを順不同に選択し、グループ内の曲を順番に再生します。
（ランダム解除）	各ランダム再生を解除します。

※ AVRCPがv1.3以上の場合のみこの機能をご利用できます。

アドバイス

- お使いのBluetooth機器が対応していない場合や、情報が取得できない再生モードは表示しません。
- リピート、グループリピート、オールリピート再生中は、ランダムやグループランダム再生を行ってもリピート再生は継続されます。

リストで探す

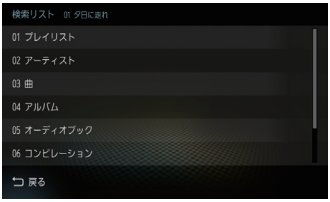
リストにタップしていくことで、フォルダー名やファイル名を確認しながら聴きたい曲を探すことができます。
ここでは、再生情報画面からの操作を説明します。

※ AVRCPがv1.0、v1.3またはリスト表示非対応の機器では、この機能をご利用になれません。

1 **Bluetooth Audioの再生情報画面で MusicSearch にタップする**

リストを表示します。

2 **リストから再生したい“項目”にタップする**



▼

選んだ項目内のリストを表示します。
手順2の操作を繰り返し、曲（トラック）を探します。
リストから再生したい曲（トラック）にタップすると、再生を開始します。

AUX を使う

外部入出力ケーブルおよびAUX機器を本機に接続することで、映像や音声を本機に入力し、再生できます。

注 意

- AUX機器の映像は安全のため走行中は表示されません。
  （後席モニターには表示されます）
- AUX機器の映像をご覧になるときは、安全な場所に停車してください。
- エンジンが停止している状態で使用していると、バッテリーの充電状態によってはエンジンの始動ができなくなることがあります。
- AUX機器に接続されている充電用ケーブル（USBケーブルなど）や外部入出力ケーブルを抜き挿しするときはAudio OFFにしてから行ってください。AUX機器再生中の場合、異音が発生することがあります。

アドバイス

- AUX機器の接続方法については、別紙の取付要領書をご覧ください。

表示するには

1 AVメニューを表示する
（→P62）

2 AUX にタップする

▼

AUX機器の映像を表示します。

お知らせ

- [AUX] のボタンは、外部入出力ケーブルおよびAUX機器を本機に接続していない場合でも表示されますが、タップしても映像を表示できません。

画面表示を切り換える

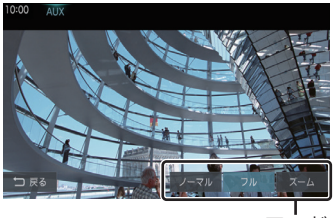
AUXでは３種類のモードが用意されており、表示方法を切り換えることができます。

1 AUX機器の映像を表示中、画面にタップする

2 ワイド切換 にタップする

モードの切換メニューを表示します。

3 いずれかの“モード”にタップする



モード

▼

画面表示のモードが切り換わります。

■ 表示モードについて

ノーマル	表示映像のアスペクト比は４：３です。ディスプレイの上下にフィットするように表示します。 左右に黒い帯が入ります。
フル	映像を縦横ともに、ディスプレイのサイズにフィットするよう拡大、縮小して表示します。 入力映像のアスペクト比は保たれません。
ズーム	表示映像のアスペクト比は４：３です。ノーマルの映像から黒い帯がなくなるように拡大、縮小して表示します。 映像の上下が切れて表示されます。

NAVI

ナビゲーション機能に関する操作方法を説明します。

基本操作 175

ナビゲーション機能について 175
ナビゲーションとは 175
GNSS (Global Navigation Satellite System) 175
QZS (Quasi-Zenith Satellite[準天頂衛星]) 175
マップマッチング 175
GPS アンテナについて 175
地図データについて 175
測位について 176
測位が正確にできない場合 176
人工衛星の受信状況について 176
誤差について 176
3 次元測位について 176
2 次元測位について 176
非測位について 176
ルートの探索方法について 177
ルートの案内について 177
ナビゲーションを操作するときの注意 178
ナビ画面について 179
地図表示内容について 179
現在地画面（ルートなし） 179
現在地画面（ルートあり） 180
スクロール画面 181
各アイコンについて 182
信号情報案内について 182
NAVI メニューを表示する 184
ROUTE メニューを表示する 184
ショートカットメニューを表示する 185
現在地画面を表示する 185
音声認識 186
音声認識について 186
目的地や登録地などの設定 186
サーバー音声認識 186
周辺検索アシスト 187
バージイン発話 187
音声認識の開始方法について 188
ウェイクアップコマンドによる開始 188
キー操作による開始 188
NAVI メニューからの操作 188
ショートカットメニューからの操作 188
発話マークが表示されている画面からの操作 189
音声認識コマンドリストを確認する 189
最初に認識できる音声認識コマンド 190
音声認識で操作する 190
あいまい検索 190
近くのコンビニエンスストアを検索して目的地に設定する 191
検索結果のリストからの操作 191
文字入力のしかた 192
文字入力用キーボード 192
変換候補のリストについて 193
入力できる文字の種類 193
数字入力用キーボード 194
施設名称入力用キーボード 195
地図画面を設定する 196
地図画面を選択する 196
画面分割について 196
スタンダード 196
スタンダード 2 画面 196
高速略図 197
PsideP 197
地図向きについて 197
自車基準 197
北基準 197
地図の種類について 198
2D マップ 198
3D ビューマップ 198
ランドマークの表示を個別に設定する 198
地図色を設定する 199
地図色について 199
地図の文字サイズを設定する 199

案内表示について.....200
交差点案内図.....200
一般道方面看板表示.....200
リアル交差点案内図.....200
立体交差点案内図.....201
都市高速入口イラストマップ.....201
料金所案内図.....201
レーン案内.....202
3Dリアルジャンクション.....202
県境案内.....202
カーブ案内.....202
合流案内.....202
踏切案内.....202
一時停止案内.....202
事故多発区間案内.....202
パーキングブレーキアラーム.....203
速度超過アラーム.....203
地図を操作する.....204
縮尺の切り換え.....204
市街地地図について.....204
地図をスクロールする.....205
スクロールの微調整.....205
スクロール方面名称表示について.....205
地点メニューからの操作.....206
目的地に設定する.....206
経由地に設定する.....206
登録地に設定する.....207
周辺の施設を探す.....207
建物情報やVICS規制情報を見る.....208
高速道路情報について.....209
表示内容について.....209
施設の情報について.....210
表示するには.....210
各エリアの情報を確認する.....211
JCTを選択した場合.....211
SA/PAを選択した場合.....212

目的地の設定 213

自宅を目的地に設定する.....213
特別登録地を目的地に設定する.....214
探した場所を目的地に設定する.....215
場所を探す.....217
施設名称を入力して探す.....217
検索結果を絞り込む.....218
絞り込みを解除する.....218
検索キーワードを変更する.....218
施設ジャンルから探す.....219
検索結果を並べ替える.....220
検索結果を絞り込む.....221
絞り込みを解除する.....221
施設の候補位置について.....222
提携駐車場を検索する.....222
文字情報のある施設について.....223
周辺の施設を探す.....223
ショートカットメニューからの操作.....225
住所から探す.....225
番地を直接入力する.....226
電話番号から探す.....226
郵便番号から探す.....227
MAPCODEを利用する.....228
DriveConnectを利用する.....228
はじめて利用するとき.....229
ネットDEサーチを使う.....229
スマホDEメモを使う.....232
検索履歴を利用する.....233
検索履歴を消去する.....233
登録地を呼び出す.....234
NaviConを使う.....234
対応機能について.....235
目的地を送信する.....235
友達マップの全体表示.....236
探索条件設定画面について.....237

ルートの確認・変更 238

ルートの確認.....238
次に曲がる交差点を確認する.....238
全ルートを確認する.....238
地図上のアイコン種類.....238
詳細情報を確認する.....239
ルートを確認する.....239
目的地・経由地の位置を確認する.....240
デモ走行を見る.....241
終了するには.....241

ルートの変更 242
探索条件を変更する 242
経由地がない場合 242
経由地がある場合 242
探索条件の種類について 243
経由地の設定・変更 243
経由地を設定する 243
経由地を追加する 244
経由地を変更する 244
検索方法選択画面について 245
経由地を消去する 245
経由地を並べ替える 246
入口/出口のICを変更する 247
IC指定を解除する 247
5つのルートから選ぶ 248
迂回ルートを探索する 248
ショートカットメニューからの操作 ... 248
別ルートを探索する 249
ショートカットメニューからの操作 ... 249
VICS規制を回避する 249
スマートICを回避する 250
長期通行規制を回避する 250
並走道路を切り替える 251
ルート案内を中断/再開する 251
ルートを消去する 251

登録地の設定 252

自宅を登録する 252
特別登録地を設定する 253
登録地を設定する 254
現在地を登録する 254
探した場所を登録する 254
登録地を変更する 255
登録地情報を変更する 255
登録地情報画面について 255
名称 255
読み仮名 256
電話 256
場所 256
地点マーク 256
リストの順序を変更する 257
順序の種類について 257
登録地を消去する 257

VICS機能 258

VICSについて 258
VICSのメディアと特徴 258
FM多重放送 258
光ビーコン 258
電波ビーコン 258
ETC2.0 258
オンライン受信 258
VICS情報のレベル 259
レベル1(文字) 259
レベル2(簡易図形) 259
レベル3(地図) 259
音声情報 259
表示内容について 260
VICSメニューについて 261
VICS記号について 262
VICSセンターへのお問い合わせ 262
VICSセンター お客様相談窓口 262
交通情報を調べる 263
現在地周辺を調べる 263
詳細情報を確認する 264
スクロール地点周辺を調べる 264
高速道路を調べる 265
文字・図形情報を見る 265
渋滞情報を切り換える 266
オンラインの情報を受信する 267
VICSによる自動処理 268
緊急情報の割り込み表示 268
再表示するには 268
ルート自動更新 268
図形/文字情報の割り込み表示 269
VICS局を選ぶ 270
自動選局 270
県指定 270
周波数指定 270

ETC2.0 271

ETC2.0サービスとは 271
ETC2.0サービスの概要 271

ETC2.0サービスについて.....271
音声情報.....271
アップリンク機能.....271
安全運転支援情報.....272
渋滞回避支援.....272

ナビゲーション機能について

ナビゲーションとは

ナビゲーションとは、自車の位置を測定して、設定した目的地までのルートを案内するシステムのことです。地図上に表示される自車の位置は、「GNSS」と「マップマッチング」という機能で測定されます。

■ GNSS（Global Navigation Satellite System）

人工衛星を利用して位置を検出するシステムを「GNSS」といいます。GNSS は、一般的な「GPS」の他に、ロシアの「GLONASS」や日本の「QZS（準天頂衛星）」の人工衛星を利用しています。

- 自車の位置を測位するには、見晴らしのよい場所で２分程度かかります。本機を最初に使用するときや、長時間使用しなかったときは、自車の位置を測位するまでに５分程度かかります。

■ QZS（Quasi-Zenith Satellite[準天頂衛星]）

日本の天頂付近を通過する人工衛星です。なお、本機では、準天頂衛星による測位機能以外のサービスには対応しておりません。

■ マップマッチング

自車の走行軌跡データと地図データ上の道路形状を比較して、走行中の道を推測して地図に表示する機能を「マップマッチング」といいます。

注 意

- ナビゲーションで表示される地図や交通規制は地図データ作成時の各種情報に基づいて作成されていますので、実際の道路や交通規制と異なる場合があります。実際の道路や交通規制に従って走行してください。

GPS アンテナについて

本機の GPS アンテナでは、GPS 衛星などの電波を受信します。

アドバイス

人工衛星からの電波がさえぎられると、自車の位置が正しく表示されないことがありますので以下のことをお守りください。

- ウィンドウガラスに鏡面タイプやカーボン含有のフィルムを貼らないでください。
- GPS アンテナの上や周辺にものを置いたり、ETC アンテナを取り付けたりしないでください。
- 携帯電話や PHS、パソコンなどを GPS アンテナの近くで使用しないでください。

地図データについて

地図データは誤字・脱字・位置ずれなどがある場合があります。

測位について

■ 測位が正確にできない場合

トンネルの中やビル内の駐車場、高層ビルで囲まれているような場所、山や樹木で囲まれているような場所、高速道路や電車の高架下などは人工衛星から電波を受信できないことがあります。この場合、測位はジャイロセンサーと車速センサーによる自律航法になりますので、正確な自車位置の測位ができなくなることがあります。

■ 人工衛星の受信状況について

人工衛星が稼働を停止したり、技術的問題が生じたりした場合には、測位の精度が落ちたり電波を利用できなくなったりすることがあります。

■ 誤差について

人工衛星から電波を受信できないとき、誤差が生じやすくなり、自車位置が正しく表示されないことがあります。
しばらく走行して人工衛星から電波を受信できるようになると、現在地のずれは自動的に修正されます。

自車位置が正しく表示されない原因

- 高速道路と一般道路が近くにあるとき
- 碁盤目状の道路を走行しているとき
- 勾配の急な山岳路を走行しているとき
- 直線路を長い間走行した後、右左折したとき
- エンジンスイッチON直後
- 渋滞中や駐車場などの低速走行しているとき（車種によっては低速走行時に車速信号を出力していないため）
- タイヤチェーンを装着して走行しているとき
- ターンテーブルなどで旋回したとき
- 角度が小さいY字路を走行しているとき
- フェリーなどで車両運搬移動した後
- 立体駐車場やらせん状の道路を走行しているとき
- 広い道路で蛇行運転しているとき
- 応急用タイヤなどに交換したとき
- 雪道や砂利道などの滑りやすい道路を走行しているとき

■ ３次元測位について

４個以上の人工衛星から位置精度が期待できる有効な電波を受信できる場合、緯度、経度、標高の３次元の位置を計算します。
→*「GNSS/QZS受信状況確認」（P351）*

■ ２次元測位について

３個以上の人工衛星から位置精度が期待できる有効な電波を受信できる状態で３次元測位に至らない場合、標高が前回と変わらないと想定して緯度、経度の２次元の位置を計算します。この場合３次元測位よりも位置精度は低下します。
→*「GNSS/QZS受信状況確認」（P351）*

■ 非測位について

人工衛星から位置精度が期待できる有効な電波を受信できない場合非測位となります。
→*「GNSS/QZS受信状況確認」（P351）*

ルートの探索方法について

- ルート案内で表示されるルートは目的地までの参考ルートであって必ずしも最短ルート、渋滞していないルートではありません。
- すべての道路がルート案内の対象道路ではありません。
- 探索条件で有料優先を選択した場合でも、一般道路を通ったほうがよいと判断される場合は、有料道路を通らないルートを表示することがあります。また、自車位置が有料道路上にある場合や目的地が有料道路上にある場合は、一般優先で探索を選択していても、有料道路を通るルートを表示することがあります。
- フェリーを使うルートは通常の道路より推奨しにくく設定してあります。このためフェリーを使ったほうが早く目的地に到着する場合でも、フェリーを使わないルートを表示することがあります。
- 有料道路のインターチェンジ、パーキングエリア、サービスエリアを目的地や経由地にする場合は施設検索および高速略図から選択し、地図をスクロールさせずに設定してください。
- 同じ場所を目的地や経由地に設定した場合でも前回作成したルートと同じにならない場合があります。
- 通行できない歩道や階段などを含むルートを表示する場合があります。
- 目的地まで道がない場合や細い道しかない場合は目的地から離れた場所までのルートを表示する場合があります。
- 道路形状によっては施設に横付けする探索を行うため遠回りのルートを表示する場合があります。
- 長期通行規制などがあった場合、規制情報を考慮したルートを探索する場合があります。
- 冬季通行止めなどは一部対応していないものや期間が実際と異なる場合があります。
- スマートICを通るルートを探索した場合、スマートICに設けられている対象車種制限は考慮していません。

ルートの案内について

- ルート探索をして自車がルート上のときは目的地または次に通過する経由地までの距離を表示します。
- ルート探索をして自車がルート外のときは目的地や経由地までの距離と到着予想時刻がグレーで表示され、ルートから外れた場所から目的地または経由地までのルートの距離を表示します。
- 目的地への到着予想時刻表示は、地図データに格納されている所要時間データを元に走行情報を学習して算出しています。
- 交差点で曲がるのに交差点名称の案内や音声案内されない場合があります。
- 右左折案内が実際の道路形状と異なる案内をする場合があります。
- 案内ルートを外れて手前の交差点などで曲がったときなどに、外れる前のルートに対する音声案内をする場合があります。
- 案内距離および案内地点までの所要時間は目安ですので多少ずれることがあります。

ナビゲーションを操作するときの注意

- ルート案内中は、必ず実際の交通規制に従ってください。交通事故の原因になるおそれがあります。
- ルートは地図データを使って探索します。実際の工事規制や一方通行などの通行規制と異なることがあります。必ず、実際の交通規制に従ってください。
- 時間規制などの交通情報はルート探索した時刻のものが反映されます。運転の際は必ず実際の交通規制に従ってください。（規制時間は開始30分前から考慮されます。）
- 自車が移動した距離は、スピードセンサー（タイヤの回転数に比例）で測定しています。新品または規格外のタイヤを装着しているときやタイヤの空気圧が適正でないときは、誤差が生じやすくなり、自車の位置が正しく表示されないことがあります。
- 走行中は道路の表示量が制限され、表示されない道路があります。（細街路など）
- 目的地までの距離が極端に近い、または遠いときはルートが探索できないことがあります。
- ルートを外れて走行しても、自動的にルートを再探索します。
- 到着予想時刻は、道路状況や運転のしかたによって変化します。
- 走行中は一部操作に制限がかかります。走行中の操作はなるべく控え、安全な場所に車を停めて操作してください。

ナビ画面について

ナビの地図画面や各メニュー画面の表示内容について説明します。

お知らせ

- 各メニューの項目はナビの設定や走行状態により変化し、表示されない項目もあります。
- 本書のナビ画像は説明用に一部ランドマークを非表示にしています。

地図表示内容について

■ 現在地画面（ルートなし）

[現在地]キーを押したときに表示される現在地画面の表示内容について説明します。

① **一時停止標識 / 制限速度標識** *(→P182)*

② **TEL/ 通信アイコン** *(→P182)*
電話を使用しているときや、通信中のときに表示します。

③ **時計**
24 時間制で現在時刻を表示します。

④ **カメラアイコン** *(→P182)*
カメラが装着されている場合に表示します。

⑤ **マイメニュー** *(→P31)*
よく使う機能をまとめておけるメニューを表示します。

⑥ **(VICS ボタン)** *(→P260)*
VICS の提供時刻を表示します。タップすると、VICS メニューを表示します。

⑦ **ビュー切換** *(→P196)*
タップすると、ビュー切換画面を表示します。また、ランドマークや地図の文字サイズ、地図色などの設定ができます。

⑧ **縮尺アイコン** *(→P204)*
表示されている地図の縮尺を示します。
[広域]または[詳細]にタップすると、縮尺を変更できます。

⑨ **>>** *(→P185)*
ショートカットメニューを表示します。

⑩ **各アイコン** *(→P182)*
エコスコアや Bluetooth の接続状態などを表示します。
また、青信号までの残時間をお知らせする“信号情報案内”を表示します。
→「信号情報案内について」(P182)

⑪ **自車位置マーク**
矢印が車の位置を示し、矢印の向きが進行方向を示します。

⑫ **周辺検索アシスト認識施設 / 現在地名 / AV 再生情報**
周辺検索アシスト *(P187)* の認識キーワードや現在地名、AV 再生情報 *(P63)* を表示します。
タップするたびに、現在地名または現在のオーディオ再生情報を切り換えます。

■ 現在地画面（ルートあり）

① **（赤色の丸マーク）**
次に曲がる交差点を示しています。

② **ルート**
目的地までの道のりを色分けした線で表示します。

一般道	（緑色）
細街路	（うすい緑色）
高速／有料道 フェリー航路	（水色）

③ **（黄色の三角マーク）**※1
レーン案内、または一般道方面看板を表示している交差点を示しています。

④ **目的地目安線** *（→P317）*
目的地の方向を示す直線を表示します。［表示の設定］の「目的地目安線」で［目的地］、［次の経由地］または［表示しない］を選ぶことができます。

⑤ **交差点案内アイコン** *（→P238）*
次に曲がる交差点 （赤色の丸マーク）および２番目に曲がる交差点までの距離と曲がる方向を示します。タップすると、交差点案内図を表示します。

⑥ **交差点名**※1
（黄色の三角マーク）が示している交差点名を表示します。
交差点名がない場合、ルート案内中は“案内交差点”、非案内中は“交差点”と表示します。

⑦ **レーン案内**※1 *（→P202）*
（黄色の三角マーク）が示している交差点にレーン情報が存在すると表示します。

⑧ **一般道方面看板**※1 *（→P200）*
前方の交差点に一般道方面看板の情報が存在すると表示します。

⑨ **目的地／経由地情報**
目的地または経由地の到着予想時刻、距離を示します。自車が経路から外れるとグレーで表示されます。

※1　ルートを設定していなくてもレーン情報、一般道方面看板情報があれば、表示します。

■ スクロール画面

地図スクロール(*P205*)を行ったときや検索後に表示するスクロール画面の表示内容について説明します。

① ❶ マーク

設定された経由地(*P243*)を ❶ マークで示します。

経由地は5つまで設定でき、通過する順に ❶, ❷, ❸, ❹, ❺ と表示します。

② ✛ マーク

スクロールした場所の中心地点に表示されます。地点の設定(目的地、経由地、登録地の設定)ができるときはオレンジ色、地点の設定ができないときは白色で表示します。

③ Ⓖ マーク

設定された目的地(*P213*)を Ⓖ マークで示します。

④ 戻る

1つ前に戻ります。

⑤ 微調整

✛ マーク位置を微調整できます。

→*「スクロールの微調整」(P205)*

⑥ ランドマーク

商標や観光地などをマークで示します。

⑦ 地点メニュー

目的地や経由地、登録地の設定が行えます。

詳細情報	✛ 地点が ◇ に変わるとその地点の建物情報やVICS規制アイコンの詳細情報を表示できます。 →*「建物情報やVICS規制情報を見る」(P208)*
周辺施設	✛ 地点周辺の施設を探すことができます。 →*「周辺の施設を探す」(P207)*
登録する	✛ 地点を登録できます。→*「登録地に設定する」(P207)*
ここへ寄る	✛ 地点を経由地に設定できます。 →*「経由地に設定する」(P206)*
ここへ行く	✛ 地点を目的地に設定できます。 →*「目的地に設定する」(P206)*

⑧ 自車位置までの距離

✛ マークから自車位置までの距離を表示します。

アドバイス

- 道幅の狭い一部の道路(細街路)は走行すると表示されなくなりますが故障ではありません。
- ⑥ランドマークは[ビュー切換]→[ランドマーク]にタップして、[表示しない]に設定すると地図画面から表示を消すことができます。
- ⑥ランドマークは種類ごとに表示有無を選ぶことができます。
  →*「ランドマークの表示を個別に設定する」(P198)*

■ 各アイコンについて

現在地画面 *(P179)* に表示されるアイコンについて説明します。

止まれ ※1	自車前方に一時停止標識情報がある場合に表示します。 [表示の設定]の「一時停止標識」を[表示する]にしておく必要があります。 →*「NAVIの設定」(P315)*
40 ※1	自車走行中の道路に制限速度情報がある場合に表示します。 [表示の設定]の「制限速度」を[表示する]にしておく必要があります。→*「NAVIの設定」(P315)* 自車前方に一時停止標識情報がある場合は、一時停止標識を優先して表示します。
通話中 / 通信中	本機に接続した電話を使用しているときや、通信機器が通信中のときに表示します。 タップすると、通話画面 *(P295)* または通信中の画面を再表示します。
カメラ ※2	シフトポジションを「R」にすると、リアカメラ映像を表示します。 シフトポジションを「R」にしたまま現在地画面に戻ったときのみ カメラ を表示します。 カメラ にタップすると、リアカメラ映像を表示します。
ECO	ルート案内中、燃費に良い運転方法の評価を確認できます。バーの点灯が多いほど良い評価となります。 →*「エコスコア」(P279)*
	準天頂衛星 *(P175)* を受信時に表示します。
	Wi-Fi接続されていると、Wi-Fiの電波強度を表示します。 →*「Wi-Fiの設定」(P340)*
	Bluetooth接続されていると表示します。 →*「Bluetoothの設定」(P336)*
	携帯電話の電波強度を表示します。
REC	MusicFolderへ音楽CDを録音中に表示します。
	周辺検索アシストが使用できるときに表示します。 →*「周辺検索アシスト」(P187)*

※1　実際の道路標識と一致しない場合があります。

※2　別売のカメラを接続する必要があります。

■ 信号情報案内について

別売のETC2.0車載器（光VICS対応）を接続することで、信号情報の配信区間を走行したとき、赤信号から青信号に変わるまでの残時間を案内します。

⚠ 警告

- **配信される情報を元に信号情報案内を行いますが、実際の点灯状況と異なる場合があります。**
  走行時は実際の信号や周囲の状況を確認の上、交通状況に従って走行してください。

注 意

- 信号情報案内は情報の配信区間走行時に案内されます。配信区間および情報は情報配信元（各都道府県警）にて整備されており、すべての路線で案内されるわけではありません。
- 配信された信号情報を元に案内しますので、同一地点でも通過タイミングによって、案内されない場合があります。
- 感応式信号（押しボタン式信号など）では、案内されない場合や実際の点灯状況にずれが発生する場合があります。
- 急加速、急減速などを行うと、正確な案内が行えないことがあります。
- 工事や管制センターの都合により、配信区間であっても案内されない場合があります。
- 雨、雪、樹木などの遮蔽物、または強い日光、フロントガラスの特性などによって、光ビーコンの情報を正しく受信できず、信号情報案内が行えない場合があります。

お知らせ

- 案内を有効にするには、*「信号情報案内の設定」(P321)* で「信号情報案内」を[案内する]に設定する必要があります。

信号情報の受信状態（支援エリア内）

信号情報を受信している場合に表示します。

信号情報の受信状態（支援中）

前方の信号が支援対象の場合に表示します。支援対象の情報案内は赤信号から青信号に変わるまでの残時間を案内します。

信号情報の案内表示

赤信号から青信号に変わるまでの残時間を案内します。

↓

↓

アドバイス

- 配信区間走行中は、地図画面のステータスバーに支援状態が表示されます。

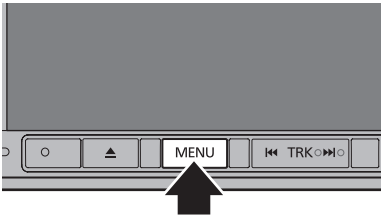
支援エリア内	信号情報の配信区間を走行中です。
支援中	配信区間を走行中かつ、支援状態です。
残時間	青信号までの時間が表示されます。
まもなく	青信号に変わるまで、約5秒です。

- 赤信号の残時間は、支援中の状態で停車した場合に案内されます。
- 別売のHUDを本機に接続すると、HUDに赤信号減速支援が表示されます。
- 支援表示は自車が直進する想定で表示しています。
- 減速支援は前方の信号を対象としています。

NAVIメニューを表示する

目的地の設定や地点登録がこのメニュー画面から行えます。

1 **MENU キーを押す**



NAVIメニューを表示します。

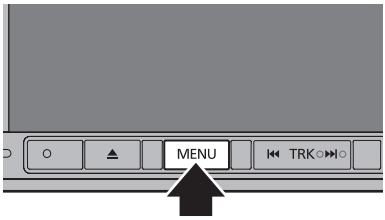
ROUTEメニューを表示する

ルート編集はこのメニュー画面から行えます。

お知らせ

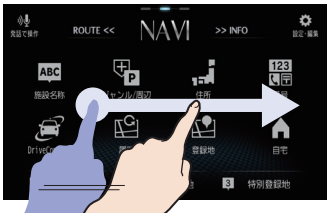
- 目的地を設定すると、ROUTEメニューを表示できます。

1 **MENU キーを押す**



2 **画面を右へスライドする**

画面をフリック *(P24)* しても切り換えることができます。



ROUTEメニューを表示します。

アドバイス

- NAVIメニュー画面で[ROUTE]にタップしても表示できます。

ショートカットメニューを表示する

ここでは、現在地画面 *(P179)* から表示するショートカットメニューの表示方法を説明します。

1 現在地画面で [>>] にタップする

▼

ショートカットメニューを表示します。

アドバイス

- 本書ではショートカットメニューを表示するためのボタンを [>>] と記載しています。
- [<<] にタップするとショートカットメニューを閉じます。[<<] にタップするまで、ショートカットメニューは表示したままです。

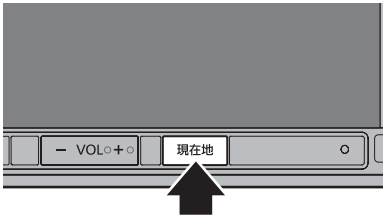
現在地画面を表示する

スクロール画面 *(P181)* やNAVIメニュー *(P28)* などから現在地画面 *(P179)* を表示できます。

アドバイス

- AV画面やINFO画面などその他の機能からも現在地画面を表示できます。

1 現在地 キーを押す



▼

ナビゲーション画面の現在地画面を表示します。

音声認識

本機では、NAVI機能の一部を音声認識によって操作することができます。

お知らせ

- 以下のような場合、音声認識の性能が低下することがあります。
  - 音楽を大音量で再生している
  - 音楽を外部アンプ接続で再生している
  - 外部からの雑音が大きい

  また、助手席や後部座席の同乗者の会話を誤認識してしまう可能性があります。
- 認識性能が悪い状態がしばらく続く場合、*「音声認識の設定」(P345)* から「学習データリセット」を実施することで改善されることがあります。

音声認識について

■ 目的地や登録地などの設定

音声認識による操作のみで周辺の施設などを検索でき、目的地や経由地、登録地の設定が行えます。

詳しくは、*「音声認識で操作する」(P190)* をご覧ください。

アドバイス

- 音声認識のみの操作で行うには、*「音声認識の設定」(P345)* で「ウェイクアップコマンド」を[使用する]に設定しておく必要があります。

■ サーバー音声認識

Wi-Fi機器(スマートフォンなど)のデータ通信機能を利用して、音声認識サーバー上でも音声認識を行えます。通常の音声認識よりも柔軟に、様々な言い回しに対応できます。

お知らせ

- Wi-Fi接続可能な機器が必要です。
- 本サービスの利用は無料ですが、通信費はお客さまのご負担となります。
- 通信状況によっては利用できない場合があります。
- 本機取り付け直後など、GPSによる時刻取得ができていない状態では、サーバー音声認識が使用できません。

アドバイス

- サーバー音声認識を利用するには、*「音声認識の設定」(P345)* で「サーバー音声認識」を[使用する]に設定しておく必要があります。
- サーバー音声認識を使用した検索結果の場合は、サーバーアイコンが表示されます。

■ 周辺検索アシスト

本機は、運転手の発話や車内の会話に含まれる施設ジャンルやブランド名に対応するキーワードを認識しています。
周辺検索アシストとは、認識したキーワードをショートカットメニューに反映し、周辺検索をアシストする機能です。

アドバイス

- アシストインジケータが表示されている画面（現在地画面）で認識が可能です。

アシストインジケーター

	認識可能な状態です。
	認識中です。
	認識不可の状態です。

- *「音声認識の設定」（P345）*で「周辺検索アシスト」を［使用する］に設定しておく必要があります。
- キーワードは、最新のキーワードを認識してから約10分間記憶しています。

キーワードを認識したとき

認識したキーワードのテロップ

キーワードを認識したとき、このテロップを約10秒間表示します。
テロップにタップすると、下記のショートカットメニューを表示します。

ショートカットの［検索］をタップしたとき

認識したキーワードに基づいた周辺の施設候補を最新の３件まで表示できます。

キーワードに基づいた周辺の施設候補

→*「ショートカットメニューからの操作」（P225）*

■ バージイン発話

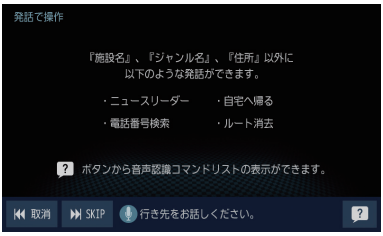
本機は、音声認識後の音声ガイダンス中でも次の発話を行うと、音声認識コマンドを認識します。
バージイン発話とは、音声ガイダンス中でも次の発話を受け付けて、次の操作状態に移行する機能を言います。

アドバイス

- 本機能を有効にするには、*「音声認識の設定」（P345）*で「バージイン発話」を［使用する］に設定しておく必要があります。

音声認識の開始方法について

音声認識は、以下のいずれかの方法で開始することができます。



	音声認識が可能な状態です。
	音声を認識できません。上記の発話マークが表示されてから発話してください。

アドバイス

- [取消] にタップすると、音声認識を1つ前の状態に戻します。
- [SKIP] にタップすると、音声ガイダンスを中断し、次の発話を受け付けることが可能な状態になります。

■ ウェイクアップコマンドによる開始

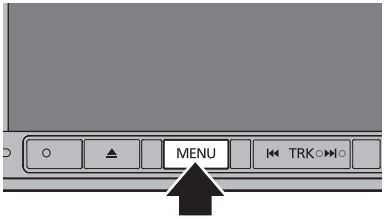
現在地画面または発話マークが表示されている画面など、音声認識が可能な状態であれば、“声で操作” と発話することで開始できます。

アドバイス

- *「音声認識の設定」(P345)* で「ウェイクアップコマンド」を [使用する] に設定しておく必要があります。

■ キー操作による開始

現在地画面または発話マークが表示されている画面など、音声認識が可能な状態であれば、[MENU] キーを長押しすると開始できます。



アドバイス

- *「システムの設定」(P343)* の「ハードキー動作の設定」で [音声認識] を選択しておく必要があります。

■ NAVIメニューからの操作

[MENU] キーを押し、[発話で操作] にタップすると開始します。

■ ショートカットメニューからの操作

現在地画面で、[>>] → [発話] にタップすると開始します。

■ 発話マークが表示されている画面からの操作

発話マークにタップすると開始します。

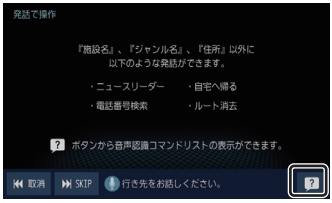
音声認識コマンドリストを確認する

操作する上で発話する言葉がわからない場合に確認できます。

1 **現在地画面で、 >> → 発話 にタップする**

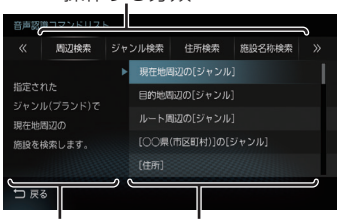
発話で操作の画面が表示されます。

2 **? にタップする**



▼

操作する分類



操作の説明　　コマンド

音声認識で操作できるコマンドのリスト画面を表示します。

■ 最初に認識できる音声認識コマンド

下記の発話例を参考に音声認識を始めてください。

種類	発話例
検索コマンド	“電話番号検索”
登録地名称	“会社”、“実家”
周辺検索	“現在地周辺のコンビニ”、“コンビニ”
住所＋ジャンル	“横浜市のコンビニ”
住所	“神奈川県横浜市”
住所＋施設名	“横浜市の○○ホテル”
施設名	“○○ホテル”
ニュースリーダー	“ニュースリーダー”
有名施設名+ジャンル※	“○○タワー周辺のコンビニ”

※ サーバー音声認識の機能となります。

アドバイス

- “神奈川県横浜市” と発話することで横浜市の地図が表示されます。
  この住所指定では、自車がある都道府県内の場合には都道府県名を省略することができます。

音声認識で操作する

音声認識では、住所やジャンル、登録地（“会社” など設定した名称）を発話することで場所を探すことができます。また、“電話番号検索” と発話することで電話番号から場所を探すことができます。ここでは、音声認識での操作の一例を説明します。

■ あいまい検索

施設名などのキーワードを発話して、検索することができます。

1 現在地画面で、[>>] → [発話] にタップする

発話で操作の画面が表示されます。

2 探している施設のキーワードを発話する

“とうきょう○○” や “○○公園” などと発話します。
キーワードを発話すると、あいまい検索リストを表示します。

3 リストを絞り込む

“東京都” や “駅” など都道府県名やジャンルなどを発話することでリストを絞り込むことができます。

発話対象	内容
都道府県名	都道府県のタブを切り換えます。
市区町村名	都道府県より下の住所を発話します。発話した住所でリストを絞り込みます。
ジャンル	ブランド名または、“ファミレス” や “コンビニ” などを発話します。発話したジャンルでリストを絞り込みます。

4 “次ページ” または “前ページ” と発話し、施設を探す

5 “１番目” と発話する

▼

探している施設周辺の地図を表示します。
引き続き、“ここへ行く” と発話すると目的地設定、“ここを登録” と発話すると登録地設定などの操作が行えます。

アドバイス

- 手順５の操作で “１番目へ行く” または “１番目を登録” と発話すると施設周辺の地図を表示することなく目的地設定、登録地設定を行うことができます。
- “東京都の～” や “横浜市の～” といった地域を限定した検索も可能です。
- 工場出荷時の状態であれば、手順１の操作を “声で操作” と発話するだけで行えます。

■ 近くのコンビニエンスストアを検索して目的地に設定する

1 現在地画面で、[>>] → [発話] にタップする

発話で操作の画面が表示されます。

2 “近くのコンビニ” と発話する

現在地周辺のコンビニエンスストアのリストが表示されます。

3 “次ページ” または “前ページ” と発話し、行きたい地点を探す

4 “３番目の地点に行く” と発話する

▼

ルート設定が完了します。

アドバイス

- 工場出荷時の状態であれば、手順１の操作を “声で操作” と発話するだけで行えます。
- “コンビニ” などと発話しても現在地周辺の施設が検索可能です。

■ 検索結果のリストからの操作

1 検索結果のリストで “発話マーク” にタップする

2 “次ページ” または “前ページ” と発話し、登録したい地点を探す

3 “２番目の地点を登録” と発話する

▼

場所の登録が完了します。

アドバイス

- 工場出荷時の状態であれば、手順１の操作を “声で操作” と発話するだけで行えます。

文字入力のしかた

文字入力キーボードの各メニューについて説明します。

文字入力用キーボード

※画面は説明用に作成したものです。

① **入力文字表示部**
入力した文字を表示します。
“背景が白色” のときは確定前の文字で [変換] で漢字に変換できます。
“背景が黒色” のときは、確定済みで変換はできません。

② **カーソル**
[で表示され、[の左側に文字が入力されます。

③ 変換
確定前の文字を変換するための変換候補リストを表示します。
→「変換候補のリストについて」(P193)

④ **入力キーボード**
タップで表示されている文字を入力できます。

⑤ 半角 / 全角
入力キーボードに表示される文字が半角→全角→半角と切り換わります。

⑥ 戻る
1 つ前の画面に戻ります。

⑦ 小文字 / 大文字
タップで入力キーボードに表示される文字が小文字→大文字→小文字と切り換わります。

⑧ ⌫
入力中の文字を一文字削除します。

⑨ ◀ , ▶
[の位置を移動します。

⑩ 無変換
確定前の文字を変換せずに確定します。

⑪ かな
入力キーボードに表示される文字が「ひらがな」に切り換わります。

⑫ カナ
入力キーボードに表示される文字が「カタカナ」に切り換わります。

⑬ 英数
入力キーボードに表示される文字が「アルファベット」、「数字」および簡単な「記号」に切り換わります。

⑭ 記号
入力キーボードに表示される文字が「数字」と「記号」に切り換わります。

⑮ 特殊
入力キーボードに表示される文字が「特殊文字」に切り換わります。

⑯ 入力完了
入力された文字をすべて確定し、文字入力モードを終了します。

⑰ 全消去
入力中の文字をすべて削除します。

アドバイス

- 機能や文字の種類によって、表示されないボタンや別のボタンになることがあります。

■ 変換候補のリストについて

文字入力キーボードで[変換]にタップすると表示する変換候補リストについて説明します。

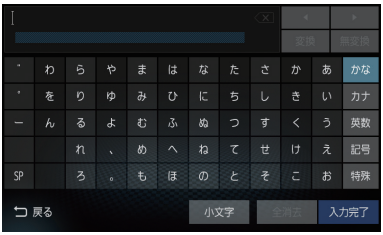
① ◀ , ▶
変換範囲を変更できます。

② **変換候補**
タップした変換候補で確定します。

■ 入力できる文字の種類

入力キーボードはさまざまな文字が入力できるように用意されています。
文字入力は、各機能の操作の途中で必要になったときに表示します。
但し、機能によって入力できる文字を制限することがあります。
(例:*「電話番号から探す」(P226)*では数字のみ)

ひらがな



カタカナ

アルファベット/数字

記号/数字

アドバイス

- "きごう"と入力して[変換]にタップすることでも、一部の記号が入力できます。

特殊文字

アドバイス

- [特殊1]～[特殊3]をタップすると、入力キーボードの文字が切り換わります。

数字入力用キーボード

電話番号や郵便番号など数字のみを入力できるように用意されています。

施設名称入力用キーボード

① **入力文字表示部**
入力した文字を表示します。
“背景が白色” のときは確定前の文字です。
“背景が黒色” のときは、確定済みの文字です。

② **入力候補リスト**
入力した文字に続く文字や言葉を予測し候補を表示します。
タップで入力文字表示部へ入力します。
< または > にタップして候補リストを左右に送ったり戻したりできます。

③ **入力キーボード**
タップで表示されている文字を入力できます。

④ **戻る**
1 つ前の画面に戻ります。

⑤ **X**
未確定の文字を 1 文字削除します。未確定の文字列がない場合は、1 つ前に確定した文字列を未確定の状態に戻します。
ロングタップ *(P24)* するとまとめて削除できます。

⑥ **&条件**
①入力文字表示部に「&」が入力され別のキーワードを追加できます。
キーワードは最大 3 語まで指定できます。

⑦ **確定**
未確定の文字を確定します。

⑧ **小文字** / **大文字**
タップで入力キーボードに表示される文字が小文字→大文字→小文字と切り換わります。

⑨ **検索する**
入力した文字の検索結果を表示します。

地図画面を設定する

地図の表示状態を切り換えたり、ランドマークの表示や地図色を変更したりすることができます。

地図画面を選択する

1 ビュー切換 にタップする

2 切り換えたい設定にタップする

3 戻る にタップする

▼

地図の画面分割方法または向き、種類が切り換わります。

アドバイス

- 地図の画面分割方法と向き、種類は別々に選択できます。
- スタンダード２画面の右画面を変更する場合は、右画面側の［ビュー切換］にタップします。

ただし、右画面に3Dビューマップは表示できません。

画面分割について

地図の画面分割方法について説明します。

■ スタンダード

標準的な地図を１画面に表示します。

■ スタンダード２画面

縮尺、方位が違う２つの地図を同時に表示できます。

アドバイス

- 左画面には2Dマップ、3Dビューマップを表示できます。
- 右画面には、2Dマップのみ表示できます。

■ 高速略図

現在地を起点とした高速出入り口やサービスエリアの一覧を表示します。

アドバイス

- 高速略図では、さまざまな情報を確認できます。
  →「高速道路情報について」(P209)
- 高速略図を選択するには高速道路を走行している必要があります。
- 1画面(全面)には、表示されません。
- 各施設までの距離および情報を調べることができます。

■ PsideP

地図とオーディオ画面を同時に表示します。

アドバイス

- 音楽を再生しているときは、再生や一時停止、早送り、早戻しの操作が行えます。また、リピートおよびランダムの切り換えもできます。
- ラジオや交通情報を選択しているときは、プリセットボタンを表示します。
- AVソースによって、操作が行えるボタンの表示状態が異なります。

地図向きについて

切り換えることのできる地図の向きについて説明します。

■ 自車基準

自車の進行方向を上とした地図を表示します。

■ 北基準

北を上とした地図を表示します。

地図の種類について

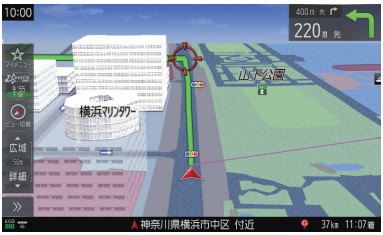
切り換えることのできる地図の種類について説明します。

■ 2Dマップ

「自車基準」または「北基準」の地図向きが選べる一般的な地図を表示します。

■ 3Dビューマップ

上空から見下ろした地図を表示します。



アドバイス

- 3Dビューマップ表示中、[ビュー切換]→[3D視点切換]にタップすると、角度を切り換えることができます。
- 地図をスクロール *(P205)* すると、 ❮ , ❯ ボタンが表示され、タップすると方位を切り換えることができます。

ランドマークの表示を個別に設定する

ランドマークの種類ごとに表示有無を設定できます。

1 ビュー切換 にタップする

2 ランドマーク にタップする

3 種類ごとに 表示する または 表示しない をタップしていく

▼

表示するランドマークの選択が完了します。

アドバイス

- 一時的にすべてのランドマークを地図画面に表示させたくない場合は、ランドマーク選択画面の下部にある[表示しない]にタップします。再度、表示設定したランドマークを表示する場合は、[選択表示する]にタップします。

地図色を設定する

地図の表示色を設定できます。

1 ビュー切換 にタップする

2 地図色・地図文字サイズ にタップする

3 設定したい“色”にタップする

▼

地図色の設定が完了します。

■ 地図色について

ライト	地図を明るめの色合いにし、交差点名、IC名を強調表示します。また、施設名は色調を地図色に近づけ目立たないようにします。
ダーク	地図を落ち着いた色合いにし、道路線を強調表示します。
ユニバーサルデザイン	地図を明るめの色合いにし、必要な情報を見やすく整理します。

地図の文字サイズを設定する

1 ビュー切換 にタップする

2 地図色・地図文字サイズ にタップする

3 標準 または 大 にタップする

▼

文字サイズの設定が完了します。

案内表示について

本機では状況に応じて、さまざまな案内を表示します。

交差点案内図

ルート走行中、案内ポイントに近づいたときに音声と共に表示します。
交差点までの距離や交差点名、方面名称を表示します。
交差点までの距離は、残距離バー（10段階）でも表示します。

アドバイス

- 交差点案内図は[×]にタップすると表示を消すことができます。

[現在地]キーを押しても、表示を消すことができます。

- 手動で表示する場合は、“交差点案内アイコン”にタップしてください。

交差点案内アイコン

■ 一般道方面看板表示

走行中、一般道方面看板の情報があると表示します。[表示の設定]の「一般道方面看板」で表示有無を選ぶことができます。
→「NAVIの設定」(P315)

黄色の三角マークは一般道方面看板を表示している交差点を示しています。

■ リアル交差点案内図

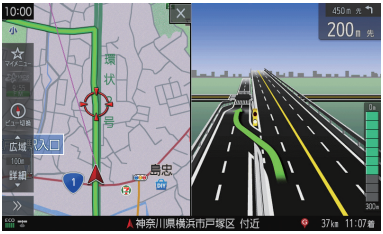
ルート走行中、案内ポイントに近づいたときに音声と共に表示します。(データがある交差点のみ) 曲がる方向や目印となる施設、交差点までの距離を表示します。
交差点までの距離は、残距離バー（10段階）でも表示します。

注 意

- 自車位置マークは表示されません。

■ 立体交差点案内図

ルート走行中、高架道路から側道へ分岐する際に音声と共に表示します。（データがある交差点のみ）
交差点までの距離は、残距離バー（10段階）でも表示します。



注 意

- 自車位置マークは表示されません。
- 高低差がない側道については、通常の交差点案内図を表示します。

都市高速入口イラストマップ

ルート走行中、都市高速道路に進入する際に表示します。
都市高速入口までの距離は、残距離バー（10段階）でも表示します。

注 意

- 自車位置マークは表示されません。
- 同じ入り口でも進入方向によっては表示されない場合があります。

料金所案内図

走行中に料金所に近づくと表示し、支払料金を音声で案内します。
レーン情報がある場合は、ETCレーンを表示します。
料金所までの距離は、残距離バー（10段階）でも表示します。

注 意

- 実際のレーン状況と異なる場合があります。
- 自車位置マークは表示されません。
- すべての料金所を案内するわけではありません。
- 各種割り引き料金は計算されません。
- 料金改定、税率変更などにより、実際の料金と異なる場合がございます。

レーン案内

走行中に前方の交差点にレーン情報が存在すると表示します。

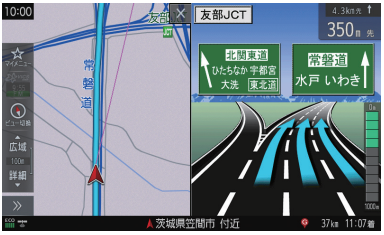
黄色の三角マークはレーン情報を表示している交差点を示しています。

アドバイス

- 高速略図表示中は表示されません。
- ルート走行中の場合はおすすめレーンが青色の背景に黄緑色の矢印で表示され、ルートに沿って走行できるレーンは青色の背景に白色の矢印で表示します。
- 音声による案内を行うレーンもあります。
- すべてのレーンを案内するわけではありません。
- 実際のレーン状況と異なる場合があります。

3D リアルジャンクション

高速道路の分岐点が近づくと、3D の静止画面で実際の分岐のしかたや行き先、ジャンクション名などをリアルに表示します。
分岐点までの距離は、残距離バー（10 段階）でも表示します。



注 意

- 自車位置マークは表示されません。
- 実際のジャンクションの形状と異なる場合があります。

県境案内

走行中、本機のシステムが県境を越えると判断したとき音声で案内します。
[音声の設定]の「県境案内」で案内有無を選ぶことができます。
→「NAVIの設定」(P315)

カーブ案内

速い速度でカーブを走行しようとすると音声で案内します。
[音声の設定]の「カーブ案内」を[案内する]にしておく必要があります。
→「NAVIの設定」(P315)

合流案内

ルート走行中、前方に合流地点が存在する場合、音声で案内します。
[音声の設定]の「ルート上の合流案内」を[案内する]にしておく必要があります。
→「NAVIの設定」(P315)

踏切案内

前方に踏切が存在する場合、音声で案内します。
[音声の設定]の「踏切案内」を[案内する]にしておく必要があります。
→「NAVIの設定」(P315)

一時停止案内

走行中、前方に一時停止標識情報が存在する場合、音声で案内します。
[音声の設定]の「一時停止案内」を[案内する]にしておく必要があります。
→「NAVIの設定」(P315)

事故多発区間案内

高速道路走行中、前方に事故が発生しやすい区間が存在する場合、音声で案内します。
[音声の設定]の「事故多発区間案内」を[案内する]にしておく必要があります。→「NAVIの設定」(P315)

パーキングブレーキアラーム

パーキングブレーキが引かれた状態で一定速度での走行を行った場合、メッセージと音声で案内します。
[音声の設定]の「パーキングブレーキアラーム」を[使用する]にしておく必要があります。
→「NAVIの設定」(P315)

速度超過アラーム

走行速度が約95km/hを超えたとき音声で案内します。
[音声の設定]の「速度超過アラーム」を[使用する]にしておく必要があります。
→「NAVIの設定」(P315)

地図を操作する

縮尺の切り換えや、地図スクロールなどの操作のしかたについて説明します。

縮尺の切り換え

広い範囲や詳しい範囲を見ることができます。

1 ピンチインまたはピンチアウトして、縮尺を変更する

→「操作のしかた」(P25)

▼

指の動きに合わせて縮尺が切り換わります。

アドバイス

- 走行中に、ピンチイン/ピンチアウトを行うと、縮尺が1段階ずつ切り換わります。
- 1段階ずつ広域にするにはマルチタップ(P24)、詳細にするにはダブルタップ(P24)をすると便利です。
- [詳細]または[広域]をタップすることでも縮尺を切り換えることができます。また、ロングタップ(P24)すると連続的に縮尺の切り換えができます。

■ 市街地地図について

縮尺を10/25/50mにするとビルや家の形まではっきりと見える市街地地図を表示できます。

アドバイス

- 地域によっては市街地地図が表示されない場合があります。

地図をスクロールする

現在地画面から別の場所に移動し、地図を確認したいときに使用します。

アドバイス

- スクロール中、地図の一部が表示されなくなる場合がありますが故障ではありません。
- スタンダード以外の地図をスクロールすると画面はスタンダードになります。

1 フリックまたはスライドして見たい場所まで画面をスクロールする

→「操作のしかた」(P24)

▼

マークを探している場所に合わせます。

アドバイス

- [戻る]にタップすると現在地画面(P179)に戻ることができます。
- ロングタップ(P24)することで連続的にスクロールすることができます。
- 地図にタップすると、タップした地点まで画面をスクロールします。

■ スクロールの微調整

スクロール位置の微調整を行います。

1 スクロール後、微調整 にタップする

2 方向にタップする

数回タップし、微調整を行います。

3 微調整OFF にタップする

▼

微調整を終了します。

■ スクロール方面名称表示について

スクロールすると４方向に隣接する行政区域名称を表示します。

表示される名称は縮尺によって異なります。

縮尺 1km以下	市区町村名
縮尺２～10km	都道府県名

アドバイス

- [表示の設定]の「スクロール方面名称」で表示有無を選ぶことができます。
  →「NAVIの設定」(P315)

地点メニューからの操作

地点メニューを表示すると目的地や経由地、登録地などの設定が行えます。

目的地に設定する

スクロール画面 *(P181)* の ⊹ 地点を目的地に設定します。

アドバイス

- すでにルートが設定されている場合は、そのルートを消去して ⊹ 地点を新しい目的地として設定します。

1 地点メニュー *(P181)* の ここへ行く にタップする

▼

探索条件設定画面 *(P237)* を表示します。

2 案内開始 にタップする

▼

目的地までのルート探索が完了し、ルート案内を開始します。

アドバイス

- [案内開始] にタップする前に走行すると、自動的にルート案内を開始します。

経由地に設定する

スクロール画面 *(P181)* の ⊹ 地点を経由地に設定します。

アドバイス

- 目的地を設定している必要があります。

1 地点メニュー *(P181)* の ここへ寄る にタップする

▼

探索条件設定画面 *(P237)* を表示します。

2 案内開始 にタップする

▼

目的地、経由地までのルート探索が完了し、ルート案内を開始します。

アドバイス

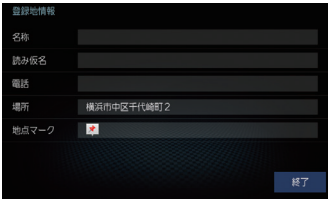
- [案内開始] にタップする前に走行すると、自動的にルート案内を開始します。

登録地に設定する

スクロール画面 *(P181)* の 地点を登録地に設定します。

1 **地点メニュー *(P181)* の 登録する にタップする**

▼



探した場所に マークが表示され、登録地情報画面 *(P255)* を表示します。

2 **終了 にタップする**

▼

地点の登録が完了します。

アドバイス

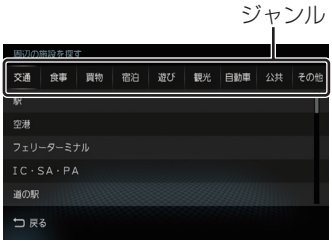
- ここで表示される登録地情報を変更できます。
  →「*登録地情報を変更する*」*(P255)*

周辺の施設を探す

スクロール画面 *(P181)* の 地点周辺の施設を探します。
ここでは、例として 地点周辺のコンビニを探します。

1 **地点メニュー *(P181)* の 周辺施設 にタップする**

2 **“ジャンル” の 買物 にタップする**



3 **“分類” の コンビニエンスストア にタップする**

リストに と表示されていない分類を選んだ場合は、手順５に進みます。

4 **いずれかの “詳細な分類” にタップする**

5 **探している “施設” にタップする**

6 **地点表示 にタップする**

▼

選んだ施設を中心とした地図と情報を表示します。

建物情報やVICS規制情報を見る

スクロール画面*(P181)*の 地点が に変わると建物情報やVICS規制アイコンの詳細情報を表示できます。

お知らせ

- 建物情報を確認する場合、地図縮尺を「50m以下（市街地地図）」にする必要があります。
  →*「市街地地図について」(P204)*
- VICS規制アイコンを確認する場合は、地図縮尺を「1km以下」にする必要があります。

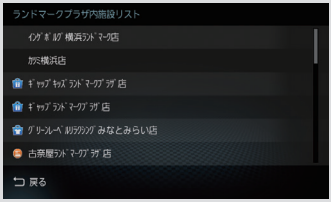
1 地点メニュー*(P181)*の 詳細情報 にタップする

▼

建物の情報またはVICS規制の詳細情報を表示します。

アドバイス

- 建物内に複数の会社、店などがある場合は、建物内にある店舗リストを表示します。店舗にタップしてください。



高速道路情報について

高速道路を走行すると高速略図を表示します。サービスエリアやパーキングエリアの施設情報、ジャンクションの情報を確認できます。

アドバイス

- 高速略図は、都市間高速道路、都市高速道路および一部の有料道路や自動車専用道路について表示されます。但し、開通道路情報で更新した区間は表示できません。

本書で使用している高速道路の略語は以下のとおりです。

- SA：サービスエリア
- PA：パーキングエリア
- IC：インターチェンジ
- JCT：ジャンクション

表示内容について

① 所要時間
施設に到着するまでの所要時間を表示します。
所要時間は、最大999分まで表示します。

② VICS記号表示
IC、JCTなどの施設を拠点とした規制は右側に表示します。
各区間中にある規制は左側に表示します。
→「VICS記号について」(P262)

③ 渋滞情報
混雑（橙）、渋滞（赤）、通行止め（灰）、その他（白）の状況を色で表示します。

④ 路線名
現在、高速略図に表示されている高速道路の路線名を表示します。

⑤ 出口情報
目的地を設定しているときに表示します。
出口ICの名称と自車位置からの距離、所要時間を表示します。

⑥ 施設名と残距離表示
SA、PA、IC、JCTの名称と自車位置からの距離を表示します。
降りることができないインターチェンジは表示されません。
1km未満は「－－－」と表示し、最大999kmまで表示します。

⑦ ∨ , ∧
施設名のリストを前に進めたり戻したりできます。

⑧ ETC専用アイコン
スマートICがある施設に表示します。

⑨ 施設情報
この場所にある施設のマークを表示します。

⑩ 自車位置マーク
リストを現在地の位置まで戻します。

⑪ ∨ SA/PA ∧
SA/PAの施設だけを前に進めたり戻したりできます。ルートを設定していないときは、JCTの施設も選択できますので、路線を選んでください。(→P211)

施設の情報について

施設の情報が表示されます。
（最大 8 件表示できます）

アイコン	マークの説明
	ガソリンスタンドなどの商標マークを表示します。（例 :JX 日鉱日石エネルギー）
	レストラン
	スナックコーナー
	ショッピングコーナー
	ハイウェイ情報ターミナル
	インフォメーション
	休憩所
	仮眠休憩所
	障害者用トイレ
	風呂
	コインシャワー
	コインランドリー
	ファックスコーナー
	郵便局
	キャッシュコーナー
	トイレ

表示するには

工場出荷時の設定では高速道路を走行すると自動で高速略図を表示するのでこの操作は必要ありません。

アドバイス

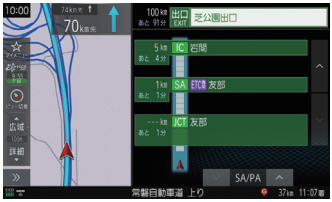
- ［表示の設定］の「高速略図自動表示」を［表示しない］にしていた場合にこの操作を行います。
→「NAVIの設定」（P315）
- 高速道路上に自車がないなど、一定の条件が満たされていない場合、高速略図は表示できません。

1 ビュー切換 にタップする

2 高速略図 にタップする

3 戻る にタップする

▼



高速略図を表示します。

各エリアの情報を確認する

SA、PA、IC、JCTの各エリアの情報および周辺の地図を確認できます。

1 ∨ または ∧ にタップする

▼

高速略図を前に進めたり戻したりできます。また、施設情報を表示します。

アドバイス

- 自車より後方には戻せません。

2 “確認したい施設” にタップする

▼

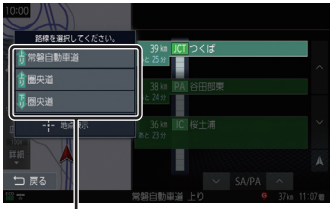
選んだ施設を中心とした地図を表示します。

■ JCTを選択した場合

ルートを設定していない場合、分岐している路線を選ぶことができます。

1 ∨ または ∧ にタップし、“JCT” を選ぶ

2 “確認したい路線” にタップする



路線

▼

選んだ路線の高速略図を表示します。

アドバイス

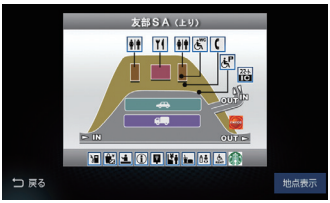
- ICでも分岐がある場合は、路線を選ぶことができます。
- ルートを設定していた場合は、選んだ施設を中心とした地図を表示します。
- [地点表示] にタップすると選んだ施設を中心とした地図を表示します。

■ SA/PA を選択した場合

1 「SA/PA」の ∨ または ∧ にタップし、“SA” または “PA” を選ぶ

2 “確認したいSA/PA” にタップする

▼



選んだ施設の地図をイラストで確認できます。

アドバイス

- イラストの情報がない場合は、地図を表示します。

自宅を目的地に設定する

あらかじめ登録しておいた自宅 *(P252)* を目的地に設定します。

1 **MENU キーを押す**

NAVIメニューを表示します。

2 **自宅 にタップする**

▼

探索条件設定画面 *(P237)* を表示します。

アドバイス

- 自宅を登録していない場合は登録をうながす画面が表示され設定画面を表示します。
  →*「自宅を登録する」(P252)*

3 **案内開始 にタップする**

▼

自宅を目的地としたルート探索が完了し、ルート案内を開始します。

お知らせ

- 検索したルート中に長期的な規制区間があった場合、回避ルートの探索を[回避する]または[回避しない]をうながすテロップが表示されます。

- 長期的な規制区間の期間は実際と異なる場合があります。

特別登録地を目的地に設定する

あらかじめ登録しておいた、特別な場所*(P253)*を目的地に設定します。

1 **MENU キーを押す**

NAVIメニューを表示します。

2 **いずれかの“特別登録地名”にタップする**

▼

探索条件設定画面*(P237)*を表示します。

アドバイス

- 特別登録地を登録していない場合は登録をうながす画面が表示され、設定画面を表示します。
  →*「特別登録地を設定する」(P253)*

3 **案内開始 にタップする**

▼

特別登録地を目的としたルート探索が完了し、ルート案内を開始します。

お知らせ

- 検索したルート中に長期的な規制区間があった場合、回避ルートの探索を[回避する]または[回避しない]をうながすテロップが表示されます。

- 長期的な規制区間の期間は実際と異なる場合があります。

探した場所を目的地に設定する

「場所を探す」(P217) から探した場所を目的地に設定する一連の操作を説明します。

1 **MENU キーを押す**

NAVIメニューを表示します。

2 **いずれかの“検索方法”にタップし、場所を探す**

→「場所を探す」(P217～P236)

3 **探した場所が表示されたら地点メニュー *(P181)* の ここへ行く にタップする**

アドバイス

- 検索方法の種類によって、登録地情報に施設名や電話番号が表示されない場合があります。
- 目的地/登録地を設定する際、地点から約半径100m以内に有料道路や高速道路、トンネルがある場合、どの位置に設定するか選択します。([高速道路上],[有料道路上],[一般道路上]または[トンネル内]を選択する画面を表示します。)

但し、以下の場合は表示しません。

- ジャンル検索または高速略図から高速道路の施設を選択したとき。
- 自宅または特別登録地を選択したとき。
- VICS駐車場から地点を選択したとき。
- 音声認識で設定したとき。

4 **案内開始 にタップする**

▼

探した場所を目的地としたルートの探索が完了し、ルート案内を開始します。

次のページにつづく

お知らせ

- 検索したルート中に長期的な規制区間があった場合、回避ルートの探索を[回避する]または[回避しない]をうながすテロップが表示されます。

- 長期的な規制区間の期間は実際と異なる場合があります。

場所を探す

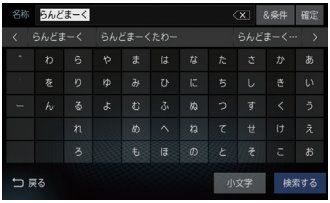
本機では、さまざまな方法で場所を探すことができます。
ここで探した場所は、目的地 *(P213)* や経由地 *(P243)*、登録地 *(P252)* を設定するときに使用します。
ここでは、NAVIメニュー *(P184)* からの検索方法を説明します。

施設名称を入力して探す

施設の名称を入力し場所を探します。

1 **MENU キーを押し、施設名称 にタップする**

2 **探している "施設名称" を入力する**



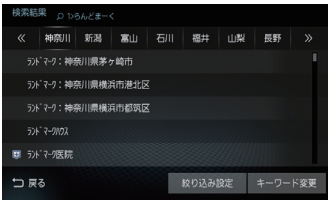
→「施設名称入力用キーボード」(P195)
施設名称をすべて入力しなくても検索は行えます。

3 **検索する にタップする**

アドバイス

- [絞り込み設定] *(P218)* にタップすると、検索結果の絞り込みが行えます。
- [キーワード変更] *(P218)* にタップすると、検索キーワードの変更が行えます。

4 **探している "施設" にタップする**



▼

選んだ施設を中心とした地図と情報を表示します。

アドバイス

- 周辺の地図が表示されているとき、地点メニュー *(P181)* のいずれかにタップすると、目的地や経由地、登録地の設定ができます。
  →「地点メニューからの操作」(P206)
- 選んだ施設の入り口または駐車場が候補として最初に表示されます。この候補の位置を別の入り口や駐車場、施設の位置に切り換えることができます。
  「施設の候補位置について」(P222) の手順2以降と同様の操作で切り換えることができます。
- 選んだ施設に提携している駐車場があれば、検索することができます。
  「提携駐車場を検索する」(P222) の手順2以降と同様の操作で検索ができます。

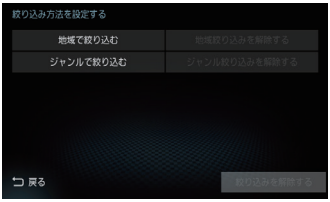
■ 検索結果を絞り込む

検索結果をさらに条件を設定して絞り込むことができます。

1 *「施設名称を入力して探す」(P217)* の手順３まで操作する

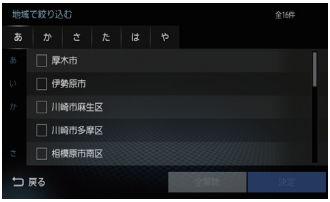
2 絞り込み設定 にタップする

3 いずれかにタップする



地域で絞り込む	５つの地域まで選択して絞り込むことができます。
ジャンルで絞り込む	５つのジャンルまで選択して絞り込むことができます。

4 絞り込みたい “項目” にタップしていく



5 決定 にタップする

▼

検索結果を表示します。

お知らせ

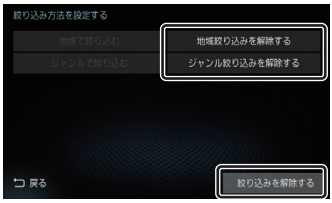
- [地域で絞り込む] を選択していた場合、検索結果で都道府県を変更すると自動的に [地域で絞り込む] を解除します。

■ 絞り込みを解除する

1 *「施設名称を入力して探す」(P217)* の手順３まで操作する

2 絞り込み設定 にタップする

3 いずれかにタップする



○○絞り込みを解除する	選んだ絞り込み条件の設定を解除します。
絞り込みを解除する	すべての絞り込み条件の設定を解除します。

▼

絞り込みの解除が完了します。

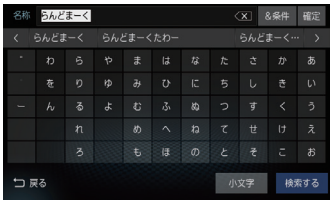
■ 検索キーワードを変更する

検索した後、別の検索キーワードに変更して検索しなおすことができます。

1 *「施設名称を入力して探す」(P217)* の手順３まで操作する

2 キーワード変更 にタップする

3 検索しなおしたい “キーワード” を入力する



→*「施設名称入力用キーボード」(P195)*

4 検索する にタップする

▼

検索結果を表示します。

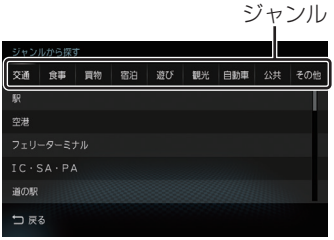
施設ジャンルから探す

ジャンル別に施設を探します。
ここでは、例としてコンビニを探します。

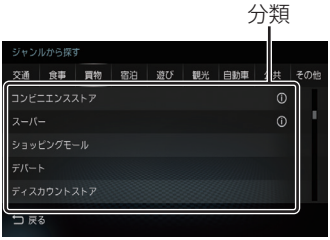
1 MENU キーを押し、ジャンル/周辺 にタップする

2 ジャンルから探す にタップする

3 “ジャンル” の 買物 にタップする



4 “分類” の コンビニエンスストア にタップする



リストに ⓘ と表示されていない分類を選んだ場合は、手順6に進みます。

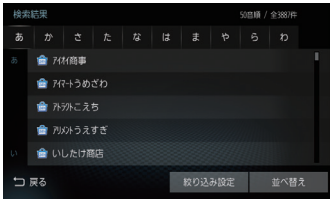
5 いずれかの “詳細な分類” にタップする

6 いずれかの “都道府県” にタップする

アドバイス

- 都道府県の地図に直接タップしても選ぶことができます。

7 探している “施設” にタップする



▼

選んだ施設を中心とした地図と情報を表示します。

アドバイス

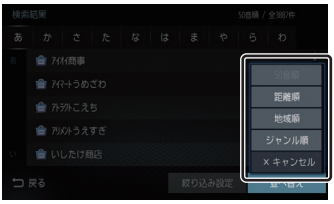
- 周辺の地図が表示されているとき、地点メニュー（P181）のいずれかにタップすると、目的地や経由地、登録地の設定ができます。
  →「地点メニューからの操作」（P206）
- 選んだ施設の入り口または駐車場が候補として最初に表示されます。この候補の位置を別の入り口や駐車場、施設の位置に切り換えることができます。
  →「施設の候補位置について」（P222）
- 選んだ施設に提携している駐車場があれば、検索することができます。
  →「提携駐車場を検索する」（P222）

■ 検索結果を並べ替える

検索結果を並べ替えることができます。

1 *「施設ジャンルから探す」(P219)* の手順6まで操作する

2 並べ替え にタップし、いずれかにタップする


検索結果
50音順 / 全388件
あ か さ た な は ま や ら わ
アイイ商事
アイマートうめざわ
アルクトこえち
アルクトうえすぎ
いしたけ商店
50音順
距離順
地域順
ジャンル順
× キャンセル
戻る
絞り込み設定
並べ替え

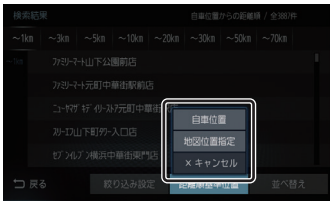
50音順	施設を50音順に並べ替えます。
距離順	任意の地点から施設までの距離を直線にしたとき、任意の地点から直線距離が短い順に並べ替えます。任意の地点は、*「距離順並べ替え時の基準位置を変える」(P220)* で地点を選択できます。
地域順	施設を住所コード順に並べ替えます。
ジャンル順	ⓘ マークのあるジャンルで[すべての○○]を選んだとき、施設をジャンル順に並べ替えることができます。但し、施設名称で検索している場合や ⓘ マークのないジャンルでは使用できません。また、ⓘ マークのジャンルでも個別のジャンルを選んだ場合も使用できません。
キャンセル	並べ替えを選択するメニューを閉じます。

距離順並べ替え時の基準位置を変える

検索結果を[距離順]に並べ替えたときの基準を変更できます。

1 *「検索結果を並べ替える」(P220)* の手順2で 距離順 → 距離順基準位置 にタップする

2 いずれかにタップする


検索結果
自車位置からの距離順 / 全388件
~1km ~3km ~5km ~10km ~20km ~30km ~50km ~70km
ファミリーマート山下公園前店
ファミリーマート元町中華街駅前店
ニューヤマザキデイリーストア元町中華街
ストエー山下町ガス入口店
セブンイレブン横浜中華街東門店
自車位置
地図位置指定
× キャンセル
戻る
絞り込み設定
並べ替え

自車位置	自車位置を基準に並べ替えます。
地図位置指定	現在地周辺の地図が表示されますので、地図をスクロールし[決定]にタップします。その決めた地点を基準に並べ替えます。
キャンセル	基準位置を選択するメニューを閉じます。

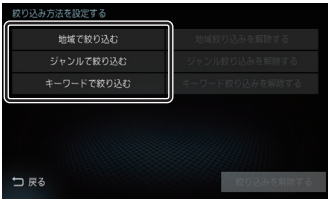
■ 検索結果を絞り込む

検索結果をさらに条件を設定して絞り込むことができます。

1 *「施設ジャンルから探す」(P219)* の手順６まで操作する

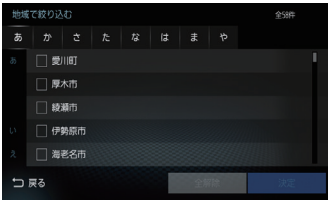
2 絞り込み設定 にタップする

3 いずれかにタップする



地域で絞り込む	５つの地域まで選択して絞り込むことができます。
ジャンルで絞り込む	５つのジャンルまで選択して絞り込むことができます。
キーワードで絞り込む	キーワード３語まで指定して絞り込むことができます。

4 絞り込みたい“項目”にタップしていく



5 決定 にタップする

▼

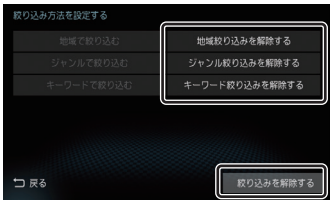
検索結果を表示します。

■ 絞り込みを解除する

1 *「施設ジャンルから探す」(P219)* の手順６まで操作する

2 絞り込み設定 にタップする

3 いずれかにタップする



○○絞り込みを解除する	選んだ絞り込み条件の設定を解除します。
絞り込みを解除する	すべての絞り込み条件の設定を解除します。

▼

絞り込みの解除が完了します。

■ 施設の候補位置について

施設を検索する際、選んだ施設の入り口または駐車場が候補として最初に表示されます。この候補の位置を別の入り口や駐車場、施設の位置に切り換えることができます。

1 *「施設ジャンルから探す」(P219)* の手順７まで操作する

2 次の地点 または 前の地点 にタップする

▼

選んだ位置を中心とした地図と情報を表示します。

※1	入口または駐車場を中心とした地図を表示します。
※1	施設を中心とした地図を表示します。

※１　選択した施設の入り口または駐車場が１件もない場合は表示しません。

アドバイス

- 周辺の地図が表示されているとき、地点メニュー（*P181*）のいずれかにタップすると、目的地や経由地、登録地の設定ができます。
  →*「地点メニューからの操作」(P206)*

■ 提携駐車場を検索する

施設を検索する際、選んだ施設と提携している駐車場があれば、検索することができます。

1 *「施設ジャンルから探す」(P219)* の手順７まで操作する

2 提携Ｐ にタップする

3 探している“駐車場”にタップして選択する

4 地点表示 にタップする

▼

選んだ施設を中心とした地図と情報を表示します。

アドバイス

- 周辺の地図が表示されているとき、地点メニュー（*P181*）のいずれかにタップすると、目的地や経由地、登録地の設定ができます。
  →*「地点メニューからの操作」(P206)*

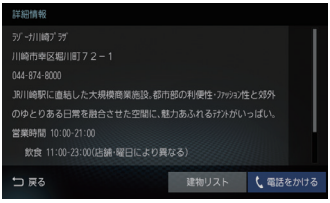
■ 文字情報のある施設について

施設に関する文字情報を確認できます。

1 *「施設ジャンルから探す」(P219)* の手順７まで操作する

2 詳細情報 にタップする

▼



選んだ施設に関する文字情報を表示します。

アドバイス

- 建物内に複数の会社、店などがある場合は、[建物リスト] にタップすると店舗リストを表示します。
  さらに店舗にタップすると、情報を表示します。
- 携帯電話を本機と接続している場合 *(P289)* は [電話をかける] にタップして電話をかけることができます。

周辺の施設を探す

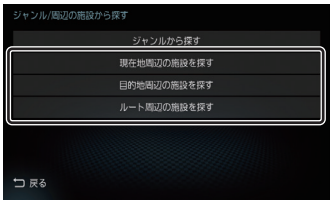
現在地や目的地、ルート周辺の施設を探すことができます。
ここでは、例としてコンビニを探します。

アドバイス

- 目的地を設定している場合は現在地周辺・目的地周辺・ルート周辺の施設（ガソリンスタンドやコンビニなど）を探します。
- 目的地を設定していない場合は現在地周辺の施設を探します。

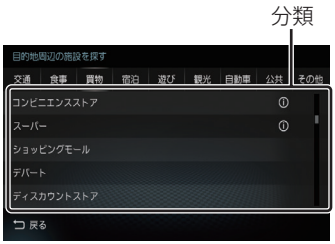
1 MENU キーを押し、ジャンル / 周辺 にタップする

2 検索したい“エリア”にタップする



3 “ジャンル”の 買物 にタップする

4 “分類”の コンビニエンスストア にタップする



リストに ⓘ と表示されていない分類を選んだ場合は、手順６に進みます。

次のページにつづく

5 いずれかの“詳細な分類”にタップする

6 探している“施設”にタップして選択する

7 地点表示 にタップする

▼

選んだ施設を中心とした地図と情報を表示します。

アドバイス

- 地図スクロールからの地点メニュー*(P181)*でも周辺検索を行うことができます。
- [絞り込み]にタップすると、ジャンルとキーワードで絞り込むことができます。*「検索結果を絞り込む」(P221)*の手順3以降と同様の操作で絞り込むことができます。
- 周辺の地図が表示されているとき、地点メニュー*(P181)*のいずれかにタップすると、目的地や経由地、登録地の設定ができます。
  →*「地点メニューからの操作」(P206)*
- 選んだ施設の入り口または駐車場が候補として最初に表示されます。この候補の位置を別の入り口や駐車場、施設の位置に切り換えることができます。
  *「施設の候補位置について」(P222)*の手順2以降と同様の操作で切り換えることができます。
- 選んだ施設に提携している駐車場があれば、検索することができます。
  *「提携駐車場を検索する」(P222)*の手順2以降と同様の操作で検索ができます。
- [詳細情報]にタップすると文字情報を確認できます。

■ ショートカットメニューからの操作

現在地周辺の駐車場、ガソリンスタンド、コンビニを探すことができます。

1 現在地画面で [>>] にタップする

2 [検索] にタップする

3 検索したい “分類” にタップする

4 探している “施設” にタップして選択する

▼

以降の操作は、*「周辺の施設を探す」(P223)* の手順７以降と同じです。

アドバイス

- *「音声認識の設定」(P345)* で「周辺検索アシスト」を[使用する]に設定しておくと、周辺検索アシストの候補が “分類” として表示されます。→*「周辺検索アシスト」(P187)*
- [絞り込み]にタップすると、ジャンルとキーワードで絞り込むことができます。*「検索結果を絞り込む」(P221)* の手順３以降と同様の操作で絞り込むことができます。

住所から探す

住所から場所を探します。

1 MENU キーを押し、[住所] にタップする

2 いずれかの “都道府県” にタップする

アドバイス

- 都道府県の地図に直接タップしても選ぶことができます。

3 探している “住所” にタップしていく

▼

選んだ住所を中心とした地図と情報を表示します。

アドバイス

- [○○主要部]で主要部を表示することもできます。
- 周辺の地図が表示されているとき、地点メニュー *(P181)* のいずれかにタップすると、目的地や経由地、登録地の設定ができます。
  →*「地点メニューからの操作」(P206)*

■ 番地を直接入力する

番地を直接入力できます。

1 *「住所から探す」(P225)* の手順3まで操作する

2 番地のリストが表示されたら 数字入力 にタップする

3 探している "番地" や "号" をタップして入力する

4 決定 にタップする

▼

入力した番地を中心とした地図と情報を表示します。

アドバイス

- 主要部を表示することもできます。
- 地図データに収録されている番地情報の整備状況により番地・号を入力しても、その地域の代表地点が表示される場合があります。
- 周辺の地図が表示されているとき、地点メニュー *(P181)* のいずれかにタップすると、目的地や経由地、登録地の設定ができます。
  →*「地点メニューからの操作」(P206)*

電話番号から探す

探している場所の電話番号が分かっている場合に使用します。

1 MENU キーを押し、番号 にタップする

2 "電話番号" を入力する

→*「文字入力のしかた」(P192)*

▼

電話番号をすべて入力すると該当する周辺地図を表示します。
電話番号が個人宅データと一致した場合は、手順3へ進みます。

3 個人宅の "読み仮名" を入力する

4 入力完了 にタップする

▼

読み仮名が合致すると該当する周辺地図を表示します。

アドバイス

- 電話番号は市外局番から入力する必要があります。
- タウンページに掲載の電話番号に一致した場合は、その施設を中心とした地図を表示します。
- 市外局番だけ入力した場合や、登録電話番号と途中までしか一致しなかった場合は、代表地点の縮尺 1kmの地図を表示します。
- 周辺の地図が表示されているとき、地点メニュー（*P181*）のいずれかにタップすると、目的地や経由地、登録地の設定ができます。
  →*「地点メニューからの操作」（P206）*
- 選んだ施設の入り口または駐車場が候補として最初に表示されます。この候補の位置を別の入り口や駐車場、施設の位置に切り換えることができます。
  *「施設の候補位置について」（P222）*の手順２以降と同様の操作で切り換えることができます。
- 選んだ施設に提携している駐車場があれば、検索することができます。
  *「提携駐車場を検索する」（P222）*の手順２以降と同様の操作で検索ができます。

郵便番号から探す

探している場所の郵便番号が分かっている場合に使用します。

1 MENU キーを押し、番号 にタップする

2 郵便番号 にタップする

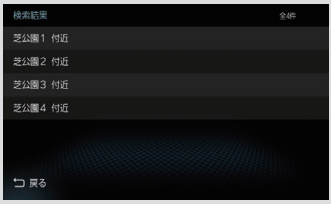
3 “郵便番号” を入力する

▼

郵便番号をすべて入力すると該当する周辺地図を表示します。

アドバイス

- 郵便番号は７桁すべて入力してください。
- 該当する地点が複数ある場合は、地点のリストを表示します。探している地点にタップしてください。



- 周辺の地図が表示されているとき、地点メニュー（*P181*）のいずれかにタップすると、目的地や経由地、登録地の設定ができます。
  →*「地点メニューからの操作」（P206）*

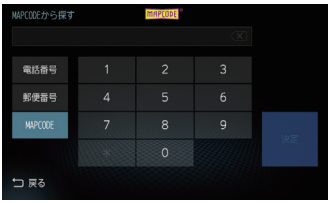
MAPCODEを利用する

ガイドブックなどで記載されている1～12桁の番号（マップコード）を利用できます。

1 **MENU キーを押し、番号 にタップする**

2 **MAPCODE にタップする**

3 **“マップコード”を入力する**



4 **決定 にタップする**

▼

該当する周辺地図を表示します。

アドバイス

- “～ ＊ ○○”までのマップコードを入力すると［決定］にタップする操作は必要ありません。
- 周辺の地図が表示されているとき、地点メニュー（*P181*）のいずれかにタップすると、目的地や経由地、登録地の設定ができます。
  →*「地点メニューからの操作」（P206）*

マップコードとは

特定の場所の位置データをコード化し、1～12桁の番号と「＊」（アスタリスク）でその場所を特定することができるものです。
従来、住所などを使って、特定の場所を表現していましたが、住所では特定できないところも特定することができるようになります。
マップコードに関することは、下記へお問い合わせください。

株式会社デンソーコミュニケーションズ
お問い合わせホームページ
http://www.denso-communications.jp/mapcode/
受付時間　10:00～12:00
　　13:00～16:00
　　（土・日、会社休日を除く）

DriveConnectを利用する

特定のWEBサイトからお店などの情報を検索し、活用することができます。

お知らせ

- DriveConnectを利用するには、あらかじめOpenInfoサービスサイトからユーザー登録が必要です。詳しくは、三菱電機のホームページをご覧ください。http://www.MitsubishiElectric.co.jp/carele/carnavi/openinfo
- ユーザー登録および本サービスの利用は無料ですが、通信費はお客さまのご負担となります。
- あらかじめ、本機とインターネット接続可能な通信機器をWi-Fi接続（*P340*）しておく必要があります。
- お使いの通信機器の受信状況によっては、通信に時間がかかる場合があります。
- DriveConnectにより取得した情報は、一部収録されていない情報や、実際の表記や位置などが異なる場合があります。

■ はじめて利用するとき

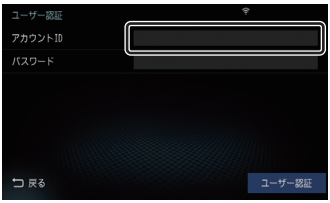
本機能をご利用になるには、ユーザー認証を行う必要があります。

1 MENU キーを押す

NAVIメニューを表示します。

2 DriveConnect にタップする

3 “アカウントID” にタップし、入力する



OpenInfoアカウントID（メールアドレス）を入力します。

4 “パスワード” にタップし、入力する

OpenInfoアカウントのパスワードを入力します。

5 ユーザー認証 にタップする

▼

認証が完了します。

アドバイス

- 次回以降、本操作をする必要はありません。（自動認証）
  自動認証中は、通常より通信に時間がかかることがあります。
- パスワードを変更後、最長で2日を過ぎると操作途中で再度、認証する画面が表示されます。

■ ネットDEサーチを使う

お店などを検索し、目的地や経由地に設定ができます。

1 MENU キー→ DriveConnect にタップする

2 ネットDEサーチ機能 にタップする

検索条件画面を表示します。

3 “検索地点” にタップする

4 いずれかの “検索地点” にタップする

［指定エリア周辺］にタップした場合は、*「検索エリアを指定する」（P230）を参照*してください。

5 “検索ジャンル” にタップする

次のページにつづく

6 いずれかの“ジャンル”にタップする

リストに ⓘ と表示されている“ジャンル”を選んだ場合は、さらに詳細な分類を選択できます。
画面の内容は、実際の配信情報の内容によって異なります。

7 店舗検索 にタップする

検索地点から半径約3kmの範囲で検索を行います。

▼

設定した条件の検索が完了し、検索結果画面*(P231)*を表示します。

アドバイス

- 検索結果は、最大100件まで表示します。

検索エリアを指定する

検索したいエリアを指定できます。

1 *「ネットDEサーチを使う」(P229)*の手順3まで操作する

2 指定エリア周辺 にタップする

3 検索したい“都道府県”にタップする

4 検索したい“市区町村”にタップする

▼

指定した周辺の地図を表示します。

5 任意の場所に を合わせる

6 決定 にタップする

▼

検索条件画面に戻ります。

検索結果画面について

① **店舗情報**
店舗にタップすると、店舗を選択できます。

② **さらに読み込む**
タップすると、店舗情報の取得を開始します。

③ **地点表示**
タップすると、選択している店舗を中心とした周辺地図を表示します。

④ **詳細情報**
タップすると、選択している店舗の情報を表示します。
→「詳細情報画面について」(P231)

アドバイス

- 周辺地図が表示されているとき、地点メニュー（P181）のいずれかにタップすると、目的地や経由地の設定ができます。但し、登録地の設定はできません。

詳細情報画面について

① **詳細情報**
店舗画像や二次元コード、電話番号、営業時間などの情報を確認できます。

② **前へ** / **次へ**
前のお店、次のお店の情報が確認できます。

③ **地点表示**
タップすると、選択している店舗を中心とした周辺地図を表示します。

④ **ここへ行く**
タップすると、目的地の設定ができます。

⑤ **電話する**
電話情報がある場合、携帯電話を本機と接続していると電話をかけることができます。

アドバイス

- 二次元コードを読み取るとき、カメラの撮影状況によって読み取りに時間がかかる場合があります。

■ スマホDEメモを使う

スマートフォン（スマホDEメモアプリが使用できる端末）から、お気に入りのお店や気になるお店などを登録しておくと、本機から登録した情報を呼び出すことができます。

注 意

- あらかじめ、スマートフォンに「スマホDEメモ」アプリをダウンロードして、お店などの情報を登録しておく必要があります。詳しくは、三菱電機のホームページをご覧ください。
  http://www.MitsubishiElectric.co.jp/carele/carnavi/driveconnect/sumahodememo
- 「スマホDEメモ」アプリは、iOS端末のみに対応しています。Android端末には対応しておりません。
  iOS端末についても、端末やiOSのバージョンによってはお使いいただけないことがあります。
  [動作確認環境]
  OS：iOS Ver.8.0 以降
  端末：iPhone5s 以降

1 MENU キー→ DriveConnect にタップする

2 スマホDEメモ機能 にタップする

▼

リストにタップすると、確認したいお店を選択できます。

アドバイス

- [詳細情報]にタップすると、選択している店舗情報を表示します。
- [地点表示]にタップすると、選択している店舗を中心とした周辺地図を表示します。地点メニュー（*P181*）のいずれかにタップすると、目的地や経由地の設定ができます。但し、登録地の設定はできません。
- スマホDEメモで登録した場所を目的地または経由地に設定したとき、実際のお店の場所からずれることがあります。
- 情報更新をするには必ず[リスト更新]をタップしてください。自動更新はされません。なお、一度に取得できる件数は100件までです。

リストを並び替える

1 *「スマホDEメモを使う」（P232）*の手順2まで操作する

2 ∨ にタップする

3 距離順 または 登録順 にタップする

▼

リストを並び替えます。

距離順	自車位置を基準に店舗までの距離が短い順に並び替えます。
登録順	登録日時が新しい順に並び替えます。

検索履歴を利用する

検索機能を使用して周辺の地図を表示させたことがある地点や地図スクロール操作から設定した目的地、登録した地点であれば、検索履歴として残り、再度周辺の地図を表示させることができます。

アドバイス

- 過去に検索機能を使用して周辺の地図を表示させたことがない場合はリスト表示されません。
- 検索履歴は新しいものから最大50件記録されます。

1 MENU キーを押し、履歴 にタップする

2 探している“場所”にタップする

▼

選んだ場所を中心とした地図と情報を表示します。

■ 検索履歴を消去する

登録されている検索履歴を消去できます。

1 MENU キーを押し、履歴 にタップする

2 消去 にタップする

3 消去したい場所の“チェックボックス”にタップし、選択する

4 消去 にタップする

5 消去する にタップする

▼

検索履歴の消去が完了します。

アドバイス

- チェックボックス以外の部分をタップすると、一件だけ消去できます。
- [全選択]にタップすると、すべての履歴を選択できます。
- [全解除]にタップすると、選択状態をすべて解除できます。

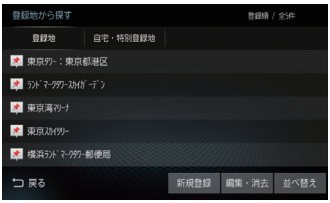
登録地を呼び出す

登録地を呼び出します。

1 **MENU キーを押し、登録地 にタップする**

登録地のリストを表示します。

2 **呼び出したい “地点” にタップする**



▼

呼び出した地点を中心とした地図と情報を表示します。

アドバイス

- 現在地画面で >> →［発話］にタップし、登録地名称を発話しても地点を表示させることができます。
- 周辺の地図が表示されているとき、地点メニュー *（P181）* のいずれかにタップすると、目的地や経由地、登録地の設定ができます。
  →「地点メニューからの操作」（P206）
- 周辺の地図が表示されているとき、［詳細情報］にタップすると登録地情報画面を表示します。
  →「登録地情報画面について」（P255）

NaviCon を使う

スマートフォン（NaviCon アプリが使用できる端末）から目的地を探し、本機に転送することができます。
転送後、本機からルートの探索を行います。

注 意

- 運転中にスマートフォンを手に持って操作する行為はたいへん危険ですので絶対に行わないでください。
- 車内高温時の故障や盗難を避けるため、スマートフォンを車内に放置しないでください。

お知らせ

- 本機能を iPod/iPhone でご使用になるときは、iPod/iPhone を iPod/iPhone の USB ケーブル（Apple 純正）で本機に接続しないでください。ケーブルとの同時接続を行うと本機能はご使用になれません。
- スマートフォンに「NaviCon」アプリを事前にダウンロードしておく必要があります。
  詳しくは、NaviCon サポートサイトをご覧ください。
  https://navicon.com/user/support/

お知らせ

- 最新の接続確認結果については、三菱電機のホームページをご覧ください。
- NaviConアプリが表示する地図の縮尺はスマートフォンによって異なります。また、NaviCon側の地図と本機側との地図の縮尺に差異を感じる場合があります。
- NaviConアプリを操作中、スマートフォンの操作音が本機を経由して車両のスピーカーから鳴る場合があります。
  この現象は、スマートフォン側の操作音をOFFすると改善します。
- 本機で表示できない文字列は記号（細長い四角形）で表示されますが故障ではありません。（絵文字や特殊文字など）

■ 対応機能について

NaviConアプリとの連携機能は以下のとおりです。

NaviConとの連携	対応
地図スクロールの遠隔操作	○
地図縮尺変更の遠隔操作	○
目的地送信	○
友達マップとの連携	○

■ 目的地を送信する

1 スマートフォンを本機に接続する

あらかじめ本機とスマートフォンをBluetooth接続（P336）しておく必要があります。

2 スマートフォンで目的地を探し、本機に転送する

▼

本機にスマートフォンから転送した地点周辺の地図が表示されます。

アドバイス

- 周辺の地図が表示されているとき、地点メニュー（P181）のいずれかにタップすると、目的地や経由地、登録地の設定ができます。
  →「地点メニューからの操作」（P206）
- NaviConアプリでピンをドロップすると、マップコードが表示されます。
  このマップコードを利用すれば、スマートフォンを本機に接続することなく本機に地点を設定できます。
  →「MAPCODEを利用する」（P228）

■ 友達マップの全体表示

友達マップとの連携を行います。

1 スマートフォンを本機に接続する

あらかじめ本機とスマートフォンをBluetooth接続 *(P336)* しておく必要があります。

2 スマートフォンで友達マップの機能を開始する

3 MENU キーを押す

NAVIメニューを表示します。

4 設定・編集 → INFO にタップする

5 NaviConの設定 にタップする

6 「友達マップ全体表示」の 表示する にタップする

▼

友達マップを全体表示します。

アドバイス

- 友達マップを利用する場合は、NaviConを最新バージョンに更新してください。ただし、NaviConのサポートが終了しているiOS、Androidのバージョンでは最新バージョンに更新しても本機能をご利用になれない可能性があります。
- [リスト] にタップすると、メンバーのリストを表示します。リスト表示中は、友達マップの情報を更新しません。

- 友達マップに表示可能なメンバーは最大30件です。
- 全体表示の友達マップとリスト表示中の友達マップの最大縮尺は100kmです。
- *「NaviConの設定」(P331)* で「友達マップ」を [ON] に設定すると、現在地画面に自動的にメンバーのアイコンを表示させることができます。
- 以下の場合、友達マップの情報を表示できません。
  - 自分のアイコン (NaviConで表示されている青い友達アイコン)
  - 本機に表示できない (海外など) 友達アイコン
  - スマートフォン側で友達マップの機能を停止した
  - 認証キーで認証エラーとなった
  - ご自身のスマートフォン側で確認メッセージが表示されている

探索条件設定画面について

目的地にする場所が決まったときに表示される画面です。
この画面でできる操作について説明します。

① **ルートの情報**※1
現在探索されているルートの総距離、料金、所要時間を表示します。

② **利用するインターチェンジ**
最初に利用する高速道路の入口と出口のインターチェンジを表示します。

③ **ルート表示**
現在探索されているルートの概略を表示します。

④ **経由地**
経由地の追加や変更が行えます。
→「経由地の設定・変更」(P243)

⑤ **ルート詳細** (→P239)
現在探索されているルートの詳細情報を表示します。

⑥ **探索条件**
目的地までのルートの探索条件を変更できます。
→「探索条件を変更する」(P242)

⑦ **探索条件表示**
現在探索されているルートの探索条件を表示します。

⑧ **省エネ度**
推奨で探索したルートと比べてどのくらい燃費節約ができているかの度合いを確認できます。

度合い	葉っぱの状態
とても節約できる	
節約できる	
少々節約できる	
節約できない	

⑨ **乗降IC指定** (→P247)
ルート上に入口または出口のインターチェンジがある場合、利用したいインターチェンジを選ぶことができます。

⑩ **案内開始**
現在探索されているルートの案内を開始します。

⑪ **渋滞予測経路** ※2/ **通常経路**
[渋滞予測経路]にタップすると、過去の統計データに基づいて予測した渋滞情報(渋滞や混雑しやすいポイント、時間帯など)を考慮したルートを探索します。
[通常経路]にタップすると、通常のルートを探索します。

⑫ **5ルート** (→P248)
異なる条件で探索する5つのルートから好みのルートを選ぶことができます。

お知らせ

- 省エネ度は、[5ルート]→[省エネ]を選んだときに表示します。
- 省エネ度は、標準的なガソリン車を想定しています。
- 省エネ度は、ルートによっては、推奨とほぼ同じ消費燃費となる場合があります。
- 実際の消費燃費は交通状況などさまざまな条件で変動することがあります。
  そのため、省エネ度と異なる結果となる場合があります。

※1 表示される料金は料金改定、税率変更などにより、実際の料金と異なる場合がございます。

※2 渋滞予測経路の元となる道路交通情報データは、公益財団法人日本道路交通情報センター(JARTIC)から提供されています。また、道路交通情報データ作成には、一般財団法人道路交通情報通信システムセンター(VICSセンター)の技術が用いられています。

ルートの確認・変更

ルートの確認

ルートを設定している場合に、設定したルートについて確認します。

次に曲がる交差点を確認する

走行中のルートで前方に右左折する必要がある交差点がある場合は、前もって音声案内と交差点案内図を表示させることができます。

アドバイス

- ルートを走行している必要があります。
- 地図の状態によっては音声のみの案内となります。
- 直進を示すアイコンの場合は、タップしても案内図を表示しません。

1 現在地画面で“交差点案内アイコン”にタップする

次に曲がる交差点の拡大図を表示します。

全ルートを確認する

現在地から目的地までのルートを画面上で確認できる縮尺の地図を表示します。

1 現在地画面で [>>] にタップする

2 [変更] → [全ルート表示] にタップする

ルート全体を表示した地図画面を表示します。

■ 地図上のアイコン種類

S	出発地を表します。
G	目的地を表します。
1	設定された経由地を表します。
IN	高速道路の入口を表します。
OUT	高速道路の出口を表します。

アドバイス

- ROUTEメニュー *(P184)* から[全ルート表示]にタップしても表示できます。

■ 詳細情報を確認する

全ルート表示中に、現在地から目的地/経由地/乗り降りするICまでの区間距離や到着予想時刻、料金、使用する道路の情報を確認できます。

お知らせ

- 一部の有料道路では、料金が計算に加わらない場合があります。また、新設された有料道路などの料金は対応しておりません。
- 装着車両に応じて車両区分を設定してください。普通車と軽自動車の料金データを収録しています。*「NAVIの設定」(P315)*で[探索の設定]の「車種」で変更できます。
- 高速料金の表示は状況(乗り継ぎ経路が異なる場合など)により正しく表示されない場合があります。

1 全ルート表示中、ルート詳細 にタップする

▼

詳細情報を表示します。

アドバイス

- [戻る]にタップすると、全ルート表示に戻ります。
- ROUTEメニュー *(P184)* から[ルート詳細情報]にタップしても表示できます。

■ ルートを確認する

確認するルート上をなぞるようにスクロールさせ周辺の地図を確認できます。

1 全ルート表示中、ルートスクロール にタップする

2 ルートの“確認方法”にタップする

▼

選んだ確認方法によって地図が切り換わります。

確認方法の種類

現在地	現在地を中心とした地図を表示します。
◀◀	目的地→現在地に向けて高速でスクロールします。
◀	目的地→現在地に向けて通常の速度でスクロールします。
❚❚	後退または前進時のスクロールを停止します。
▶	現在地→目的地に向けて通常の速度でスクロールします。
▶▶	現在地→目的地に向けて高速でスクロールします。
目的地	目的地を中心とした地図を表示します。
経由地	経由地を中心とした地図を表示します。設定した経由地の数だけ選択できます。経由地がない場合は表示されません。
入口IC	入口ICを中心とした地図を表示します。乗降IC指定 *(P247)* で指定していない場合は表示されません。
出口IC	出口ICを中心とした地図を表示します。乗降IC指定 *(P247)* で指定していない場合は表示されません。
戻る	スクロールが終了します。

■ 目的地・経由地の位置を確認する

全ルート表示中に、目的地や経由地の周辺の地図を確認できます。

1 全ルート表示中、目的地付近表示 または 経由地○付近表示 にタップする

▼

選んだ地点を中心とした地図を表示します。

アドバイス

- 経由地を設定している場合は、[目的地付近表示] にタップした後、[経由地○付近表示] を表示します。経由地がない場合は表示されません。
- 経由地を複数設定している場合、[経由地1付近表示] → [経由地2付近表示] と押すたびに切り換わります。
- [戻る] にタップすると、全ルート表示に戻ります。

デモ走行を見る

作成したルートを仮想的に走行させ確認できます。

アドバイス

- 実際の走行時において１つ目の経由地を過ぎていた場合はデモ走行を行うことはできません。
- 走行中はデモ走行を実施できません。安全な場所に停車してから行ってください。

1 現在地画面で [>>] にタップする

2 [変更] → [全ルート表示] にタップする

全ルートを表示します。

3 [デモ開始] にタップする

▼

「デモ中」と表示され、デモ走行を開始します。

■ 終了するには

1 デモ走行中、[>>] にタップする

2 [変更] → [全ルート表示] にタップする

3 [デモ終了] にタップする

▼

デモ走行を終了します。

アドバイス

この操作以外にも次のいずれかの条件が満たされるとデモ走行は終了します。

- 実際に走行を開始した。
- 目的地や経由地の位置を変更した。または、消去した。
- イグニッションキーを “OFF” にした。
- 探索条件を変更した。

ルートの変更

設定したルートは迂回ルートや別ルートを設定できます。また、ルートの探索方法を変更できます。

探索条件を変更する

ルートの探索条件を変更できます。

アドバイス

- ROUTE メニュー *(P184)* から[探索条件変更]にタップ、または現在地画面表示中に [>>] →[変更]→[探索条件]にタップしても探索条件を変更できます。

■ 経由地がない場合

現在地から目的地までのルートで探索条件を変更できます。

1 探索条件設定画面 *(P237)* で [探索条件] にタップする

2 設定したい“探索条件”にタップする

▼

設定した条件の探索が完了し、探索条件設定画面 *(P237)* を表示します。

■ 経由地がある場合

現在地から目的地までのルート全区間や現在地から経由地、経由地から経由地、経由地から目的地などの区間ごとに探索条件を設定できます。

1 探索条件設定画面 *(P237)* で [探索条件] にタップする

2 [全区間] または [区間毎] にタップする

[全区間]を選んだ場合は、手順４に進みます。

3 変更したい“区間”にタップする

4 設定したい“探索条件”にタップする

手順２で[区間毎]を選んだ場合は、手順３～４を繰り返し、すべての区間の条件を設定します。
[全区間]を選んだ場合は、探索条件をタップしたあと手順５は不要です。

5 [決定] にタップする

▼

設定した条件の探索が完了し、探索条件設定画面 *(P237)* を表示します。

■ 探索条件の種類について

探索条件は以下の中から選ぶことができます。

推奨	目的地（経由地）まで一般的と思われるルートを探索します。
省エネ	目的地（経由地）までなるべく燃費節約となるルートを探索します。
有料優先	目的地（経由地）の近くまでなるべく有料道路を使用するルートを探索します。
一般優先	目的地（経由地）までなるべく有料道路を使用しないルートを探索します。
距離優先	目的地（経由地）までできるだけ距離が短くなるルートを探索します。

お知らせ

- 省エネルート選択時に遠回りに見える探索ルートが設定される場合があります。省エネルートはルートの距離以外にも渋滞予測情報や道の勾配、信号の数などさまざまな項目を総合的に判断し、燃料消費量が最小となるルートを探索しているためです。

経由地の設定・変更

アドバイス

- 目的地が設定されている状態で操作してください。
- 経由地は、最大５ヶ所まで設定できます。
- ROUTE メニュー *（P184）* から［経由地編集］にタップしても経由地の追加や変更ができます。

■ 経由地を設定する

経由地が１件も設定されていない状態での設定方法を説明します。

アドバイス

- 地点メニュー *（P181）* からでも経由地を設定できます。

1 探索条件設定画面 *（P237）* で 経由地 にタップする

2 いずれかの “検索方法” にタップし、場所を探す

検索方法選択画面

→「検索方法選択画面について」（P245）

3 探した場所が表示されたら 決定 にタップする

▼

経由地が設定され、探索条件設定画面 *（P237）* を表示します。

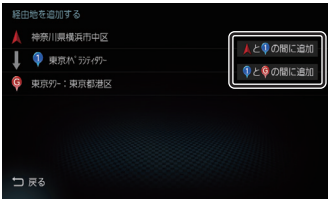
■ 経由地を追加する

すでに１つ以上の経由地が設定されている状態で、経由地の追加方法を説明します。

1 探索条件設定画面 *(P237)* で 経由地 にタップする

2 追加 にタップする

3 追加したい“区間”にタップする



4 いずれかの“検索方法”にタップし、場所を探す

検索方法選択画面

→「検索方法選択画面について」(P245)

5 探した場所が表示されたら 決定 にタップする

▼

経由地が追加され、探索条件設定画面 *(P237)* を表示します。

■ 経由地を変更する

設定済みの経由地の場所を変更します。

1 探索条件設定画面 *(P237)* で 経由地 にタップする

2 変更 にタップする

3 変更したい“経由地”にタップする

4 いずれかの“検索方法”にタップし、場所を探す

検索方法選択画面

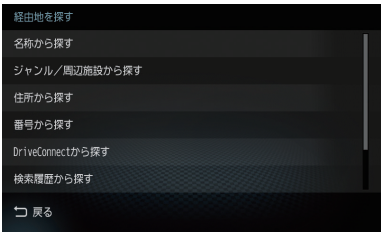
→「検索方法選択画面について」(P245)

5 探した場所が表示されたら 決定 にタップする

▼

経由地が変更され、探索条件設定画面 *(P237)* を表示します。

■ 検索方法選択画面について



名称から探す	施設の名称を入力し場所を探します。*「施設名称を入力して探す」(P217)* の手順２以降と同じ操作となります。
ジャンル／周辺の施設から探す	ジャンル別に施設を探す場合は、*「施設ジャンルから探す」(P219)* の手順２以降と同じ操作となります。 現在地や目的地、ルート周辺の施設を探す場合は、*「周辺の施設を探す」(P223)* の手順２以降と同じ操作となります。
住所から探す	住所から場所を探します。*「住所から探す」(P225)* の手順２以降と同じ操作となります。
番号から探す	電話番号が分かっている場合は、*「電話番号から探す」(P226)* の手順２以降と同じ操作となります。 郵便番号が分かっている場合は、*「郵便番号から探す」(P227)* の手順２以降と同じ操作となります。 マップコードが分かっている場合は、*「MAPCODE を利用する」(P228)* の手順２以降と同じ操作となります。
DriveConnect から探す	特定の WEB サイトから検索します。→*「DriveConnect を利用する」(P228)*
検索履歴から探す	検索履歴を利用します。*「検索履歴を利用する」(P233)* の手順３以降と同じ操作となります。
登録地から探す※1	登録地を呼び出す場合は、*「登録地を呼び出す」(P234)* の手順２以降と同じ操作となります。 自宅または特別登録地を呼び出す場合は、[自宅・特別登録地] にタップして、呼び出したい場所にタップします。
地図から探す	地図スクロール *(P205)* した地点を設定できます。

※１　登録地の設定 *(P254)* や自宅 *(P252)*、特別登録地 *(P253)* の設定を行うとメニューに表示されます。

■ 経由地を消去する

設定済みの経由地を消去します。

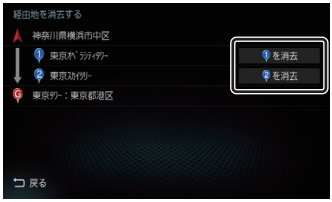
アドバイス

- すでに通過した経由地は消去できません。

1 探索条件設定画面 *(P237)* で 経由地 にタップする

2 消去 にタップする

3 消去したい“経由地”にタップする



4 消去する にタップする

▼

経由地が消去され、探索条件設定画面 *(P237)* を表示します。

次の経由地を消去する

次に通過する予定の経由地を消去できます。

1 ROUTE メニューを表示する *(→P184)*

2 次の経由地消去 にタップする

▼

次に通過する予定の経由地を消去し、ルート探索を開始します。

アドバイス

- すべての経由地を通過すると [次の経由地消去] はグレー表示となり選択できません。

■ 経由地を並べ替える

目的地や経由地の通過順を変更できます。

アドバイス

- すでに通過した経由地は並べ替えできません。

1 探索条件設定画面 *(P237)* で 経由地 にタップする

2 並べ替え にタップする

3 移動したい“地点”にタップする

4 移動する“地点”にタップする

5 完了 にタップする

▼

経由地の並べ替えが完了し、探索条件設定画面 *(P237)* を表示します。

経由地を自動で並べ替える

経由地間の直線距離合計が短くなる順に自動で並べ替えます。

アドバイス

- 目的地やすでに通過した経由地は並べ替えできません。

1 *「経由地を並べ替える」(P246)* の手順２まで操作する

2 自動並べ替え にタップする

3 完了 にタップする

▼

経由地の並べ替えが完了し、探索条件設定画面 *(P237)* を表示します。

入口/出口のICを変更する

ルート上に入口または出口のIC（インターチェンジ）がある場合、利用したいICを選ぶことができます。ただし、経由地を設定すると本機能は使用できません。

アドバイス

- ROUTEメニュー *(P184)* から［乗降IC指定］にタップしても変更できます。

1 探索条件設定画面 *(P237)* で 乗降IC指定 にタップする

2 入口を変更 または 出口を変更 にタップする

3 前のIC または 次のIC にタップして、変更したいICを表示する

赤色の枠は、選択中のICを示します。
黄色の枠は、現在指定されているICを示します。

4 決定 にタップする

すでに指定済みのICは［決定］にタップできません。

5 はい にタップする

▼

ICの変更が完了し、探索条件設定画面 *(P237)* を表示します。

アドバイス

- 入口ICの指定は、出発地から最も近い入口ICから選択できます。出口IC指定は、目的地から最も近い出口ICから選択できます。変更対象のICは、最大で11件まで表示します。
- ［探索の設定］の「スマートIC」を［使用する］にしておくと、スマートICも選択することができます。
- IC指定を行った後、探索条件や目的地/経由地の変更などを行った場合は、指定したICは解除します。
- IC指定を行うと、5ルート探索ができなくなります。
- 出発地が高速道路上の場合は、入口のIC指定はできません。

■ IC指定を解除する

IC指定を行った場合、IC指定の解除ができます。

1 ROUTEメニューを表示する *(→P184)*

2 乗降IC指定 にタップする

3 IC指定解除 にタップする

▼

入口および出口のIC指定を解除します。

５つのルートから選ぶ

５つの探索条件のルートを一度に探索し、選ぶことができます。

アドバイス

- 道路の状況により５つのルートすべてを探索できない場合があります。
- ROUTE メニュー *(P184)* から［複数ルート探索］にタップしても、５つのルートを選ぶことができます。

1 探索条件設定画面 *(P237)* で ５ルート にタップする

2 設定したい“探索条件”にタップする

→「探索条件の種類について」*(P243)*

アドバイス

- ［５ルート比較］にタップすると、５ルートの距離や料金、所要時間が一覧表示され、比較ができます。“探索条件”にタップすると選択ができます。

3 案内開始 にタップする

▼

探索条件が変更されたルートの案内を開始します。

迂回ルートを探索する

距離を指定して前方を迂回するルートを探索できます。

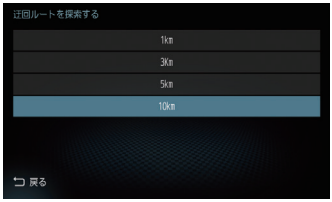
アドバイス

- 現在地から目的地もしくは経由地までの距離が 1km未満の場合は操作できません。
- 迂回するルートが見つからない場合は元のルートを案内します。

1 ROUTE メニューを表示する *(→P184)*

2 回避ルート探索 → 迂回ルート探索 にタップする

3 迂回したい“距離”にタップする



▼

設定した距離を迂回するルートの探索が完了し、ルート案内を開始します。

■ ショートカットメニューからの操作

前方のある一定の距離を迂回するルートを探索できます。

1 現在地画面で >> にタップする

2 変更 にタップする

3 迂回ルート にタップする

▼

前方を迂回するルートの探索が完了し、ルート案内を開始します。

別ルートを探索する

現在のルートとは別のルートを探索します。

1 ROUTE メニューを表示する *(→P184)*

2 回避ルート探索 → 別ルート にタップする

▼

別ルートの探索が完了し、ルート案内を開始します。

■ ショートカットメニューからの操作

1 現在地画面で >> にタップする

2 変更 にタップする

3 別ルート にタップする

▼

別ルートの探索が完了し、ルート案内を開始します。

VICS 規制を回避する

前方の VICS 規制（オンランプ規制やオフランプ規制、通行止め）や渋滞を回避するルートを探索できます。

1 ルート走行中、前方に VICS 規制があると・・・

「○○先、ルート上に○○があります。･･･」のメッセージを表示します。

2 >> にタップする

3 変更 にタップする

4 VICS考慮 にタップする

▼

VICS 規制を考慮したルートの探索が完了し、ルート案内を開始します。

アドバイス

- ROUTE メニュー *(P184)* から［回避ルート探索］→［VICS 考慮］にタップしても回避できます。
- ［探索の設定］の「ルート自動更新」を［使用する］*(P319)* に設定しておくと、自動で回避するルートを探索します。

スマートICを回避する

スマートICを回避するルートを探索できます。

お知らせ

- スマートICを通過するには、ETC車載器またはETC2.0車載器が必要です。

アドバイス

- この機能をご使用いただくにはあらかじめ、[探索の設定]の「スマートIC」を[使用する]にしておく必要があります。
  永続的にスマートICを回避したい場合は、[使用しない]にしてください。
  →「NAVIの設定」(P315)

1 スマートICを通るルートを走行すると・・・

「ルート上にスマートICがあります。・・・」のメッセージを表示します。

2 ROUTEメニューを表示する (→P184)

3 回避ルート探索 にタップする

4 スマートIC回避 にタップする

▼

スマートICを回避したルートの探索が完了し、ルート案内を開始します。

長期通行規制を回避する

長期通行規制を回避するルートを探索できます。

1 ROUTEメニューを表示する (→P184)

2 回避ルート探索 にタップする

3 長期通行規制回避 にタップする

▼

長期通行規制を回避したルートの探索が完了し、ルート案内を開始します。

注 意

- 長期通行規制を回避する場合は、事前に実際の規制を確認してください。

並走道路を切り替える

一般道路と高速道路が並走しているとき、実際には一般道路を走行しているのに本機側では誤って高速道路を走行していると認識することがあります。また、その逆で高速道路を走行しているときに、一般道路として認識することもあります。こういった現象が起きたとき本機能を使用することで走行道路を一般道路または高速道路に切り替えることができます。

1 現在地画面で [>>] にタップする

2 [変更] にタップする

3 [並走道路切替] にタップする

▼

並走している道路に切り替えます。

ルート案内を中断/再開する

ルート案内を中断/再開することができます。中断しても、目的地、経由地は消去されません。

1 現在地画面で [>>] にタップする

2 [中断] にタップする

▼

ルート案内を中断します。
再開する場合は、同様に操作し[再開]にタップします。

ルートを消去する

作成した目的地や経由地を消去し、ルートを消します。

1 ROUTEメニューを表示する *(→P184)*

2 [ルート消去] にタップする

3 [消去する] にタップする

▼

ルートの消去が完了し、現在地画面 *(P179)* を表示します。

登録地の設定

自宅を登録する

自宅を登録しておくと、出かけた場所から自宅に帰るルートを簡単に設定できます。

アドバイス

- 自宅に帰るルートを設定するときは、*「自宅を目的地に設定する」(P213)* をご覧ください。
- 自宅を変更するときは、*「登録地を変更する」(P255)* をご覧ください。
- 自宅を消去するときは、*「登録地を消去する」(P257)* をご覧ください。
- 自宅は 1 件のみ登録できます。

1 MENU キーを押す

NAVI メニューを表示します。

2 自宅 にタップする

3 いずれかの "検索方法" にタップし、場所を探す

検索方法選択画面

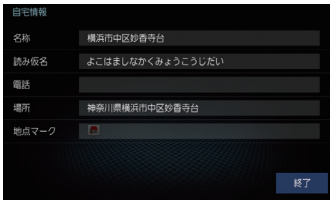
→*「検索方法選択画面について」(P245)*

アドバイス

- 現在地が自宅の場合、[地図から探す] にタップすると簡単に自宅を登録できます。

4 探した場所が表示されたら 決定 にタップする

▼



探した場所に マークが表示され、自宅の登録地情報 *(P255)* を表示します。

アドバイス

- ここで表示される登録地情報を変更できます。
  「登録地情報を変更する」(P255) の手順 6 以降の操作を行ってください。

5 終了 にタップする

▼

自宅の登録が完了します。

特別登録地を設定する

よく行く場所や施設など特別な場所を登録することで、NAVIメニューからすぐに目的地を設定できます。

アドバイス

- 特別登録地は３件まで登録できます。
- 特別登録地を変更するときは、*「登録地を変更する」(P255)* をご覧ください。
- 特別登録地を消去するときは、*「登録地を消去する」(P257)* をご覧ください。

1 MENU キーを押す

NAVIメニューを表示します。

2 いずれかの 特別登録地 にタップする

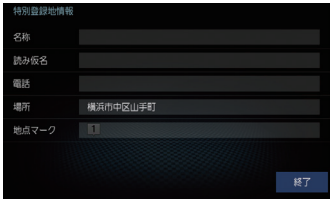
3 いずれかの“検索方法”にタップし、場所を探す

検索方法選択画面

→*「検索方法選択画面について」(P245)*

4 探した場所が表示されたら 決定 にタップする

▼



探した場所に 1 マークが表示され、登録地情報画面 *(P255)* を表示します。

アドバイス

- ここで表示される登録地情報を変更できます。
  「登録地情報を変更する」(P255) の手順６以降の操作を行ってください。
- 検索方法の種類によって、登録地情報に施設名や電話番号が表示されない場合があります。

5 終了 にタップする

▼

特別登録地の登録が完了します。

登録地を設定する

出かけた場所や行ってみたい場所などを登録地に設定しておくと、ルート設定が簡単に行えます。

アドバイス

- 登録地は最大200件まで登録できます。

現在地を登録する

現在地画面から、今いる場所（自車位置）を登録します。

1 **現在地画面で 現在地 キーを押し続ける**

▼

現在地の登録が完了します。

アドバイス

- 登録地情報の画面は表示されず、名称を空白とした登録地が設定されます。
- 登録地情報の空欄は目的に応じて入力してください。
  →*「登録地情報を変更する」(P255)*

探した場所を登録する

NAVIメニュー *(P28)* から探した場所を登録地に設定する一連の操作を説明します。

アドバイス

- [MENU] キー→［登録地］→［新規登録］にタップしても、登録地を設定できます。

1 **MENU キーを押す**

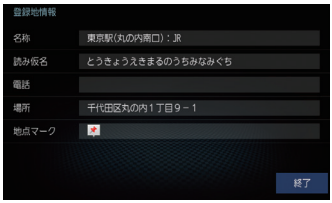
NAVIメニューを表示します。

2 **いずれかの“検索方法”にタップし、場所を探す**

→*「NAVIメニュー」(P28)*

3 **探した場所が表示されたら地点メニュー *(P181)* の 登録する にタップする**

▼



探した場所に 📌 マークが表示され、登録地情報画面 *(P255)* を表示します。

アドバイス

- ここで表示される登録地情報を変更できます。
  「登録地情報を変更する」(P255) の手順6以降の操作を行ってください。
- 検索方法の種類によって、登録地情報に施設名や電話番号が表示されない場合があります。

4 **終了 にタップする**

▼

探した場所の登録が完了します。

登録地を変更する

自宅や登録地の変更および消去が行えます。

アドバイス

- あらかじめ場所を登録しておく必要があります。
- [MENU] キー→ [設定・編集] → [NAVI] → [登録地の編集] または [自宅・特別登録地の編集] にタップしても、登録地情報の変更ができます。

登録地情報を変更する

自宅や登録地の各情報を変更できます。

1 **MENU キーを押す**

NAVI メニューを表示します。

2 **登録地 にタップする**

自宅または特別登録地を変更したい場合でも、[登録地] にタップします。

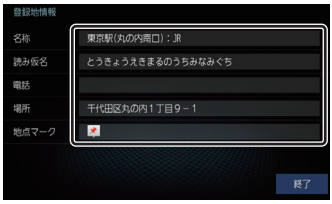
3 **登録地 または 自宅・特別登録地 にタップする**

4 **編集・消去 にタップする**

5 **上下にスライドして、変更したい "登録地" にタップする**

6 **変更したい "情報" にタップし、変更する**

登録地情報画面



7 **終了 にタップする**

▼

登録地情報の変更が完了します。

登録地情報画面について

変更できる登録地情報について説明します。

■ 名称

地図画面で表示される地点マーク *(P256)* の名称を変更できます。

アドバイス

- 地図上に登録地の名称を表示するには [表示の設定] の「登録地名称」で表示有無を選ぶことができます。
  →「NAVIの設定」(P315)

1 **登録地情報画面で、"名称" にタップする**

2 **変更したい "名称" を入力し、入力完了 にタップする**

→「文字入力のしかた」(P192)

▼

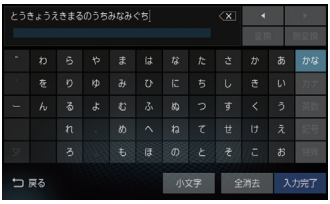
名称の変更が完了します。

■ 読み仮名

登録地名称の読み仮名を変更できます。

1 登録地情報画面で、“読み仮名” にタップする

2 変更したい “読み仮名” を入力し、入力完了 にタップする



→「文字入力のしかた」(P192)

▼

読み仮名の変更が完了します。

■ 電話

登録地に電話番号を登録しておくことができます。

1 登録地情報画面で、“電話” にタップする

2 “番号” にタップして電話番号を入力し、決定 にタップする

▼

電話番号の変更が完了します。

お知らせ

- 電話番号は24桁まで入力できます。
- “－”（ハイフン）は入力できません。

■ 場所

自宅や登録地の場所を変更できます。

1 登録地情報画面で、“場所” にタップする

2 地図をスクロール *(P205)* し、変更したい “場所” に ⊹ マークを合わせる

3 決定 にタップする

▼

場所の変更が完了します。

■ 地点マーク

地図画面に表示される登録地のマークを変更できます。

アドバイス

- 自宅と特別登録地の地点マークは変更できません。

1 登録地情報画面で、“マーク” にタップする

2 変更したい “マーク” にタップする

▼

地点マークの変更が完了します。

アドバイス

- 地点マークは49種類から選べます。
- [マークなし] にタップすると、地図画面にマークが表示されなくなります。

リストの順序を変更する

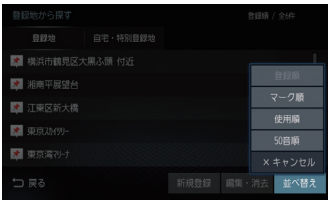
登録地のリストの並びを変更できます。

1 *「登録地情報を変更する」(P255)* の手順２まで操作する

自宅と登録地のリストを表示します。

2 並べ替え にタップする

3 変更したい“順序”にタップする



▼

選んだ順序にリストが切り替わります。

■ 順序の種類について

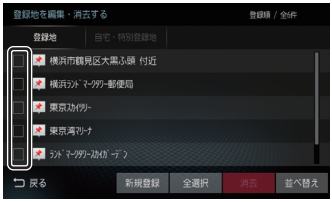
登録順	新規登録した順に並べ替えます。
マーク順	マーク一覧の左上からの順に並べ替えます。
使用順	登録地を使っての検索やルート探索で最近使われたマークの順に並べ替えます。
50音順	登録した読み仮名を使って50音順に並べ替えます。
キャンセル	並べ替えを選択するメニューを閉じます。

登録地を消去する

設定した登録地を消去します。

1 *「登録地情報を変更する」(P255)* の手順４まで操作する

2 消去したい登録地の“チェックボックス”にタップし、選択する



アドバイス

- [全選択]にタップすると、すべての登録地を選択できます。
- [全解除]にタップすると、選択状態をすべて解除できます。

3 消去 にタップする

4 消去する にタップする

▼

選んだ登録地の消去が完了します。

VICS機能

VICSについて

VICSセンターに集められた交通情報を利用できます。

VICSのメディアと特徴

VICSのメディアには、FM多重放送、光ビーコン、電波ビーコン、ETC2.0、オンライン受信があります。

お知らせ

- 本章では、各メディアで対応できる機能について、以下のマークで表記します。

マーク	メディア
FM	FM多重放送
光	光ビーコン
電波	電波ビーコン
ETC2.0	ETC2.0
オンライン	オンライン受信

■ FM多重放送

FM放送波を利用して、広いエリアに道路交通情報を提供するもので、各地のFM放送局から放送されています。
本機は、VICS WIDEにも対応しています。

■ 光ビーコン

光を媒体として、ビーコンが設置された場所に必要な道路交通情報を提供するもので、主に主要幹線道路に設置されておりサービス範囲は狭くなります。
（光ビーコン設置場所通過時）
※ 別売の光/電波ビーコン受信機が必要です。

■ 電波ビーコン

電波を媒体として、ビーコンが設置された場所に必要な道路交通情報を提供するもので、主に高速道路に設置されておりサービス範囲は狭くなります。
（電波ビーコン設置場所通過時）
※ 別売の光/電波ビーコン受信機が必要です。

■ ETC2.0

専用狭域（きょういき）通信を用い、画像・文字情報に加え音声情報などを提供しています。サービスエリアは限定されますが高速大容量通信が可能なためタイムリーで広範囲の情報を送信しています。
ETC2.0については、*「ETC2.0」（P271）*をご覧ください。
※ 別売の接続ケーブルおよびETC2.0車載器が必要です。

■ オンライン受信

Wi-Fi機器（スマートフォンなど）のデータ通信機能を利用して渋滞情報などを受信する機能です。
オンライン受信は、以下の2種類があります。また、あらかじめ登録作業が必要です。
詳しくは*「オンラインの情報を受信する」（P267）*をご覧ください。
※ Wi-Fi接続可能な通信機器が必要です。

オンデマンドVICS

Wi-Fi機器（スマートフォンなど）のデータ通信機能を利用して、全国の渋滞情報、
駐車場情報、規制情報などのVICS情報を取得できます。この機能を利用することで出発地から遠く離れた目的地までの情報を取得できます。

※ オンデマンドVICSの情報は、インクリメントP株式会社が運営する『インクリメントP交通情報サービス』からの提供です。
※ 本サービスで使用するVICS交通情報は公益財団法人日本道路交通情報センターから提供されるデータを利用して作成しています。また、道路交通情報データの作成には一般財団法人道路交通情報通信システムセンターの技術が用いられています。
※ 本サービスの利用は無料ですが、通信費はお客さまのご負担となります。

スマートループ渋滞情報

本製品のスマートループ渋滞情報は、パイオニア カロッツェリア カーナビゲーションと三菱電機カーナビゲーションのリアルタイムプローブデータを共有し、リアルタイムの渋滞情報を提供します。VICS渋滞情報と合わせて全国約70万kmにおよぶ道路状況に対応。渋滞している道路を回避しながら、より早く目的地に到着できます。

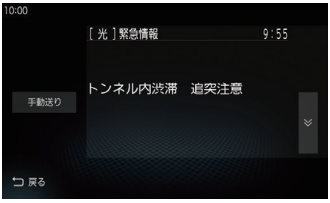
※ 本製品はパイオニア（株）が運営・管理するスマートループ渋滞情報を使用しています。
スマートループ渋滞情報はパイオニア（株）の登録商標です。
※ ユーザー登録および本サービスの利用は無料ですが、通信費はお客さまのご負担となります。

VICS 情報のレベル

VICS 情報にはレベル１～レベル３までの３種類の表示レベルがあります。
ETC2.0 では、表示に加えて音声情報が提供されています。

■ レベル１（文字）

文字による交通情報を表示します。



■ レベル２（簡易図形）

簡略化された図形・地図などで交通情報を表示します。

■ レベル３（地図）

地図上に渋滞情報や規制情報などの交通情報を直接表示します。

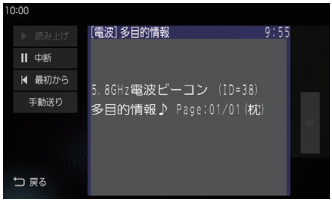
アドバイス

- 縮尺が 10m～1km のときに表示します。

ETC2.0

音声情報

音声情報を受信した場合に音声が流れます。



各ボタンをタップしたときの動作は以下のとおりです。

読み上げ	音声を読み上げます。 一時停止中にタップすると、一時停止した部分から読み上げます。
中断	音声を一時停止します。
最初から	音声を先頭から読み上げます。
自動送り / 手動送り	１ページ以上の情報がある場合、自動送りまたは手動送りを切り換えます。
位置確認	位置情報がある場合、対象の場所を中心とした地図を表示します。

表示内容について

地図上に表示されるVICS情報について説明します。

① **駐車場情報**

VICS情報で表示される駐車場情報では、空車または満車などの状況をVICS記号で確認できます。

② **(VICSボタン)**

VICS情報の提供時刻を表示します。
(受信した時刻ではありません。)
緊急情報を受信すると、点滅表示します。
タップでVICSメニューを表示します。
→*「VICSメニューについて」(P261)*

③ **規制情報**

通行止めや車線規制などの交通規制をVICS記号で確認できます。

④ **渋滞情報**

渋滞・混雑の状況を線で表示し確認できます。

■ VICS メニューについて

① **駐車場情報**
現在地周辺の駐車場情報を確認できます。
高速略図表示中は、表示しません。
→「現在地周辺を調べる」(P263)

② **規制情報**
現在地周辺の規制情報を確認できます。
→「現在地周辺を調べる」(P263)
高速略図表示中は、ボタン名称が[規制/SA 情報]に変わります。
→「高速道路を調べる」(P265)

③ **FM 多重情報**
文字または図形による VICS 情報を確認できます。
→「文字・図形情報を見る」(P265)

④ **ビーコン情報**
ETC2.0 の安全運転支援情報(P272)、光ビーコン、電波ビーコンから取得した文字または図形による VICS 情報を確認できます。
→「文字・図形情報を見る」(P265)

⑤ **緊急注意情報**
割り込んだ緊急情報を再度表示して確認できます。
→「緊急情報の割り込み表示」(P268)

⑥ **VICS 渋滞情報表示**
地図上に VICS 渋滞情報を表示します。
→「渋滞情報を切り換える」(P266)

⑦ **予測渋滞情報表示**
地図上に予測渋滞情報を表示します。
→「渋滞情報を切り換える」(P266)

⑧ **提供時刻**
各メディアの VICS 情報提供時刻を表示します。

⑨ **オンラインで受信する**
Wi-Fi 機器(スマートフォンなど)の通信機能を利用して、オンデマンド VICS 情報およびスマートループ渋滞情報を取得できます。
→「オンラインの情報を受信する」(P267)

■ VICS記号について

地図上に以下のマークで各交通情報を案内します。

駐車場情報

- 空車（青色）
- 満車（赤色）
- 混雑（オレンジ色）
- 不明（黒色）
- 閉鎖

渋滞情報

灰色（実線）	通行止め
赤色（実線）	一般道路渋滞
赤色（点線）	高速道路渋滞
橙色（実線）	一般道路混雑
橙色（点線）	高速道路混雑
紫色（実線）	一般道路渋滞（予測）
紫色（点線）	高速道路渋滞（予測）
桃色（実線）	一般道路混雑（予測）
桃色（点線）	高速道路混雑（予測）

アドバイス

- 通行止めは高速略図*(P209)*で表示します。
- VICS WIDEの地図表示（レベル3）では、「現在情報」と「統計情報」が同一の渋滞表示となります。

規制情報

- 事故
- 通行止め
- 路上障害
- 速度規制（例60km）
- 作業
- 車線規制
- 進入禁止
- 対面通行
- 徐行
- 入口閉鎖
- 片側交互通行
- 冬期通行止め
- チェーン規制
- その他の規制情報
- 入口制限
- 気象警戒速報
- 故障車
- 災害速報
- 工事
- 大型通行止
- 凍結
- 緊急情報

VICSセンターへのお問い合わせ

VICSの状況や機能によって問い合わせ先が異なります。問い合わせが必要になったときは、以下の内容を参考にし、「三菱電機カーインフォメーションセンター」までご連絡ください。

- VICS車載器の調子や使用方法
- VICS車載器の受信可否に関して
- 地図表示（レベル3）の内容に関して
- VICS情報の受信エリアについて
- VICS情報の内容の概略に関して

以下の内容は、「VICSセンター お客様相談窓口」までご連絡ください。

- 文字表示（レベル1）の内容に関して
- 簡易図形表示（レベル2）の内容に関して
- VICSの概念
- サービス提供エリアに関して

■ VICSセンター お客様相談窓口

電話番号	0570-00-8831 (PHS、IP電話などからはご利用できません)
受付時間	平日 9:30～17:45 （土曜・日曜・祝日・年末年始休暇を除く）
FAX番号	03-3562-1719(24時間受付)
URL	https://www.vics.or.jp/

なお、お問い合わせ先の判断に迷うような場合には、まずお買い求めの販売店または、別紙に記載の「三菱電機カーインフォメーションセンター」にご連絡いただくことをおすすめします。

交通情報を調べる

VICS を利用することで、交通情報を確認できます。

アドバイス

- 駐車場情報は縮尺が 100m までの地図で表示できます。但し、縮尺が 100m より広域の場合は該当する駐車場マーク 1 件のみを表示します。
- 緊急情報や規制情報は、すべての緊急/規制エリアが含まれる最詳細縮尺の地図で表示します。

FM 光 電波 ETC2.0

現在地周辺を調べる

現在地周辺の駐車場情報や規制情報を調べます。

1 現在地画面で VICS 9:55 FM にタップする

2 駐車場情報 または 規制情報 にタップする

▼

VICS 記号の枠が点滅するとともに文字情報を表示します。

アドバイス

- [駐車場情報] は周辺の駐車場情報が表示され、[規制情報] または [規制/SA 情報] は周辺の交通規制や道路工事の情報を表示します。
- [FM 多重情報] にタップすると、文字または図形による VICS 情報を確認できます。
→「文字・図形情報を見る」(P265)

3 ≪ または ≫ にタップする

4 “位置確認アイコン” にタップする

▼

選んだ交通情報を中心とした地図と情報を表示します。

アドバイス

- 地点メニュー(P181)のいずれかにタップすると、目的地や経由地、登録地の設定ができます。
→「地点メニューからの操作」(P206)

■ 詳細情報を確認する

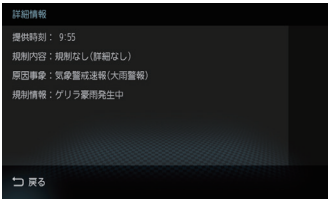
規制情報の詳細情報が受信できたとき、リストで確認することができます。

1 現在地画面で VICS 9:55 FM → 規制情報 にタップする

2 詳細情報 にタップする

規制エリア

▼



詳細情報を表示します。

アドバイス

- 規制情報にエリア情報がある場合は、規制エリアが地図上に表示されます。

FM 光 電波 ETC2.0

スクロール地点周辺を調べる

地図をスクロールして、地点周辺の駐車場情報や規制情報を調べることができます。

1 地図をスクロール *(P205)* し、調べたい地点に を合わせる

2 VICS 9:55 FM にタップする

▼

以降の操作は、*「現在地周辺を調べる」(P263)* の手順2以降と同じです。

FM 光 電波 ETC2.0

高速道路を調べる

走行中の高速道路（高速略図表示中）の駐車場情報や規制情報を調べることができます。

1 高速略図 *(P209)* 表示中で にタップする

2 規制/SA情報 にタップする

▼

以降の操作は、*「現在地周辺を調べる」(P263)* の手順３以降と同じです。

アドバイス

- 高速道路を走行している必要があります。
- 高速略図の規制情報を探す場合、選択するメニューは［規制情報］ではなく［規制/SA情報］になります。
- 位置確認を行った場合、高速略図中の位置を表示します。
- ［FM多重情報］にタップすると、文字または図形によるVICS情報を確認できます。
  →*「文字・図形情報を見る」(P265)*

FM 光 電波 ETC2.0

文字・図形情報を見る

文字または図形によるVICS情報を確認できます。

お知らせ

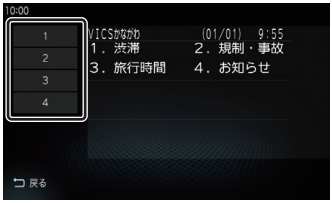
- ここでは、現在地画面からの操作を説明しますが、スクロール画面 *(P181)* や高速略図 *(P209)* からも同じ操作となります。

1 現在地画面で にタップする

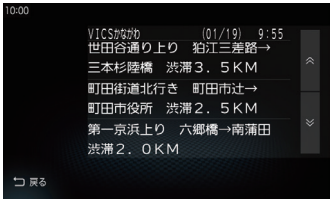
2 FM多重情報 または ビーコン情報 にタップする

3 知りたい情報の“番号”にタップする

4 知りたい情報の“番号”にタップする



▼



選んだ情報を表示します。

FM

渋滞情報を切り換える

渋滞情報を現在の情報または予測情報に切り換えることができます。

1 現在地画面で にタップする

2 VICS渋滞情報表示 または 予測渋滞情報表示 にタップする

▼

渋滞情報が切り換わります。

オンライン

オンラインの情報を受信する

Wi-Fi 機器（スマートフォンなど）のデータ通信機能を利用して、オンデマンドVICS 情報およびスマートループ渋滞情報を受信します。

お知らせ

- あらかじめWi-Fi 機器（スマートフォンなど）を本機と接続しておく必要があります。→*「通信の設定」（P336）*
- ユーザー登録および本サービスの利用は無料ですが、通信費はお客さまのご負担となります。
- オンラインの情報を受信するには登録が必要となります。
  さらに、[VICS の設定]の「走行情報（オンライン）」を[送信する]にしておく必要があります。未登録の場合や[送信しない]に設定されていると、オンデマンドVICS 情報*（P258）*のみを受信します。
  →*「NAVIの設定」（P315）*
  詳しくは、三菱電機のホームページをご覧ください。
  http://www.MitsubishiElectric.co.jp/carele/carnavi/openinfo

ユーザー登録	[VICS の設定] →「走行情報（オンライン）」	オンデマンドVICS	スマートループ 渋滞情報
未登録	送信しない	○	×
	送信する	○	×
登録済み	送信しない	○	×
	送信する	○	○

1 現在地画面で にタップする

2 オンラインで受信する に タップする

3 はい にタップする

渋滞情報の取得を開始します。

▼

アドバイス

- 「走行情報（オンライン）」の送信では、より充実した道路交通情報の提供に役立てるために、お客さまの走行情報などをサービス事業者に提供します。
- オンライン受信の受信方法は、[VICS の設定]の「オンライン受信」で自動または手動を選ぶことができます。
  →*「NAVIの設定」（P315）*

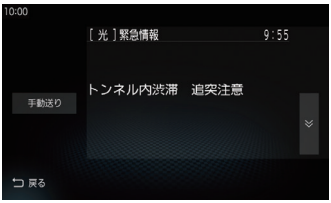
VICSによる自動処理

VICSには、安全で快適な運転をしていただくため、自動で処理される機能があります。

FM 光 電波 ETC2.0

緊急情報の割り込み表示

走行中、緊急情報を受信すると、受信音とともに自動的に表示します。



[戻る]にタップすると元の画面に戻ります。

アドバイス

- 1ページ以上ある場合、[自動送り]/[手動送り]にタップすると自動送り、または手動送りに切り換えることができます。また、[≫]にタップしてページを送ることができます。

■ 再表示するには

割り込んできた緊急情報を再度表示して、確認できます。

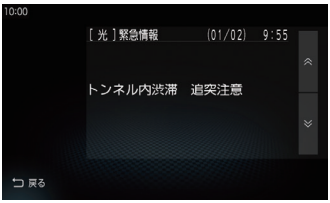
お知らせ

- ここでは、現在地画面からの操作を説明しますが、スクロール画面*(P181)*や高速略図*(P209)*からも同じ操作となります。

1 現在地画面で VICS 9:55 FM にタップする

2 緊急注意情報 にタップする

▼



緊急情報を表示します。

FM 光 電波 ETC2.0

ルート自動更新

ルート走行中、ルート前方に通行止めやその他の規制が発生した場合、回避するためのルートが自動的に再探索され、新しいルート案内を開始します。

▼

アドバイス

- [探索の設定]の「ルート自動更新」を[使用する]に設定しておく必要があります。
→*「NAVIの設定」(P315)*

光 電波 ETC2.0

図形 / 文字情報の割り込み表示

走行中、光ビーコンまたは電波ビーコンの情報を受信すると、受信音とともに図形情報または文字情報が自動的に表示されます。

[戻る] にタップすると元の画面に戻ります。

アドバイス

- 操作をしなければ約 10 秒間で元の画面に戻ります。
- 図形情報または文字情報を自動で表示させたくない場合は、[VICS の設定] の「受信情報割り込み」を [表示しない] に設定してください。→ *「NAVI の設定」(P315)*

FM

VICS局を選ぶ

工場出荷時は、自車位置の都道府県の放送局を優先的に選局する[自動選局]に設定されていますが、都道府県を指定する方法、周波数を入力して指定する方法を選択することもできます。

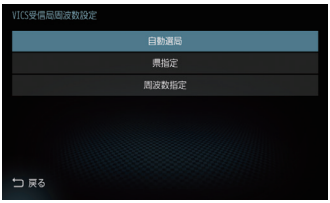
1 MENU キーを押す

2 設定・編集 → NAVI にタップする

3 VICSの設定 にタップする

4 「VICS受信局周波数設定」の項目にタップする

▼



VICS受信局周波数設定画面を表示します。

自動選局

自車位置の都道府県のVICS局を優先的に選局します。

1 VICS受信局周波数設定画面で 自動選局 にタップする

▼

VICS局を自動選局に変更します。

県指定

選択した都道府県をVICS局に指定できます。

1 VICS受信局周波数設定画面で 県指定 にタップする

2 変更したい“都道府県”にタップする

▼

選んだ都道府県にVICS局を変更します。

周波数指定

入力した周波数をVICS局に指定できます。

1 VICS受信局周波数設定画面で 周波数指定 にタップする

2 変更したい“周波数”を入力する

3 決定 にタップする

▼

入力した周波数にVICS局を変更します。

ETC2.0サービスとは

別売の接続ケーブルおよびETC2.0車載器を本機に接続すると、さまざまな機能がご利用になれます。

ETC2.0サービスの概要

専用狭域（きょういき）通信方式を用いて情報提供や料金決済などができるサービスのことです。
今後幅広いサービスが提供される予定です。
本機に別売の三菱電機製ETC2.0車載器を接続すると、交通情報などの表示や音声情報の案内が行われます。

お知らせ

- 本機能をご利用いただくには、別売の三菱電機製ETC2.0車載器とETCカードおよび接続ケーブルが必要です。詳しくは、販売店にお問い合わせください。
- ETCカード未挿入やETC2.0車載器の故障によるエラーが表示される場合がありますが、本機の故障ではありません。エラー内容を確認し、ETC2.0車載器の取扱説明書に従って処置してください。
- 料金所は名称で表示する場合と番号で表示する場合があります。
- 本機側でETC利用料金や利用履歴を表示できますが、必ずクレジットカード会社から発行される利用明細、またはETCマイレージサービスのユーザー登録時に受けることのできる照会サービスで確認してください。
- ETC2.0車載器本体の詳細については、ETC2.0車載器の取扱説明書をご覧ください。

ETC2.0サービスについて

今後、さまざまなサービスが始まる予定です。

お知らせ

- ETC2.0サービスは、一部開始されていない場合があります。
- 本機は情報接続サービス（道の駅における情報接続、SA・PAにおける情報接続など）には対応しておりません。

■ 音声情報

音声情報を受信すると音声で読み上げを行います。→*「音声情報」(P259)*
受信した音声情報を、自動で読み上げないように設定する場合は[VICSの設定]で「受信情報読み上げ」を[手動]に設定します。
→*「VICSの設定」(P320)*

■ アップリンク機能

走行情報などをサービス事業者に提供し、より充実した道路交通情報や、安全運転支援情報の提供に役立てます。
走行情報を提供しない場合は、[VICSの設定]で「走行情報（ETC2.0（DSRC））」を[送信しない]に設定します。
→*「VICSの設定」(P320)*

■ 安全運転支援情報

以下のような情報がリアルタイムに提供されます。

注 意

- 安全運転支援情報は参考情報で、実際の交通状況とは異なる場合があります。必ず実際の交通状況を確認し、安全運転を心がけて走行してください。

お知らせ

- 状況によってはその他の情報が表示される場合があります。

前方の障害物情報

合流支援情報

事故多発地点情報

■ 渋滞回避支援

広域な道路交通情報をリアルタイムに提供します。また、前方の渋滞状況の確認もできます。

INFO

主に情報確認や各種設定が行えます。

各種情報を確認する 276

エコ情報を確認する.....276
表示内容について.....276
表示するには.....277
　eスタートスコアについて.....277
　エコ運転評価を消去する.....277
エコ情報履歴を表示する.....278
　エコ情報履歴を消去する.....278
お知らせ表示について.....279
　エコスコア.....279
　エコアドバイス.....279
　目的地到着後のお知らせ.....279

ETC情報を確認する.....280
ETCとは.....280
案内表示について.....281
　ACC ONにしたとき.....281
　料金所を通過したとき.....281
　予告アンテナを通過したとき.....281
ETCの履歴を確認する.....281
累積料金を表示する.....282
　累積料金を消去する.....282
月別料金表を表示する.....282
日別料金表を表示する.....283
ETC車載器の情報を表示する.....283

ニュースリーダーを使う.....284
ニュースリーダーを起動/終了する.....284
　起動するには.....284
　終了するには.....284
表示内容について.....285
　見出し一覧を表示する.....286
　詳細画面を表示する.....286
音声認識を利用する.....287
　発話マークの操作による開始.....287
　ウェイクアップコマンドによる開始.....287
　キー操作による開始.....287
バージイン発話について.....288
音声認識コマンドリストを確認する.....288
ニュースを取得する.....288

電話を使う.....289
電話画面を表示する.....289
携帯電話を接続する.....289
電話帳や履歴を同期する.....290
登録電話番号に登録する.....291
　番号入力で登録する.....291
　電話帳から登録する.....292
　履歴から登録する.....292
登録電話番号を編集する.....292
　名称や電話番号を編集する.....292
　消去する.....293
電話をかける.....293
　電話帳からかける.....294
　登録番号からかける.....294
　履歴からかける.....295
　施設に登録された電話番号にかける.....295
電話がかかってくると.....295
　かかってきた電話にでるには.....296
　音量を調整する.....296
　通話画面を閉じる.....297
　電話を終了する.....297

カメラを使う.....298
表示内容について.....298
表示するには.....299
　リアカメラの映像を表示する.....299

HUDの表示を確認する.....300
　交差点情報.....300
　高速施設情報.....300
　分岐情報.....300
　方位情報.....300
　時刻情報.....301
　通話状態.....301
　音声認識状態.....301
　ETCアイコン.....301
　警告アイコン.....301
　信号情報案内.....302
　その他案内.....302

開通道路情報を更新する.....303
開通道路情報を通信で更新する.....303
開通道路情報をSDカードで更新する.....304
メンテナンス情報を確認する.....305
メンテナンス情報を表示する.....305
メンテナンス情報を設定する.....306
メンテナンス情報を追加する.....307
メンテナンス情報の種類について....307
メンテナンス情報を更新する.....308
メンテナンス情報の案内を設定する.....308
案内するに設定した場合.....308
バージョンアップする.....309
バージョンを確認する.....309
ディスクでバージョンアップする.....309
無償地図更新用ディスクの入手手順.....310
ユーザー登録をする.....310
無償地図更新を申し込む.....312
SDカードでバージョンアップする.....313

本機の設定 314

設定を変更する.....314
設定できる種別について.....314
NAVIの設定.....315
設定できる項目について.....315
表示の設定.....316
音声の設定.....318
探索の設定.....319
VICSの設定.....320
信号情報案内の設定.....321
DriveConnectの設定.....321
自車位置の補正.....322
センサー学習情報を消去する.....322
現在地を補正する.....323
AVの設定.....324
設定できる項目について.....324
音楽CDの録音方法を変更する.....324
自動録音について.....325
手動録音について.....325
シングル録音について.....325
録音速度を設定する.....325
DVDビデオの初期設定.....326
優先させる言語を変更する.....327
INFOの設定.....329
設定できる項目について.....329
電話の設定.....330
NaviConの設定.....331
ETCの設定.....331
HUDの設定.....332
デバイスIDを表示する.....333
リアカメラの設定.....333
カメラの接続設定を行う.....333
ガイド線を表示する.....333
ガイド線を調整する.....334
エコ情報の設定.....335
ニュースリーダーの設定.....335
通信の設定.....336
Bluetoothの設定.....336
設定画面の表示.....336
接続可能なBluetooth機器を検索して登録する.....337
Bluetooth機器から
検索して登録する.....338
Bluetooth機器を選択する.....338
Bluetooth機器を消去する.....339
パスキーを設定する.....340
本機のアドレスを
表示する/編集する.....340
Wi-Fiの設定.....340
設定画面の表示.....340
接続可能なWi-Fi機器を検索して登録する....341
Wi-Fi機器を選択する.....342
Wi-Fi機器の情報を確認する.....342
Wi-Fi機器を消去する.....342
システムの設定.....343
設定できる項目について.....343
案内音・操作音の設定.....344
音声認識の設定.....345
学習データをリセットする.....346
セキュリティロックの設定.....346
セキュリティを解除する.....347
パスワードを変更する.....347
セキュリティロックLEDを点滅させる....347
ステアリングリモコンの設定.....348
マイクの設定.....348
パワーアンテナの設定.....349

車両取付確認 350
外部機器接続確認 350
車両信号チェック 351
センサチェック 351
GNSS/QZS 受信状況確認 351
スピーカーチェック 352
マイクチェック 352
メモリ初期化 353
TV の設定 355
設定項目について 355
視聴設定 356
字幕 / 音声 356
受信機設定 356
自動選局 356
緊急放送 357
表示設定 357
番組表 CH 357
初期設定を行う 358
ホーム CH スキャンを行う 358
設定情報を初期化する 358
その他の設定 359
モニターの角度を調整する 359
画質を調整する 359
RGB 画面の調整 360
映像画面の調整 360
リアカメラ映像の調整 361
画面の表示を消す 361

各種情報を確認する

エコ情報を確認する

アクセルペダルやブレーキの使いかた（加速度情報）を元に判断し、運転操作がどれぐらい燃費に良いかの評価（エコ運転評価）を確認できます。

お知らせ

- エコ情報は省エネを保証するものではありません。あくまで参考情報としてご使用ください。また、道路交通法に従い、実際の交通規制や道路状況に合わせて走行してください。

表示内容について

① **エコ運転評価**
エコ運転評価を表示します。

② **eスタートマスターレベル**
アクセルペダルやブレーキの踏みかたから採点し、採点した得点量によってバーが増減します。バーが満タンになれば、レベルがアップします。（最大レベル５まで）

③ **今回のeスタートスコア**
車のエンジンをかけてから現在までのeスタートスコアを表示します。
→「eスタートスコアについて」（P277）

④ **前回のeスタートスコア**
前回車を利用したとき（エンジンをかけてエンジンを切るまで）のeスタートスコアを表示します。
→「eスタートスコアについて」（P277）

⑤ **エコ情報履歴**
走行アドバイスが必要な地点を表示します。
→「エコ情報履歴を表示する」（P278）

⑥ **eスタートマスター消去**
eスタートマスターレベルを消去できます。
→「エコ運転評価を消去する」（P277）

⑦ **eスタートスコア消去**
eスタートスコアを消去できます。
→「エコ運転評価を消去する」（P277）

表示するには

1 **MENU キーを押し、画面を左にスライドする**

INFO メニューを表示します。

2 **エコ にタップする**

▼

エコ情報を表示します。

■ eスタートスコアについて

急発進をしないでアクセルをゆっくり踏むことが、どのくらいできたかの評価を葉っぱの数で確認できます。
葉っぱの数は0～10枚の11段階あります。数が多いほど良い発進ができた評価となります。

お知らせ

- eスタートスコアは、車のイグニッションキーを“ACC”または“ON”にした後の「停止→発進」回数により評価を分析し結果を表示します。
- 高速道路などのように「停止→発進」の頻度が少ない場合は、結果が更新されない場合があります。

■ エコ運転評価を消去する

eスタートマスターレベルおよびeスタートスコアを消去できます。

1 **エコ情報を表示する**

→*「表示するには」(P277)*

2 **eスタートマスター消去 または eスタートスコア消去 にタップする**

eスタートマスター消去	eスタートマスターのレベルとバーを消去します。
eスタートスコア消去	前回および今回のeスタートスコアを消去します。

3 **消去する にタップする**

▼

エコ運転評価の消去が完了します。

エコ情報履歴を表示する

急発進、急加速、急減速と判断された地点を記憶しリスト（最大100件）表示します。

1 **エコ情報を表示する**

→「表示するには」（P277）

2 **エコ情報履歴** にタップする

3 見たい“履歴”にタップする

▼

地点と走行診断結果、アドバイスを表示します。

アドバイス

- ［前の地点］または［次の地点］にタップすると、前の地点、次の地点の履歴を確認できます。
- 各アイコンは、以下の地点を示します。
  発：発進した地点
  加：加速した地点
  減：減速した地点

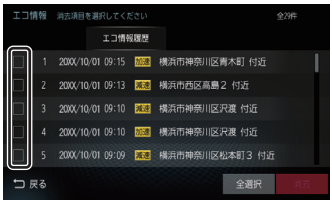
■ エコ情報履歴を消去する

履歴を消去できます。

1 *「エコ情報履歴を表示する」（P278）* 手順2まで操作する

2 **消去** にタップする

3 消去したい履歴の“チェックボックス”にタップし、選択する



アドバイス

- ［全選択］にタップすると、すべての履歴を選択できます。
- ［全解除］にタップすると、選択状態をすべて解除できます。

4 **消去** にタップする

5 **消去する** にタップする

▼

エコ情報履歴の消去が完了します。

お知らせ表示について

走行中や目的地到着後に表示されるお知らせ表示について説明します。

■ エコスコア

ルート案内中、燃費に良い運転方法の評価をバーグラフで表示します。

ECO	渋滞などが原因による低速走行が続いたとき、エコスコアが計算できなくなったときに表示します。
ECO	よい状態です。
ECO	やや良い状態です。
ECO	普通の状態です。
ECO	やや悪い状態です。
ECO	悪い状態です。

エコスコアに表示されているバーの点灯が多いほど、燃費に良い運転ができています。
（5段階で表示します。）

アドバイス

- エコスコアを表示させたくない場合は、[エコ情報の設定]の「エコスコア表示」で[表示しない]にします。
→「エコ情報の設定」(P335)

■ エコアドバイス

走行中、良い燃費に必要な運転方法のアドバイスを表示し、アナウンスを行います。

エコアドバイスは次のとき案内します。

- 燃料消費が少ない運転
- eスタート発進
- 急発進、急加速、急減速

アドバイス

- エコアドバイスを使用したい場合は、[エコ情報の設定]の「エコアドバイス」で[使用する]にします。
→「エコ情報の設定」(P335)

■ 目的地到着後のお知らせ

目的地の手前に近づくと、ルート走行中の評価をeスタートスコアおよびエコスコアでお知らせします。

eスタートスコア表示

▼

エコスコア表示

アドバイス

- 目的地到着後のお知らせを表示させたくない場合は、[エコ情報の設定]の「エコ情報お知らせ表示」で[表示しない]にします。
→「エコ情報の設定」(P335)

ETC情報を確認する

ETCの使いかたについて説明します。

ETCとは

ETCとは、有料道路などにおけるノンストップ自動料金収受システム（Electronic Toll Collection System）のことです。
本機に別売の接続ケーブルおよびETC車載器またはETC2.0車載器を取り付けることで本機能をご利用になれます。

- 有料道路などの料金所を通過する際に、一旦停止することなく自動的に通行料金の支払い手続きが可能になります。
- 料金所の出入り口で通行料金を音声で案内します。
- ETCの通行履歴を表示できます。

お知らせ

- 本機能をご利用いただくには、別売の三菱電機製ETC車載器またはETC2.0車載器とETCカードおよび接続ケーブルが必要です。但し、モデルによっては接続できない場合がありますので、詳しくは販売店にお問い合わせください。
- ETC車載器とETC2.0車載器が同時接続されている場合、ETCゲートを正しく通過できないことがありますので、同時接続はしないでください。
- ETCカード未挿入やETC車載器またはETC2.0車載器の故障によるエラーが表示される場合がありますが、本機の故障ではありません。エラー内容を確認し車載器の取扱説明書に従って処置してください。
- ETCゲート、ETCカード未挿入お知らせアンテナもしくは予告アンテナを通過した場合に、料金案内図やお知らせなどを表示する場合があります。
- 料金所は名称で表示される場合と番号で表示される場合があります。

お知らせ

- 本機側でETC利用料金や利用履歴を表示できますが、必ずクレジットカード会社から発行される利用明細、またはETCマイレージサービスのユーザー登録時に受けることのできる照会サービスで確認してください。
- ETC車載器またはETC2.0車載器本体の詳細については、車載器の取扱説明書をご覧ください。

案内表示について

ETCカードの挿入案内や料金所を通過したときなどの案内表示について説明します。

■ ACC ONにしたとき

ACC ONにすると、ETCカードの使用可否を表示と音声でお知らせします。

アドバイス

- カード使用可否の案内は、[ETCの設定]の「ETCカード案内」で案内有無を選ぶことができます。
  →「INFOの設定」(P329)
- 画面OFFの状態でも、ETC車載器からお知らせがあると画面をONにし表示と音声案内が行われます。
- ETCカードの有効期限案内機能は、有効期限案内対応のETC車載器またはETC2.0車載器に限ります。

■ 料金所を通過したとき

料金所案内図が表示され、音声で料金案内を行います。

■ 予告アンテナを通過したとき

予告アンテナを通過したことを告げるテロップが表示されます。
予告アンテナ受信内容が表示され、音声でも案内が行われます。

ETCの履歴を確認する

全履歴情報画面を表示して確認できます。

注 意

- 履歴読み込み中にETCカードを抜かないでください。通信エラーなどが発生します。

お知らせ

- ETCに関するエラー表示があった場合、ETCカードを正しくETC車載器に挿入するまでETC履歴の画面を表示できません。
- 2002年度以前に発売されたETC車載器をご使用の場合は、履歴に時刻が表示されません。

アドバイス

- 履歴は最大100件まで新しいものから順に表示します。
- 料金は、－99,999円～999,999円まで表示できます。

1 MENU キーを押し、画面を左にスライドする

INFOメニューを表示します。

2 ETC にタップする

▼

全履歴情報画面を表示します。

累積料金を表示する

累積料金を確認できます。

1 全履歴情報画面表示中、[∨] にタップする

2 [累積料金] にタップする

▼

累積料金を表示します。

アドバイス

- [∨] →[全履歴情報]にタップすると、全履歴情報画面 *(P281)* に戻ります。
- 料金は、－99,999円～999,999円まで表示できます。

■ 累積料金を消去する

累積料金を消去(クリア)することができます。

1 *「累積料金を表示する」(P282)* を操作する

2 [累積料金クリア] にタップする

3 [する] にタップする

▼

累積料金を消去します。

月別料金表を表示する

月別に料金を確認できます。

1 全履歴情報画面表示中、[∨] にタップする

2 [月別料金表] にタップする

アドバイス

- 各月に表示されている料金は、その月での累積料金です。

3 見たい“月のリスト”にタップする

▼

選んだ月の詳細な履歴を表示します。

アドバイス

- [∨] →[全履歴情報]にタップすると、全履歴情報画面 *(P281)* に戻ります。
- 料金は、－99,999円～999,999円まで表示できます。

日別料金表を表示する

日別の料金を確認できます。

1 全履歴情報画面表示中、
[∨] にタップする

2 [日別料金表] にタップする

アドバイス

- 各日に表示されている料金は、その日の累積料金です。

3 見たい“日にちのリスト”にタップする

▼

選んだ日の詳細な履歴を表示します。

アドバイス

- [∨] →[全履歴情報]にタップすると、全履歴情報画面 *(P281)* に戻ります。
- 料金は、－99,999円～999,999円まで表示できます。

ETC車載器の情報を表示する

本機に接続されているETC車載器またはETC2.0車載器の型名、型式登録番号、車載器管理番号を確認できます。

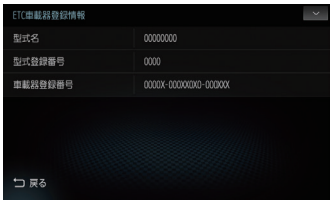
お知らせ

- 2002年度以前に発売されたETC車載器の場合はETC登録情報が表示されません。

1 全履歴情報画面表示中、
[∨] にタップする

2 [ETC登録情報] にタップする

▼



登録情報を表示します。

アドバイス

- [∨] →[全履歴情報]にタップすると、全履歴情報画面 *(P281)* に戻ります。

ニュースリーダーを使う

Wi-Fi機器（スマートフォンなど）のデータ通信機能を使って取得したニュースの表示、読み上げができます。

お知らせ

- あらかじめWi-Fi機器（スマートフォンなど）を本機と接続しておく必要があります。→*「通信の設定」（P336）*
- 本サービスの利用は無料ですが、通信費はお客さまのご負担となります。
- お使いの通信機器の受信状況によっては、通信に時間がかかる場合があります。
- 本機取り付け直後など、GPSによる時刻取得ができていない状態では、ニュース情報の取得ができません。
- ニュースリーダー画面に切り換わると、オーディオが消音（ミュート）状態になります。
- ニュースを取得すると、24時間保存されます。ニュースが保存されている間は、通信機器との接続がなくても保存されているニュースを表示できます。
- ニュースリーダーは当社または当社へニュースを提供する時事通信社の事由により、お客さまに事前の通知をすることなくサービスを変更、停止、中断または終了することがあります。あらかじめご了承ください。
- 読み上げ音声の音量は、*「システムの設定」（P343）*の「案内音量」に連動しています。

ニュースリーダーを起動/終了する

■ 起動するには

1 MENU キーを押し、画面を左にスライドする

INFOメニューを表示します。

2 ニュースリーダー にタップする

▼

ニュースリーダーのホーム画面を表示します。

■ 終了するには

ニュース読み上げ中に、ニュースリーダーを終了すると、読み上げは停止します。

1 現在地 キーなどを押す

[現在地]、[AV]、[MENU]、[⏏]キーのいずれかを押します。

▼

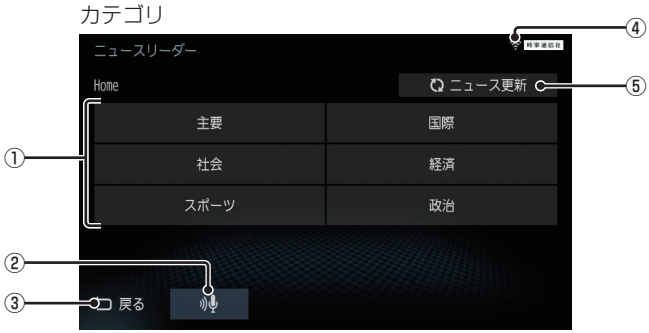
ニュースリーダーを終了します。

アドバイス

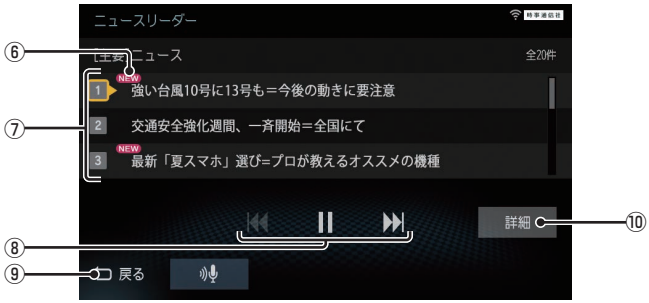
- ニュースリーダーのホーム画面から[戻る]にタップしても、ニュースリーダーを終了できます。

表示内容について

カテゴリ



リスト



① **カテゴリ**※1、※2
タップしたカテゴリのニュースを表示し、読み上げます。

② 発話マーク
タップすると音声認識※3が利用できます。

③ 戻る
ニュースリーダーを終了し、1つ前に戻ります。

④ **電波強度アイコン**

⑤ ニュース更新 ※2
最新のニュース※4を取得します。

⑥ **新着アイコン**※5
初めて取得したニュースには、新着アイコンが表示されます。

⑦ **リスト**※2
タップすると選択されたニュースの見出しを読み上げます。

⑧ ⏮ , ⏸ , ▶ , ⏭ ※2
ニュースの選択や一時停止、再生が行えます。

⑨ 戻る
1つ前に戻ります。

⑩ 詳細 ※2
選択されたニュースの詳細画面を表示します。→*「詳細画面を表示する」(P286)*

※1　過去3日間に配信されたニュースがない場合や「取得カテゴリ」*(P335)*で［取得しない］を選択しているときは、対象のカテゴリを選択できません。

※2　音声認識モードにて音声操作可能です。詳しくは音声認識コマンドリスト*(P288)*をご覧ください。

※3　ニュースリーダー専用の音声認識モードになります。

※4　ニュースは、取得してから24時間経過すると削除されます。

※5　一度取得したニュースが削除された後に、同一ニュースを再取得する場合があります。再取得したニュースでも新着アイコンは表示されます。

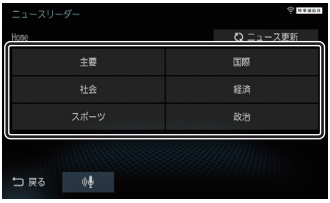
■ 見出し一覧を表示する

カテゴリ別ニュースの見出しを最大20件表示し、読み上げます。

1 ニュースリーダーを表示する

→「起動するには」(P284)

2 見たいニュースの“カテゴリ”にタップする



▼

タップしたカテゴリの一覧が表示され、上から順に見出しを自動で読み上げます。

アドバイス

- 読み上げ中に [II] をタップすると、読み上げを停止します。

■ 詳細画面を表示する

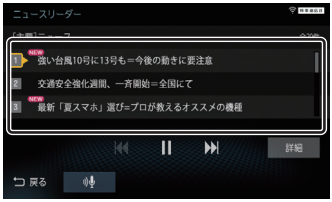
該当する見出しのニュースを表示し、要約または全文を読み上げます。

1 ニュースリーダーを表示する

→「起動するには」(P284)

2 見たいニュースの“カテゴリ”にタップする

3 “見出し”にタップする



4 [詳細] にタップする

▼

詳細画面を表示し、ニュースの要約または全文を自動で読み上げます。

アドバイス

- 読み上げる要約は、ニュースのハイライト部になります。
- ニュースが短い場合は、全文読み上げを行います。
- [⏮] または [⏭] にタップすると、前のニュース、次のニュースの詳細画面を表示できます。
- 読み上げ中に [⏸] をタップすると、読み上げを停止します。

お知らせ

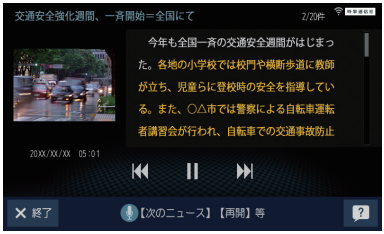
- 要約文は自動生成しているため、不自然または不正確になることがあります。
- 読み上げにおいては、単語の読み方を誤ったり不自然なイントネーションとなったりする事があります。
- 通信状態により画像の表示に時間がかかったり、表示されなかったりすることがあります。

音声認識を利用する

ニュースリーダー専用の音声認識が利用できます。
音声認識でニュースの選択や読み上げの一時停止、再生などの操作が行えます。
音声認識は、以下のいずれかの方法で開始することができます。

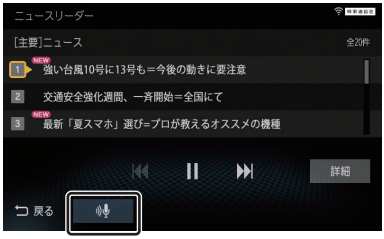
お知らせ

- 音声認識にてニュースリーダーを起動した場合、音声認識が開始された状態になります。→*「音声認識の開始方法について」(P188)*



	音声認識が可能な状態です。ニュースリーダー専用の音声認識では、発話を認識した後でも、すぐに次の発話を連続して認識が可能です。
終了	タップすると、音声認識を終了します。

■ 発話マークの操作による開始



発話マークにタップすると音声認識を開始します。

■ ウェイクアップコマンドによる開始

ニュースリーダー画面にて、“声で操作”と発話することで開始できます。

■ キー操作による開始

ニュースリーダー画面を表示し、[MENU] キーを長押しすることで開始できます。

バージイン発話について

ニュースの読み上げ中でも発話を行うと、音声認識コマンドを認識します。

音声認識コマンドリストを確認する

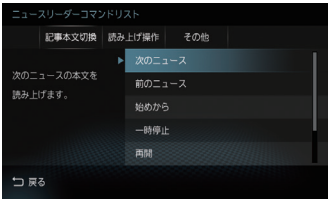
操作する上で発話する言葉がわからない場合に確認できます。

1 ニュースリーダーを表示する

→「起動するには」(P284)

2 ? にタップする

▼



音声認識で操作できるコマンドのリスト画面を表示します。

ニュースを取得する

Wi-Fi 機器（スマートフォンなど）のデータ通信機能を使って、最新のニュースを取得します。

お知らせ

- 「ニュースリーダーの設定」(P335) で、「ニュース記事受信」を［自動］に設定していても、取得してから 10 時間は自動受信いたしません。

1 ニュースリーダーを表示する

→「起動するには」(P284)

2 ニュース更新 にタップする

▼

最新のニュースを取得します。

電話を使う

電話の使いかたについて説明します。

⚠警告

禁止

- **運転者は運転中に携帯電話を手にもって使用しない。**
  走行中に携帯電話を手にもって使用することは法律で禁止されています。また、事故の原因になります。
- **携帯電話を放置しない。**
  停車したときやカーブを曲がるときに携帯電話が足下に転がりブレーキペダルなどの下に入り込むと運転の妨げとなり交通事故の原因となります。

必ず行う

- **ご使用になる前に、安全な場所に車を止めた状態で、着信音量、受話音量、送話音量の確認を行ってください。**
  事故の原因となることがあります。
  [電話の設定]の「○○音量」で適度な音量に設定し、ご使用ください。
  →*「INFOの設定」(P329)*
  音量が大きすぎたり、小さすぎたりすると運転中の意識がそれ、事故の原因となり危険です。

お知らせ

- 通話中にWi-Fi機器の検索*(P341)*を行うと通信中にノイズが発生することがありますが、故障ではありません。
- 外部アンプを使用した場合、外部アンプのゲイン(増幅度)によっては、電話音声にエコーがつくなど、聞き取りにくくなる場合があります。
- 本機の取り付け位置、別売の外部マイクの取り付け位置によっては、通話相手に聞こえる電話音声が聞き取りにくくなる場合があります。

お知らせ

- Wi-Fi接続している状態でBluetooth接続を行うと接続に失敗する場合があります。再度、Bluetooth接続の操作を行ってください。
- 本機で表示できない文字列は記号(細長い四角形)で表示されますが故障ではありません。(絵文字や特殊文字など)

電話画面を表示する

電話帳や発着信履歴を利用して電話をかけることができる電話画面を表示します。

1 **MENU キーを押し、画面を左にスライドする**

INFOメニューを表示します。

2 **電話 にタップする**

▼

電話画面を表示します。

携帯電話を接続する

本機と携帯電話は、Bluetooth機能を使用して接続します。

1 **電話画面を表示する** *(→P289)*

2 **接続設定 にタップする**

以降、接続のしかたについては*「Bluetooth機器を選択する」(P338)*をご覧ください。以降の操作方法については、接続が完了している状態を説明しています。

お知らせ

- Bluetooth接続ができる携帯電話が必要です。
- 携帯電話の「ダイヤルロック」などの機能を解除し、待ち受け画面の状態で接続してください。
- 最新の接続確認結果については、三菱電機のホームページをご覧ください。

電話帳や履歴を同期する

Bluetoothで接続している携帯電話の電話帳や履歴を本機で表示し、利用できます。ここでは、携帯電話の電話帳や履歴の同期設定を行います。

お知らせ

- 携帯電話の機種によって同期が正常に行われない場合があります。PBAPに対応していない携帯電話は、電話帳との同期はできません。
- 同期する際に、携帯電話側で同期の確認画面が表示される場合や設定が必要な場合があります。携帯電話側の操作については、携帯電話の取扱説明書をご確認ください。
- 電話帳や履歴の同期が完了するまで2分程度かかることがあります。
- 電話帳と履歴を合わせて最大2000件まで同期することが可能です。但し、携帯電話の登録件数および性能によって変化します。

1 電話画面を表示する (→P289)

2 電話帳 または 発着信履歴 にタップする

PBAP非対応の携帯電話は、[発着信履歴]にタップしてください。
電話帳画面または発着信履歴画面を表示します。

3 タイプ別の操作を行う

PBAP対応の場合

[同期する]にタップしてください。

PBAP非対応の場合

[表示する]にタップしてください。
この画面で[同期しない]または[表示しない]になっていた場合は、すでに同期(表示)されているので本操作は必要ありません。
[同期しない]または[表示しない]にタップすると、同期(表示)しない設定に変更されます。

▼

同期が開始され、Bluetoothで接続されている携帯電話の電話帳または履歴を本機に表示します。

アドバイス

- 同期後、携帯電話の電話帳を編集しても、リアルタイムに本機側へ反映されません。携帯電話の情報を最新にするには、[同期しない]→[同期する]にタップして、再度読み込んでください。
- PBAP非対応の携帯電話を本機へ接続したとき、履歴は本機と接続中に発着信したものだけを表示します。

登録電話番号に登録する

登録電話番号とは、よくかける電話番号をまとめておくことができるリストです。
また、上位の３つの電話番号は、INFOメニューから直接電話をかけることができます。

1 電話画面を表示する *(→P289)*

2 登録番号 にタップする

登録電話番号画面を表示します。

3 いずれかの「未登録」にタップする

「未登録」以外の名称にタップすると、電話をかける操作となります。

▼

登録方法の選択画面を表示します。

アドバイス

- 登録電話番号は接続した携帯電話に紐づいて登録します。
  別の携帯電話を接続した場合は、その携帯電話で登録した登録電話番号が表示されます。

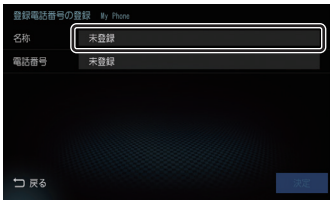
■ 番号入力で登録する

名称や電話番号を直接入力して登録します。

1 登録方法の選択画面 *(P291)* で、直接情報を入力 にタップする

登録電話番号の登録画面を表示します。

2 「名称」のボタンにタップする



3 登録したい“名称”を入力/編集し、入力完了 にタップする

4 「電話番号」のボタンにタップする

5 登録したい“電話番号”を入力/編集し、決定 にタップする

6 決定 にタップする

▼

登録が完了し、元の画面に戻ります。

■ 電話帳から登録する

Bluetoothで接続している携帯電話の電話帳を利用して登録します。

1 登録方法の選択画面 *(P291)* で、 電話帳から登録 にタップする

電話帳画面を表示します。

2 登録したい“リスト”にタップする

▼

登録電話番号の登録画面を表示します。
以降の操作は、*「番号入力で登録する」(P291)* の手順2以降と同様に操作し、登録を完了させてください。

■ 履歴から登録する

Bluetoothで接続している携帯電話の発着信履歴を利用して登録します。

1 登録方法の選択画面 *(P291)* で、 発着信履歴から登録 にタップする

発着信履歴画面を表示します。

2 登録したい“リスト”にタップする

▼

登録電話番号の登録画面を表示します。
以降の操作は、*「番号入力で登録する」(P291)* の手順2以降と同様に操作し、登録を完了させてください。

登録電話番号を編集する

登録済みの登録電話番号を編集、消去することができます。

アドバイス

- [MENU]キー→[設定・編集]→[INFO]→[登録番号の編集]にタップしても編集、消去ができます。

1 電話画面を表示する *(→P289)*

2 登録番号 にタップする

登録電話番号画面を表示します。

3 編集・消去 にタップする

▼

登録情報を編集する画面を表示します。

■ 名称や電話番号を編集する

登録済みの名称や電話番号を編集します。

1 登録情報を編集する画面 *(P292)* を表示する

2 編集したい“リスト”にタップする

▼

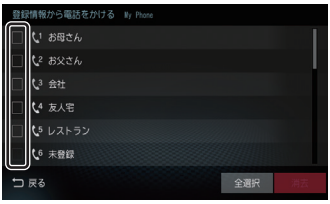
すでに情報が登録されているリストにタップすると、登録電話番号の登録画面が表示されます。
「番号入力で登録する」(P291) の手順2以降と同様に操作し、編集してください。
「未登録」のリストにタップすると、新しく登録する操作となり、登録方法の選択画面を表示します。
「登録電話番号に登録する」(P291) と同様に操作してください。

■ 消去する

登録済みの情報を消去します。

1 **登録情報を編集する画面 *(P292)* を表示する**

2 **消去したいリストの “チェックボックス” をタップし、選択する**

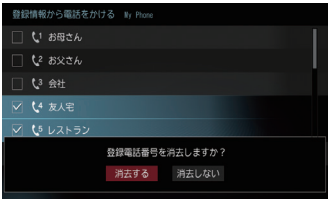


アドバイス

- [全選択] にタップすると、すべての登録情報を選択できます。
- [全解除] にタップすると、選択状態をすべて解除できます。

3 **消去 にタップする**

4 **再度、消去する にタップする**



▼

選択したリストの消去が完了します。

電話をかける

電話番号を入力して電話をかけます。

注 意

- なるべく走行中の通話は控え、安全な場所に停車してから使用してください。

お知らせ

- 同じ相手に電話をかける場合は携帯電話の制約により３分間に４回以上かけることができない場合があります。

1 **電話画面を表示する *(→P289)***

2 **番号入力 にタップする**

3 **“電話番号” を入力する**

オフフックアイコン

アドバイス

- [＊+] または [#P] にロングタップ *(P24)* すると、「+」または「P」を入力できます。
- 誤入力した場合は、◀ または ▶ で位置を選び、〈✕〉 にタップして消去します。
- 電話（Androidスマートフォン）に複数の通話アプリが存在する場合、電話側に確認画面が表示されますので、使用するアプリを選択してください。
  一定時間選択されない場合、Bluetooth接続が解除されます。
- [リダイヤル] にタップすると、前回、本機からかけた電話番号に電話をかけることができます。

4 **“オフフックアイコン” にタップする**

▼

電話がかかります。

■ 電話帳からかける

電話帳を使用して電話をかけることができます。

1 電話画面を表示する *(→P289)*

2 電話帳 にタップする

3 かけたい“相手”にタップする

電話帳詳細画面を表示します。

4 かけたい“番号”にタップする

▼

電話がかかります。

■ 登録番号からかける

登録電話番号を使用して電話をかけることができます。

1 電話画面を表示する *(→P289)*

2 登録番号 にタップする

3 かけたい“相手”にタップする

▼

電話がかかります。

アドバイス

- 登録番号リストの上位３つの電話番号は、INFOメニューから直接電話をかけることができます。
- 登録番号に登録した電話番号が、電話帳にある場合、発信確認画面に表示される名称は、電話帳に登録されている名称が表示されます。

■ 履歴からかける

発信・着信履歴および不在着信を使用して電話をかけることができます。

お知らせ

- 非通知設定の場合は着信履歴から電話をかけられません。
- 本機で記憶している着信・発信履歴を使用します。

アドバイス

- 発信・着信・不在着信の履歴は、各項目最大20件ずつです。

1 発着信履歴 にタップする

2 かけたい“履歴”にタップする

すべて	すべての履歴をリスト表示します。
発信履歴	発信した履歴で絞り込まれたリストを表示します。（ で表示されたリスト）
着信履歴	着信した履歴で絞り込まれたリストを表示します。（ で表示されたリスト）
不在着信	不在着信の履歴で絞り込まれたリストを表示します。（ で表示されたリスト）

▼

電話がかかります。

■ 施設に登録された電話番号にかける

検索した施設に電話番号の情報がある場合は、その電話番号に電話をかけることができます。

お知らせ

- 検索した施設などに電話番号の情報がなければ電話をかけることはできません。

1 電話をかけたい“場所”を探す

→「場所を探す」（P217）

2 詳細情報 にタップする

3 電話をかける にタップする

▼

電話がかかります。

電話がかかってくると

着信音がなり、着信中の画面が表示されます。

お知らせ

- 着信時、携帯電話の着信音が取得できた場合は、携帯電話の着信音が鳴ります。取得できなかった場合は、本機が用意した着信音が鳴ります。（いずれも車両のスピーカーから鳴ります。）

■ かかってきた電話にでるには

1 応答 にタップする

▼

通話できます。

アドバイス

- 運転中など、通話できない状況では[拒否]にタップすることで通話を拒否できます。

■ 音量を調整する

通話時などに、車両スピーカーから聞こえる受話音量を調整できます。

1 ＋ または － にタップし調整する

▼

受話音量を調整します。

アドバイス

- 着信時にこの操作を行うと着信音量の変更が行えます。
- 着信音量、受話音量、送話音量は[電話の設定]の「○○音量」であらかじめ設定できます。→*「INFOの設定」(P329)*
- 本機に接続している携帯電話および通話相手の電話機によって、受話音量、送話音量に差が生じる場合があります。
- [ミュート]にタップすると、通話相手に車両側の音声が届かないようにし、遮断することができます。
- [電話転送]にタップすると、Bluetooth接続されている携帯電話で直接通話することができます。
  本機のハンズフリー機能に戻す場合は、[ハンズフリー転送]にタップします。

■ 通話画面を閉じる

通話画面を閉じて元の画面に戻ります。

1 戻る にタップする

▼

元の画面に戻ります。

アドバイス

- 再度通話画面を表示したい場合は、 にタップします。または、INFOメニュー *(P30)* から[電話]にタップしてください。

■ 電話を終了する

通話を終了します。

1 通話終了 にタップする

▼

通話が終了します。

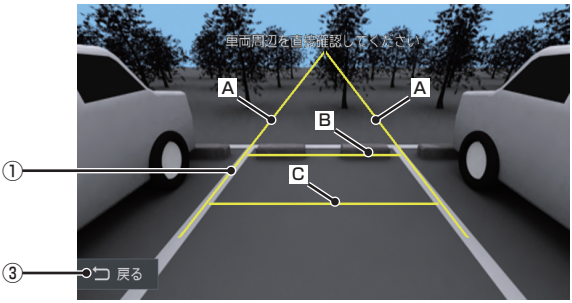
カメラを使う

別売のリアカメラが接続されている場合、ディスプレイにリアカメラの映像を表示できます。

お知らせ

- 接続するカメラによっては、本書で記載する内容で動作しない場合があります。
  リアカメラを取り付けた場合はあらかじめ[リアカメラの設定]の[リアカメラの接続設定]で[接続あり]を選択する必要があります。→*「カメラの接続設定を行う」(P333)*

表示内容について



① **ガイド線(目安線)**
車両の幅や距離の目安となる線。
A:車幅+約20cmの目安
B:車両最後尾から約2mの目安
C:車両最後尾から約50cmの目安

② 戻る
カメラ映像を消して直前の画面に戻ります。

お知らせ

- ガイド線は、[リアカメラの設定]の[カメラガイド線の設定]で[ガイド線表示]にタップして表示しておく必要があります。
  →*「ガイド線を表示する」(P333)*
- [リアカメラの設定]の[カメラガイド線の設定]でガイド線をあらかじめ調整しておく必要があります。
  →*「ガイド線を調整する」(P334)*

⚠警告

- **カメラの映像は、注意義務を免除または軽減するものではありません。**
  カメラが装着されていない場合と同様に周囲の安全を自分の目で確認しながら運転してください。

注意

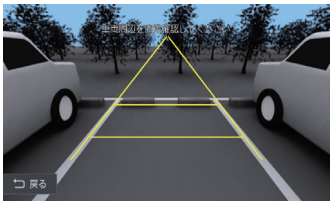
- 泥や雪などが付着して固まったときは、堅い棒などでたたかず水または、ぬるま湯をかけ、柔らかい布で拭き取ってください。
- 乗車人数や積載状態によっては、カメラ映像とガイド線が一致しない場合があります。
- 坂道や車両が傾いている場合は、カメラ映像とガイド線が一致しない場合があります。

表示するには

■ リアカメラの映像を表示する

1 シフトポジションを「R」にする

▼



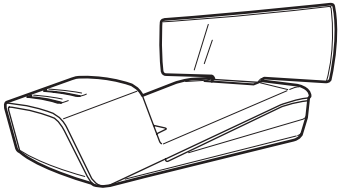
リアカメラの映像を表示します。

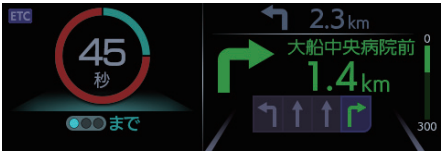
アドバイス

- シフトポジションを「R」にしたまま［現在地］キーを押して現在地画面を表示すると、現在地画面に カメラ が表示されます。カメラ にタップするとリアカメラの映像に戻ることができます。
- 車両取付確認*(P350)*の画面や設定の初期化中、地図の更新中では、シフトポジションを「R」にしてもリアカメラの映像は表示されません。

HUDの表示を確認する

別売のHUDを本機に接続するとHUDに本機と連動した各種情報を表示できます。





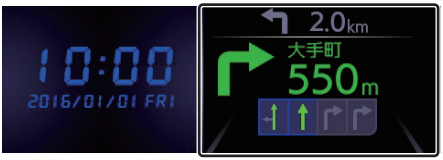
HUDの表示に関する説明を行います。
ETC2.0車載器とHUDの両方を本機に接続する場合は、別売のUSB-KITおよび接続ケーブルが必要です。
取付方法などの詳しい情報は、別売のHUD同梱の取扱説明書をご覧ください。

■ 交差点情報

ルートなしの場合

前方の交差点名称およびレーン情報を表示します。

ルート走行中の場合

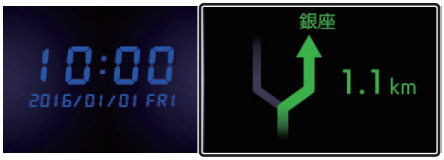


前方および次の交差点の名称、進行方向を表示します。
レーン情報では、誘導対象のレーンを色付きで案内します。

■ 高速施設情報

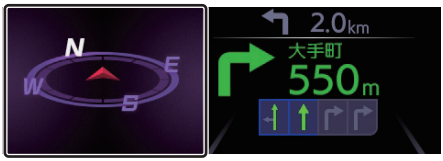
前方のSAやPA、JCT、IC、スマートICの施設名称、距離、所要時間、施設情報アイコン、次の施設名称を表示します。

■ 分岐情報



ルート走行中、高速入口や出口などの分岐地点に差し掛かると表示します。
分岐地点の残距離および進行方向を表示します。

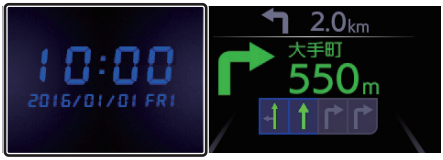
■ 方位情報



お知らせ

- *「HUDの設定」(P332)*で「表示コンテンツ」を[方位情報]に設定する必要があります。

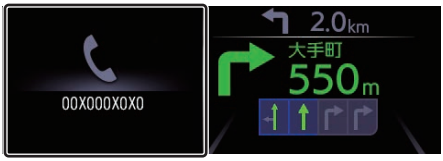
■ 時刻情報



お知らせ

- *「HUDの設定」(P332)* で「表示コンテンツ」を[時刻情報]に設定する必要があります。

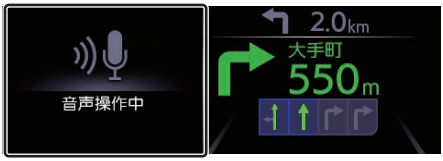
■ 通話状態



発信元の名称または電話番号を表示します。また、通話状態を示す以下のアイコンを表示します。

	発信中
	着信中
	通話中
	終話

■ 音声認識状態



音声認識を開始すると表示します。

■ ETCアイコン

本機にETC車載器が接続されている場合に表示します。

	正常な状態
	カードが未挿入または期限切れなどのエラー状態
	ETCレーン通行不可の状態

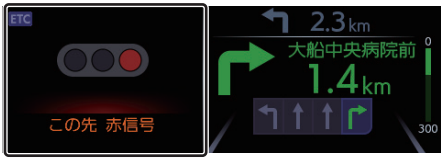
■ 警告アイコン

走行中の自車の状態によって以下のアイコンを表示します。(以下は一例です。)

	カーブ
	踏切
	一時停止
	パーキングブレーキ
	事故多発区間
	合流
	制限速度
	直進レーン減少
	その他規制

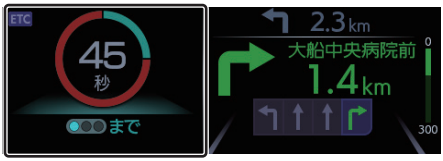
■ 信号情報案内

赤信号減速支援



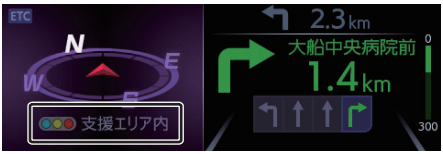
現状の速度で走行すると、前方が赤信号になる場合に表示します。

赤信号残時間表示



赤信号で停車中の場合、青信号に変わるまでの残り時間を表示します。青信号まで約５秒前になると表示が「まもなく」に変わります。

信号情報支援状態表示（支援エリア内）



信号情報を受信している場合に表示します。

信号情報支援状態表示（支援中）

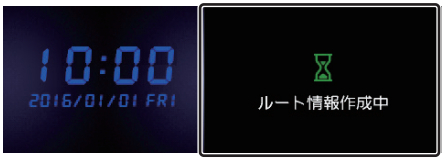
前方の信号が支援対象の場合に表示します。

お知らせ

- 別売のETC2.0車載器（光VICS対応）が本機に接続されている必要があります。
- *「信号情報案内の設定」（P321）*で「信号情報案内」を［案内する］に設定する必要があります。

■ その他案内

ルート情報作成中



探索開始から誘導開始までの間に表示します。

ルート情報作成失敗

探索に失敗すると、数秒間表示します。

目的地到着案内

目的地に到着すると、数秒間表示します。

開通道路情報を更新する

通信またはSDカードによる開通道路情報更新の概要を説明します。

「開通道路情報更新」は、高速道路と主要な国道の開通道路情報がダウンロードでき、新しい道路で快適に目的地までナビゲーションをします。

開通道路情報更新について

- 開通道路情報更新はお使いの地図データバージョンから1年間の開通予定道路のみ対象となります。
- 開通道路を通る経路では実際と異なる料金が表示/案内される場合があります。
- 開通道路は市街地地図表示には反映されません。
- 開通道路では高速略図の表示ができません。
- 開通道路ではVICS情報に対応しておりません。
- 開通道路では都市高速入口イラストマップや3Dリアルジャンクションに対応しておりません。
- 実際の道路形状と異なる場合があります。

開通道路情報を通信で更新する

お知らせ

- 開通道路情報を通信で取得するにはユーザー登録が必要となります。
  詳しくは、三菱電機のホームページをご覧ください。
  http://www.MitsubishiElectric.co.jp/carele/carnavi/openinfo
- ユーザー登録および本サービスの利用は無料ですが、通信費はお客さまのご負担となります。
- 開通道路情報を取得するには、あらかじめWi-Fi機器を本機と接続しておく必要があります。*「通信の設定」(P336)*をご覧ください。

1 MENU キーを押し、画面を左にスライドする

INFOメニューを表示します。

2 地図データ更新 にタップする

3 開通道路情報更新 にタップする

アドバイス

- 通信中の場合、[開通道路情報更新]にタップした後、データのダウンロードを開始します。

4 接続する にタップする

▼

データを更新するための認証が行われます。認証後、データのダウンロードが行われます。

▼

ダウンロード完了後、データを更新します。

注 意

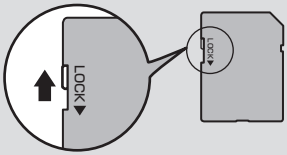
- 地図更新中に“ACC OFF”にしないでください。

開通道路情報をSDカードで更新する

ご自宅のパソコンからインターネットを利用して開通道路情報を取得します。

お知らせ

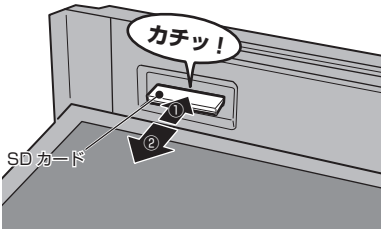
- 開通道路情報を更新するには、あらかじめユーザー登録が必要です。
  詳しくは、三菱電機のホームページをご覧ください。
  http://www.MitsubishiElectric.co.jp/carele/carnavi/openinfo
- ユーザー登録および本サービスの利用は無料ですが、通信費はお客さまのご負担となります。
- 本機でフォーマットしたSDカードをご使用ください。→「メモリ初期化」(P353)
- あらかじめSDカードのロックを解除しておいてください。



- あらかじめ地図データバージョンを確認しておいてください。
  →「バージョンを確認する」(P309)

1 本機からSDカードを取り出す

(SDカードが挿入されている場合のみ)



→「SDカードを取り出す」(P20)

2 ご自宅のパソコンから対象のデータを取得する

三菱電機のホームページからデータをダウンロードします。

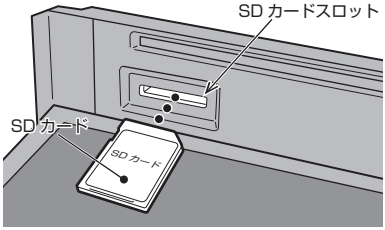
3 ダウンロードした圧縮ファイルを解凍する

ZIP圧縮されているファイルは、解凍しておく必要があります。

4 解凍したファイルをすべてSDカードにコピーする

解凍したファイルの容量を確認し、容量にあったSDカードを準備してください。

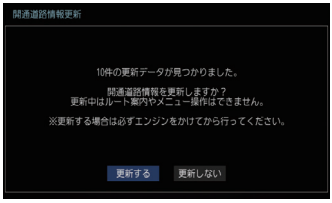
5 ファイルがコピーされたSDカードを本機に挿入する



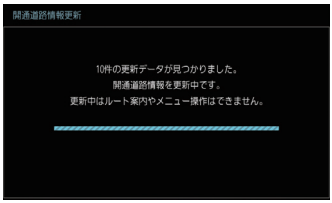
→「SDカードを挿入する」(P20)

6 更新する にタップする

SDカードから更新データが見つかると以下の画面を表示します。



▼



更新が完了します。

メンテナンス情報を確認する

お車の各パーツの交換時期を管理できます。

メンテナンス情報を表示する

エンジンオイルやオイルフィルタなどの交換時期を確認できます。

お知らせ

- メンテナンス情報で使用する走行距離は本機で計算したものであり、車両の距離計と必ずしも一致しません。
- 地図更新中、プログラム更新中などは走行距離の計算ができないため、この間に走行した距離はメンテナンス情報に反映されません。

1 MENU キーを押し、画面を左にスライドする

INFO メニューを表示します。

2 メンテナンス にタップする

▼

メンテナンス情報を表示します。

アドバイス

- 各パーツの交換予定日または交換後の走行距離が近づくと黄色、過ぎると赤色で表示されます。
- 交換時期の通知は交換予定日の10日前もしくは交換後の走行距離が残り200km以下となります。

3 確認したいパーツの 詳細 にタップする

▼

詳細情報を表示します。

アドバイス

- 「前回交換日」は、メンテナンスを実施した日付を表示します。
- 「次回交換予定日」はメンテナンス実施日を表示します。
- 「交換後走行距離」はメンテナンス実施日までの残走行距離を表示します。

メンテナンス情報を設定する

メンテナンス期日およびメンテナンス距離を設定できます。

1 **MENU キーを押し、画面を左にスライドする**

INFO メニューを表示します。

2 **メンテナンス にタップする**

3 **設定したいパーツの 詳細 にタップする**

4 **“前回交換日” のボタンにタップする**

5 **“前回交換した日” を入力し、決定 にタップする**

→「文字入力のしかた」(P192)

6 **“メンテナンス期日” のボタンにタップする**

7 **▼ または ▲ にタップして期日を入力し、決定 にタップする**

8 **“メンテナンス距離” のボタンにタップする**

9 **“距離” を入力し、決定 にタップする**

→「文字入力のしかた」(P192)

10 **戻る にタップする**

▼

メンテナンス情報の設定が完了します。

お知らせ

- 初期値の距離・期日は目安です。必ず車に付属するメンテナンス情報に従って値を入力してください。

■ メンテナンス情報を追加する

お客さまが追加したいメンテナンス項目を登録できます。

1 **MENU キーを押し、画面を左にスライドする**

INFO メニューを表示します。

2 **メンテナンス にタップする**

3 **「ユーザー項目○」の 詳細 にタップする**

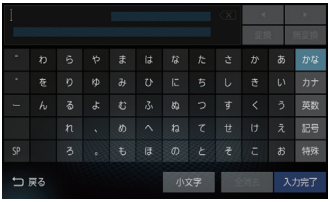
アドバイス

- 「ユーザー項目 1」～「ユーザー項目 3」までの項目に追加できます。

4 **名称編集 にタップする**

→*「文字入力のしかた」(P192)*

5 **追加する "パーツ名" を入力し、入力完了 にタップする**



▼

以降は、*「メンテナンス情報を設定する」(P306)* 手順４と同じです。
「前回交換日」および「メンテナンス期日」、「メンテナンス距離」を設定してください。

■ メンテナンス情報の種類について

お知らせ

- 以下、あらかじめ用意しているパーツのメンテナンス期日およびメンテナンス距離は、工場出荷時の値を示しています。
- 工場出荷時の値については、お車のメンテナンスブックなどを参考に変更しておくことをおすすめいたします。

名称	メンテナンス期日	メンテナンス距離 (km)
エンジンオイル	1 年	15,000
オイルフィルタ	1 年	15,000
AT/MT オイル	4 年	40,000
ブレーキオイル	4 年	40,000
デフオイル	8 年	80,000
タイヤ交換	1 年	10,000
タイヤローテーション	6 ヶ月	5,000
ブレーキパッド（F）	1 年	5,000
ブレーキパッド（R）	1 年	5,000
空気圧チェック	1 ヶ月	1,000
ワイパーブレード	1 ヶ月	1,000
ラジエタークーラント	4 年	40,000
バッテリー	1 ヶ月	1,000
エアフィルタ	5 年	50,000
ウォッシャー液	1 ヶ月	1,000
ユーザー項目 1	–	–
ユーザー項目 2	–	–
ユーザー項目 3	–	–

メンテナンス情報を更新する

パーツの交換を実施したときに、メンテナンス情報を更新します。

1 **MENU キーを押し、画面を左にスライドする**

INFO メニューを表示します。

2 **メンテナンス にタップする**

3 **交換を実施した“パーツ”の 交換 にタップする**

4 **更新する にタップする**

▼

メンテナンス情報を更新します。

アドバイス

- 情報を更新すると「前回交換日」は現在の日付が設定されます。交換日の修正を行いたい場合は、“前回交換日”にタップして変更してください。

メンテナンス情報の案内を設定する

メンテナンス情報の案内を設定すると、本機起動後にパーツの交換日が近づいたり、過ぎたりすると案内表示をします。

1 **MENU キーを押し、画面を左にスライドする**

INFO メニューを表示します。

2 **メンテナンス にタップする**

3 **案内したいパーツの“チェックボックス”にタップし、選択する**

▼

「案内」が設定されます。

☑：案内する

■：案内しない

■ 案内するに設定した場合

パーツの交換日が近づいたり、過ぎたりした場合に本機起動後、以下のようなメッセージを表示します。

メッセージ内のボタンにタップするとメッセージが消えます。次回起動後の動作は以下のようになります。

次回から表示しない	次回起動後からメッセージを表示しません。
消去する	次回起動後もメッセージを表示します。

バージョンアップする

本機のバージョンアップには、無償地図更新用ディスクを使う方法と別売のSDカードを使う方法の２通りがあります。

注 意

- バージョンアップは、安全な場所に停車してから行ってください。

お知らせ

- 無償地図更新用ディスクを入手するためには、OpenInfoサービスサイトよりユーザー登録をする必要があります。
  登録・申請期限は、2024年7月31日までとなります。
- 無償地図更新用ディスクは、2021年度版、2022年度版、2023年度版より最大２回のお申し込みが可能です。

バージョンを確認する

「Pure Audio Mode」を[OFF]にしてください。*(→P51)*
DTVバージョンが「不明」となり、バージョンの確認ができません。

1 **MENU キーを押し、画面を左にスライドする**

INFOメニューを表示します。

2 **バージョン にタップする**

▼

地図データバージョンを表示します。

アドバイス

- 本機のGracenoteデータベースを更新する場合は、*「Gracenoteデータベースを SDカードで更新する」(P86)*をご覧ください。

ディスクでバージョンアップする

無償地図更新用ディスクを使って本機のナビ機能をバージョンアップします。

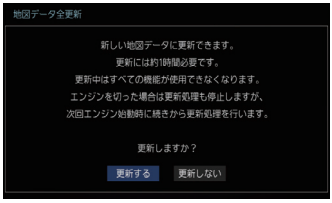
お知らせ

- 無償地図更新用ディスクを使ってバージョンアップを行うには、あらかじめ認証コードが必要です。*「無償地図更新用ディスクの入手手順」(P310)*を確認し、取得しておいてください。
- 認証コードは半角英数23桁のコードです。
  なお、認証コードの構成はアルファベットの大文字、数字のみとなります。
  (アルファベットの“I”(アイ)、“O”(オー)は使用しておりません。)
- あらかじめ地図データバージョンを確認しておいてください。
  →「バージョンを確認する」(P309)

1 **無償地図更新用ディスクを挿入する**

→「ディスクを挿入する」(P22)

2 **更新する にタップする**



3 **“認証コード”を入力し、入力完了 にタップする**

▼

自動的に読み込みを開始します。
読み込み完了後、再起動しバージョンアップが完了します。

無償地図更新用ディスクの入手手順

OpenInfo サービスサイトよりユーザー登録後、無償地図更新の申請手続きを行うことで、無償で地図の更新を行うことができます。

注 意

- ユーザー登録には、“デバイス ID”*(P333)* が必要です。あらかじめ確認しておいてください。
- 無償地図更新の申請には、“申請コード”*(P313)* が必要です。あらかじめ確認しておいてください。
- 地図の申請可能年度は年度ごとになります。詳細については、製品ごとの無償地図更新の手順をご確認ください。

お知らせ

- 携帯電話からのお申し込みはできません。パソコンおよびスマートフォンからのお申し込みのみとなります。ただし、スマートフォンについては、機種によって対応していない場合がありますのであらかじめご了承ください。
- 無償地図更新のお申し込み手順は三菱電機のホームページにも案内がございます。なお、お申し込みは三菱電機のホームページからのみの受付となります。

  製品ごとの無償地図更新の手順

  http://www.MitsubishiElectric.co.jp/carele/carnavi/update

  下記の内容をご確認いただけます。

  ≫ 無償地図更新の申し込み方法

  ≫ 無償地図更新に申し込んだ後の地図のお届けスケジュール

  ≫ 無償地図更新の申込期限

  ≫ 機種ごとの更新回数、更新年度

  なお、無償地図更新に関する “よくあるご質問” についても、三菱電機のホームページに掲載しておりますのでご覧ください。

  http://www.MitsubishiElectric.co.jp/carele/carnavi/update/faq.html
- ユーザー登録および本サービスの利用は無料ですが、通信費はお客さまのご負担となります。

■ ユーザー登録をする

OpenInfo サービスサイトからユーザー登録を行います。
カーディーラーから本製品をご購入のお客さまも、同様にユーザー登録を行ってください。

OpenInfo サービスサイト URL
https://www.MitsubishiElectric.co.jp/carele_openinfo/ssl/login

1 市販品のお客様（カー用品店等でご購入）をクリックする

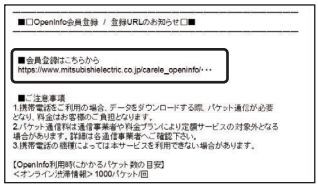
2 OpenInfo 会員規約を確認し「同意する」にチェックを入れる

3 メールアドレスを入力し 登録メールを送信 をクリックする

▼

登録メールアドレスに「OpenInfo 会員登録 / 登録 URL のお知らせ」が届きます。

4 届いたメールの “URL” をクリックする



▼

会員情報入力画面が表示されます。

5 必要事項を記入し 確認画面へ をクリックする

6 記入内容を確認し 製品情報へ進む をクリックする

7 必要事項を記入し 確認画面へ をクリックする

デバイスIDの確認方法は、画面下部にも記載があります。

8 記入内容を確認し アンケートへ進む をクリックする

9 必要事項を記入し 入力した情報を登録する をクリックする

▼

OpenInfoサービスサイトの会員登録が完了します。

■ 無償地図更新を申し込む

OpenInfo サービスサイトから無償地図更新の申し込みを行います。
事前にユーザー登録が必要です。

OpenInfo サービスサイト URL
https://www.MitsubishiElectric.co.jp/carele_openinfo/ssl/login

1 会員登録された ID（メールアドレス）、パスワードを入力し ログイン をクリックする

2 申請手続きはこちらから をクリックする

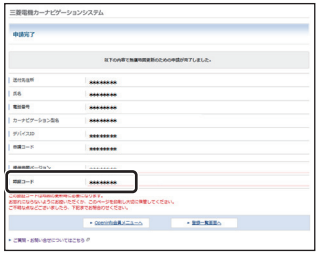
3 申請 をクリックする

4 申請コードを入力し 確認へ をクリックする

申請コード出力方法は、画面下部の“申請コードの出力方法”からでも確認できます。

5 申請内容を確認し 申請 をクリックする

▼



申請が完了し、認証コードが出力されます。地図更新の際に必要になりますので必ずメモを取るなどして、大切に保管してください。

申請コードを取得する

無償地図更新用ディスクを使ったバージョンアップをするためには、申請コードが必要です。申請コードの取得方法について説明します。

お知らせ

- 申請コードは半角英数24桁のコードです。なお、認証コードの構成はアルファベットの大文字、数字のみとなります。（アルファベットの“I”（アイ）、“O”（オー）は使用しておりません。）

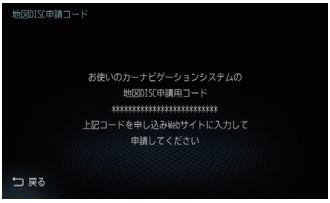
1 MENU キーを押し、画面を左にスライドする

INFOメニューを表示します。

2 地図データ更新 にタップする

3 地図DISC申請コード にタップする

▼



この後、三菱電機のホームページから申請を行ってください。

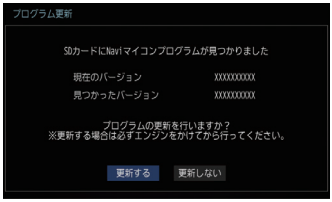
SDカードでバージョンアップする

別売のSDカードを使って本機のナビ機能をバージョンアップします。

1 別売のSDカードを本体に差し込む

→「SDカードを挿入する」（P20）

2 更新する にタップする



▼

自動的に読み込みを開始します。
読み込み完了後、再起動しバージョンアップが完了します。

お知らせ

- バージョンアップ完了後、バージョンの確認を行ってください。

本機の設定

設定を変更する

本機の設定を変更します。

1 MENU キーを押す

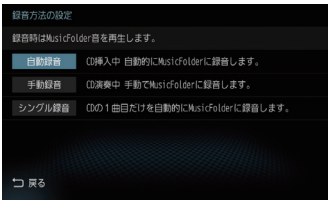
NAVIメニューを表示します。

2 設定・編集 にタップする

3 変更したい“種別”にタップする

4 変更したい“項目”にタップする

5 設定を変更する



▼

設定の変更が完了します。

■ 設定できる種別について

NAVI	ナビゲーション機能に関する各設定が行えます。 →*「NAVIの設定」(P315)*
AV	AV機能に関する各設定が行えます。→*「AVの設定」(P324)*
INFO	電話やETC、カメラなどに関する設定が行えます。 →*「INFOの設定」(P329)*
通信	BluetoothやWi-Fi接続に関する設定が行えます。 →*「通信の設定」(P336)*
システム	操作音やセキュリティ、パワーアンテナなどの設定が行えます。 →*「システムの設定」(P343)*
画質調整	映像に関する調整が行えます。 →*「画質を調整する」(P359)*
画面OFF	画面の表示を消します。 →*「画面の表示を消す」(P361)*

NAVIの設定

ナビゲーション機能に関する各設定を変更します。

1 **MENU キーを押す**

NAVIメニューを表示します。

2 **設定・編集 にタップする**

3 **NAVI にタップする**

4 **変更したい“項目”にタップする**

▼

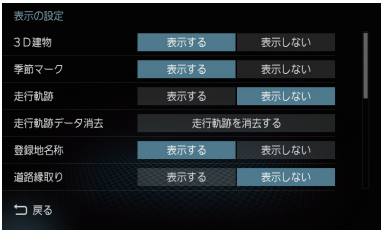
選んだ項目の設定画面を表示します。

■ 設定できる項目について

登録地の編集	登録地の新規登録や情報の変更、消去、並べ替えが行えます。このボタンをタップした後の操作は、*「登録地情報を変更する」(P255)* の手順5以降と同様に行います。
検索履歴の消去	登録されている検索履歴を消去できます。このボタンをタップした後の操作は、*「検索履歴を消去する」(P233)* の手順3以降と同様に行います。
自宅・特別登録地の編集	自宅や特別登録地の新規登録や情報の変更、消去が行えます。このボタンをタップした後の操作は、*「登録地情報を変更する」(P255)* の手順5以降と同様に行います。
表示の設定	表示に関する設定の変更が行えます。 →*「表示の設定」(P316)*
音声の設定	音声案内に関する設定の変更が行えます。 →*「音声の設定」(P318)* (操作音などの設定については、*「案内音・操作音の設定」(P344)* をご覧ください。)
探索の設定	ルート探索に関する設定の変更が行えます。 →*「探索の設定」(P319)*
VICSの設定	VICSに関する設定の変更が行えます。 →*「VICSの設定」(P320)*
信号情報案内の設定	信号情報案内に関する設定が行えます。 →*「信号情報案内の設定」(P321)*
DriveConnectの設定	DriveConnectに関する設定の変更が行えます。 →*「DriveConnectの設定」(P321)*
自車位置の補正	センサー学習情報の消去や現在地の補正が行えます。 →*「自車位置の補正」(P322)*

表示の設定

表示に関する設定の変更が行えます。



設定名	設定値	設定内容
3D建物	**表示する**	3Dビューマップ *(P198)* 表示中の建物について、表示有無を設定できます。
	表示しない	
季節マーク	**表示する**	地図に表示する季節マークについて、表示有無を設定できます。
	表示しない	
走行軌跡	表示する	地図に表示する走行軌跡について、表示有無を設定できます。（表示しないに設定している場合でも蓄積は行われています。）
	表示しない	
走行軌跡データ消去	走行軌跡を消去する	蓄積されている自車の走行軌跡情報をクリアします。
登録地名称	**表示する**	地図に表示する登録地名称について、表示有無を設定できます。
	表示しない	
道路縁取り	表示する	地図の道路線について、縁取り表示を変更できます。
	表示しない	
レーン情報	**表示する**	地図画面で表示するレーン情報について、表示有無を設定できます。
	表示しない	
一般道方面看板	**表示する**	一般道での交差点の手前で方面看板を表示するかしないかを設定できます。
	表示しない	
スクロール方面名称	**表示する**	スクロール中に表示する方面名称について、表示有無を設定できます。→*「スクロール方面名称表示について」(P205)*
	表示しない	
3Dスクロール	**する**	3Dビューマップ *(P198)* 表示中、3Dの状態を維持したままスクロールさせることができます。
	しない	3Dビューマップ *(P198)* 表示中、スクロールさせると2Dマップ *(P198)* に切り換わります。
昼夜色	**自動切換**	地図画面の色を車両のILL（ヘッドランプおよびポジションランプ）点灯に連動して変更します。 ILL ON時：暗い色になります。 ILL OFF時：明るい色になります。
	昼固定	常に明るい色になります。
	夜固定	常に暗い色になります。
高速略図自動表示	**表示する**	高速道路走行時、高速略図を自動で表示するかしないかを設定できます。
	表示しない	

※「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

「表示の設定」のつづき

設定名	設定値	設定内容
ルート残距離情報	**目的地まで**	ルート設定時の現在地画面*(P180)*で表示する“目的地/経由地情報”での距離の基準を変更できます。
	次の経由地まで	
目的地目安線	目的地	地図画面で目的地または経由地の方向を示す直線を表示します。
	次の経由地	
	表示しない	
制限速度	**表示する**	現在地画面に制限速度アイコンを表示するかしないかを設定できます。
	表示しない	
一時停止標識	**表示する**	現在地画面に一時停止標識アイコンを表示するかしないかを設定できます。
	表示しない	

※「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

音声の設定

音声案内に関する設定の変更が行えます。

設定名	設定値	設定内容
県境案内	**案内する**	県境通過時の音声案内有無を設定できます。
	案内しない	
カーブ案内	案内する	カーブ案内の音声案内有無を設定できます。
	案内しない	
レーン案内	**案内する**	レーン案内の音声案内有無を設定できます。
	案内しない	
ルート上の合流案内	案内する	合流案内（ルート上）の音声案内有無を設定できます。
	案内しない	
踏切案内	案内する	踏切案内（ルート上）の音声案内有無を設定できます。
	案内しない	
一時停止案内	**案内する**	自車前方に一時停止標識情報がある場合の音声案内有無を設定できます。
	案内しない	
事故多発区間案内	案内する	事故多発区間での音声案内有無を設定できます。
	案内しない	
交差点名称読み上げ	**読み上げる**	交差点名称の読み上げ有無を設定できます。
	読み上げない	
方面名称読み上げ	**読み上げる**	方面名称の読み上げ有無を設定できます。
	読み上げない	
パーキングブレーキアラーム	使用する	パーキングブレーキが引かれた状態で走行したときの案内有無を設定できます。
	使用しない	
速度超過アラーム	使用する	走行速度が約 95km/h を超えたときの音声案内の有無を設定できます。
	使用しない	

※「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

探索の設定

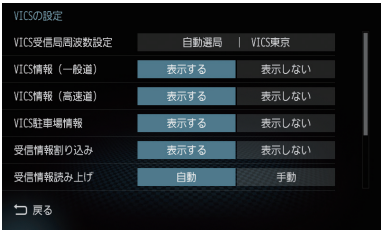
ルート探索に関する設定の変更が行えます。

設定名	設定値	設定内容
車種	軽	本機を装着している車種を選択してください。道路料金の計算や省エネルートの選択に必要な情報となります。 高速道路などでの料金計算時、「小型」「大型」「特殊」「大特」は「普通」として計算されます。 「ルート探索条件」の「省エネ」設定時、「大型」「特殊」「大特」は「普通」として計算されます。 「大型」「特殊」「大特」の設定は、「走行情報（ETC2.0（DSRC））」*(P320)* の送信情報でのみ使用されます。
	小型	
	普通	
	大型	
	特殊	
	大特	
ルート探索条件	**推奨**	ルート探索時の初期値を“推奨ルート”に変更します。 目的地（経由地）まで一般的と思われるルートを探索します。
	省エネ	ルート探索時の初期値を“省エネ”に変更します。 目的地（経由地）までできるだけ燃費を節約したルートを探索します。
	有料	ルート探索時の初期値を“有料優先”に変更します。 目的地（経由地）の近くまでなるべく有料道路を使用するルートを探索します。
	一般	ルート探索時の初期値を“一般優先”に変更します。 目的地（経由地）までなるべく有料道路を使用しないルートを探索します。
	距離	ルート探索時の初期値を“距離優先”に変更します。 目的地（経由地）までできるだけ距離が短くなるルートを探索します。
ルート自動更新	使用する	[使用する]に設定されていると、ルート走行中、ルート前方に通行止めやその他の規制、渋滞が発生した場合、回避するためのルートが自動的に再探索され、新しいルート案内を開始します。
	使用しない	
スマートIC	使用する	スマートIC *(P371)* の使用有無を設定できます。
	使用しない	
センシングリルート	**使用する**	センシングリルート *(P371)* の使用有無を設定できます。
	使用しない	
渋滞予測	使用する	渋滞予測の使用有無を設定できます。
	使用しない	
ルート学習	**使用する**	ルート学習とは、元のルートから外れて同じルートを数回走行するとそのルートを学習する機能です。但し、SA/PA、側道は学習対象外です。学習したルートの使用有無を設定できます。
	使用しない	
ルート学習リセット	学習データをリセットする	ルート学習のデータを消去します。
到着予想時刻学習リセット	学習データをリセットする	到着予想時刻の計算で使用する学習データを消去します。

※「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

VICSの設定

VICSに関する設定の変更が行えます。



設定名	設定値	設定内容
VICS受信局周波数設定	**自動選局**	VICS局の指定方法を選択できます。 →*「VICS局を選ぶ」(P270)*
	県指定	
	周波数指定	
VICS情報（一般道）	**表示する**	地図に表示するVICS情報（一般道）の有無を設定できます。
	表示しない	
VICS情報（高速道）	**表示する**	地図に表示するVICS情報（高速道）の有無を設定できます。
	表示しない	
VICS駐車場情報	**表示する**	地図に表示するVICS駐車場情報の有無を設定できます。
	表示しない	
受信情報割り込み	**表示する**	情報受信時の割り込み表示をするかしないかを設定できます。
	表示しない	
受信情報読み上げ	**自動**	ETC2.0車載器接続時に受信した音声情報の読み上げ方法を設定できます。
	手動	
走行情報（ETC2.0（DSRC））	**送信する**	ETC2.0車載器接続時、走行情報を送信するかしないかを設定できます。
	送信しない	
規制エリア	**表示する**	緊急情報および規制情報が含まれるすべてのエリアを地図に表示するかしないかを設定できます。
	表示しない	
走行情報（オンライン）	送信する	通信接続時、走行情報を送信するかしないかを設定できます。
	送信しない	
オンライン受信※1	10分ごと	自動接続の周期を設定できます。※2
	20分ごと	
	手動1	手動で受信します。
	手動2	本機起動後、初回のみ自動受信を行い以降は手動で受信します。

※「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

※1　あらかじめ登録作業および設定が必要です。詳しくは*「オンラインの情報を受信する」(P267)*をご覧ください。

※2　サーバーの状況によって設定した周期よりも受信間隔が長くなることがあります。

信号情報案内の設定

信号情報案内 *(P182)* に関する設定が行えます。
信号情報案内をご利用になるには、別売の接続ケーブルおよびETC2.0車載器（光VICS対応）を本機に接続する必要があります。
別売のHUDが本機に接続されていれば、HUDに表示できる信号情報案内 *(P302)* の設定も行えます。

設定名	設定値	設定内容
信号情報案内	**案内する**	自車が赤信号で停止しているときの青信号までの残時間や支援エリア内、支援中の案内を表示するかしないかを設定できます。[案内する]に設定しておくと、別売のHUDを本機に接続していた場合にHUD側にも信号情報案内を表示します。
	案内しない	
案内通知音	鳴らす	青信号までの残時間が約5秒になったときに通知音を鳴らすか鳴らさないかを設定できます。[鳴らす]に設定するには、「信号情報案内」を[案内する]に設定しておく必要があります。
	鳴らさない	

※「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

DriveConnectの設定

DriveConnectに関する設定が行えます。

設定名	設定値	設定内容
運転情報	**送信する**	DriveConnectに関する情報や車両の運行情報などを情報配信サーバーへ送信するかしないかを設定できます。
	送信しない	
スマホDEメモ地点名称	**表示する**	スマホDEメモ *(P232)* で登録した地点の名称、アイコンを地図上に表示するかしないかを設定できます。
	表示しない	

※「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

自車位置の補正

自車位置の確認やセンサー学習情報の消去、現在地の補正が行えます。

■ センサー学習情報を消去する

車速センサー・ジャイロセンサーは自動学習によりレベルがあがります。タイヤを交換したときなどは車速の学習データを消去し、学習をやり直す必要があります。

1 **MENU キーを押す**

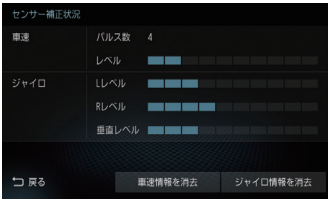
NAVIメニューを表示します。

2 **設定・編集 → NAVI にタップする**

3 **自車位置の補正 にタップする**

4 **センサー補正状況 にタップする**

▼



センサー補正状況の画面を表示します。

5 **車速情報を消去 または ジャイロ情報を消去 にタップする**

6 **消去する にタップする**

▼

センサー学習データの消去が完了します。
この後、*「自車位置精度と自動補正について」(P322)*を確認して、補正を行ってください。

注 意

- 消去したデータの復旧はできません。

自車位置精度と自動補正について

- センサー学習情報を消去した場合は、見晴らしの良い場所をしばらく一定速度で走行し、交差点で右左折を行うことで車速やジャイロの自動学習を早めることができます。
- 人工衛星の受信状態の良いときに直線道を一定速度で走行すると車速自動補正が働き、交差点の右左折を繰り返すことでジャイロの自動補正が働きます。車速とジャイロの自動補正が働くことで、自車位置精度は徐々に向上していきます。

アドバイス

- 自車位置精度が安定するまで、場合によっては数時間の走行が必要な場合があります。見晴らしの良い高速道路のような場所を走行しますと自動補正が働きやすくなります。

■ 現在地を補正する

実際の車の位置と地図に表示されている自車の位置がずれていた場合などに、この操作を行い補正できます。

アドバイス

- 通常は人工衛星からの情報を元に自動補正しています。

1 MENU キーを押す

NAVIメニューを表示します。

2 設定・編集 → NAVI にタップする

3 自車位置の補正 にタップする

4 現在地補正 にタップする

5 地図スクロールして“実際の車の位置”に ⊹ マークを合わせる

6 決定 にタップする

7 ⤹ または ⤴ にタップして自車の向きを合わせる

8 決定 にタップする

▼

現在地の補正が完了します。

アドバイス

- 高速道路付近に合わせた場合、以下の画面を表示しますので、いずれかにタップしてください。

AVの設定

AV機能に関する各設定を変更します。

1 **MENU キーを押す**

NAVIメニューを表示します。

2 **設定・編集 にタップする**

3 **AV にタップする**

4 **変更したい“項目”にタップする**

▼

選んだ項目の設定画面を表示します。

■ 設定できる項目について

録音方法の設定	CDの録音に関する設定の変更ができます。 →*「音楽CDの録音方法を変更する」(P324)*
DVD初期設定	DVDの初期設定の変更ができます。→*「DVDビデオの初期設定」(P326)*
録音速度の設定	「高速録音」と「高音質録音」を選ぶことができます。→*「録音速度を設定する」(P325)*

音楽CDの録音方法を変更する

自動録音や手動録音などの録音方法を変更できます。

お知らせ

- 録音中にこの操作を行うと、現在の録音を停止します。

1 **MENU キーを押す**

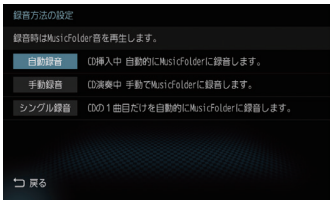
NAVIメニューを表示します。

2 **設定・編集 にタップする**

3 **AV にタップする**

4 **録音方法の設定 にタップする**

5 **変更したい“録音方法”にタップする**



▼

録音方法の変更が完了します。

アドバイス

- 音楽CDの再生情報画面で[録音設定]にタップしても、録音方法の変更が行えます。

■ 自動録音について

工場出荷時の設定で、音楽CDを本機に挿入し、[録音する]にタップすることで録音する設定です。

お知らせ

- 録音中に録音済みの曲を選ぶと、現在の録音は継続したまま選んだ曲の再生を開始します。
- 録音中に録音していない曲を選ぶと、現在の録音を停止し選んだ曲の録音と再生（追いかけ再生）を開始します。
- [録音しない]にタップした場合は、[REC●]→[開始する]*(P116)*にタップすることで録音できます。

■ 手動録音について

再生中の音楽CDの曲を[REC●]*(P116)*にタップすることで録音する設定です。

お知らせ

- 録音中に別の曲を選ぶと現在の録音を中止し、選んだ曲の再生を開始します。

■ シングル録音について

音楽CDを本機に挿入し、[録音する]にタップすることで1曲目だけを録音する設定です。

お知らせ

- [録音しない]にタップした場合、1曲目再生中に[REC●]→[開始する]*(P116)*にタップすることで録音できます。
- 録音中に別の曲を選ぶと1曲目の録音を中止し、選んだ曲の再生を開始します。再度1曲目の録音を開始するには、1曲目再生中に[REC●]→[開始する]*(P116)*にタップします。
- この設定のとき、1曲目以外の曲を再生中に[REC●]*(P116)*にタップしても録音はできません。

録音速度を設定する

録音する方法として、録音速度優先の「高速録音」、音質優先の「高音質録音」を選ぶことができます。

お知らせ

- 工場出荷時は、「高速録音」に設定されています。
- 録音中にこの操作を行うと、現在の録音を停止します。

1 MENU キーを押す

NAVIメニューを表示します。

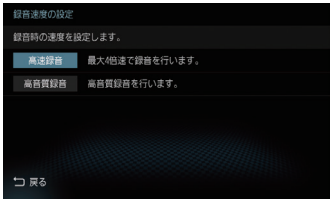
2 設定・編集 にタップする

3 AV にタップする

4 録音速度の設定 にタップする

録音速度の設定画面を表示します。

5 優先したい“録音方法”にタップする



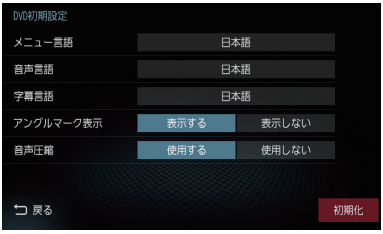
▼

録音速度の設定が完了します。

高速録音	最大4倍速で録音を行います。
高音質録音	「高速録音」に比べ録音速度は落ちますが、できるだけ音質を損なうことなく録音できます。

DVDビデオの初期設定

字幕や音声言語の設定などの変更が行えます。



設定名	設定値	設定内容
メニュー言語		ディスクに記録されているメニュー画面の言語について、優先して表示させたい言語が設定できます。（工場出荷時は、**[日本語]**）
音声言語		ディスクに記録されている音声について、優先してききたい言語の設定ができます。 （工場出荷時は、**[日本語]**）
字幕言語		ディスクに記録されている字幕について、優先して表示させたい言語の設定ができます。 （工場出荷時は、**[日本語]**）
アングルマーク表示	**表示する**	複数のアングルが収録されている場面を再生しているときにアングルマークを表示するかしないかの設定ができます。
	表示しない	
音声圧縮	**使用する**	ダイナミックレンジ圧縮を利用するかしないかの設定ができます。 **ダイナミックレンジ圧縮とは** DVDビデオ再生時に小音量と大音量の音の幅を一定に制御（ダイナミックレンジコントロール）し、小さな音でも聴きやすくする機能です。音声圧縮の効果が得られるのは、ドルビーデジタル音声およびDTS Digital Surround音声です。
	使用しない	
初期化		DVDビデオの初期設定内容を工場出荷時の状態に戻します。

※「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

■ 優先させる言語を変更する

ディスクに記録されている言語（メニュー言語、音声言語、字幕言語）について、優先させたい言語の設定を行います。

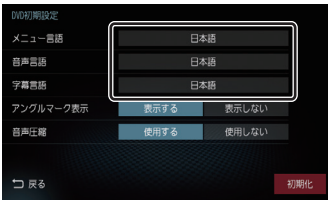
1 **MENU キーを押す**

NAVIメニューを表示します。

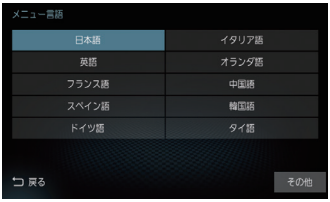
2 **設定・編集 → AV にタップする**

3 **DVD初期設定 にタップする**

4 **変更したい ○○語 にタップする**



5 **変更したい“言語”にタップする**

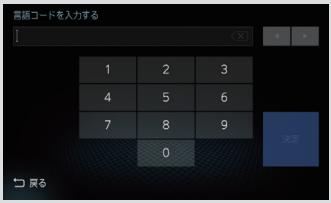


▼

優先させる言語の変更が完了します。

アドバイス

- [その他]にタップすると手順5の画面にない言語を設定できます。



*「言語コード一覧表」(P328)*のコードを入力し、[決定]にタップします。

言語コード一覧表

下記のコードは本機でのみ有効です。

コード	言語
6565	アファル語
6566	アブバジア語
6570	アフリカーンス語
6577	アムハラ語
6582	アラビア語
6583	アッサム語
6589	アイマラ語
6590	アゼルバイジャン語
6665	バキシール語
6669	白ロシア語
6671	ブルガリア語
6672	ビハーリー語
6673	ビスラマ語
6678	ベンガル語
6679	チベット語
6682	ブルトン語
6765	カタロニア語
6779	コルシカ語
6783	チェコ語
6789	ウェルシュ語
6865	デンマーク語
6869	ドイツ語
6890	ブータン語
6976	ギリシア語
6978	英語
6979	エスペラント語
6983	スペイン語
6984	エストニア語
6985	バスク語
7065	ペルシャ語
7073	フィンランド語
7074	フィジー語
7079	フェロー語
7082	フランス語
7089	フリジア語
7165	アイルランド語
7168	スコットランドゲール語
7176	ガルシア語
7178	グアラニー語
7185	グジャラード語
7265	ハウサ語
7269	ヘブライ語
7273	ヒンディー語
7282	クロアチア語
7285	ハンガリー語
7289	アルメニア語
7365	国際語
7368	インドネシア語
7369	インターリング
7375	イヌピア語

コード	言語
7383	アイスランド語
7384	イタリア語
7465	日本語
7487	ジャワ語
7565	グルジア語
7575	カザフ語
7576	グリーンランド語
7577	カンボジア語
7578	カンナダ語
7579	韓国語
7583	カシミール語
7585	クルド語
7589	キルギス語
7665	ラテン語
7678	リンガラ語
7679	ラオス語
7684	リトアニア語
7686	ラトビア語
7771	マダガスカル語
7773	マオリ語
7775	マケドニア語
7776	マラヤーラム語
7778	モンゴル語
7779	モルダビア語
7782	マラータ語
7783	マレー語
7784	マルタ語
7789	ビルマ語
7865	ナウル語
7869	ネパール語
7876	オランダ語
7879	ノルウェー語
7967	オキタン語
7977	オロモ語
7982	オリヤー語
8065	パンジャブ語
8076	ポーランド語
8083	パシュトー語
8084	ポルトガル語
8185	ケチュア語
8277	レトロアンス語
8278	キルンディ語
8279	ルーマニア語
8285	ロシア語
8287	キヤーワンダ語
8365	サンスクリット語
8368	シンド語
8371	サンゴ語
8372	セルボクロアチア語
8373	シンハリー語

コード	言語
8375	スロバキア語
8376	スロベニア語
8377	サモア語
8378	ショナ語
8379	ソマリア語
8381	アルバニア語
8382	セルビア語
8383	シスワティ語
8384	セストゥ語
8385	スンダ語
8386	スウェーデン語
8387	スワヒリ語
8465	タミル語
8469	テルグ語
8471	タジク語
8472	タイ語
8473	ティグリニャ語
8475	トゥルクメン語
8476	タガログ語
8478	セツワナ語
8479	トンガ語
8482	トルコ語
8483	ツォンガ語
8484	タタール語
8487	トウィ語
8575	ウクライナ語
8582	ウルドゥー語
8590	ウズベク語
8673	ベトナム語
8679	ヴォラピュック語
8779	ウォロフ語
8872	コーサ語
8973	イディッシュ語
8979	ヨルバ語
9072	中国語
9085	ズールー語

INFOの設定

電話やETC、カメラなどに関する設定が行えます。

1 MENU キーを押す

NAVIメニューを表示します。

2 設定・編集 にタップする

3 INFO にタップする

4 変更したい“項目”にタップする

▼

選んだ項目の設定画面を表示します。

■ 設定できる項目について

登録番号の編集	登録電話番号の編集、消去が行えます。このボタンをタップした後の操作は、*「登録電話番号を編集する」(P292)* の手順3以降と同様に行います。
電話の設定	着信や受話/送話音量の設定や自動着信の設定が行えます。 →*「電話の設定」(P330)*
NaviConの設定	友達マップとの連携設定や友達マップの表示が行えます。 →*「NaviConの設定」(P331)*
ETCの設定	別売の接続ケーブルおよびETC車載器またはETC2.0車載器を接続すると、ETCに関する設定が行えます。 →*「ETCの設定」(P331)*
HUDの設定	別売のHUDを本機に接続するとHUDに関する設定が行えます。 →*「HUDの設定」(P332)*
デバイスIDの表示	デバイスIDの確認ができます。 →*「デバイスIDを表示する」(P333)*
リアカメラの設定	リアカメラに関する設定が行えます。 →*「リアカメラの設定」(P333)*
エコ情報の設定	エコ情報に関する設定が行えます。→*「エコ情報の設定」(P335)*
ニュースリーダーの設定	ニュースリーダーの受信に関する設定が行えます。→*「ニュースリーダーの設定」(P335)*

電話の設定

着信や受話 / 送話音量の設定や自動着信の設定が行えます。

設定名	設定値	設定内容
着信音量	1 ～ **4** ～ 7	電話の着信音量を設定できます。
受話音量	1 ～ **4** ～ 7	電話の受話音量を設定できます。
送話音量	1 ～ **4** ～ 7	電話の送話音量を設定できます。
自動着信設定※1	自動着信する	[自動着信する] に設定すると、かかってきた電話を自動的に受けることができるようになります。 [自動着信する] にタップした後、自動着信するまでの応答時間（1 ～ 30 秒）を設定する必要があります。 （工場出荷時は **[5]** 秒）
	自動着信しない	
電話同期設定※2	同期する	Bluetooth で接続されたとき、携帯電話の電話帳や履歴を同期するかしないかを設定できます。
	同期しない	
履歴表示設定※2	表示する	Bluetooth で接続されたとき、携帯電話の履歴を表示するかしないかを設定できます。
	表示しない	
車速連動音量設定	ON	車の速度に応じて、受話音量を変化させるかしないかを設定できます。[ON] にすると、速度が上がれば、音量が大きくなり速度が戻れば、音量も戻ります。
	OFF	

※「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

※ 1　自動着信するまでの応答時間は、本機で設定している時間より携帯電話側で設定している時間の方が短い場合は、携帯電話側の設定が優先されます。

※ 2　PBAP 対応の携帯電話を接続した場合は「電話同期設定」、PBAP 非対応の携帯電話を接続した場合は「履歴表示設定」を表示します。

NaviConの設定

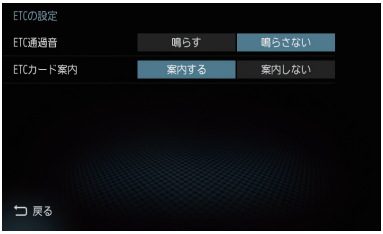
友達マップとの連携設定や友達マップの表示が行えます。

設定名	設定値	設定内容
友達マップ	ON	友達マップの連携を自動的に行います。 前回「ON」に設定した端末とは別の端末でNaviConを接続した場合は、設定が「OFF」になります。
	OFF	「友達マップ全体表示」の[表示する]を選択したときのみ、連携を行います。
友達マップ全体表示	表示する	友達マップの情報を受信し、すべてのアイコンが表示できる縮尺の地図画面を表示します。 →*「友達マップの全体表示」(P236)*

※「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

ETCの設定

別売の接続ケーブルおよびETC車載器またはETC2.0車載器を接続すると、ETCに関する設定が行えます。



設定名	設定値	設定内容
ETC通過音	鳴らす	ETCゲート通過時にナビからの通知音を鳴らすか鳴らさないかの設定が行えます。※1
	鳴らさない	
ETCカード案内	**案内する**	ETCカードの挿入、未挿入の案内をするかしないかの設定が行えます。
	案内しない	

※「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

※1　ETCからの音声は、設定することができません。

お知らせ

- ETCエラー発生や料金発生などの重要事項についてはナビからの案内を「なし」に設定することができません。システム設定で案内音を「消」としている場合でも案内されます。

HUDの設定

別売のHUDを本機に接続するとHUDに関する設定が行えます。

設定名	設定値	設定内容
明るさ	1 ～ 13	HUDの明るさを13段階で調整できます。 [−] にタップすると暗くなり、[＋] にタップすると明るくなります。 工場出荷時は7（中央）に設定されています。
HUDの表示	**ON**	HUDの表示ON/OFFを切り換えることができます。
	OFF	
表示コンテンツ	**方位情報**	HUDの左側に表示するコンテンツを選択できます。
	時刻情報	

※「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

デバイスIDを表示する

デバイスIDとは、オンラインの情報を取得するために必要となるID番号です。登録手続きで使用します。登録方法については詳しくは、三菱電機のホームページをご覧ください。
http://www.MitsubishiElectric.co.jp/carele/carnavi/openinfo

1 **MENU キーを押す**
NAVIメニューを表示します。

2 **設定・編集 → INFO にタップする**

3 **デバイスIDの表示 にタップする**

▼

デバイスIDを表示します。

リアカメラの設定

リアカメラに関する設定が行えます。

■ カメラの接続設定を行う

リアカメラを取り付けた場合は、以下の操作を行う必要があります。

1 **MENU キーを押す**
NAVIメニューを表示します。

2 **設定・編集 → INFO にタップする**

3 **リアカメラの設定 にタップする**

4 **リアカメラの接続設定 にタップする**

5 **接続あり にタップする**

▼

リアカメラの使用が可能となります。

■ ガイド線を表示する

リアカメラで使用するガイド線を表示します。

お知らせ

- 工場出荷時は、ガイド線を表示しない設定になっています。

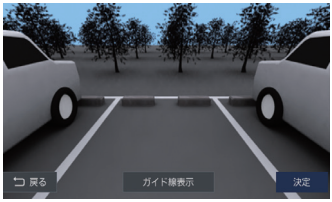
1 **MENU キーを押す**
NAVIメニューを表示します。

2 **設定・編集 → INFO にタップする**

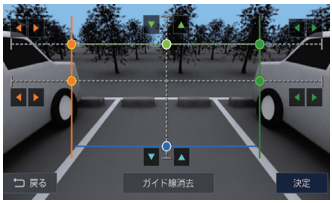
3 **リアカメラの設定 にタップする**

4 **リアカメラガイド線の設定 にタップする**

5 **ガイド線表示 にタップする**



▼



リアカメラ映像にガイド線を表示します。
再度消去する場合は、[ガイド線消去]にタップします。

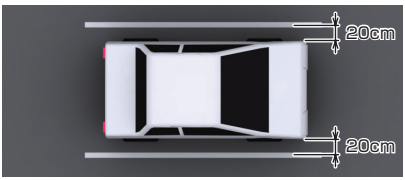
■ ガイド線を調整する

リアカメラ使用時に表示するガイド線の位置を調整できます。

注意

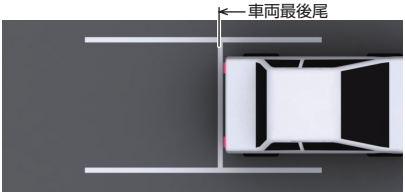
- 調整する際は、安全な場所で行ってください。
- できるだけ、水平な場所で行ってください。
- 目印を付けるときは、必ずエンジンを切ってパーキングブレーキをかけて行ってください。

1 車幅＋両側約20cmの位置（地面）に直線の目印を付ける

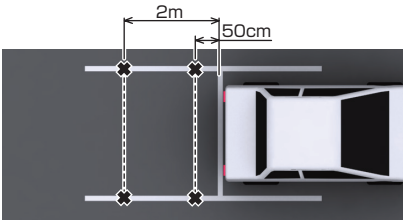


目印は粘着テープなどで行い、車両の全長よりも少し長めに付けてください。

2 車両を約2.5m前進させ、車両最後尾に直線の目印を付ける



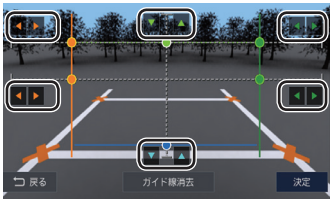
3 手順２の目印から約50cmおよび約2mの位置に目印を付ける



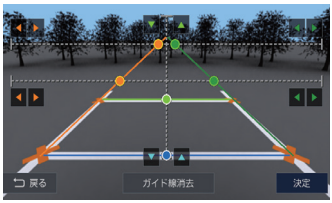
リアカメラの映像でも認識しやすいように少し大きめの「×」印を付けることをおすすめします。

4 ガイド線を表示する （→P333）

5 カーソルボタンにタップしガイド線を調整する



6 決定 にタップする



▼

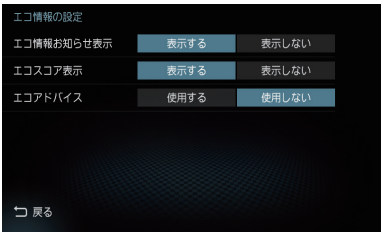
ガイド線の調整が完了します。

アドバイス

- 左右のオレンジ線と緑線は、手順１の目印を目安に位置や角度を調整してください。
- 画面下の青線は、手順３の目印の車両最後尾から50cm離れた位置を目安に調整してください。
- 画面上の黄緑線は、手順３の目印の車両最後尾から2m離れた位置を目安に調整してください。

エコ情報の設定

*「お知らせ表示について」(P279)*で説明しているルート案内中や目的地到着後のお知らせなどに関する設定ができます。

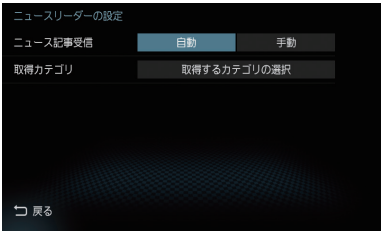


設定名	設定値	設定内容
エコ情報お知らせ表示	**表示する**	ルート案内中のエコスコアによるお知らせおよび目的地到着後のeスタートスコアによるお知らせを表示します。
	表示しない	ルート案内中および目的地到着後のお知らせを表示しません。
エコスコア表示	**表示する**	ルート案内中にエコスコアアイコンを表示します。
	表示しない	エコスコアアイコンを表示しません。
エコアドバイス	使用する	ルート案内中のエコアドバイスを使用します。
	使用しない	エコアドバイスを使用しません。

※「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

ニュースリーダーの設定

ニュースリーダー機能の受信に関する設定の変更が行えます。



設定名	設定値	設定内容
ニュース記事受信	**自動**	ニュースリーダーを起動したとき、自動で最新のニュースを取得いたします。 ※取得してから10時間は自動取得いたしません。
	手動	ニュースリーダーのカテゴリ画面上部にある、[ニュース更新]をタップして、最新のニュースを取得いたします。
取得カテゴリ		[取得するカテゴリの選択]にタップして、カテゴリごとに取得する/取得しないを設定できます。

※「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

通信の設定

BluetoothやWi-Fi接続に関する設定が行えます。

※ Bluetooth機器やWi-Fi機器が使用する2.4GHz帯は、さまざまな機器が使用しています。他の機器の影響や、Bluetooth機器とWi-Fi機器を同時に使用した場合、通信性能が低下することがあります。

Bluetoothの設定

市販されているBluetooth機器をBluetooth機能を使って本機に接続できます。

Bluetooth（ブルートゥース）とは

Bluetoothは近距離（数メートル以内）での機器接続に特化した無線通信規格です。電波を使用しているため指向性を持ちません。その特性により遮蔽物があっても通信可能となり、たとえば胸ポケットやカバンの中に携帯電話を入れたままで接続するような使い方が可能になります。

お知らせ

- 本機はVer.3.0+ EDRに対応しています。

対応プロファイル

Bluetooth Audio	A2DP（v1.2以下） AVRCP（v1.5以下）
ハンズフリー	HFP（v1.6以下）
電話帳転送	PBAP（v1.1以下）
シリアル通信	SPP（v1.1以下）

お知らせ

- 本機はBluetoothレシーバーを内蔵しています。
- 携帯電話の「ダイヤルロック」などの機能を解除し、待ち受け画面の状態で接続してください。
- 接続中にBluetooth機器での操作（受話操作など）を行うと正しく動作しない場合があります。
- Bluetooth機器におけるパスキーの入力方法についてはBluetooth機器の取扱説明書をご確認ください。
- 接続に失敗することがあります。再度、登録してください。

お知らせ

- 本機とBluetooth機器の距離、車内の状況、遮蔽物の種類によっては通信速度が落ちる場合や接続できない場合があります。この場合本機にできるだけ近い位置にBluetooth機器を置いてください。
- Bluetooth対応機器であっても特性や仕様により正常に動作しない場合があります。
- 最新の接続確認結果については、三菱電機のホームページをご覧ください。
- Bluetooth機器は、最大6台まで登録できます。
- Bluetooth Audioで使用するプロファイルは、オーディオソースがBluetooth Audioのときのみ接続されます。

アドバイス

- Bluetooth機器を登録する方法は2通りあります。[カーナビから検索]にタップした場合は、*「接続可能なBluetooth機器を検索して登録する」（P337）*をご覧ください。[Bluetooth機器から検索]にタップした場合は、*「Bluetooth機器から検索して登録する」（P338）*をご覧ください。

■ 設定画面の表示

Bluetoothの設定画面を表示します。

1 MENU キーを押す

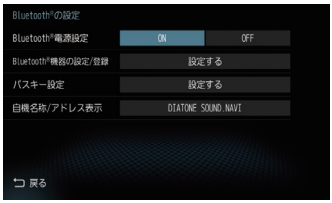
NAVIメニューを表示します。

2 設定・編集 にタップする

3 通信 にタップする

4 Bluetooth® の設定 にタップする

▼



Bluetoothの設定画面を表示します。

■ 接続可能なBluetooth機器を検索して登録する

本機側から接続可能なBluetooth機器を検索して、Bluetooth機器を本機に登録します。

アドバイス

- Bluetooth機器によっては、あらかじめBluetooth機器を検索可能な状態に設定しておく必要があります。設定方法については、Bluetooth機器の取扱説明書をご確認ください。

1 接続したいBluetooth機器のBluetooth機能をONにする

2 Bluetoothの設定画面 *(P336)* を表示中、ON にタップする

本機のBluetooth機能が使用可能な状態になります。

3 「Bluetooth機器の設定/登録」のボタンにタップする

4 カーナビから検索 にタップする

▼

本機に接続可能なBluetooth機器が表示されます。

5 接続したい“機器名”にタップする

6 はい にタップする

▼

以降の操作は、お使いのBluetooth機器によって異なります。

7 タイプ別の操作を行う

表示されている画面のタイプ別の操作を行ってください。

タイプA

自動的に接続が完了します。

タイプB

Bluetooth機器に表示されているパスキーと本機の画面に表示されているパスキーが同じであれば[はい]にタップします。

※ パスキーがもし違う場合は、Bluetooth機器側の操作をやり直してください。

タイプC

本機側が準備状態ですので、[はい]にタップします。

▼

接続が完了すると、現在地画面にBluetoothと電波強度のアイコンが表示されます。

アドバイス

- 登録が完了すると次回以降自動で接続します。自動接続したくない場合は、Bluetoothの設定画面 *(P336)* の「Bluetooth電源設定」を[OFF]にしてください。

■ Bluetooth 機器から検索して登録する

Bluetooth 機器側から本機を検索して、Bluetooth 機器を本機に登録します。

1 **接続したい Bluetooth 機器の Bluetooth 機能を ON にする**

2 **Bluetooth の設定画面 *(P336)* を表示中、 ON にタップする**

本機の Bluetooth 機能が使用可能な状態になります。

3 **「Bluetooth 機器の設定 / 登録」のボタンにタップする**

4 **Bluetooth® 機器から検索 にタップする**

5 **Bluetooth 機器から本機を選択する**

▼

以降の操作は、*「接続可能な Bluetooth 機器を検索して登録する」(P337)* の手順 7 以降と同様に行います。

状態アイコンについて

登録済	本機に登録されている Bluetooth 機器を示します。
接続済	本機に登録されている Bluetooth 機器が接続されている状態を示します。

アドバイス

- 登録が完了すると次回以降自動で接続します。自動接続したくない場合は、Bluetooth の設定画面 *(P336)* の「Bluetooth 電源設定」を [OFF] にしてください。

■ Bluetooth 機器を選択する

複数台の Bluetooth 機器を登録した場合、接続する Bluetooth 機器を選択する必要があります。(以降は本機能で設定した Bluetooth 機器を車内に持ち込むだけで接続できるようになります。)

1 **Bluetooth の設定画面 *(P336)* を表示中、 ON にタップする**

2 **「Bluetooth 機器の設定 / 登録」のボタンにタップする**

3 **接続したい "機器名" にタップする**

4 **電話機接続 または オーディオ接続 にタップする**

接続したい Bluetooth 機器を電話用に使用する場合は [電話機接続] に、Bluetooth Audio 用に使用する場合は [オーディオ接続] を選択します。

5 **決定 にタップする**

▼

Bluetooth 機器の選択が完了します。

アドバイス

- 本機の起動時に、前回接続していた Bluetooth 機器がない場合は他の登録済み機器に対する自動接続を行います。この接続処理中は画面上での Bluetooth 機器選択ができないことがあります。
- 電話、Bluetooth Audio 両方に対応した Bluetooth 機器の場合は、選択を 1 台にできます。
- Bluetooth Audio 機能が使用できる機器名の横に以下のアイコンを表示します。

♫	接続中を示します。
♫	非接続中を示します。

アドバイス

- 電話機能が使用できる機器名の横に以下のアイコンを表示します。

	接続中を示します。
	非接続中を示します。

- シリアル通信機能が使用できる機器名の横に以下のアイコンを表示します。

	接続中を示します。
	非接続中を示します。

■ Bluetooth 機器を消去する

登録されている Bluetooth 機器を消去します。

1 「Bluetooth 機器の設定 / 登録」のボタンにタップする

2 消去 にタップする

3 消去したい機器名の “チェックボックス” にタップし、選択する

アドバイス

- [全選択] にタップすると、すべての機器名を選択できます。
- [全解除] にタップすると、選択状態をすべて解除できます。
- チェックボックス以外のリスト部分にタップすると、1 件だけ消去することができます。

4 消去 にタップする

5 はい にタップする

▼

選択した機器の消去が完了します。

■ パスキーを設定する

Bluetooth 機器を登録するときに使用するキーを設定します。（工場出荷時「0000」）

1 **Bluetooth の設定画面 *(P336)* 表示中、「パスキー設定」のボタンにタップする**

2 **任意の "4 桁のパスキー" を入力し、 決定 にタップする**

▼

パスキーの設定が完了します。

アドバイス

- すでにパスキーを設定している場合は、〈X にタップしてパスキーを消去してから入力してください。

■ 本機のアドレスを表示する / 編集する

本機の機器名および機器アドレスを確認します。また、機器名称のみ変更できます。

1 **Bluetooth の設定画面 *(P336)* を表示中、「自機名称 / アドレス表示」のボタンにタップする**

▼

機器名称および機器アドレスが確認できます。

2 **"機器名称" のボタンにタップする**

3 **任意の "機器名称" を入力し、 入力完了 にタップする**

→「文字入力のしかた」（P192）

アドバイス

- 機器名称は最大半角 40 文字（全角 20 文字）まで入力できます。

4 **編集完了 にタップする**

▼

機器名称の変更が完了します。

Wi-Fi の設定

市販されている Wi-Fi 機器（スマートフォンの場合はテザリング可能な機器）を本機に接続できます。

Wi-Fi（ワイファイ）とは

Wi-Fi は Wireless Fidelity（無線 LAN）の略称です。
スマートフォンやタブレットなどを無線で LAN（ローカルエリアネットワーク）接続する技術です。

対応規格

IEEE 802.11	b/g/n
周波数帯	2.4GHz

※ Wi-Fi Direct は非対応です。

お知らせ

- Wi-Fi 機器のセキュリティ（ステルス機能）により、本機で Wi-Fi 機器を検索できない場合があります。表示されない場合は、セキュリティ（ステルス機能）を解除してください。
- Wi-Fi 機器は、最大 6 台まで登録できます。
- 接続に失敗することがあります。再度、登録してください。

■ 設定画面の表示

Wi-Fi の設定画面を表示します。

1 **MENU キーを押す**

NAVI メニューを表示します。

2 **設定・編集 にタップする**

3 **通信 にタップする**

4 **Wi-Fi®の設定 にタップする**

▼

Wi-Fi の設定画面を表示します。

■ 接続可能なWi-Fi機器を検索して登録する

本機から接続可能なWi-Fi機器を検索して、Wi-Fi機器を本機に登録します。

お知らせ

- Wi-Fi機器のセキュリティ設定が「WPA」になっていると検索をしても表示されません。Wi-Fi機器のセキュリティ設定を「WPA2」または「セキュリティなし」に設定してから検索を行ってください。

1 接続したいWi-Fi機器のWi-Fi機能をONにする

2 Wi-Fiの設定画面*(P340)*を表示中、ON にタップする

本機のWi-Fi機能が使用可能な状態になります。

3 「Wi-Fi機器の設定/登録」のボタンにタップする

4 検索 にタップする

▼

本機に接続可能なWi-Fi機器が表示されます。

5 接続したい“機器名”にタップする

6 はい にタップする

▼

以降の操作は、お使いのWi-Fi機器によって異なります。

7 タイプ別の操作を行う

表示されている画面のタイプ別の操作を行ってください。

タイプA

自動的に接続が完了します。

タイプB

Wi-Fi機器に設定されているパスワードを入力します。

▼

接続が完了すると、現在地画面にWi-Fiと電波強度のアイコンが表示されます。

状態アイコンについて

登録済	本機に登録されているWi-Fi機器を示します。
接続済	本機に登録されているWi-Fi機器が接続されている状態を示します。
🔒	セキュリティが設定されているWi-Fi機器を示します。
🔓	セキュリティが設定されていないWi-Fi機器を示します。
	「圏外」の場合に表示されます。
	電波の強さが4段階で表示されます。

■ Wi-Fi 機器を選択する

複数台の Wi-Fi 機器を登録した場合、接続する Wi-Fi 機器を選択する必要があります。（以降は本機で設定した Wi-Fi 機器を車内に持ち込むだけで接続できるようになります。）

1 **Wi-Fi の設定画面 *(P340)* を表示中、ON にタップする**

本機の Wi-Fi 機能が使用可能な状態になります。

2 **「Wi-Fi 機器の設定 / 登録」のボタンにタップする**

3 **接続したい "機器名" にタップする**

4 **はい にタップする**

▼

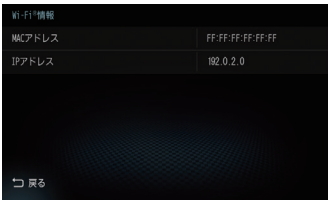
Wi-Fi 機器の選択が完了します。

■ Wi-Fi 機器の情報を確認する

本機に接続されている Wi-Fi 機器の情報を確認できます。

1 **Wi-Fi の設定画面 *(P340)* を表示中、「Wi-Fi 設定表示」の 表示する にタップする**

▼



Wi-Fi 機器の情報を表示します。

■ Wi-Fi 機器を消去する

登録されている Wi-Fi 機器を消去します。

1 **Wi-Fi の設定画面 *(P340)* を表示中、ON にタップする**

2 **「Wi-Fi 機器の設定 / 登録」のボタンにタップする**

3 **消去 にタップする**

4 **消去したい機器名の "チェックボックス" にタップし、選択する**

アドバイス

- [全選択] にタップすると、すべての機器名を選択できます。
- [全解除] にタップすると、選択状態をすべて解除できます。
- チェックボックス以外のリスト部分にタップすると、1 件だけ消去することができます。

5 **消去 にタップする**

6 **はい にタップする**

▼

選択した機器の消去が完了します。

システムの設定

本機の操作音やパワーアンテナの設定、車両取付確認などが行えます。

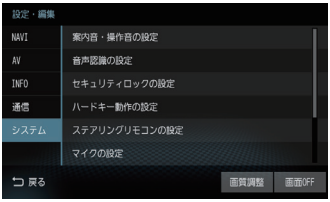
1 MENU キーを押す

NAVIメニューを表示します。

2 設定・編集 にタップする

3 システム にタップする

4 変更したい“項目”にタップする



▼

選んだ項目の設定画面を表示します。

■ 設定できる項目について

案内音・操作音の設定	操作音量の設定が行えます。 →*「案内音・操作音の設定」(P344)*
音声認識の設定	音声操作に関する設定が行えます。 →*「音声認識の設定」(P345)*
セキュリティロックの設定	盗難時などに第三者が使用できないようパスワードロックの設定が行えます。 →*「セキュリティロックの設定」(P346)* また、セキュリティロックLEDを点滅させることができます。
ハードキー動作の設定	[MENU]キー長押し動作の変更が行えます。 [音声認識]と[カメラ]を選択できます。工場出荷時は、[音声認識]に設定されています。
ステアリングリモコンの設定	純正ステアリングリモコンから操作ができるように設定できます。自動車メーカー/リモコン種別を設定します。→*「ステアリングリモコンの設定」(P348)*
マイクの設定	マイクに関する設定が行えます。 →*「マイクの設定」(P348)*
パワーアンテナの設定	パワーアンテナに関する設定が行えます。 →*「パワーアンテナの設定」(P349)*
車両取付確認	取付業者様用の機能です。車両に取り付けた後の信号チェックが行えます。 →*「車両取付確認」(P350)*
メモリ初期化	本機の各設定を工場出荷時の状態に戻します。 →*「メモリ初期化」(P353)*

案内音・操作音の設定

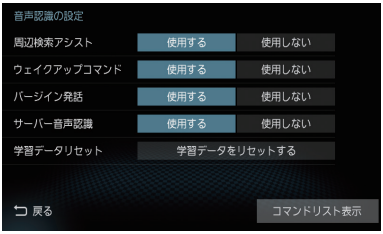
案内音量や操作音量の設定が行えます。

設定名	設定値	設定内容
操作音量	消	操作音量の設定が行えます。 数字が大きくなるほど音量が大きくなり、[消]で無音になります。
	1 ～ **2** ～ 3	
案内音量	消	音声案内の音量について設定が行えます。 数字が大きくなるほど音量が大きくなり、[消]で無音になります。
	1 ～ **4** ～ 7	
時報	鳴らす	時報を鳴らすか鳴らさないかの設定が行えます。
	鳴らさない	
車速連動音量設定	ON	車の速度に応じて音量を自動的に調節するかしないかの設定が行えます。
	OFF	

※「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

音声認識の設定

音声認識 *(P186)* に関する設定が行えます。



設定名	設定値	設定内容
周辺検索アシスト	**使用する**	周辺検索アシストを使用するかしないかを設定できます。 →*「周辺検索アシスト」(P187)*
	使用しない	
ウェイクアップコマンド	**使用する**	"声で操作" を発話することで操作を開始するかしないかを設定できます。 →*「音声認識の開始方法について」(P188)*
	使用しない	
バージイン発話	**使用する**	音声認識後の音声ガイダンス中でも発話を受け付けて、次の操作状態に移行するかしないかを設定できます。 →*「バージイン発話」(P187)*
	使用しない	
サーバー音声認識	**使用する**	サーバー音声認識を使用するかしないかを設定できます。 →*「サーバー音声認識」(P186)*
	使用しない	
学習データリセット	学習データをリセットする	タップすることで、音声認識向上のために蓄積された学習データを消去できるメニューを表示します。 →*「学習データをリセットする」(P346)*
コマンドリスト表示		音声認識で操作できるコマンドリストを表示します。 →*「音声認識コマンドリストを確認する」(P189)*

※「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

■ 学習データをリセットする

本機では、音声認識向上のため音声操作を行うごとに学習データが蓄積されています。この蓄積された学習データを消去し、工場出荷状態に戻すことができます。

お知らせ

- 認識性能が悪い状態がしばらく続く場合、本機能を実施することで改善されることがあります。

1 MENU キーを押す

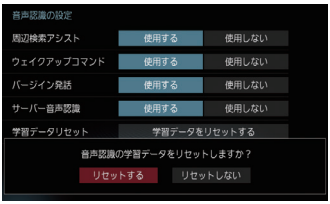
NAVIメニューを表示します。

2 設定・編集 → システム にタップする

3 音声認識の設定 にタップする

4 「学習データリセット」の 学習データをリセットする にタップする

▼



5 リセットする にタップする

▼

蓄積された学習データを消去し、工場出荷状態になります。

セキュリティロックの設定

盗難時などに第三者が使用できないようパスワードロックの設定が行えます。

お知らせ

- 設定が完了すると車両点検などでバッテリーを外すと、起動時にパスワードを入力するまで使用できなくなります。
- 起動時のパスワード入力を３回失敗するとカーナビ機能がロックされます。このときは、ACC OFF→ONを行い再度パスワードを入力してください。

1 MENU キーを押す

NAVIメニューを表示します。

2 設定・編集 → システム にタップする

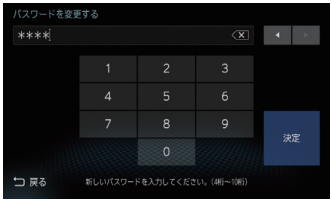
3 セキュリティロックの設定 にタップする

▼

セキュリティロックの設定画面を表示します。

4 解除中 にタップする

5 任意の４桁～ 10桁の“パスワード”を入力し、決定 にタップする



6 確認のため再度“パスワード”を入力し、決定 にタップする

▼

セキュリティロックが設定されます。

■ セキュリティを解除する

1 セキュリティロックの設定画面で、設定中 にタップする

2 “パスワード” を入力する

3 セキュリティロックの解除 にタップする

▼

セキュリティのロックを解除します。

■ パスワードを変更する

1 セキュリティロックの設定画面で、設定中 にタップする

2 現在の “パスワード” を入力する

3 パスワードの変更 にタップする

4 新しい “パスワード” を入力し、決定 にタップする

5 確認のため再度新しい “パスワード” を入力し、決定 にタップする

▼

パスワードの変更が完了します。

注 意

- パスワードは、忘れないようメモして保管しておくことをおすすめします。
- 万が一、パスワードを忘れた場合は、下記URLからお問い合わせください。
http://www.MitsubishiElectric.co.jp/carele/carnavi/passwordlock.html

■ セキュリティロックLEDを点滅させる

イグニッションキーを “OFF” にした場合、LEDを点滅させることができます。

1 セキュリティロックの設定画面を表示する

「セキュリティロックの設定」(P346) の手順3まで操作します。

2 使用する にタップする

▼

セキュリティロックLEDを点滅させる設定が完了します。

アドバイス

- セキュリティロックLEDを解除する場合は[使用しない]にタップします。

ステアリングリモコンの設定

純正のステアリングリモコンから本機の操作ができるように設定できます。

お知らせ

- 取り付け車種によっては、使用できない場合があります。また、操作が限られる場合や操作可能な機能が異なる場合があります。

1 MENU キーを押す

NAVIメニューを表示します。

2 設定・編集 → システム にタップする

3 ステアリングリモコンの設定 にタップする

4 “自動車メーカー(リモコン種別)”にタップする

5 決定 にタップする

▼

ステアリングリモコンの設定が完了します。

マイクの設定

内蔵マイクまたは外部マイクの設定を切り換えることができます。別売の外部マイクを接続する場合は、[外部マイク]に設定してください。

1 MENU キーを押す

NAVIメニューを表示します。

2 設定・編集 → システム にタップする

3 マイクの設定 にタップする

4 内蔵マイク または 外部マイク にタップする

▼

マイクの設定が切り換わります。

アドバイス

- 通話中にマイクの設定を切り換えると一時的に音声が乱れる場合があります。
- 外部マイクに切り換えると内蔵マイクからは音声が入力されません。

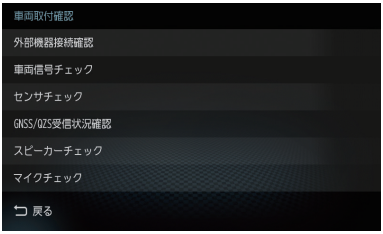
パワーアンテナの設定

設定名	設定値	設定内容
パワーアンテナの設定	**自動**	"ACC ON" 時にアンテナ電源端子から自動的に電源を供給します。
	手動	AVメニュー *(P27)* に[P.Ant ON/OFF]が表示されるようになり、アンテナ電源端子への電源供給を手動で行えるようになります。

※「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

車両取付確認

取付作業者様用の機能です。車両に取り付けた後の信号チェックが行えます。



注 意

- 手順どおりに確認していない場合は、正しい判定結果がでない場合があります。

■ 外部機器接続確認

本機に接続されている外部機器の接続状態を確認できます。
「Pure Audio Mode」を[OFF]にしてください。(→P51)
DTVアンテナの確認結果が「不明」となり、接続確認ができません。

1 **MENU キーを押す**

NAVIメニューを表示します。

2 **設定・編集 → システム にタップする**

3 **車両取付確認 にタップする**

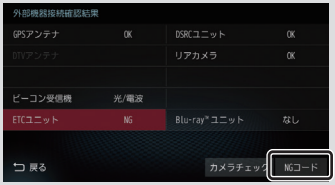
4 **外部機器接続確認 にタップする**

▼

本機に接続されている外部機器の接続状態を表示します。
接続した機器に「OK」と表示されていれば正常です。

アドバイス

- 「NG」と表示されたときは、[NGコード]にタップしてNGコードを確認してください。



お知らせ

- 別売のETC車載器とETC2.0車載器が同時接続されている場合、ETC車載器の取り外しをうながすテロップが表示されます。

■ 車両信号チェック

車両信号が正しく入力されているかをチェックできます。

1 MENU キーを押す

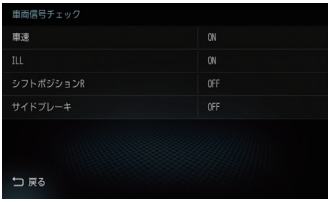
NAVIメニューを表示します。

2 設定・編集 → システム にタップする

3 車両取付確認 にタップする

4 車両信号チェック にタップする

5 車両を操作して各信号のチェックを行う



車速	車を走行させたとき、「ON」と表示すれば正常です。
ILL	車の車幅灯を点灯させたとき、「ON」と表示すれば正常です。
シフトポジションR	車のシフトポジションを「R」にしたとき、「ON」と表示すれば正常です。
サイドブレーキ	車のサイドブレーキを降ろしたとき、「OFF」と表示すれば正常です。

■ センサチェック

車速パルスやジャイロセンサーの状態をチェックできます。

1 MENU キーを押す

NAVIメニューを表示します。

2 設定・編集 → システム にタップする

3 車両取付確認 にタップする

4 センサチェック にタップする

5 開始 にタップする

▼

センサチェックを開始します。
以降は、画面の指示に従って車両を操作してください。

注 意

- 画面に表示された手順どおりチェックを行わないと正常な結果が得られません。

■ GNSS/QZS受信状況確認

GPS（GNSS）、準天頂衛星（QZS）からの受信状況を確認できます。

1 MENU キーを押す

NAVIメニューを表示します。

2 設定・編集 → システム にタップする

3 車両取付確認 にタップする

4 GNSS/QZS受信状況表示 にタップする

▼

受信状況を表示します。

■ スピーカーチェック

本機とスピーカーが正しく接続されているかテストサウンドを出力し、チェックできます。

お知らせ

- テストサウンドを出力するには、あらかじめ「Audio OFF」にしてください。「Audio ON」の状態ではテストサウンドは出力されません。

1 MENU キーを押す

NAVIメニューを表示します。

2 設定・編集 → システム にタップする

3 車両取付確認 にタップする

4 スピーカーチェック にタップする

5 各スピーカーにタップする

▼

タップしたスピーカーからテストサウンドが出力されます。各スピーカーをタップし、正しく接続されているかチェックしてください。

■ マイクチェック

音声認識やハンズフリー通話で使用するマイクのチェックができます。マイクに向かって発話した内容をスピーカーから出力します。チェックを行うには、あらかじめBluetoothの設定画面 *(P336)* から「Bluetooth電源設定」を[ON]にしてください。

注 意

- このチェックを行うときは、安全な場所に停車してから行ってください。

1 MENU キーを押す

NAVIメニューを表示します。

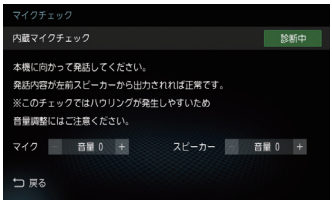
2 設定・編集 → システム にタップする

3 車両取付確認 にタップする

4 マイクチェック にタップする

マイクチェック画面を表示します。

5 マイクに向かって発話する



メッセージが消えてから発話してください。

▼

発話した内容がどのスピーカーからも出力されない、他のスピーカーから出力されるといった場合は接続状態を確認してください。

お知らせ

- Bluetooth 機器が登録されている状態では、手順４の[マイクチェック]を選択できません。チェックを行う場合は、登録されているBluetooth 機器を消去してください。→*「Bluetooth 機器を消去する」(P339)*
- このチェックではハウリングが発生しやすいので、音量には十分注意してください。音量を調節する場合は画面に表示されている[＋]または[－]にタップして行います。今回のチェック中のみ調節できます。

メモリ初期化

本機の各設定を工場出荷時の状態に戻すことができます。
また、登録した自宅や登録地などを一括で消すことができます。

注 意

- 故障の原因となりますので初期化中は、イグニッションキーの“ACC”を“OFF”にしないでください。
- 初期化中はメモリーカードを抜き差ししないでください。

お知らせ

- メモリ初期化は、CD やDVD の再生中およびMusicFolder への録音中に操作できません。

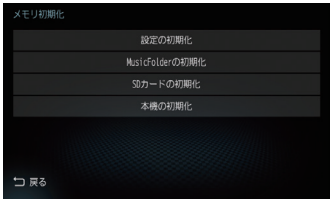
1 MENU キーを押す

NAVI メニューを表示します。

2 設定・編集 → システム にタップする

3 メモリ初期化 にタップする

4 いずれかにタップする



5 初期化する にタップする

6 再度、初期化する にタップする

▼

選んだ項目の初期化が完了します。

初期化の種類

設定の初期化	本機の各設定を工場出荷時の状態に戻すことができます。この操作では、登録した自宅や登録地は消えません。
MusicFolderの初期化	MusicFolderに関するデータをすべて消去します。MusicFolderで録音した曲や、取得したタイトル情報を消去します。
SDカードの初期化	SDカードの音楽ファイルやMusicFolderを本機で再生するために必要なフォーマットを行います。 また、SDカードの音楽ファイルやMusicFolderで録音した曲を含むSDカード内にあるすべてのデータを消去します。
本機の初期化	すべての設定、記録データを消去して工場出荷時の状態に戻すことができます。 また、登録した自宅や登録地などを一括で消すことができます。

TVの設定

テレビ機能に関する各種設定が行えます。

1 AVメニューを表示する
(→P62)

2 TV にタップする

3 画面にタップする

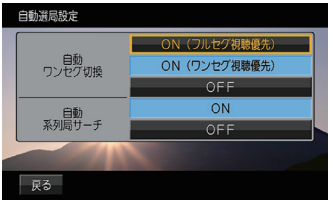
テレビの操作画面を表示します。

4 メニュー にタップする

5 設定したい“項目”にタップする

6 設定したい“内容”にタップする

7 “設定”にタップする



▼

設定内容を変更します。

■ 設定項目について

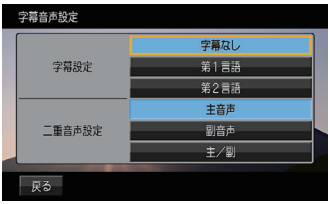
視聴設定	字幕や音声の設定が行えます。 →*「視聴設定」(P356)*
情報確認	チャンネル一覧や各種情報を確認できます。 →*「情報を確認する」(P160)*
受信機設定	自動ワンセグ切り換えの設定の他、表示に関する設定が行えます。→*「受信機設定」(P356)*
初期設定	ホームCHスキャンのやり直しや、地上デジタルTVチューナーの各設定を工場出荷時の状態に戻す場合に行います。 →*「初期設定を行う」(P358)*

視聴設定

字幕や音声に関する設定が行えます。

■ 字幕 / 音声

字幕放送や複数の音声放送がある場合に設定が行えます。



設定名	設定値	設定内容
字幕設定	**字幕なし**	字幕の非表示や言語の選択が行えます。
	第１言語	
	第２言語	
二重音声設定	**主音声**	出力される音声の選択が行えます。
	副音声	
	主／副	

※「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

受信機設定

受信に関する各種設定が行えます。

■ 自動選局

電波が弱くなったとき、自動でワンセグに切り換えることや自動で系列局を探す設定が行えます。

設定名	設定値	設定内容
自動ワンセグ切換	**ON（フルセグ視聴優先）**	フルセグからワンセグへの自動切り換えの設定が行えます。 →*「フルセグとワンセグを切り換える」（P162）*
	ON（ワンセグ視聴優先）	
	OFF	
自動系列局サーチ	**ON**	受信ができなくなったとき、自動で系列局を探すことができます。
	OFF	自動で系列局を探しません。手動で行います。 →*「系列局を探す」（P156）*

※「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

■ 緊急放送

緊急放送の設定が行えます。

設定名	設定値	設定内容
緊急放送自動切換	**ON**	緊急放送を受信すると自動で緊急放送の画面に切り換わります。
	OFF	緊急放送を受信しても、画面の切り換えは行いません。

※「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

■ 表示設定

ショートバナーの設定ができます。

設定名	設定値	設定内容
ショートバナー常時表示	表示する	常時画面の上部にショートバナー（チャンネル番号や放送局名などの情報）を表示します。
	表示しない	ショートバナーを表示しません。

※「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

■ 番組表 CH

番組表をマルチ編成に対応した表示に切り換えます。

設定名	設定値	設定内容
番組表 CH 切換	**メインサービス**	[全サービス] に設定するとマルチ編成に対応したすべての番組を表示した番組表に切り換わります。
	全サービス	

※「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

初期設定を行う

ホームCHスキャンのやり直しや地上デジタルTVチューナーの各設定を工場出荷時の状態に戻す場合に行います。

■ ホームCHスキャンを行う

ホームCHスキャンのやり直しや更新を行います。

詳しくは*「ホームCHスキャンを行う」(P157)*をご覧ください。

■ 設定情報を初期化する

地上デジタルTVチューナーの設定情報を工場出荷時の状態に戻します。

1 **AVメニューを表示する**
(→P62)

2 **TV にタップする**

3 **画面にタップする**
テレビの操作画面を表示します。

4 **メニュー にタップする**

5 **初期設定 にタップする**

6 **設定情報初期化 にタップする**

7 **初期化開始 にタップする**

8 **はい にタップする**

▼

初期化が完了すると初期設定画面を表示します。

注 意

- 初期化が完了するまでイグニッションキーの "ACC" を "OFF" にしないでください。

その他の設定

モニターの角度や画質、音質などの設定が行えます。

モニターの角度を調整する

モニターの角度を６段階で調整できます。

1 ⏏ キーを押す

2 いずれかにタップし角度を調整する

▼

モニターの角度が変わります。

アドバイス

- “ACC OFF”で自動的に閉じ、“ACC ON”で調整した位置に戻ります。
- モニターの角度を調整した場合は、画質の調整を行ってください。液晶画面の性質上、見る角度によって画質が異なります。

画質を調整する

メニュー画面やテレビ、リアカメラ映像の色合いや明るさなどの調整が行えます。

1 MENU キーを押す

NAVIメニューを表示します。

2 設定・編集 にタップする

3 画質調整 にタップする

▼

画質調整の画面を表示します。

アドバイス

- [⏏] キー→ [画質調整] にタップしても調整できます。

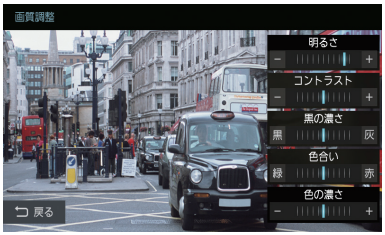
■ RGB画面の調整

「画質調整」で[RGB画面の調整]にタップすると表示します。
メニュー画面やナビ画面などの明るさ、コントラストなどを調整します。

設定名	設定内容
明るさ※1	明るさの調整を行います。 [＋]にタップすると明るくなり、[－]にタップすると、暗くなります。ロングタップ *(P24)* すると、連続で調整できます。
コントラスト	コントラスト(メリハリ)の調整を行います。[＋]にタップするとコントラストが強くなり、[－]にタップすると、弱くなります。ロングタップ *(P24)* すると、連続で調整できます。
黒の濃さ	黒の濃さの調整を行います。 [灰]にタップすると黒の濃さが弱くなり、[黒]にタップすると濃くなります。ロングタップ *(P24)* すると、連続で調整できます。

■ 映像画面の調整

「画質調整」で[映像画面の調整]にタップすると表示します。
テレビ画面やDVD画面、AUX画面などの明るさや色合いなどを調整します。



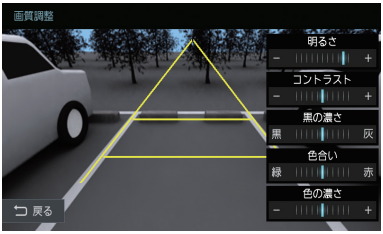
お知らせ

- 選択している映像ソースに対して調整を行います。
- 映像ソースごとに設定ができます。
- 映像ソースを選択していないときや走行中は設定操作ができません。

設定名	設定内容
明るさ※1	明るさの調整を行います。 [＋]にタップすると明るくなり、[－]にタップすると、暗くなります。ロングタップ *(P24)* すると、連続で調整できます。
コントラスト	コントラスト(メリハリ)の調整を行います。[＋]にタップするとコントラストが強くなり、[－]にタップすると、弱くなります。ロングタップ *(P24)* すると、連続で調整できます。
黒の濃さ	黒の濃さの調整を行います。 [灰]にタップすると黒の濃さが弱くなり、[黒]にタップすると濃くなります。ロングタップ *(P24)* すると、連続で調整できます。
色合い	色合いの調整を行います。 [緑]にタップすると緑っぽくなり、[赤]にタップすると赤っぽくなります。ロングタップ *(P24)* すると、連続で調整できます。
色の濃さ	色の濃さの調整を行います。 [＋]にタップすると色が濃くなり、[－]にタップすると薄くなります。ロングタップ *(P24)* すると、連続で調整できます。

■ リアカメラ映像の調整

「画質調整」で[リアカメラ映像の調整]にタップすると表示します。リアカメラ映像の色合いや明るさを調整します。



設定内容は、*「映像画面の調整」(P360)*と同じです。

画面の表示を消す

1 **MENU キーを押す**

NAVIメニューを表示します。

2 **設定・編集 にタップする**

3 **画面OFF にタップする**

▼

画面の表示を消します。

アドバイス

- 再度表示するときは、画面にタップするか[MENU]または[AV]、[現在地]のいずれかのキーを押します。

Other

困ったときは、用語解説、用語索引などの参考情報を記載しています。

困ったときは

画面にメッセージが表示されたときや「故障かな？」と思ったときに確認してください。

こんなメッセージがでたら

本機では、状況に合わせ画面にメッセージを表示します。

■ ナビゲーション機能

メッセージ	原因	処置
走行中は操作できません。	走行中、操作してはいけないボタンを操作した。	安全な場所に停車し、パーキングブレーキをかけて操作してください。
地図データがありません。	地図データがないエリアに地図スクロールした。	地図スクロール先を変更してください。
縮尺を変更します。	自車またはカーソルの中心が、設定している縮尺の地図情報がない場所に移動した。または、再びある場所に移動した。	－
該当する施設の情報がありません。	施設ジャンル検索で都道府県を指定したが当該都道府県の施設情報が本機に登録されていない。	別の都道府県を選択するか、ジャンルを変更してください。
周辺に情報がありません。	周辺施設の情報が本機に登録されていない。	位置を移動して検索してください。
入力された局番はデータにありません。	電話番号検索をしたが該当番号が本機に登録されていない。	住所、施設など別の検索手段で検索してください。
入力された番号はデータにありません。 代表地点を表示します。		
該当するデータがありません。 周辺の地図を表示します。	住所検索をしたが該当番号が本機に登録されていない。	電話番号、施設など別の検索手段で検索してください。
キーワードに該当する施設がありません。	キーワード絞り込みで入力したキーワードに該当する施設が本機に登録されていない。	キーワードを変更し、再度絞り込みを実施してください。
現在の検索結果に、この絞り込み方法は選択できません。	何らかの原因で絞り込みが実行できない。	絞り込み方法を変更するか、設定済みの絞り込み条件を解除してから再度絞り込みを実行してください。

「ナビゲーション機能」のつづき

メッセージ	原因	処置
上限に達したため、これ以上指定できません。	地域またはジャンルで絞り込む際に上限の数を超える絞り込み候補を指定しようとした。	絞り込み候補の件数は５件以内で指定してください。
絞り込み条件はこれ以上設定できません。	キーワード絞り込みを３回実行した後で、さらにキーワード絞り込みを実行しようとした。	キーワード絞り込みは３回以内となるように実行してください。
ルートを探索できませんでした。	何らかの原因で、探索に失敗した。	探索条件などを再度確認し探索してください。
経由地を設定できません。	目的地に到着している状態で、経由地を設定した。	目的地を再度設定してから、経由地を再度設定してください。
経由地を消去できません。	通過済みの経由地を消去しようとした。	通過した経由地は再度案内することはありませんので、そのままご使用いただいても問題ありません。 それでも経由地を消去したい場合は、目的地を再度設定してから、立ち寄らない経由地を除いた経由地を再度設定してください。 （経由地の消去は、当該経由地を通過する前に行ってください。）
入力されたマップコードはデータにありません。	入力したMAPCODEの該当地点がなかった。	MAPCODEを再度確認してください。
通信中のため回線接続できません。	通信に使用している機器が他の機能で通信中となっている。	通信に使用している機器が他の機能で通信中となっている場合は、情報を取得できません。通信が終わってから再度取得してください。

■ オーディオ機能

メッセージ	原因	処置
メカエラーのため再生できません。	何らかの原因でドライブに異常が発生した。	ディスクに異常がないことを確認して再度挿入してください。それでも問題が解決しない場合は販売店にご相談ください。
	ディスクに傷やそりがある。	傷やそりがあるディスクを挿入しないでください。
再生できません。 ディスクを確認してください。	再生できないディスクを挿入している。	再生できるディスクを挿入してください。 →*「再生できるディスクの種類について」(P65)*
	ディスクを裏面にして挿入している。	レーベル面を上にして挿入してください。
	ディスクの表面が結露している。	しばらくしてから再度、挿入してください。
	ディスクが汚れている。	ディスクをクリーニングしてください。
高温のため再生できません。 しばらくお待ちください。	本機の内部温度が高い。	ディスクを取り出し、内部温度が正常に戻るまでお待ちください。
低温のため再生できません。	本機の内部温度が低い。	SDカードを取り出し、内部温度が正常に戻るまでお待ちください。
このiPodは再生できません。	認証に失敗した。	iPodを接続しなおしてください。
	認識できない未対応フォーマットのiPodが接続されている。	本機に対応しているiPod *(P9)* を使用してください。
	iPodのソフトウェアバージョンが正しくない。	対応するソフトウェアバージョンを使用してください。
このUSBメモリは再生できません。	認証に失敗した。	USBデバイスを接続しなおしてください。
再生可能なデータがありません。	再生可能な音楽ファイルが入っていない。	再生できる音楽ファイルを入れてください。 →*「音楽ファイルについて」(P68)*
	曲が入っていないiPod/USBデバイスを接続した。	曲が入ったiPod/USBデバイスを接続してください。
再生できませんでした。	対応していない音楽ファイルを再生した。	再生できる音楽ファイルを確認してください。
	著作権保護のファイルを再生した。	著作権保護付きのファイルは再生できません。 著作権保護が付いていないものにしてください。
	音楽ファイルが破損している。	正しい音楽ファイルを入れてください。
リージョンコードが違います。 ディスクを確認してください。	本機のリージョン番号と異なるDVDビデオを挿入した。	リージョンコード[2]を含むDVDビデオに交換してください。
このディスクの映像方式(PAL)には対応していません。	PAL方式で記録されたDVDビデオを使用している。	NTSC方式で記録されたDVDビデオを使用してください。
このディスクは再生できません。	DVD-VRの読み込みに失敗した。	ディスクを取り出し、再度挿入してください。数回試して正常に動作しない場合は、ディスクに何らかの異常がある可能性があります。

「オーディオ機能」のつづき

メッセージ	原因	処置
このSDカードは使用できません。	SDカードの読み込みに失敗した。	SDカードを挿入しなおしてください。
	本機に対応していないSDカードを挿入した。	本機に対応しているSDカードを挿入してください。 →「SDカードの曲を聴く」(P105)
SDカードに書き込みできません。SDカードを確認してください。	SDカードが「Lock」状態になっており、書き込みできない。	SDカードを取り出し、「Lock」を解除してください。
SDカードの空き容量が不足しています。これ以上録音できません。	SDカードの容量がいっぱいになったため、MusicFolderに録音できなくなった。	不要な曲またはプレイリストを消去して、再度録音してください。 →「プレイリストを消去する」(P122)
録音できませんでした。	何らかの原因で録音できない。	別の音楽CDに交換してください。
		別のSDカードに交換してください。
CD録音中のため、SD内のビデオは再生できません。	MusicFolderに録音中。	録音が終わってからSDカードの動画をご覧ください。

■ テレビ機能

メッセージ	原因	処置
放送局が登録されていません。ホームCHスキャンを実行してください	ホームCHに放送局が登録されていない。	ホームCHスキャンを実行して放送局を登録してください。 →「ホームCHスキャンを行う」(P157)
放送局が登録されていませんドライブCHスキャンを実行してください	ドライブCHに放送局が登録されていない。	ドライブCHスキャンを実行して放送局を登録してください。 →「ドライブCHスキャンを行う」(P158)

■ ETC機能

別売のETC車載器またはETC2.0車載器を本機に接続したときに表示するメッセージについて説明します。

メッセージ	原因	処置
ETC車載器が未接続のため表示できません。	ETC車載器が接続されていない。 ETC車載器が故障している。	販売店にご相談ください。
ETCカードが挿入されていません。	ETCカードが正しく挿入されていない。 (裏表が逆、前後が逆)	ETCカードをETC車載器に正しく挿入してください。
ETCカードの有効期限が近づいています。 有効期限は○月末です。	ETCカードの有効期限が近づいている。	ETCカードの有効期限が切れる当月から案内します。 有効期限が過ぎる前に新しいETCカードを挿入してください。

故障かな？と思ったら

修理を依頼する前に、以下の内容をチェックしてください。
問題が解決しないときは、*「保証とアフターサービス」(P397)* をお読みになり修理を依頼してください。

■ 共通

症状	原因	処置
操作できない。	走行中は、安全のため一部の操作が制限されます。	走行中は運転者の操作はなるべく控え、安全な場所に車を停めて操作してください。 なお、道路交通法により運転者が走行中に画面を注視することは禁止されています。
操作音が鳴らない。	操作音が[消]になっている。	[案内音・操作音の設定]の「操作音量」を[1～3]に設定してください。 →*「システムの設定」(P343)*
画面が表示されない。	画面消し状態になっている。	安全な場所に停車し、パーキングブレーキをかけて画面消し解除 *(P361)* の操作をしてください。
	車のバッテリー電圧が低下している。	バッテリーを充電または交換してください。
	本機内部が高温になっている。	温度が下がるまでしばらくお待ちください。
モニターの画面が暗い。	モニターの明るさ調整が適切でない。	モニターの明るさの調整をしてください。 →*「画質を調整する」(P359)*
	車のライトがONになっている。	工場出荷時は車のライトをONに設定すると画面が暗くなる仕様です。[表示の設定]で「昼夜色」を[昼固定]に設定すると、常時明るい設定になります。 →*「NAVIの設定」(P315)*
	昼夜色の設定が[夜固定]になっている。	[表示の設定]で「昼夜色」を[自動切換]または[昼固定]に設定してください。 →*「NAVIの設定」(P315)*
通信ができない。	携帯端末によっては、Bluetooth Audio接続中に通信ができないものがあります。	*「Bluetooth機器を選択する」(P338)* の操作でBluetooth Audioの接続を解除してください。
	Bluetooth Audio機能とハンズフリー機能を同じ携帯電話で接続していると、ハンズフリー機能は使用できますが通信できない場合があります。 Bluetooth Audio機能を解除することで改善する場合があります。	
ディスプレイ(タッチパネル)にタップした際、タップ位置がずれる、または反応しない。	販売店にご相談ください。	
通信切断後に操作ができない。	通信の切断処理に時間がかかる場合があります。 復旧しない場合は携帯電話側BluetoothのOFF→ONを試みてください。	
急に通信できなくなった。	端末によっては途中で通信できなくなる場合があります。 携帯電話側のBluetoothをOFF→ONにすることで復帰する場合があります。	
通話相手に自分の声が聞こえない。	ミュート設定になっている。	ミュート設定をOFFにしてください。 (通話画面の右下にミュート設定ボタンがあります)→*「音量を調整する」(P296)*
	外部マイクの設定になっている。	別売の外部マイクをご利用でない場合は、[内蔵マイク]に設定してください。 →*「マイクの設定」(P348)*

「共通」のつづき

症状	原因	処置
電話帳の表示が携帯電話と異なる。	携帯電話から送られてくる情報によっては情報が正しく表示されない場合があります。 電話帳画面の[同期しない]→[同期する]と切り換えると正しく表示される場合があります。→*「電話帳や履歴を同期する」(P290)*	
無償地図更新の登録受付先が分からない。	OpenInfoに登録していただく必要があります。 詳細は下記ホームページへアクセスしてください。 http://www.MitsubishiElectric.co.jp/openinfo なお、ホームページでの登録･申請期限は2024年7月31日までとなります。	
Bluetooth機器の登録ができない。	機器によっては登録できない場合があります。 動作確認済みの機種は三菱電機のホームページに掲載しています。	
ガイド線とリアカメラ映像が同時に表示されない。	ガイド線とリアカメラ映像は別々に表示する仕様となっています。 そのため、表示タイミングにズレが生じることがありますが、故障ではありません。	

■ ナビゲーション機能

症状	原因	処置
自車マークの表示位置が正しく表示されない。	人工衛星からでている電波信号に問題がある。	GPS受信状態でしばらく走行してください。
	フェリーなどで移動した。	
	駐車場などの方向転換用ターンテーブルにて方向転換した。	
	車速の学習のレベルが低い。	高速道路のような場所で加減速せずに一定速度でしばらく走行してください。
自車マークに 点線囲み表示される。	車速信号が取れていない。	車速信号取り直し作業が必要です。 詳しくは販売店にお問い合わせください。
GPSが受信できない。	取り付け直後で自車位置計算に時間がかかる。	見晴らしのいい場所で最大20分位待ってください。
	GPSアンテナ付近のウィンドガラスに鏡面タイプのフィルムやカーボン含有の遮光フィルムを貼っている。	GPSアンテナを移設、またはフィルムをはがしてください。
	他のアンテナが近くにある。	GPSアンテナまたは他のアンテナを移設してください。
	GPSアンテナ上にものをのせている。	GPSアンテナ上にあるものを取り除いてください。
	GPSアンテナを上下逆に設置している。	取付要領書を確認し、正しく設置してください。
	GPSアンテナを周囲が板金で覆われた場所に設置している。	周囲が板金で覆われていない場所にGPSアンテナを設置してください。
	GPSアンテナのコネクターを本機に接続していない。または、正しく接続されていない。	取付要領書を確認し、正しく接続してください。

次のページにつづく

「ナビゲーション機能」のつづき

症状	原因	処置
走行中、一部の地図が表示されない。	詳細な地図を表示しているときに速い速度で移動すると、一部の地図が表示できない場合があります。 地図の縮尺を広域に変更することで、改善する場合があります。	
渋滞線/アイコン類が表示されない。	自車移動や縮尺変更、地図向き変更などで改善する場合があります。	
路線名称が表示されない。	新規開通道路の制約事項として道路名称を表示できない場合があります。	
探索完了画面でルートの表示が点滅する。	ルート探索完了ごとに再表示するため点滅することがありますが、故障ではありません。	
道路の表示が途切れる。	地図の縮尺を広域にしていくと国道や高速道路など主要道路以外の道路データを間引くため、道路の表示が途切れることがあります。 必要に応じて地図の縮尺を詳細にしていただくことで改善します。	
メニューの操作ができない。	安全のため、走行中はメニュー操作ができない場合がある。	安全なところに停車しパーキングブレーキを引いて操作してください。
	エンジンスイッチをACCまたはONにした直後は、データ読み込みのため、地図画面表示後すぐに使えない機能がある。	読み込み完了までしばらくお待ちください。
音声による案内がない。	ナビ音量が[消]になっている。	[案内音・操作音の設定]の「案内音量」を[1～7]に設定してください。 →*「システムの設定」(P343)*
ルート探索を繰り返す。	MusicFolderに録音中は探索が遅くなるため、ルート探索完了時にはすでに案内点を過ぎている場合があります。 録音を停止することで改善する場合があります。	
突然ルートが変わる。	自動更新をONにしていると、最適なルートが見つかった段階で案内を開始するため、直前でルートが変わる場合があります。	
VICS情報が受信できない。	VICS情報がまだ受信できていない。	見晴らしのいい場所で、しばらくお待ちください。
	本機にラジオアンテナ(車両側のAM/FM用アンテナプラグ)が正しく接続されていない。	付属の取付要領書を確認し、正しく接続してください。
	パワーアンテナ設定が[手動]になっている。	[パワーアンテナの設定]を[自動]にしてください。 →*「システムの設定」(P343)*
ETC2.0の機能で、受信していない情報が表示される。	一定の条件を満たした情報のみ自動的に表示します。 手動で表示するとすべての情報を表示できますので、自動表示されていない情報が表示される場合があります。	
料金表示が実際と異なる。	各種割り引き表示には対応しておりません。 また、ルートによっては料金が異なる場合があります。	

■ オーディオ機能

症状	原因	処置
オーディオの音がでない/音が小さい。	音量が最小になっている。	音量を調節してください。
	バランス/フェーダーが片寄っている。	バランス/フェーダーを調整してください。 →*「音質の設定を変更する」(P48)*
	「Audio OFF」になっている。	「Audio ON」にしてください。 →*「オーディオ機能がOFFのとき」(P62)*
ラジオの受信感度が悪い。	アンテナが格納されている。	アンテナを立ててください。
	アンテナ電源端子が接続されていない。	パワーアンテナ車の場合は接続してください。
	パワーアンテナ設定が[手動]になっている。	[パワーアンテナの設定]を[自動]にしてください。 →*「システムの設定」(P343)*
ワイドFMの90.1MHz以上の受信感度が悪い。	車両の状況により90.1MHz以上が受信できない場合があります。	
ディスク再生ができない。	ディスクが裏向きに挿入されている。	レーベル面を上にして挿入してください。
	ディスクが結露している。	しばらくたってから挿入してください。
	ディスクが汚れている。	ディスクをクリーニングしてください。
作成したディスクが再生できない。	ディスク作成時の設定がディスクアットワンスになっているかご確認ください。ディスクアットワンス以外の場合は再生できないまたは音飛びする場合があります。	
USBデバイスを認識しない。	USBデバイスによっては再生できない場合があります。 USBデバイスを一度取り外し、再度接続してください。 それでも認識しない場合は本機でご使用になれないUSBデバイスです。	
再生できないファイルがある。	ファイルによっては再生できないものがあります。 対応ファイルフォーマットを確認してください。	
音楽再生が途中で途切れる。	CDの挿入後[録音する]をタップするとSDカードに録音しながらの再生(追いかけ再生)が始まります。 このように同時に録音と再生を行っている場合、音楽再生が途中で数秒間途切れることがあります。 録音をしていなければ音楽再生が途切れることはありません。	
録音できない。 MusicFolderの再生ができない。 MusicFolderの編集ができない。	何らかの原因でSDカードにアクセスできない可能性がありますので、SDカードを取り出し、再度挿入してください。 または、SDカードに記録されているデータが破損している可能性があります。データが破損していると、録音や再生、編集ができません。 この場合、データの復旧ができないためSDカードを本機で初期化してください。	
AVRCPのバージョンに対応しているがデバイス側の操作ができない。	機器によっては操作できない機能があります。	
Bluetooth Audio再生時、正しい情報が表示されない。	機器によっては表示するための情報を取得できないものがあります。	
iPodが正しく動作しない。	バッテリーの残量が少ない状態で接続すると、iPod起動時に正しく動作しない場合があります。	
Gracenoteデータベースバージョンが表示されない。	Gracenoteデータベースの更新を中断したままになっている。	Gracenoteデータベースの更新を行ってください。→*「GracenoteデータベースをSDカードで更新する」(P86)*
曲が送り続けられる。	SDカードが読めなくなった。	SDカードを一度抜き取り、再度挿入してください。

■ テレビ機能

症状	原因	処置
受信できない。	アンテナケーブルの接続不良。	取付要領書に従い正しく配線してください。
TV放送が映らない。 映像が乱れる。	TV放送の放送エリア内ではない。	TV放送は、ある程度受信エリアが限られます。また受信障害のある環境では、放送エリア内でも受信できない場合もあります。
	専用アンテナを使用していない。	専用アンテナをご使用ください。
番組表が表示されない。	番組表が取得できていない。	本機を起動後、最初に番組表を表示するときは、番組データ受信に時間がかかることがあります。 地上デジタルTV放送の場合、視聴していない放送局は番組表に情報が表示されません。 番組データ取得 *(P154)* をすると、番組情報を取得します。
放送局のロゴマークが表示されない。	ロゴマークが取得できていない。	TV放送の各放送局を一定時間受信していると、放送局のロゴマークが表示されます。
字幕や文字スーパーがでない。	「字幕設定」が[字幕なし]に設定されている。	[視聴設定]の「字幕設定」で[第1言語]または[第2言語]に設定してください。 →*「TVの設定」(P355)*
	見ている番組が字幕や文字スーパーがない番組である。	字幕や文字スーパーのある番組を見てください。字幕や文字スーパーのある番組はロングバナーにアイコンが表示されます。 →*「記号について」(P153)*
番組内容が変更される。	ワンセグとフルセグで番組内容が異なる放送を受信している。	「自動ワンセグ切換」をOFFに設定してください。 →*「フルセグとワンセグを切り換える」(P162)*

車両のバッテリー交換を行ったら

車両のバッテリーを交換すると一部メモリーが消去されます。

例：設定したルート
（設定した目的地や経由地は保持されます。）

お知らせ

- *「セキュリティロックの設定」(P346)* を行っていた場合、起動後パスワードを入力するまで使用できません。
- 起動時のパスワード入力を3回失敗するとカーナビ機能がロックされます。このときは、ACC OFF→ONを行い再度パスワードを入力してください。

用語解説

ナビ関連用語

ナビに関する用語を説明します。

細街路
道幅の狭い一部の道路。縮尺100m以下の地図で表示できます。
走行すると表示されなくなりますが故障ではありません。

市街地地図 *(→P204)*
縮尺10/25/50mで表示されるビルや家の形まではっきりと見える地図です。

自車
本機を装着しているお客さまのお車のことです。

ジャイロセンサー
車の進行方向を調べる部品です。

車速センサー
車の走行距離を調べる部品です。

スマートIC
スマートIC（スマートインターチェンジ）は、ETC車載器またはETC2.0車載器装着車に限定したインターチェンジで、高速道路の本線・サービスエリア・パーキングエリアなどに設置されたインターチェンジです。

センシングリルート
ルート案内時、故意にルートを外れたとナビが判断した場合に元のルートに戻るリルートではなく、その時点での最適と思われるルートを案内する機能です。

走行軌跡
地図には、自車が走ってきた道に印（点線）がつきます。この印（点線）を走行軌跡と言います。

測位
人工衛星からの電波を受信して、その情報を元に自車の位置を割り出すことを言います。

マップマッチング
実際に走行している道路から外れた位置に自車位置マークが表示されるなど、地図上で誤差が生じることがあります。マップマッチングは、走行軌跡と地図をコンピューターで照合してずれを補正し、自動的に自車位置マークを道路上に表示させる機能です。

ランドマーク *(→P181)*
お店や施設を、地図上で見やすくするために絵で表した目印です。

ETC2.0 *(→P271)*
ETC2.0は従来のETCの機能であるノンストップ自動料金収受システムに加え、渋滞回避や安全運転支援サービスなどの総称です。

GNSS
GNSSは、Global Navigation Satellite System（全地球測位システム）の略称です。米国が開発運用している人工衛星「GPS」の他に、ロシアの「GLONASS（グロナス）」、日本の「QZS（準天頂衛星）」などを利用した測位システムの総称です。

GPS *(→P175)*
GPSは、Global Positioning System（グローバル・ポジショニング・システム）の略称です。GPSは、米国が開発運用しているシステムで、高度約21,000kmの宇宙空間で、周回しているGPS衛星から地上に放射される電波を受信し、現在位置を知ることができるシステムです。

次のページにつづく

VICS（ビックス）
VICSは、Vehicle Information and Communication System（道路交通情報通信システム）の略称です。VICSレシーバーセットを装着すると、事故や工事の情報、渋滞状況や主要路線の区間旅行時間、駐車場の空き情報を得ることができます。

Wi-Fi
Wi-FiはWireless Fidelity（無線LAN）の略称です。
スマートフォンやタブレットなどを無線でLAN（ローカルエリアネットワーク）接続する技術です。

3Dリアルジャンクション *（→P202）*
高速道路の分岐点が近づくと、3Dの静止画面で実際の分岐のしかたや行き先、ジャンクション名などをリアルに表示します。

オーディオ関連用語

オーディオに関する用語を説明します。

追いかけ再生
音楽CDを録音中にすでに録音済みの曲を頭から再生します。
その間も録音はつづけられます。

プレイリスト
MusicFolderに音楽CDの曲を録音すると、アルバムごとに格納される場所が自動的に作成されます。その場所のことをプレイリストと言います。

ID3タグ *（→P70）*
MP3ファイルの終わりに、曲名/アーティスト名/アルバム名/製作年度/コメント/音楽ジャンルを128バイトの固定の長さにし、ファイルとして格納しています。

MusicFolder *（→P117）*
挿入した音楽CDの曲を、SDカードに録音する機能です。

Sound Settings関連用語

音質調整に関する用語を説明します。

アジャスタブルFIRグラフィックイコライザー
現在イコライザーの主流となっているIIR（無限インパルス応答）方式は、調整は容易ですが演算回数が多く演算誤差が蓄積されるため音質が著しく劣化します。
一方FIR（有限インパルス応答）方式は、演算回数が少なく音質劣化は最小限に抑えますが、任意の周波数ポイントでの個別調整が難しいという特性があり、イコライザーへの使用は困難でした。
「アジャスタブルFIRグラフィックイコライザー」は、調整時は40bitIIR方式で演算し、再生時には一旦64bit演算コアに高精度演算変換をした後、さらにFIR演算方式に変換するため、容易な調整操作と高音質の両立を実現しています。

アジャスタブルFIRクロスオーバーネットワーク
スピーカーユニットごとに再生周波数帯域や音量バランスを任意に設定できるのが、クロスオーバーネットワークです。
この機能も「アジャスタブルFIRグラフィックイコライザー」と同一の信号処理によって実現されており、64bit演算コアの高精度演算をFIR演算に変換することで、音質を飛躍的に高めました。

イコライザー
周波数特性を調節することができる装置や機能のことを言います。

音像
スピーカーから出力された音で再現されるボーカル、楽器などの位置や輪郭を言います。

音場
スピーカーから出力された音で再現される演奏状況や空間を言います。

カットオフ周波数
ハイパスフィルターやローパスフィルターで減衰させたポイントの周波数を言います。

クロスオーバー
クロスオーバーネットワークとも言い、2Wayや3Wayスピーカーで再生周波数帯域を分割する機能や装置のことを言います。

クロスオーバー周波数
クロスオーバーネットワークで分割された周波数帯域の境目を言います。

ゲイン
電気回路の増幅器によって電気信号を増幅すること、またはその増幅の値のことを言います。

スロープ
ハイパスフィルターやローパスフィルターでの減衰度合いを言います。
1オクターブあたり何デシベル落ちるかを設定するもので、マイナスの値が大きいほど急激に減衰し小さいほど緩やかに減衰します。

タイムアライメント
各スピーカーからリスニングポジションまでの音の到達時間を補正する機能のことを言います。
この機能を使用することで、中央で聴くことができない車の中で音の聴こえるタイミングを合わせることができます。

ハイパスフィルター
ローカットフィルターとも言い、高い再生周波数帯域を持つスピーカーに対して低い周波数をカットする装置または機能のことを言います。

パッシブクロスオーバーネットワーク
アンプ（本機または別売の外部アンプ）とスピーカーとの間に設置するもので、各スピーカーが持っている再生周波数帯域に分割した信号を送り込む装置（コイル、コンデンサなど）のことを言います。

フルレンジスピーカー
高域から低域までの周波数帯域を1つのユニットでカバーするスピーカーのことを言います。実際には音楽CDの周波数帯域をすべてカバーすることが難しいため、2Wayや3Wayなどのスピーカーを使用することが一般的とされています。

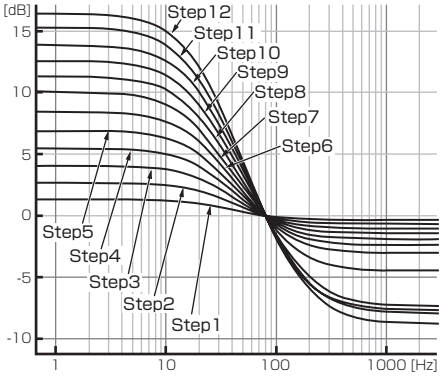
次のページにつづく

マルチアンプシステム
2Wayや3Wayなどで用いられる方法で、高音/中音/低音のそれぞれの音域に対して、専用のアンプを接続し動作させるシステムです。

リスニングポジション
音を最適に聴く位置のことを言います。

ローパスフィルター
ハイカットフィルターとも言い、低い再生周波数帯域を持つスピーカーに対して高い周波数をカットする装置または機能のことを言います。

ローブースト
低域だけを持ち上げる機能のことを言います。



表示	特性 (dB/oct)
Step 0	Flat
Step 1	0.5
Step 2	1.0
Step 3	1.5
Step 4	2.0
Step 5	2.5
Step 6	3.0
Step 7	3.5
Step 8	4.0
Step 9	4.5
Step 10	5.0
Step 11	5.5
Step 12	6.0

FIRフィルター
有限インパルス応答方式のデジタルフィルターです。
任意の周波数ポイントでの個別調整には向きませんが、演算誤差が蓄積されないため、音質劣化を最小限に抑えることができます。

IIRフィルター
無限インパルス応答方式のデジタルフィルターです。任意の周波数ポイントでの個別調整が容易に行える反面、演算誤差が蓄積されるためFIRフィルターと比べると音質が劣化する傾向にあります。

2Wayスピーカー
ツィーターとウーファーなど2つのユニットで構成されるスピーカーです。2つのユニットを組み合わせることで高域と低域をカバーすることが可能となります。
2つのスピーカーに分かれたセパレートタイプや1つのスピーカーに2つのユニットが装着されたコアキシャルタイプがあります。

3Wayスピーカー
ツィーターとミッドレンジ、ウーファーと3つのユニットで構成されるスピーカーです。3つのユニットを組み合わせることで高域、中域、低域をカバーすることが可能となります。
2Wayよりもそれぞれのスピーカーの特性を活かすことができるため、余裕を持って動作させることができます。

DVDビデオ関連用語

DVDビデオに関する用語を説明します。

言語コード *(→P328)*
DVDビデオを再生するときに設定する各言語のコード。

タイトル
DVDビデオにはいくつかの大きな区切りが設定されており、その1つの区切りをタイトルと呼びます。また、各タイトルに設定された番号をタイトル番号と呼びます。

チャプター
各タイトルにはさらにいくつかの区切りが設定されており、その1つの区切りをチャプターと呼びます。また、各チャプターに設定された番号をチャプター番号と呼びます。

続き再生
ビデオ再生中に停止などで再生を中断後、再度再生したときに同じ場面から再生を開始する機能です。レジューム再生とも呼びます。
※ 続き再生ができるときは ▶ が点滅し、できないときは ■ が表示されます。

ドルビーデジタル
ドルビー社の開発したデジタル音声の圧縮技術。

マルチアングル
1つの場面のアングルを変えて見ることができる機能です。
※ マルチアングル対応のDVDビデオのパッケージには 3 が記載されています。

レターボックス画面
ワイドソフトを4:3の画面で再生したときに、上下に黒い帯を入れた状態で再生する画面。ビデオのパッケージに 16:9 LB と表示されているワイドソフトを4:3の画面で再生するとレターボックス画面で表示されます。

ワイドソフト
ワイドテレビ（横16:縦9）で再生するように画像を16:9で収録したソフト。

CPRM
記録型DVDディスクなどに使われている著作権保護技術のこと。

DTS Digital Surround
デジタルシアターシステムズ社の開発したデジタル音声圧縮の技術。DVD-VIDEOではオプション規格のため必ず収録されているとは限りません。

MPEG
画像（動画）圧縮の国際標準フォーマット。

NTSC
カラーテレビの方式。
日本ではNTSC方式が採用されており、本機もNTSC方式専用となっています。他のテレビ方式（PAL方式,SECAM方式）で記録されたビデオは再生できません。

（リニア）PCM
音楽CDなどに使用されている音楽記録方式。

テレビ関連用語

本書で説明するテレビ機能の用語について説明します。

エリアCH
位置情報を取得し、そのエリア内で見ることができる放送局を自動的に登録しています。必ずしも受信状態が良い放送局とは限りません。

ドライブCH
旅行先など（一時的に滞在する地域）で放送局を登録するためにあります。

フルセグ
家庭用の地上デジタルTV放送のことで、ハイビジョン放送（HDTV）がご覧いただけます。1つのチャンネルを13個のセグメントに分割し、そのうち12個のセグメントを使用しています。本書では「フルセグ」と表現しています。

放送モード
本書では、「フルセグ」と「ワンセグ」の総称を「放送モード」と表記しています。

ホームCH
お住まいの地域（長期的に滞在する地域）の放送局を登録するためにあります。

マルチ編成
1つのチャンネルで複数のテレビ番組を放送できるサービスです。

リモコン番号
放送局ごとに決められているリモコンのボタン用の番号です。本機では、画面に表示します。

ワンセグ
携帯電話やカーナビなどの移動端末向け地上デジタルTV放送のことです。
1つのチャンネルを13個のセグメントに分割し、そのうち1つのセグメントを使用していることから、「1セグ＝ワンセグ」と呼ばれています。

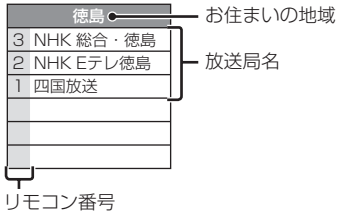
CHモード
各用途に応じて、放送局を登録する「ホームCH」、「ドライブCH」、「エリアCH」の総称を本書では「CHモード」と表記しています。

EPG
Electronic Program Guideの略で、テレビに番組表を表示させるシステムのことです。

TV 放送のチャンネル一覧表

- ホームCHスキャン *(P148,P157)* で登録された地域の放送局とリモコン番号の組み合わせは、以下のようになります。(2021年1月現在) 他の地域の放送を受信されたときは、以下のようにならない場合があります。
- この表の放送局名と画面に表示される放送局名は、一致しない場合があります。

表の見かた



お住まいの地域	北海道(札幌)		北海道(函館)		北海道(旭川)		北海道(帯広)	
チャンネル名	3	NHK総合・札幌	3	NHK総合・函館	3	NHK総合・旭川	3	NHK総合・帯広
	2	NHK Eテレ札幌	2	NHK Eテレ函館	2	NHK Eテレ旭川	2	NHK Eテレ帯広
	1	HBC札幌	1	HBC函館	1	HBC旭川	1	HBC帯広
	5	STV札幌	5	STV函館	5	STV旭川	5	STV帯広
	6	HTB札幌	6	HTB函館	6	HTB旭川	6	HTB帯広
	8	UHB札幌	8	UHB函館	8	UHB旭川	8	UHB帯広
	7	TVH札幌	7	TVH函館	7	TVH旭川	7	TVH帯広

お住まいの地域	北海道(釧路)		北海道(北見)		北海道(室蘭)		青森	
チャンネル名	3	NHK総合・釧路	3	NHK総合・北見	3	NHK総合・室蘭	3	NHK総合・青森
	2	NHK Eテレ釧路	2	NHK Eテレ北見	2	NHK Eテレ室蘭	2	NHK Eテレ青森
	1	HBC釧路	1	HBC北見	1	HBC室蘭	1	RAB青森放送
	5	STV釧路	5	STV北見	5	STV室蘭	6	ATV青森テレビ
	6	HTB釧路	6	HTB北見	6	HTB室蘭	5	青森朝日放送
	8	UHB釧路	8	UHB北見	8	UHB室蘭		
	7	TVH釧路	7	TVH北見	7	TVH室蘭		

お住まいの地域	岩手		秋田		宮城		山形	
チャンネル名	1	NHK総合・盛岡	1	NHK総合・秋田	3	NHK総合・仙台	1	NHK総合・山形
	2	NHK Eテレ盛岡	2	NHK Eテレ秋田	2	NHK Eテレ仙台	2	NHK Eテレ山形
	6	IBCテレビ	4	ABS秋田放送	1	TBCテレビ	4	YBC山形放送
	4	テレビ岩手	8	AKT秋田テレビ	8	仙台放送	5	YTS山形テレビ
	8	めんこいテレビ	5	AAB秋田朝日放送	4	ミヤギテレビ	6	テレビユー山形
	5	岩手朝日テレビ			5	KHB東日本放送	8	さくらんぼテレビ

お住まいの地域	福島		茨城		東京		千葉	
チャンネル名	1	NHK総合・福島	1	NHK総合・水戸	1	NHK総合・東京	1	NHK総合・東京
	2	NHK Eテレ福島	2	NHK Eテレ東京	2	NHK Eテレ東京	2	NHK Eテレ東京
	8	福島テレビ	4	日本テレビ	4	日本テレビ	4	日本テレビ
	4	福島中央テレビ	6	TBS	6	TBS	6	TBS
	5	KFB福島放送	8	フジテレビジョン	8	フジテレビジョン	8	フジテレビジョン
	6	テレビユー福島	5	テレビ朝日	5	テレビ朝日	5	テレビ朝日
			7	テレビ東京	7	テレビ東京	7	テレビ東京
					9	TOKYO MX	3	チバテレビ

次のページにつづく

お住まいの地域	埼玉		群馬		栃木		神奈川	
チャンネル名	1	NHK総合・東京	1	NHK総合・前橋	1	NHK総合・宇都宮	1	NHK総合・東京
	2	NHK Eテレ東京	2	NHK Eテレ東京	2	NHK Eテレ東京	2	NHK Eテレ東京
	4	日本テレビ	4	日本テレビ	4	日本テレビ	4	日本テレビ
	6	TBS	6	TBS	6	TBS	6	TBS
	8	フジテレビジョン	8	フジテレビジョン	8	フジテレビジョン	8	フジテレビジョン
	5	テレビ朝日	5	テレビ朝日	5	テレビ朝日	5	テレビ朝日
	7	テレビ東京	7	テレビ東京	7	テレビ東京	7	テレビ東京
	3	テレ玉	3	群馬テレビ	3	とちぎテレビ	3	tvk

お住まいの地域	山梨		新潟		富山		石川	
チャンネル名	1	NHK総合・甲府	1	NHK総合・新潟	3	NHK総合・富山	1	NHK総合・金沢
	2	NHK Eテレ甲府	2	NHK Eテレ新潟	2	NHK Eテレ富山	2	NHK Eテレ金沢
	4	YBS山梨放送	6	BSN	1	KNB北日本放送	4	テレビ金沢
	6	UTY	8	NST	8	BBT富山テレビ	5	北陸朝日放送
			4	TeNY	6	チューリップテレビ	6	MRO
			5	新潟テレビ21			8	石川テレビ

お住まいの地域	福井		長野		静岡		愛知	
チャンネル名	1	NHK総合・福井	1	NHK総合・長野	1	NHK総合・静岡	3	NHK総合・名古屋
	2	NHK Eテレ福井	2	NHK Eテレ長野	2	NHK Eテレ静岡	2	NHK Eテレ名古屋
	7	FBC	4	テレビ信州	6	SBS	1	東海テレビ
	8	福井テレビ	5	abn長野朝日放送	8	テレビ静岡	5	CBCテレビ
			6	SBC信越放送	4	Daiichi-TV	6	メ～テレ
			8	NBS長野放送	5	静岡朝日テレビ	4	中京テレビ
							10	テレビ愛知

お住まいの地域	岐阜		三重		大阪		滋賀	
チャンネル名	3	NHK総合・岐阜	3	NHK総合・津	1	NHK総合・大阪	1	NHK総合・大津
	2	NHK Eテレ名古屋	2	NHK Eテレ名古屋	2	NHK Eテレ大阪	2	NHK Eテレ大阪
	1	東海テレビ	1	東海テレビ	4	MBS毎日放送	4	MBS毎日放送
	5	CBCテレビ	5	CBCテレビ	6	ABCテレビ	6	ABCテレビ
	6	メ～テレ	6	メ～テレ	8	関西テレビ	8	関西テレビ
	4	中京テレビ	4	中京テレビ	10	読売テレビ	10	読売テレビ
	8	ぎふチャン	7	三重テレビ	7	テレビ大阪	3	BBCびわ湖放送

お住まいの地域	京都		和歌山		奈良		兵庫	
チャンネル名	1	NHK総合・京都	1	NHK総合・和歌山	1	NHK総合・奈良	1	NHK総合・神戸
	2	NHK Eテレ大阪	2	NHK Eテレ大阪	2	NHK Eテレ大阪	2	NHK Eテレ大阪
	4	MBS毎日放送	4	MBS毎日放送	4	MBS毎日放送	4	MBS毎日放送
	6	ABCテレビ	6	ABCテレビ	6	ABCテレビ	6	ABCテレビ
	8	関西テレビ	8	関西テレビ	8	関西テレビ	8	関西テレビ
	10	読売テレビ	10	読売テレビ	10	読売テレビ	10	読売テレビ
	5	KBS京都	5	テレビ和歌山	9	奈良テレビ	3	サンテレビ

お住まいの地域	広島		鳥取		島根		山口	
チャンネル名	1	NHK総合・広島	3	NHK総合・鳥取	3	NHK総合・松江	1	NHK総合・山口
	2	NHK Eテレ広島	2	NHK Eテレ鳥取	2	NHK Eテレ松江	2	NHK Eテレ山口
	3	RCCテレビ	8	さんいん中央テレビ	8	さんいん中央テレビ	4	KRY山口放送
	4	広島テレビ	6	BSSテレビ	6	BSSテレビ	3	tysテレビ山口
	5	広島ホームテレビ	1	日本海テレビ	1	日本海テレビ	5	yab山口朝日
	8	TSS						

お住まいの地域	岡山		香川		徳島		高知	
チャンネル名	1	NHK総合・岡山	1	NHK総合・高松	3	NHK総合・徳島	1	NHK総合・高知
	2	NHK Eテレ岡山	2	NHK Eテレ高松	2	NHK Eテレ徳島	2	NHK Eテレ高知
	4	RNC西日本テレビ	4	RNC西日本テレビ	1	四国放送	4	高知放送
	5	KSB瀬戸内海放送	5	KSB瀬戸内海放送			6	テレビ高知
	6	RSKテレビ	6	RSKテレビ			8	さんさんテレビ
	7	TSCテレビせとうち	7	TSCテレビせとうち				
	8	OHKテレビ	8	OHKテレビ				

お住まいの地域	愛媛		福岡		佐賀		長崎	
チャンネル名	1	NHK総合・松山	3	NHK総合・福岡	1	NHK総合・佐賀	1	NHK総合・長崎
	2	NHK Eテレ松山	3	NHK総合・北九州	2	NHK Eテレ佐賀	2	NHK Eテレ長崎
	4	南海放送	2	NHK Eテレ福岡	3	STSサガテレビ	3	NBC長崎放送
	5	愛媛朝日	2	NHK Eテレ北九州			8	KTNテレビ長崎
	6	あいテレビ	1	KBC九州朝日放送			5	NCC長崎文化放送
	8	テレビ愛媛	4	RKB毎日放送			4	NIB長崎国際テレビ
			5	FBS福岡放送				
			7	TVQ九州放送				
			8	TNCテレビ西日本				

お住まいの地域	熊本		大分		宮崎		鹿児島	
チャンネル名	1	NHK総合・熊本	1	NHK総合・大分	1	NHK総合・宮崎	3	NHK総合・鹿児島
	2	NHK Eテレ熊本	2	NHK Eテレ大分	2	NHK Eテレ宮崎	2	NHK Eテレ鹿児島
	3	RKK熊本放送	3	OBS大分放送	6	MRT宮崎放送	1	MBC南日本放送
	8	TKUテレビ熊本	4	TOSテレビ大分	3	UMKテレビ宮崎	8	KTS鹿児島テレビ
	4	KKTくまもと県民	5	OAB大分朝日放送			5	KKB鹿児島放送
	5	KAB熊本朝日放送					4	KYT鹿児島読売TV

お住まいの地域	沖縄	
チャンネル名	1	NHK総合・沖縄
	2	NHKEテレ沖縄
	3	RBCテレビ
	5	QAB琉球朝日放送
	8	沖縄テレビ（OTV）

その他の機器への接続について

機器やケーブルの仕様および型番は2021年1月現在のものを記載しております。仕様および型番は予告なく変更されることがあります。本書の記載内容と異なる場合がございますがご容赦ください。

ETC車載器	三菱電機製ナビゲーション接続用ETC車載器 ※ ETC車載器のみ接続する場合は接続ケーブル（EP-9CN9T）を使用します。 ※ VICSと同時接続する場合は接続ケーブル（LE-90BEC-7L）を使用します。
ETC2.0車載器	三菱電機製ETC2.0車載器 ※ 接続ケーブル（LE-64FF-2SSまたはEP-9CN18）を使用します。
ETC2.0車載器 （光VICS対応）	三菱電機製ETC2.0車載器（光VICS対応） ※ 接続ケーブル（LE-68FF-2SS）を使用します。
HUD	三菱電機製HUD（DU-200HU） ※ ETC2.0車載器（光VICS対応）と同時接続する場合は、USB-KIT（KIT-200UH）が必要です。
VICS	光/電波ビーコン受信機（CJ-95H） ※ ETC車載器と同時接続する場合は接続ケーブル（LE-90BEC-7L）を使用します。
リアカメラ	BC-100シリーズ推奨
外部マイク	LE-50MIC

ソフトウェアについて

オープンソースソフトウェア

FreeType
Portions of this software are copyright 1996-2001, 2002, 2003, 2004, 2005, 2006, 2007, 2008, 2009 The FreeType Project (www.freetype.org) . All rights reserved.

LibJPEG
this software is based in part on the work of the Independent JPEG Group

EGL
Copyright © 1991-2000 Silicon Graphics, Inc. All Rights Reserved.
http://oss.sgi.com/projects/FreeB/

ZLib

OpenGLES 2.0
Copyright © 1991-2000 Silicon Graphics, Inc. All Rights Reserved.
http://oss.sgi.com/projects/FreeB/

unicode
Copyright © 1991-2013 Unicode, Inc. All rights reserved.

PowerVR
Copyright © Imagination Technologies Limited.

OpenVG
Copyright © 2008 The Khronos Group Inc.

libFLAC
Copyright © 2004-2009 Josh Coalson, 2011-2014 Xiph.Org Foundation

picojson.h
Copyright 2009-2010 Cybozu Labs, Inc.
Copyright 2011-2014 Kazuho Oku
All rights reserved.

libwebsockets
[program] is based in part on the work of the libwebsockets project (https://libwebsockets.org)
Copyright © 1995, 1996, 1997, and 1998 WIDE Project. All rights reserved.
Copyright © 2001 Bob Trower, Trantor Standard Systems Inc.

Wcecompat

Bitmap Font Generator
BASIC BMFont example implementation with Kerning, for C++ and OpenGL 2.0

This is free and unencumbered software released into the public domain.

Anyone is free to copy, modify, publish, use, compile, sell, or distribute this software, either in source code form or as a compiled binary, for any purpose, commercial or non-commercial, and by any means.

In jurisdictions that recognize copyright laws, the author or authors of this software dedicate any and all copyright interest in the software to the public domain.
We make this dedication for the benefit of the public at large and to the detriment of our heirs and successors. We intend this dedication to be an overt act of relinquishment in perpetuity of all present and future rights to this software under copyright law.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

For more information, please refer to <http://unlicense.org/>

These editors can be used to generate BMFonts:
- http://www.angelcode.com/products/bmfont/ (free, windows)
- http://glyphdesigner.71squared.com/ (commercial, mac os x)
- http://www.n4te.com/hiero/hiero.jnlp (free, java, multiplatform)
- http://slick.cokeandcode.com/demos/hiero.jnlp (free, java, multiplatform)

Some code below based on code snippets from this gamedev posting:

http://www.gamedev.net/topic/330742-quick-tutorial-variable-width-bitmap-fonts/

Although I'm giving this away, I'd appreciate an email with fixes or better code!

aaedev@gmail.com 2012

LZ4
LZ4 - Fast LZ compression algorithm
Copyright © 2011-2014, Yann Collet.
BSD 2-Clause License (http://www.opensource.org/licenses/bsd-license.php)

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

* Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
* Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

libSVM

Copyright © 2000-2014 Chih-Chung Chang and Chih-Jen Lin All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. Neither name of copyright holders nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED.
IN NO EVENT SHALL THE REGENTS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

OpenBLAS

Copyright © 2011-2014, The OpenBLAS Project All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. Neither the name of the OpenBLAS project nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED.
IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES

(INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

LICENSE ISSUES
The OpenSSL toolkit stays under a double license, i.e. both the conditions of the OpenSSL License and the original SSLeay license apply to the toolkit. See below for the actual license texts.

OpenSSL License
Copyright © 1998-2018 The OpenSSL Project. All rights reserved.
Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgment: "This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (http://www.openssl.org/)"
4. The names "OpenSSL Toolkit" and "OpenSSL Project" must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission. For written permission, please contact openssl-core@openssl.org.
5. Products derived from this software may not be called "OpenSSL" nor may "OpenSSL" appear in their names without prior written permission of the OpenSSL Project.
6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following acknowledgment: "This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (http://www.openssl.org/)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT "AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES,
INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED.
IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.
This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com).
This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Original SSLeay License
Copyright © 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com)
All rights reserved.

This package is an SSL implementation written by Eric Young (eay@cryptsoft.com).
The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.
This library is free for commercial and non-commercial use as long as the following conditions are aheared to.
The following conditions apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA, lhash, DES, etc., code; not just the SSL code.
The SSL documentation included with this distribution is covered by the same copyright terms except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).
Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in the code are not to be removed.
If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution as the author of the parts of the library used.
This can be in the form of a textual message at program startup or in documentation (online or textual) provided with the package.
Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement:
   “This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)” The word 'cryptographic' can be left out if the rouines from the library being used are not cryptographic related :-) .
4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from the apps directory (application code) you must include an acknowledgement: "This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com) "

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG “AS IS” AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED.
IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY,
OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The licence and distribution terms for any publically available version or derivative of this code cannot be changed. i.e. this code cannot simply be copied and put under another distribution licence [including the GNU Public Licence.]

オープンソースソフトウェアのソースコード配布について

本製品に組み込まれたソフトウェアは、複数のソフトウェアコンポーネントで構成されており、それぞれに当社または第三者の著作権が存在します。
また、本製品には、以下のオープンソースソフトウェアが搭載されています。

- GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE V2.1（以下、LGPL）に基づき当社に利用許諾されるソフトウェア
- 第三者の著作権が存在し、上記以外の利用許諾条件にて配布されるソフトウェア

これらに基づくソフトウェアに関しては、例えば以下で開示されるライセンス詳細をご参照ください。
http://www.gnu.org/licenses/lgpl-2.1-standalone.html

これらのうち、LGPLの条件により利用許諾されるソフトウェアは、ソースコードの入手、再配布の権利があり、当社は本条件に基づきソースコードを開示します。
また、上記以外のオープンソースソフトウェアについても当社判断によりソースコードを開示する場合があります。
但し、これらは単体で有用であることを期待して開示されますが、「商品性」または「特定の目的についての適合性」についての黙示の保証をしないことを含め、一切の保証はなされません。

本製品に搭載された下記リストに示すオープンソースソフトウェアのソースコードは三菱電機ホームページより入手いただけます。
下記リストに示すソフトウェア以外については、ソースコードの開示対象ではありません。
なお、オープンソースソフトウェアのソースコードの内容に関するお問い合わせはご遠慮ください。

開示対象となるオープンソースソフトウェアリスト

libwebsockets-2.1.0	wcecompat-1.2
openssl-1.1.0i	

Gracenoteサービス

Gracenote, Inc. 提供のCDおよび音楽関連データ:copyright © 2000-present Gracenote. Gracenote Software, copyright © 2000-present Gracenote.
本製品およびサービスには、Gracenote が所有する 1 つまたは複数の特許が適用されます。適用可能な一部のGracenote特許の一覧については、GracenoteのWebサイトをご覧ください。
Gracenote、Gracenote ロゴとロゴタイプ、“Powered by Gracenote” ロゴ、Gracenote MusicID は、米国およびその他の国における Gracenote Inc. の登録商標または商標です。

gracenote

Other

Gracenoteエンドユーザー使用許諾契約書

バージョン20061005

本アプリケーション製品または本デバイス製品には、カリフォルニア州エメリービル市のGracenote,Inc.（以下「Gracenote」）のソフトウェアが含まれています。本アプリケーション製品または本デバイス製品は、Gracenote社のソフトウェア（以下「Gracenoteソフトウェア」）を使用することにより、ディスクやファイルを識別し、さらに名前、アーティスト、トラック、タイトル情報（以下「Gracenoteデータ」）などの音楽関連情報をオンラインサーバーから、或いは製品に実装されたデータベース（以下、総称して「Gracenoteサーバー」）から取得し、さらにその他の機能を実行しています。お客様は、本アプリケーション製品または本デバイス製品の本来、意図されたエンドユーザー向けの機能を使用することによってのみ、Gracenoteデータを使用することができます。

お客様は、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、およびGracenoteサーバーをお客様個人の非営利的目的にのみに使用することに同意するものとします。お客様は、いかなる第３者に対しても、Gracenoteソフトウェアや Gracenoteデータを、譲渡、コピー、転送、または送信しないことに同意するものとします。**お客様は、ここで明示的に許可されていること以外に、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、またはGracenoteサーバーを使用または活用しないことに同意するものとします。**

お客様は、お客様がこれらの制限に違反した場合、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、およびGracenoteサーバーを使用するための非独占的な使用許諾契約が解除されることに同意するものとします。また、お客様の使用許諾契約が解除された場合、お客様はGracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、およびGracenoteサーバーのあらゆる全ての使用を中止することに同意するものとします。Gracenoteは、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、およびGracenoteサーバーの全ての所有権を含む、全ての権利を保有します。いかなる場合においても、Gracenoteは、お客様に対して、お客様が提供する任意の情報に関して、いかなる支払い義務も負うことはないものとします。お客様は、Gracenote,Inc.が直接的にお客様に対して、本契約上の権利をGracenoteとして行使できることに同意するものとします。

Gracenoteのサービスは、統計処理を行う目的で、クエリを調査するために固有の識別子を使用しています。無作為に割り当てられた数字による識別子を使用することにより、Gracenoteサービスを利用しているお客様を認識、特定しないで、クエリを数えられるようにしています。詳細については、Webページ上の、Gracenoteのサービスに関するGracenoteプライバシーポリシーを参照してください。

GracenoteソフトウェアとGracenoteデータの個々の情報は、お客様に対して「現状有姿」のままで提供され、使用許諾が行われるものとします。Gracenoteは、Gracenoteサーバーにおける全てのGracenoteデータの正確性に関して、明示的または黙示的にかかわらず、一切の表明や保証を致しません。
Gracenoteは、妥当な理由があると判断した場合、Gracenoteサーバーからデータを削除したり、データのカテゴリを変更したりする権利を保有するものとします。GracenoteソフトウェアまたはGracenoteサーバーがエラーのない状態であることや、或いはGracenoteソフトウェアまたはGracenoteサーバーの機能が中断されないことの保証は致しません。Gracenoteは、Gracenoteが将来提供する可能性のある、新しく拡張、追加されるデータタイプまたはカテゴリを、お客様に提供する義務を負わないものとします。
また、Gracenoteは、任意の時点でそのサービスを中止できるものとします。

Gracenoteは、市販可能性、特定目的に対する適合性、権利、および非侵害性について、黙示的な保証を含み、これに限らず、明示的または黙示的ないかなる保証もしないものとします。Gracenoteは、お客様によるGracenoteソフトウェアまたは任意のGracenoteサーバーの使用により得られる結果について保証をしないもとのとします。いかなる場合においても、Gracenoteは結果的損害または偶発的損害、或いは利益の損失または収入の損失に対して、一切の責任を負わないものとします。

copyright © 2000-present Gracenote.

地図記号について

※ 以下に説明する地図記号は本書作成時の情報にもとづいて記載しております。
本書に記載していない地図記号や表示されなくなった地図記号がある場合があります。

● 道路・その他

- [青色]高速道路/都市高速/有料道路
- [赤色]一般国道
- [緑色]主要地方道
- [橙色]一般都道府県道
- [灰色]その他の道路
- [水色]水域
- 都道府県界
- JR(市街地地図以外)
- JR(市街地地図のみ)・私鉄

※ 地図色は、ライト、ダーク、ユニバーサルデザインの3種類の設定があります。本記載の道路色は、ライト設定時の一例となります。

● 一般記号

- 一般国道
- 主要地方道
- インターチェンジ
- サービスエリア
- パーキング
- ジャンクション
- 料金所
- ランプ
- スマートインターチェンジ
- 都道府県庁
- 市役所
- 区役所
- 役場・支所・出張所
- その他施設
- 空港
- フェリーターミナル
- 道の駅
- 公園
- 遊園地
- その他娯楽施設他
- 動物園
- 水族館
- 植物園
- 温泉
- サーキット場
- 競輪・競馬・競艇場
- 美術館
- 博物館
- ホール・劇場・文化会館
- イベントホール
- 城跡
- 史跡・名勝
- 神社
- 寺院
- 教会
- タワー・展望台
- 灯台
- 港湾
- 山岳
- 野球場
- 陸上競技場等のスポーツ施設
- ゴルフ場
- スキー場
- キャンプ場
- 海水浴場
- プール
- テニスコート
- ボウリング場
- ヨットハーバー・マリーナ
- 牧場
- 宿泊施設
- 百貨店
- 店舗
- ショッピングセンター
- 飲食店
- ファーストフード
- ガソリンスタンド
- 駐車場
- 学校
- 幼稚園
- 保育園
- 自動車学校
- 病院
- 警察署
- 消防署
- 郵便局
- その他の公共施設
- 銀行
- NTT
- 自衛隊
- 米軍
- 墓地
- 工場
- 発電所
- 都道府県営・市営団地
- ビル
- トンネル
- 信号機

● 主な施設

灯台　スタジアム　テーマパーク　空港　競馬場
城　遊園地　橋　温泉　動物園

● 季節情報

桜　祭　バラ　菊　ボタン
梅　あじさい　コスモス　スイセン　ミズバショウ
ハナショウブ　つばき　ラベンダー　菜の花
藤　つつじ　チューリップ　ハギ
紅葉　しゃくなげ　アヤメ　ハス

● サービスエリア・パーキングエリア情報

レストラン　ファックスコーナー　コインランドリー
スナックコーナー　休憩所　コインシャワー
トイレ　仮眠休憩所　風呂
障害者用トイレ　キャッシュコーナー
インフォメーション　郵便局
ハイウェイ情報ターミナル　ショッピングコーナー

VICS 情報有料放送サービス契約約款

第 1 章　総則

（約款の適用）

第 1 条　一般財団法人道路交通情報通信システムセンター（以下「当センター」といいます。）は、放送法（昭和 25 年法律第 132 号）第 147 条の規定に基づき、この VICS 情報有料放送サービス契約約款（以下「この約款」といいます。）を定め、これにより VICS 情報有料放送サービスを提供します。

（約款の変更）

第 2 条　当センターは、この約款を変更することがあります。この場合には、サービスの提供条件は、変更後の VICS 情報有料放送サービス契約約款によります。

（用語の定義）

第 3 条　この約款においては、次の用語はそれぞれ次の意味で使用します。

（1）　VICS サービス
当センターが自動車を利用中の加入者のために、FM 多重放送局から送信する、道路交通情報の有料放送サービス

（2）　VICS サービス契約
当センターから VICS サービスの提供を受けるための契約

（3）　加入者
当センターと VICS サービス契約を締結した者

（4）　VICS デスクランブラー
FM 多重放送局からのスクランブル化（攪乱）された電波を解読し、放送番組の視聴を可能とするための機器

第 2 章　サービスの種類等

（VICS サービスの種類）

第 4 条　VICS サービスには、次の種類があります。

（1）　文字表示型サービス
文字により道路交通情報を表示する形態のサービス

（2）　簡易図形表示型サービス
簡易図形により道路交通情報を表示する形態のサービス

（3）　地図重畳型サービス
車載機のもつデジタル道路地図上に情報を重畳表示する形態のサービス

（VICS サービスの提供時間）

第 5 条　当センターは、原則として一週間に概ね 120 時間以上の VICS サービスを提供します。

第 3 章　契約

（契約の単位）

第 6 条　当センターは、VICS デスクランブラー 1 台毎に 1 の VICS サービス契約を締結します。

（サービスの提供区域）

第 7 条　VICS サービスの提供区域は、当センターの電波の受信可能な地域（全都道府県の区域で概ね NHK-FM 放送を受信することができる範囲内）とします。ただし、そのサービス提供区域であっても、電波の状況により VICS サービスを利用することができない場合があります。

（契約の成立等）

第 8 条　VICS サービスは、VICS 対応 FM 受信機（VICS デスクランブラーが組み込まれた FM 受信機）を購入したことにより、契約の申込み及び承諾がなされたものとみなし、以後加入者は、継続的にサービスの提供を受けることができるものとします。

（VICS サービスの種類の変更）

第 9 条　加入者は、VICS サービスの種類に対応した VICS 対応 FM 受信機を購入することにより、第 4 条に示す VICS サービスの種類の変更を行うことができます。

（契約上の地位の譲渡又は承継）

第 10 条　加入者は、第三者に対し加入者としての権利の譲渡又は地位の承継を行うことができます。

（加入者が行う契約の解除）

第 11 条　当センターは、次の場合には加入者が VICS サービス契約を解除したものとみなします。

（1）　加入者が VICS デスクランブラーの使用を将来にわたって停止したとき

（2）　加入者の所有する VICS デスクランブラーの使用が不可能となったとき

（当センターが行う契約の解除）

第 12 条

（1）　当センターは、加入者が第 16 条の規定に反する行為を行った場合には、VICS サービス契約を解除することがあります。また、第 17 条の規定に従って、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、VICS サービス契約は、解除されたものと見なされます。

（2）　第 11 条又は第 12 条の規定により、VICS サービス契約が解除された場合であっても、当センターは、VICS サービスの視聴料金の払い戻しをいたしません。

第 4 章　料金

（料金の支払い義務）

第 13 条　加入者は、当センターが提供する VICS サービスの料金として、契約単位ごとに加入時に別表に定める定額料金の支払いを要します。

なお、料金は、加入者が受信機を購入する際に負担していただいております。

第 5 章　保守

（当センターの保守管理責任）

第 14 条　当センターは、当センターが提供する VICS サービスの視聴品質を良好に保持するため、適切な保守管理に努めます。ただし、加入者の設備に起因する視聴品質の劣化に関してはこの限りではありません。

（利用の中止）

第 15 条

（1）　当センターは、放送設備の保守上又は工事上やむを得ないときは、VICS サービスの利用を中止することがあります。

（2）　当センターは、前項の規定により VICS サービスの利用を中止するときは、あらかじめそのことを加入者にお知らせします。

ただし、緊急やむを得ない場合は、この限りではありません。

第 6 章　雑則

（利用に係る加入者の義務）

第 16 条　加入者は、当センターが提供する VICS サービスの放送を再送信又は再配分することはできません。

（免責）

第 17 条

（1）　当センターは、天災、事変、気象などの視聴障害による放送休止、その他当センターの責めに帰すことのできない事由により VICS サービスの視聴が不可能ないし困難となった場合には一切の責任を負いません。

また、利用者は、道路形状が変更した場合等、合理的な事情がある場合には、VICS サービスが一部表示されない場合があることを了承するものとします。

但し、当センターは、当該変更においても、変更後 3 年間、当該変更に対応していない旧デジタル道路地図上でも、VICS サービスが可能な限度で適切に表示されるように、合理的な努力を傾注するものとします。

（2）　VICS サービスは、FM 放送の電波に多重して提供されていますので、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、加入者が当初に購入された受信機による VICS サービスの利用ができなくなります。当センターは、やむを得ない事情があると認める場合には、3 年以上の期間を持って、VICS サービスの「お知らせ」画面等により、加入者に周知のうえ、本放送の伝送方式の変更を行うことがあります。

別表視聴料金

視聴料金：300 円（税抜き）

ただし、車載機購入価格に含まれております。

ニュースリーダーサービス利用規約

三菱電機株式会社（以下「当社」といいます）のニュースリーダーサービス（以下、「本サービス」といいます）は、当社が定めるこの利用規約に従い、当社からお客様に提供されます。お客様が本規約の内容を承諾されない場合、本サービスを利用することはできません。お客様が本サービスの利用を開始された場合は、お客様が本規約を承諾したものとみなされます。

第１条（定義）

本規約で使用する用語の定義は、以下のとおりとします。

1. 「本サービス」とは、株式会社時事通信社（以下、「時事通信社」といいます）から提供されるニュースコンテンツ（以下、「コンテンツ」といいます）をニュース配信サーバーからダウンロードし、本製品と連携して利用できるサービスを意味します。
2. 本製品で本サービスを利用するには、通信機器を介してインターネットに接続する必要があります。本製品の他に通信機器、インターネット回線等、必要なもの全てをお客様の費用と責任において用意いただくものとします。

第２条（知的財産権の保護）

1. 本サービスにより提供される製品、サービス、技術などに関する情報は、産業財産権法・著作権法その他の知的財産権関連法令で保護されております。
2. 当社が本サービスで提供するコンテンツに関する一切の権利は、時事通信社または時事通信社への情報提供者に帰属します。

第３条（禁止行為）

1. お客様は、本サービスを利用するにあたり、または本サービスの利用に関連して次の各号に該当する行為を行ってはならないものとします。
   （1） 当社または第三者の財産権（著作権、商標権等の知的財産権を含む）を侵害する行為
   （2） 当社または第三者に対する誹謗中傷行為、肖像権、プライバシー権等を侵害する行為
   （3） 犯罪に関連する行為
   （4） 公序良俗に反する行為
   （5） 選挙運動、またはこれに類似する行為
   （6） 本サービスを通じて入手した情報の複製、転載、翻訳、翻案、引用、蓄積、頒布、販売、出版、公衆送信（送信可能化を含む）、伝達、放送、口述、展示等
   （7） 当社の事前の承諾を得ることなく本サービスを使用して営業活動、または営利を目的とした情報提供活動を行う行為
   （8） 当社の管理する本サービスその他の業務の運営・維持を妨げ、または当社の信頼を毀損するような行為、もしくはそのおそれのある行為
   （9） 本サービスに関する情報または本サービスを通じて提供される情報を改ざんする行為
   （10）有害なコンピュータープログラム等を送信、または書き込む行為
   （11）法令、条例等に違反する行為、またはそのおそれのある行為
   （12）その他当社が不適切と判断する行為

第４条（サービス内容の変更、停止、終了等）

1. 当社は、お客様への事前の通知なく、本サービスの内容の追加、変更、一部終了等を行うことができるものとします。
2. 当社は、天災、その他の非常事態が発生し、もしくは発生するおそれがあるとき、当社が設置する電気通信設備の障害その他やむを得ない事由により通信の全部を提供できないおそれが生じたとき、または当社の電気通信設備の保守上または工事上等のやむを得ない事由を生じたときは、本サービスの提供を停止することができるものとします。

次のページにつづく

第５条（免責）

1. 本サービスで提供するコンテンツは、作成時点までの信頼できると思われる各種情報やデータに基づいて作成されています。お客様または第三者がコンテンツに関連して損害を被ったとしても、当社、時事通信社および時事通信社への情報提供者は一切責任を負いません。
2. 本サービスで提供するコンテンツの読み上げ機能については、コンテンツの内容によっては不完全な読み上げ（不適切な部分の読み上げ、読み上げ音声が聞き取れない、読み誤りがある等）が行われる場合があります。これは読み上げ機能の能力に起因するものであり、これによってお客様または第三者が損害を被った場合でも、当社は一切の責任を負いません。
3. 利用中に建物内、物陰およびネットワーク接続エリア外の場所等へ移動することによってネットワーク接続できない等により本サービスが利用できない，または更新できず過去の情報を提供する可能性がありますが，当社は一切責任を負いません。
4. 当社は、理由のいかんを問わず、本サービスを利用または利用できなかったことに起因してお客様及び第三者に生じたいかなる損害についても、一切の責任を負わないものとします。

仕様

ナビゲーションユニット		
受信周波数		1575.42MHz
受信方式		パラレル 18チャンネル
受信感度		-145dBm
測位更新時間		約 1 秒
メディア容量		16GB (eMMC)
オーディオ		
アンプ部	最大出力	45W × 4
	適合スピーカーインピーダンス	4 Ω
イコライザー部	10バンドイコライザー	31.5/63/125/250/500/1k/2k/4k/8k/16k Hz 調整幅レベル：± 12dB (1dB/1step)
DVD プレーヤー部	対応ディスク	DVD-VIDEO、DVD-R/RW※1、DVD+R/RW、 CD-DA、 CD-R/RW (MP3、WMA、AAC、WAV フォーマット) ※ 1) VR/CPRM フォーマット対応
	周波数特性	5Hz ～ 20,000Hz (CD-DA)
	S/N	90dB
	全高調波ひずみ率	0.01%以下
FM/AM部	受信周波数範囲	FM：76.0 ～ 95.0MHz AM：522 ～ 1629kHz
	実用感度	FM：12dBf、AM:32dB μ
	S/N	FM：60dB IHF-A、AM:50dB
	左右分離度	FM：20dB (1kHz)
TV部	放送方式	地上デジタル放送方式 (日本)
	受信チャンネル	13 ～ 52ch
	アンテナ	専用アンテナ
MusicFolder部	形式	SD-Audio 規格
	S/N	90dB
	全高調波ひずみ率	0.01%以下
SDカード部	対応容量	最大 2TB (推奨 128GB まで) (SDXC 規格対応 /CPRM 対応)
	対応圧縮音声フォーマット	MP3、WMA、AAC、WAV、FLAC
	S/N	90dB
	全高調波ひずみ率	0.01%以下

次のページにつづく

GPSアンテナ		
防水		防噴流仕様
方式		マイクロストリップ平面アンテナ
モニター		
画面サイズ		8インチWVGA
タッチパネル		静電容量式（Mutual方式）タッチパネル
外部接続		
外部入力	Audio機器など（RCA 1系統）	映像：NTSC 1.0Vp-p　音声：2.0Vrms MAX（1kHz）
外部出力	アンプ用（4ch）	音声：2.1Vrms MAX（1kHz 0dB）
	サブウーファー用（2ch）	音声：1.8Vrms MAX（100Hz 0dB）
	後席モニターなど（RCA 1系統）	映像：NTSC 1.0Vp-p
カメラ入力（RCA 1系統）		映像：NTSC 1.0Vp-p
電源・寸法・質量		
使用電源		DC13.2V（マイナスアース）
最大消費電流		MAX13A
動作温度		-10℃～ +60℃
外形寸法		約 幅200 ×高さ125.4 ×奥行き183.9mm
質量		約3.1kg

- 本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。
- 使用電源が異常に低い場合や高い場合は内部回路保護のため、動作を停止または中断する場合があります。

保証とアフターサービス

■ 保証書について

- この製品には保証書が添付されています。
- 所定事項の記入＜販売店印＞＜お買い上げ日＞および記載内容をお確かめの上、大切に保管してください。
- 万一故障した場合の無償修理期間は、保証書に記載している期間に基づきます。

■ アフターサービスについて

- 調子が悪いときは、まずこの取扱説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

保証期間中の修理は	►	保証書の記載内容に基づいて修理いたします。 詳しくは保証書をご覧ください。
保証期間経過後の修理は	►	修理によって機能が維持できる場合は、お客さまのご要望により有償修理いたします。

- 三菱電機は各機器の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後６年間保有しています。
- 保証期間中の修理など、アフターサービスについて不明な点は、お買い上げ店か弊社代理店、「お客様相談窓口一覧表」に記載されている最寄りのお店もしくは下記三菱電機カーインフォメーションセンターにお申しつけください。

Other

お問い合わせ先　三菱電機カーインフォメーションセンター

フリーダイヤル 0120-182-710

（土・日・祝日・弊社の休日は除く / 9:00 ～ 17:30）

音質調整メモ

プレミアム認証後（プレミアムモード）の音質調整メモは「NR-MZ300 PREMI シリーズ取扱説明書（Tuning Bridge）」に掲載しておりますのでそちらをご活用ください。

お客さまへ

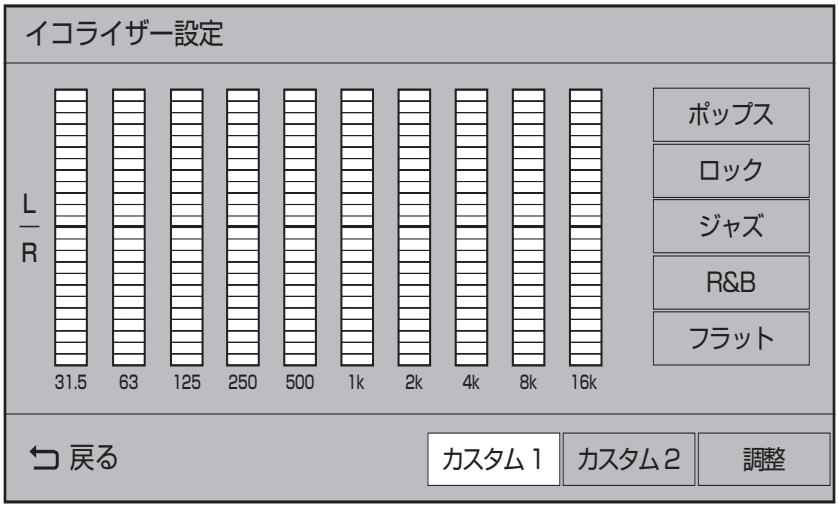
メモを取っておいてください

- **「イコライザー設定」および「イコライザー調整」、「タイムアライメント設定」、「クロスオーバー設定」の内容をメモに取っておいてください。**
- 本紙は大事に保管し、万が一設定内容が消えてしまった場合に確認し、設定してください。

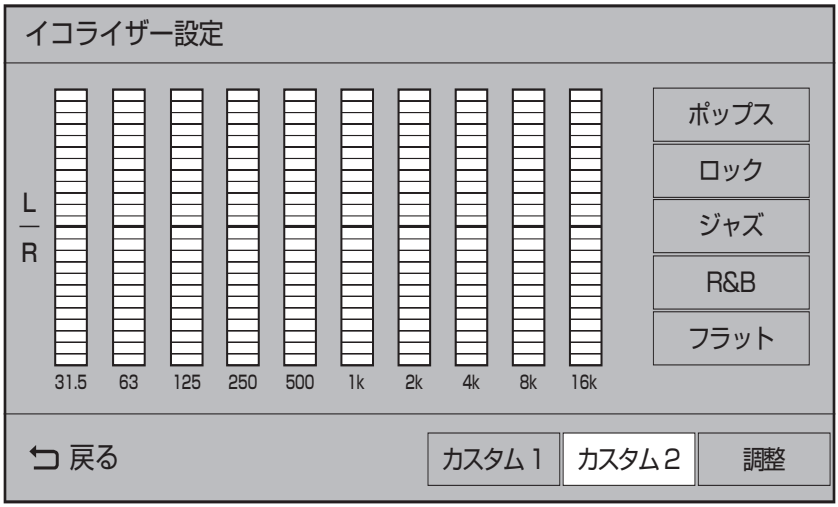
イコライザー設定

オーディオ再生中に、AV キー→ Sound Settings → “イコライザー” の カスタム１ または カスタム２ にタップすると表示する画面です。
イコライザーのレベルを塗りつぶしてください。

カスタム１用



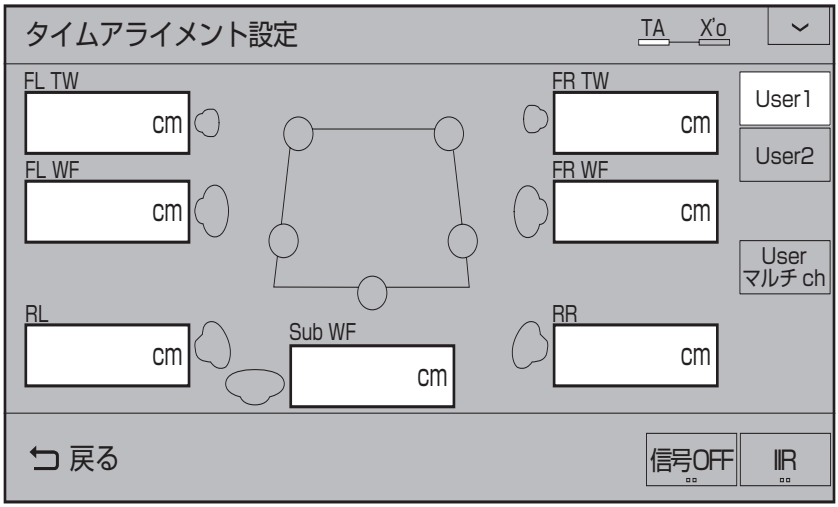
カスタム２用



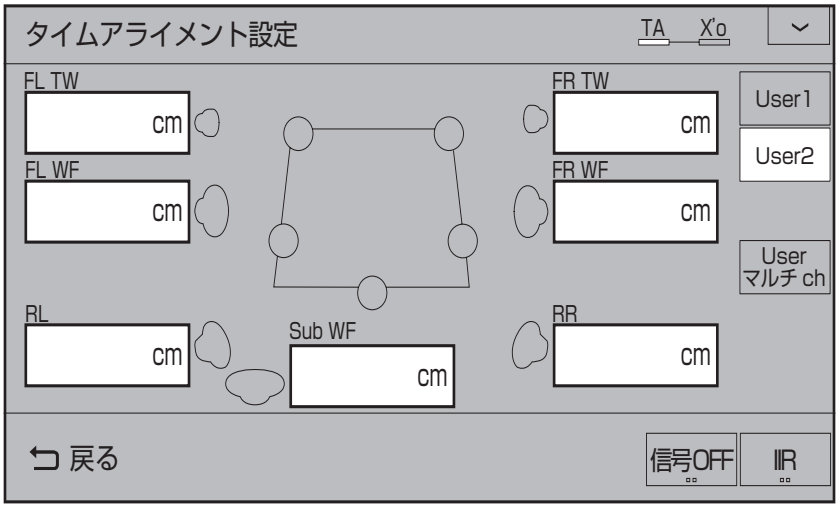
タイムアライメント設定

オーディオ再生中に、 AV キー→ Sound Settings → “サウンドチューニング” の TA/X'oを調整する にタップすると表示する画面です。
各数字を記入してください。

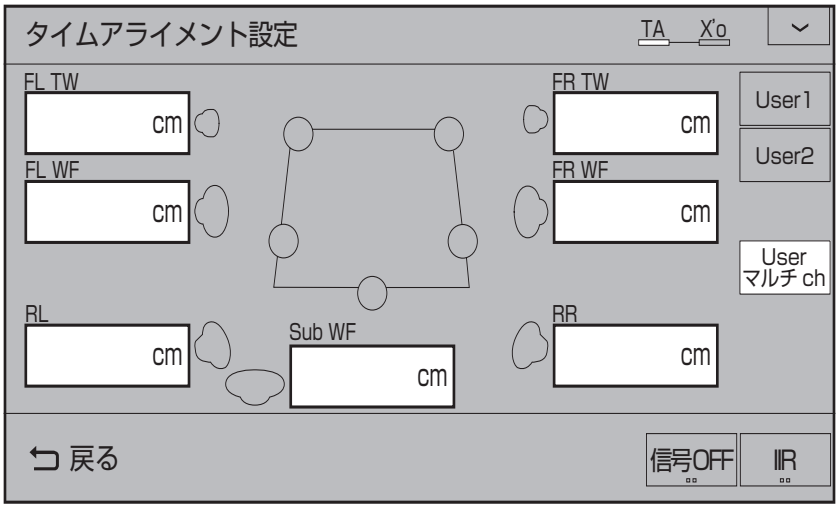
User1 用



User2 用



User マルチ ch 用

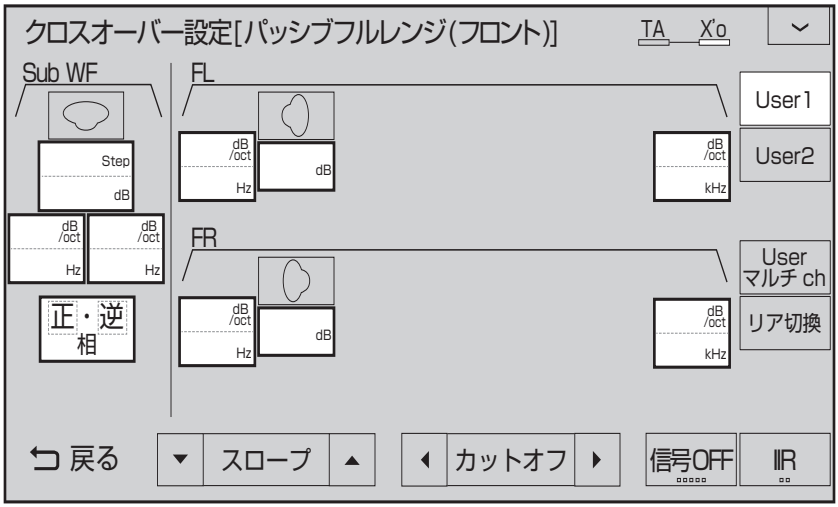


クロスオーバー設定（フロント）

オーディオ再生中に、 AV キー→ Sound Settings → “サウンドチューニング” の TA/X'oを調整する にタップし、画面を左にスライドすると表示される画面です。
各数字を記入してください。

■ フロント [パッシブフルレンジ] の場合

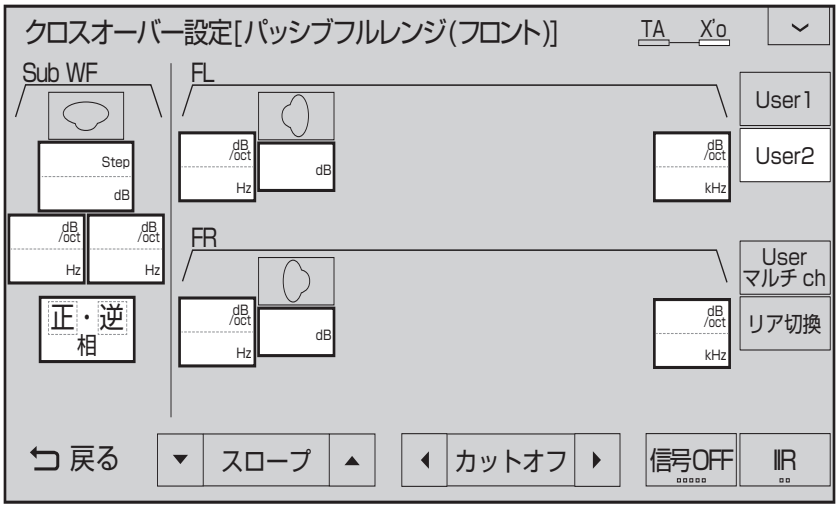
User1 用



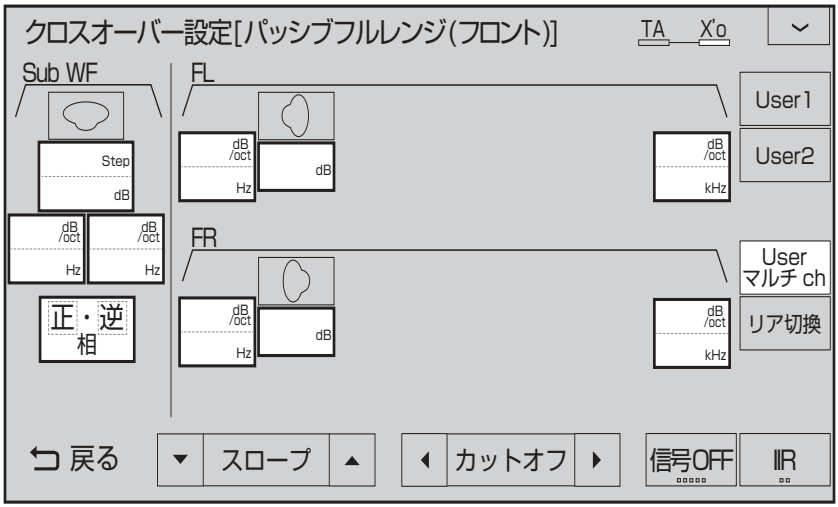
次のページにつづく

Other

User2用

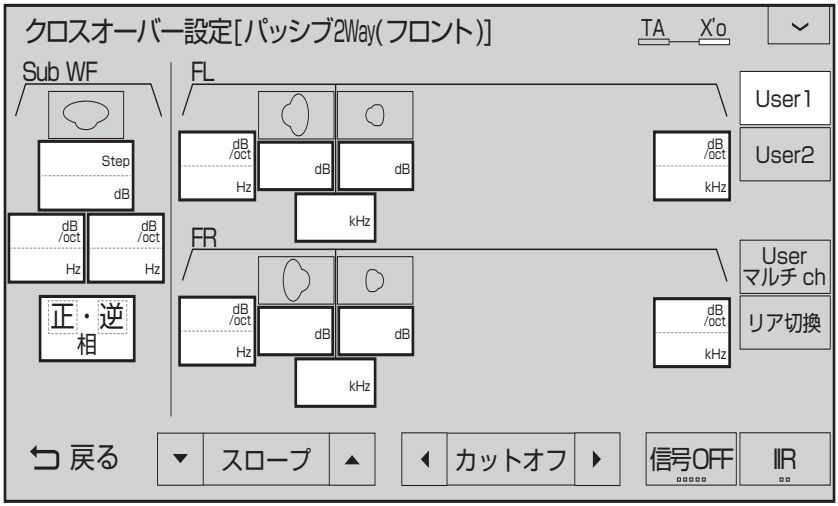


User マルチ ch 用

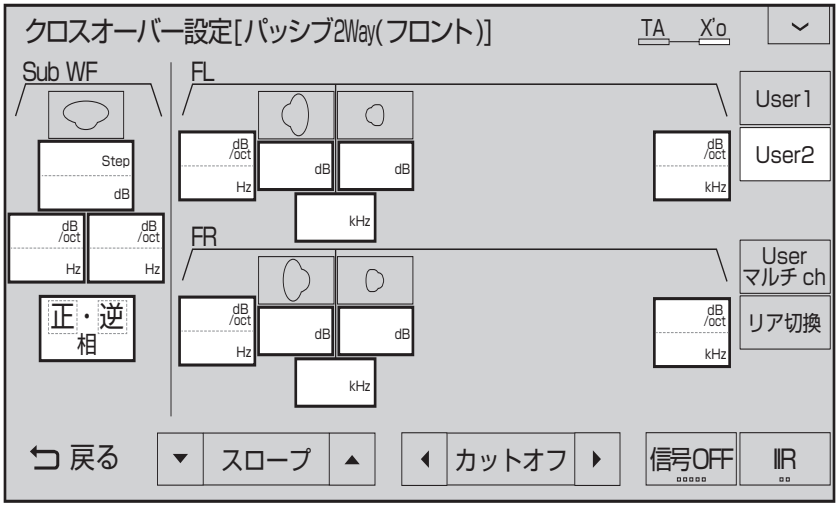


■ フロント [パッシブ 2Way] の場合

User1 用

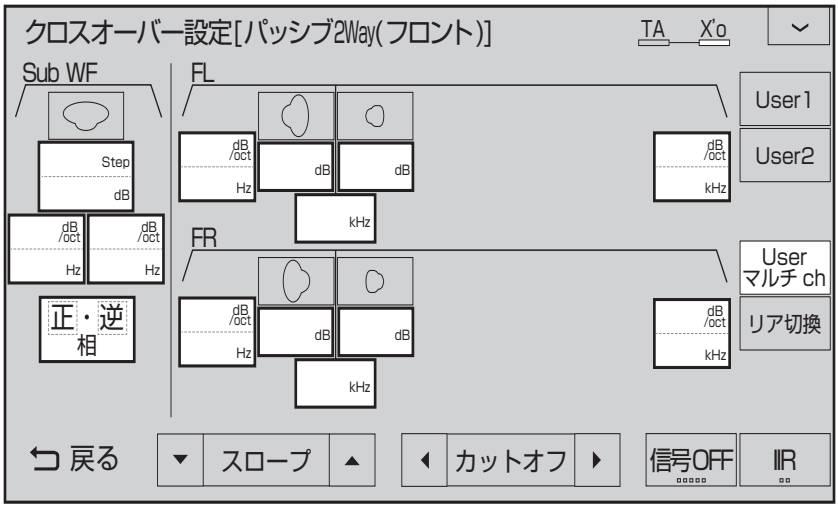


User2 用



次のページにつづく

User マルチ ch 用

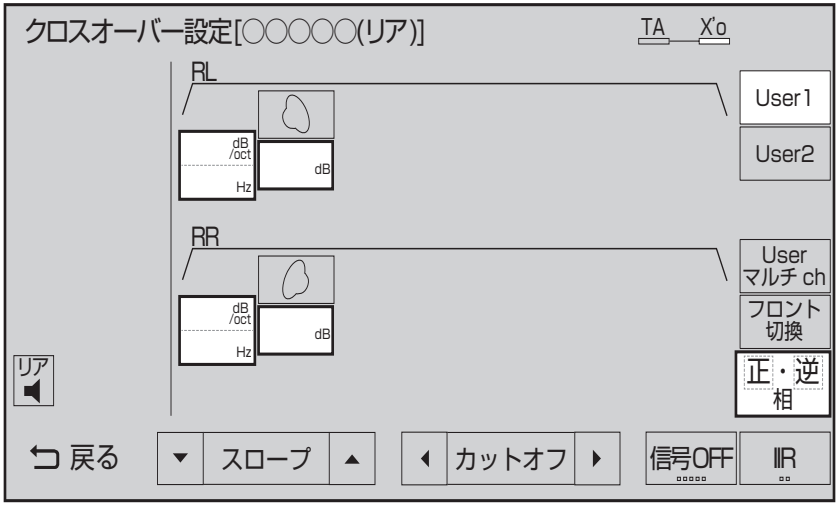


クロスオーバー設定（リア）

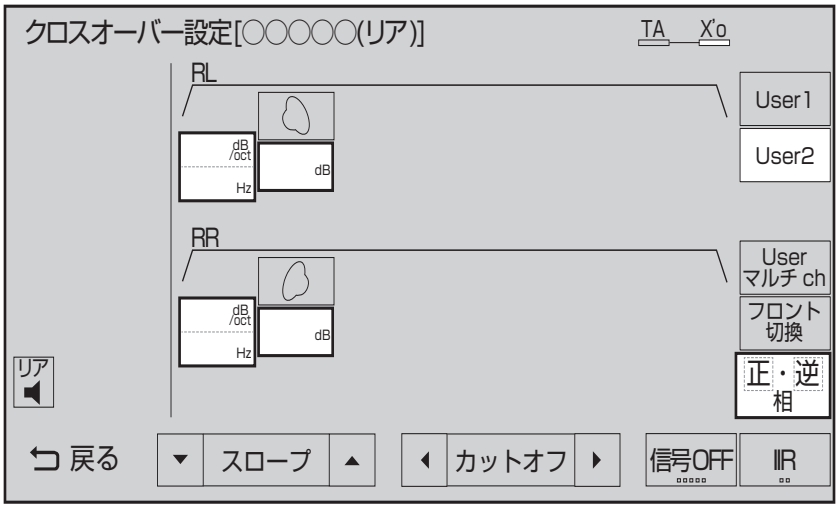
クロスオーバー設定画面（フロント）表示中、リア切換 にタップすると表示する画面です。
各数字を記入してください。

■ リアの場合

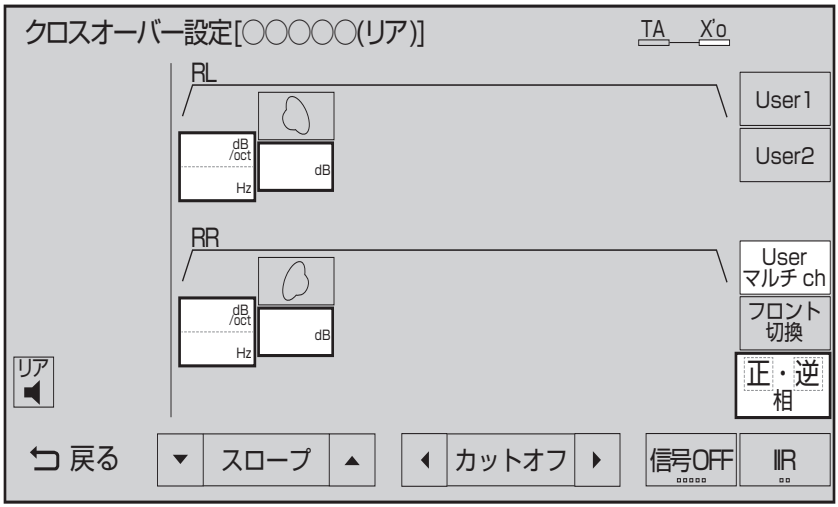
User1 用



User2用



User マルチ ch 用



用語索引

本用語索引では、使用したい機能をすばやく見つけるために、各機能のキーワードのみを記載しています。他のページにも下記の言葉が記載されている場合があります。

ア行

明るさ……360
アングル……100
案内音・操作音の設定……344
案内開始……215,237
イコライザー……60,373
色合い……360
色の濃さ……360
迂回ルート……248
映像……164
映像情報……151
エコ……30,276
エコ運転評価……276
エコ情報の設定……335
エコ情報履歴……276,278
エリア……150,152
エリアCH……376
追いかけ再生……372
オーディオ機能……62
音楽CD……82
音楽ファイル……68,88
音質調整……37
音声……95,98,164,356
音声認識……186,287
音声認識の設定……345
音声案内の設定……344
音声の設定……318
音声モード……151
音像……54,373
オンデマンドVICS……258
音場……54,373
オンライン受信……258,320
オンラインで受信する……267
音量を調節する……16,63,344

カ行

カーブ案内……202,318
開通道路情報更新……303
ガイド線……298
ガイド線表示……333
ガイド線を調整する……334
外部機器接続確認……350
各アイコン……182
画質調整……314,359
カットオフ周波数……56,373
カメラ……30,298
カメラ設定……329,333
画面OFF……361
画面の表示を消す……361
キーワード変更……218
規制情報……261,263
季節マーク……316
北基準……197
緊急情報……268
緊急放送自動切換……357
クロスオーバー……54,56,373
クロスオーバー周波数……57,373
黒の濃さ……360
経由地……237,243
経由地消去……245
系列局……150,156
系列局サーチ……152
ゲイン……56,373
県境案内……202,318
言語コード……328,375
現在地……179,185
現在地登録……254
現在地補正……323
検索履歴……233
交差点案内図……200
交差点名称読み上げ……318
高速道路情報……209
高速略図……197
高速略図自動表示……316
交通情報……27,81
合流案内……202
小文字/大文字……192

コントラスト 360

サ行

サーバー音声認識 186
細街路 371
再生できるディスクの種類 65
シーク 80
市街地地図 204,371
自車 371
自車位置の補正 315,322
自車基準 197
システムの設定 314,343
施設名称 28,217
施設名称入力用キーボード 195
自宅 28,213,252
視聴設定 355,356
自動系列局サーチ 356
自動録音 325
自動ワンセグ切換 163,356
絞り込み設定 218,221
字幕 98,356
字幕情報 151
字幕設定 356
ジャイロセンサー 371
車種 319
車速センサー 371
車両信号チェック 351
車両取付確認 350
ジャンル 28,219
住所 28,225
渋滞予測 319
渋滞予測経路 237
周辺検索 28,223
縮尺 204
縮尺アイコン 179
受信機設定 355,356
受信強度 151
受信情報読み上げ 320
受信情報割り込み 320
手動録音 325
準天頂衛星 175,182,351
仕様 395
省エネ度 237
商標 7
情報確認 160,355
ショートカットメニュー 185,225,248,249
ショートバナー常時表示 357
初期設定 355,358
シングル録音 325
信号情報案内 182,302,321
信号情報案内の設定 315,321
数字入力 101
スクロール 181,205
スクロール方面名称 205,316
スタンダード 196
スタンダード２画面 196
ステアリングリモコン設定 348
スマホ DE メモ 232
スマート IC 209,319,371
スマート IC 回避 250
スマートフォンから探す 234
スマートループ渋滞情報 258
スライド 25
スロープ 56,373
セキュリティロックの設定 346
セキュリティロック LED 347
設定 30
センサチェック 351
センシングリルート 319,371
全地球測位システム 175,351,371
全ルート 238
走行軌跡 316,371
走行軌跡データ消去 316
走行情報 (ETC2.0 (DSRC)) 320
走行情報 (オンライン) 320
走行中の操作制限 7,97,152
測位 176,371
速度超過アラーム 203,318
ソフトウェアバージョン 161

タ行

タイトル 375
タイトル情報 83,85,129
タイムアライメント 54,55,373

Other

タップ.....24
建物情報.....208
タブボタン.....25
ダブルタップ.....24
探索条件.....237,242,243
探索条件設定.....237
探索の設定.....315,319
探索方法.....177
地図色.....199
地図データ更新.....30,303
地図文字.....199
地点メニュー.....181,206
チャプター.....375
駐車場情報.....263
昼夜色.....316
長期通行規制回避.....250
通信の設定.....336
続き再生.....375
ディスクスロット.....17
ディスクを取り出す.....22
ディスプレイ.....16
デバイスID.....333
デモ走行.....241
電波ビーコン.....258
電話.....30
電話の設定.....330
電話番号.....226
電話をかける.....293
電話を使う.....289
到着予想時刻学習リセット.....319
登録地.....28,234,254
登録地情報.....255
登録地の設定.....252
登録地名称.....316
道路縁取り.....316
都市高速入口イラストマップ.....201
特別登録地.....253
ドライブ.....150,152
ドライブCH.....376
ドライブCHスキャン.....152,158,159
ドルビーデジタル.....375

ナ行

ナビ画面.....179
二重音声設定.....356
ニュースリーダー.....284
ネットDEサーチ.....229
ノーマルバナー.....150

ハ行

パーキングブレーキアラーム.....203,318
バージョンアップ.....309
バージョン.....309
ハイパスフィルター.....56,373
パスワード.....346
パソコンからタイトル情報を取得する.....132
パッシブクロスオーバーネットワーク.....373
パワーアンテナの設定.....349
半角/全角.....192
番組内容.....150,153
番組表CH切換.....357
番号.....28
ビーコン情報.....265
光ビーコン.....258
非測位.....176
微調整.....205
表示の設定.....315,316
ビュー切換.....196
ピンチアウト.....25
ピンチイン.....25
フォルダーの構成.....69,76
フォルダー選択.....88,105,140
物理チャンネル番号.....151
踏切案内.....202,318
プリセットボタン.....79
フリック.....24
フルセグ.....162,376
フルレンジスピーカー.....373
プレイリスト.....118,372
別ルート.....249
変換.....192
変換候補のリスト.....193
放送モード.....151,376
方面名称.....205

方面名称読み上げ.....318
ホーム.....150,152
ホームCH.....376
ホームCHスキャン.....148,157
本機.....16
本機の設定.....314

マ行

マイメニュー.....31
マップコード.....228
マップマッチング.....175,371
マルチアングル.....375
マルチアンプシステム.....374
マルチタップ.....24
マルチ編成.....376
無変換.....192
メール.....160
メッセージ.....362
メニュー.....150
メモリ初期化.....353
免責事項.....5
メンテナンス.....30,305
目的地の設定.....213
文字入力.....192
文字の種類.....193
モニター Open.....20
モニター角度の調整.....359

ヤ行

郵便番号.....227
用語解説.....371
予測渋滞情報表示.....266

ラ行

ラジオ.....78
ランドマーク.....198,371
リアカメラ.....299
リアカメラの設定.....333
リスト表示.....88,105,110,140,145
リスニングポジション.....38,54,374
(リニア)PCM.....375
リモコン番号.....150,152,162,376
料金所案内図.....201
履歴.....28,233
ルート確認.....238
ルート残距離情報.....317
ルート自動更新.....268,319
ルート消去.....251
ルート探索条件.....319
ルート上の合流案内.....318
ルートの確認.....238,239
ルートの変更.....242
レーン案内.....202,318
レーン情報.....316
レターボックス画面.....375
ローパスフィルター.....56,374
ローブースト.....56,374
録音する.....115
録音方法を変更する.....324
ロングタップ.....24
ロングバナー.....151

ワ行

ワイド.....99,170
ワイドソフト.....375
ワンセグ.....162,376
ワンセグ/フルセグ.....150,162

A

AAC.....72
AM.....79
Audio ON/OFF.....27,62
AUX.....27,170
AV.....16,62
AV再生情報.....63,179
AVの設定.....314,324
AVメニュー.....27

B

Bluetooth Audio.....27,165
Bluetoothの設定.....336

Other

C

CHモード 150,152,376
CPRM 375

D

DISC 27
DriveConnect 228
DriveConnectの設定 315,321
DTS Digital Surround 375
DVDビデオ 92
DVDビデオの初期設定 326

E

EPG 150,154,376
ETC 30,280
ETC車載器の情報 283
ETCの設定 331
ETCの履歴 281
ETC2.0 271,371
eスタートスコア 277
eスタートマスターレベル 276

F

FIRフィルター 55,56,374
FLAC 74
FM 79
FM多重情報 265
FM多重放送 258

G

GNSS 175,351,371
GPS 175,351,371
Gracenote 387

I

ID3タグ 372
IIRフィルター 55,56,374
INFOの設定 314,329
INFOメニュー 30
iPod 27,136
iPod MENU 139

M

MAPCODE 28,228
MENU 16
MP3 70
MPEG 375
MusicFolder 372
MusicFolderを聴く 117

N

NaviCon 234
NAVIの設定 314,315
NAVIメニュー 28,184
NoTitleリスト 130
NTSC 375

O

OpenInfo 7

P

P.ANT ON/OFF 27
PLAYLIST 118,119,120
PremiDIA Bass 61
PremiDIA VBL 61
PsideP 197

Q

QZS 175,351

R

RADIO 27,78

S

SD/MusicFolder 27
SDカード 19
SDカードスロット 17,20
SDカードの曲を聴く 105
SDカードの動画を見る 110
Sound Settings 37

S/Wバージョン.....161

T

TITLE.....94,95
TV.....27,147,148
TVの設定.....355
TV放送のチャンネル一覧表.....377

U

USB.....27
USBデバイスの曲を聴く.....140
USBデバイスの動画を見る.....145

V

VICS.....258,372
VICS記号.....262
VICS局.....270
VICS考慮.....249
VICS受信局周波数設定.....320
VICS情報(一般道).....320
VICS情報(高速道).....320
VICSセンター.....262
VICS駐車場情報.....320
VICSの設定.....315,320
VICSボタン.....260
VOL.....16

W

Wi-Fi.....340,372
WMA.....71
WAV.....73

数字

2Dマップ.....198
2Wayスピーカー.....374
2次元測位.....176
3D建物.....316
3Dビューマップ.....198
3Dリアルジャンクション.....202,372
3Wayスピーカー.....374
3桁チャンネル番号.....151
3次元測位.....176
5ルート.....237,248

Other

三菱電機株式会社
〒100-8310　東京都千代田区丸の内 2-7-3　(東京ビル)

EW-EZ-0381 22-09